

令和 2 年 度  
事 業 報 告 書

社会福祉法人 恵泉会

## 目 次

① 恵泉会法人本部	1	～	9	ページ
② 障害者支援施設若草園	10	～	14	ページ
③ 障害者支援施設若生園	15	～	19	ページ
④ 生活介護事業所パルめぐみ	20	～	24	ページ
⑤ 恵泉会グループホーム・はせやま相談支援事業所	25	～	32	ページ
⑥ 恵泉会地域生活支援センター	33	～	36	ページ
⑦ 多機能型事業所若葉園	37	～	41	ページ
⑧ 就労継続支援B型さくらワークス	42	～	45	ページ
⑨ 登米市児童発達支援センターこじか園	46	～	52	ページ
⑩ 南方保育所	53	～	55	ページ
⑪ 事業所内保育所キッズつぼみ	56	～	58	ページ
⑫ 特別養護老人ホーム光風園	59	～	62	ページ
⑬ 特別養護老人ホーム松風園	63	～	69	ページ
⑭ 豊里デイサービスセンター百楽荘	70	～	74	ページ
⑮ 特別養護老人ホーム萩風園	75	～	78	ページ
⑯ 中田デイサービスセンター菊風荘	79	～	82	ページ
⑰ 特別養護老人ホーム迫風園	83	～	88	ページ
⑱ 迫デイサービスセンター翠風荘	89	～	93	ページ
⑲ 特別養護老人ホーム南風園	94	～	98	ページ
⑳ 南方デイサービスセンター南寿荘	99	～	102	ページ
㉑ 地域密着型特別養護老人ホーム東和	103	～	107	ページ
㉒ 東和高齢者福祉施設デイサービス	108	～	111	ページ
㉓ 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス	112	～	113	ページ
㉔ 地域密着型特別養護老人ホームゆりの郷	114	～	118	ページ
㉕ 地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷	119	～	122	ページ
㉖ 恵泉会登米デイサービスセンター遠山荘	123	～	126	ページ
㉗ 地域密着型通所介護恵泉会デイサービスセンターほんわか	127	～	130	ページ
㉘ 恵泉会ヘルパーステーション	131	～	132	ページ
㉙ 恵泉会介護支援センターいきいき	133	～	136	ページ
㉚ 恵泉会介護支援センターらくらく	137	～	140	ページ
㉛ 恵泉会東和介護支援センター	141	～	144	ページ
㉜ 恵泉会とよま介護支援センター	145	～	148	ページ
㉝ 登米市迫地域包括支援センター	149	～	151	ページ
㉞ 恵泉会サービス付き高齢者向け住宅恵はあと	152	～	154	ページ
【事故報告関係】				
㉟ ヒヤリハット・軽微・事故・苦情処理報告	155			ページ

# 令和2年度 恵泉会法人本部 事業報告

## 【 概 要 】

### 1. 基本理念の実現に向けた取り組み

社会福祉諸制度をめぐる大きな変革の中、当法人の役職員が、社会福祉法人の使命や自ら果たすべき役割を再確認し、法人の基本理念を指標にして利用者・地域社会に施設・事業所の姿勢を表明することに努めました。

### 2. 利用者のサービス向上に向けた取り組み

福祉サービスの提供にあたっては、利用者の人権と人格を最大限に尊重し、「利用者には選ばれるサービスとは何か」「望まれるサービスの質とは何か」「利用者本位のサービスとは何か」を常に念頭に置き、利用者のサービス向上に向けた各種の取り組みを行いました。

- (1) 各施設・事業所において、サービス自己評価及び恵泉会第三者委員による評価を実施し、抽出された要改善事項について十分検討し、改善に努めました。
- (2) 各施設・事業所の苦情解決責任者及び恵泉会第三者委員出席のもと、苦情処理・サービス向上委員会を開催し、2019年度に発生した苦情・介護事故等の分析・検討を行い、提供するサービスの質の向上を図りました。
- (3) 情報開示、広報活動の取り組みとして、恵泉会会報誌(1回)を発行しました。また、法人の公益性と経営の透明性を高めるため、情報公開の手段としてワムネット(財務諸表等電子開示システム)とホームページを活用し、恵泉会基本理念や財務諸表、事業報告書、監事監査報告書等を公表しました。
- (4) サービスの質の向上のために、職員の意識改革に取り組む研修や会議等を行いました。

### 3. 経営管理における取り組み

経営管理においては、各種事業でのプラスの収支差額を目標とし、経常活動による事業で獲得した収支差額の範囲内で、施設整備等による計画を樹立することに努めました。

- (1) 令和2年度に計画された施設整備、設備整備、高額物品の取得等については、複数者による見積合わせを実施し、執行額の削減に努めました。
- (2) 日常要する経費については、漫然と延長的に捉えるのではなく、無駄を排除し、共同購入を推進するなど、効率性を追求しました。

### 4. 職員の経営参加に対する取り組み

職員の経営参加を積極的に推進し、各種計画の立案に際して広く職員から提案を求め、集約することに努めました。また、法人内各事業間の連携を意識して広い見地から計画を練るため、統括施設長・施設長・管理者が参加する経営者会議を延べ6回開催しました。

### 5. 職員の資質・専門性の向上に向けた取り組み

資格種類や役職、経験年数に応じた基礎的・専門的知識と素養を身に付けた人材を養成するため、職員研修計画に基づく各種研修や職種毎の専門部会等を、ウェブ会議システムを活用しながら実施しました。

### 6. 働き方改革に対する取り組み

働く職員一人ひとりが、より良い将来の展望を持ち、働く意欲・能力を存分に発揮できるような職場環境を構築するための取り組みを行いました。

- (1) 職員就業規則や職員給与支給規程など、働き方改革に関連する各種規則・規程について、令和2年4月1日を施行日として改正しました。
- (2) 働き方改革に伴う経営環境及び職場環境の変化に対応するため、恵泉会経営企画会議において、人事考課制度の見直しを行いました。
- (3) 年次有給休暇の取得推進と、労働時間の適正な把握により、個々の事情にあった多様なワーク・ライフ・バランスの実現を図りました。(年5日の年次有給休暇の確実な取得については、対象の全職員が達成)

7. 地域貢献事業の取り組み

法人が持つ人的資源や物的資源、これまで培ってきた知識や技術などを活用し、多様化・複雑化する福祉ニーズを充足させる地域貢献事業に積極的に取り組みました。

- 1) 講師等派遣事業の実施
- 2) 社会福祉法人による利用者負担軽減対策事業の実施
- 3) オレンジカフェ(認知症カフェ)の実施

8. 恵泉会介護職員初任者研修の実施

働きながら介護の基礎を学び、仕事の原理・原則、基本を身につけ、研修終了後も資格取得や専門性の更なる向上に自ら取り組める土台形成を目的として、恵泉会介護職員初任者研修を開講し、令和2年度は8名が研修を修了しました。

9. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症に感染すると重症化リスクが高いといわれている高齢者や基礎疾患を有する者が多く利用する社会福祉施設等においては、感染者が発生すると重大な事態となるおそれがあります。

このため、恵泉会では、職員それぞれが新型コロナウイルス感染症について正しい理解を持ち、国や自治体からの通知・通達に基づき、適切な感染症対策を実施しました。

- (1) 感染の疑いについてより早期に把握できるよう、施設長・管理者が中心となり、利用者及び職員について毎日の検温を実施するなど、健康状態の把握に努めました。
- (2) 感染症対策に必要な備品や消耗品は、「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を活用して、積極的に整備・購入を進めました。
- (3) 感染経路の遮断という観点から、業者との物品の受け渡し等は玄関など施設の限られた場所で行いました。また、緊急やむを得ない場合を除き面会を制限する等の対応を行い、各施設において、パソコンやタブレットを用いたオンライン面会ができる環境を構築しました。

【行事・研修・会議・委員会等】

1. 行事

(1) 会務

年月日	内 容
R2.04.01	辞令交付式
R2.04.30	2019年度決算に関する法人監事・監査法人打合せ(ウェブ会議・在宅サービス支援棟) 恵泉会監事2名・理事長・常務理事・参事・主任
R2.05.01	辞令交付式
R2.06.01	辞令交付式
R2.07.03	令和2年度サービス評価事業実施に関する打合せ(在宅サービス支援棟) 恵泉会第三者委員3名・理事長・常務理事・参事 障害者支援施設統括施設長・松風園施設長・迫風園施設長・主任
R2.07.31	辞令交付式
R2.08.27	令和2年度定年退職者再雇用説明会(対象6名)
R2.08.28	若生園敷地境界確認(若生園)参事・総括主任
R2.09.16	恵泉会職員研修大会永年勤続表彰(在宅サービス支援棟・萩風園)表彰者13名
R2.10.01	辞令交付式
R2.10.02	恵泉会職員研修大会職員発表撮影(在宅サービス支援棟)発表者5名
R2.10.04	恵泉会介護職員初任者研修開講式(迫風園)受講者8名
R2.10.07	若生園居住棟一年経年検査(若生園居住棟)常務理事・参事・総括主任
R2.10.07	介護福祉士試験対策講習会開講式(在宅サービス支援棟)受講者8名
R2.11.27	光風園空調設備等改修工事完成検査(光風園)常務理事・主任
R2.11.30	辞令交付式
R2.12.04	防犯協定調印式(佐沼警察署)理事長・参事
R2.12.04	新型コロナウイルス感染症対策に関する打合せ(在宅サービス支援棟) 理事長・常務理事・参事・各施設長・各管理者
R2.12.28	仕事納め
R3.01.04	仕事始め
R3.01.12	登米総合産業高校・登米地域パートナーシップ会議(ウェブ会議)参事
R3.01.29	辞令交付式

R3.02.10	宮城県障害福祉課による新わたの実ホームⅡ建物確認(新わたの実ホームⅡ)総括主任
R3.02.13	福島県沖を震源とする震度6弱の地震発生(23時8分) 恵泉会災害対策本部設置
R3.02.26	辞令交付式
R3.03.05	こじか園敷地境界確認(こじか園)参事・総括主任
R3.03.15	登米市迫地域包括支援センター運営事業委託業務見積合わせ(登米市南方庁舎)主任 登米市委託事業(支援ハウス・生きがいデイサービス)見積合わせ(登米市南方庁舎)主任
R3.03.16	宮城県障害福祉課による新生活介護事業所レポス現地確認(こじか園)参事・総括主任
R3.03.21	恵泉会介護職員初任者研修閉講式(迫風園)修了者8名
R3.03.23	登米市障害者相談支援事業委託業務見積合わせ(登米市南方庁舎)事務員
R3.03.25	日本年金機構(古川年金事務所)による社会保険調査 調査員3名 (全国健康保険協会管掌健康保険及び厚生年金保険被保険者の資格及び報酬等の調査)
R3.03.31	辞令交付式

※恵泉会福祉旗登米市招待少年野球大会は新型コロナウイルス感染症対策のため中止

(2)採用・登用関係

年月日	内 容
R2.04.13	職員採用試験(随時試験-介護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
R2.05.26	職員採用試験(随時試験-看護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
R2.08.31	令和3年4月1日付け職員採用一次試験(保育士・介護職員・理学療法士)〈書類審査〉受験者4名
R2.09.07	令和3年4月1日付け職員採用一次試験(看護職員)〈書類審査〉受験者1名
R2.09.08	令和3年4月1日付け職員採用一次試験(介護職員)〈書類審査〉受験者1名
R2.09.11	令和3年4月1日付け職員採用二次試験(介護職員・理学療法士・看護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者5名 令和3年4月1日付け職員採用二次試験(介護職員・理学療法士・看護職員) 合否判定会議
R2.09.14	令和3年4月1日付け職員採用一次試験(介護職員)〈書類審査〉受験者1名
R2.09.16	令和3年4月1日付け職員採用一次試験(作業療法士)〈書類審査〉受験者1名
R2.09.28	令和3年4月1日付け職員採用二次試験(保育士・介護職員・作業療法士)〈筆記試験・人物審査〉受験者3名 令和3年4月1日付け職員採用二次試験(保育士・介護職員・作業療法士) 合否判定会議
R2.10.19	令和3年4月1日付け職員採用試験(高校新卒の部-介護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名 令和3年4月1日付け職員採用試験(高校新卒の部-介護職員) 合否判定会議
R2.11.02	令和3年4月1日付け職員採用一次試験(管理栄養士・保育士・介護職員・看護職員)〈書類審査〉受験者5名
R2.11.13	令和3年4月1日付け職員採用二次試験(管理栄養士・保育士・介護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者4名
R2.11.16	令和3年4月1日付け職員採用二次試験(看護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名 令和3年4月1日付け職員採用二次試験(管理栄養士・保育士・介護職員・看護職員) 合否判定会議
R2.12.23	令和3年4月1日付け職員採用一次試験(総合職)〈書類審査〉受験者1名
R3.01.15	正職員登用一次試験〈書類選考〉受験者5名 令和3年4月1日付け職員採用二次試験(総合職)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
R3.01.19	令和3年4月1日付け職員採用一次試験(介護職員)〈書類審査〉受験者1名
R3.01.22	正職員登用二次試験〈筆記試験・人物審査〉受験者5名 正職員登用試験合否判定会議 令和3年4月1日付け職員採用二次試験(介護職員) 合否判定会議
R3.03.08	令和3年4月1日付け採用職員入職説明会(在宅サービス支援棟)新規採用職員15名参加

## 2. 職員研修実施状況

### (1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参 加 者
R2.04.20	人事考課者研修	理事長 常務理事 参事	対象職員22名
R2.06.05	管理職育成コンサルマネジメントミーティング	ウエルフェア・J・ユナイテッド 専務取締役 鈴木真一氏	対象職員29名
R2.09.16	第41回恵泉会職員研修大会 ○永年勤続者表彰 表彰対象者13名（在宅サービス支援棟と萩風園を会場として実施） ○職員発表はインターネット環境を活用し、録画映像を各拠点に配信	新型コロナウイルス感染症対策のため、講演の部は中止	—
R2.11.25	新任職員研修① （ウェブ研修）	理事長 常務理事 参事	対象職員25名
R2.11.27	新任職員研修② （ウェブ研修）	理事長 常務理事 参事	対象職員24名
随時	WJUによる事業所個別指導 （障害施設入所及び入居事業施設・遠山荘・ヘルパーステーション・恵はあと・東和高齢者福祉施設・ほたるの郷）	ウエルフェア・J・ユナイテッド 専務取締役 鈴木真一氏	対象施設・事業所の統括施設長・施設長・管理者
随時	恵泉会経営企画会議 全21回	ウエルフェア・J・ユナイテッド 専務取締役 鈴木真一氏	対象職員8名
随時	介護福祉士筆記試験対策講習会 全9回	国家資格取得対策委員ほか	職員延べ30名

※ケアマネージャー試験対策講習会は新型コロナウイルス感染症対策のため中止

### (2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R2.05.25	宮城県社会福祉法人経営者協議会 理事会	宮城県社会福祉法人 経営者協議会	仙台市	常務理事
R2.09.28	宮城県社会福祉法人経営者協議会 理事会	宮城県社会福祉法人 経営者協議会	ウェブ会議	常務理事
R3.01.20	宮城県社会福祉法人経営者協議会 理事会	宮城県社会福祉法人 経営者協議会	ウェブ会議	常務理事
R3.03.08	宮城県社会福祉法人経営者協議会 理事会	宮城県社会福祉法人 経営者協議会	ウェブ会議	常務理事

## 3. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 数	参 加 者
経営者会議	施設・事業所経営に関する検討、その他	6回	理事長・常務理事 参事・統括施設長 施設長・管理者・法人本部

## (2) 理事会

開催日	内 容
R2.06.10	<p>第1回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名)</p> <p>決議事項  2019年度 恵泉会事業報告及び収支決算の承認について審議  監査報告  定時評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について審議  基本財産の処分について審議  評議員選任・解任委員の選任について審議</p> <p>報告事項  理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について  寄付金の報告について</p>
R2.07.16	<p>第2回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名)</p> <p>決議事項  令和2年度 恵泉会収支補正予算(第1号)について審議  業績手当の支給について審議</p> <p>報告事項  理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について  社会福祉法人恵泉会各施設・事業所運営規程の一部改正について(報告)</p>
R2.10.09	<p>第3回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名)</p> <p>決議事項  令和2年度 恵泉会収支補正予算(第2号)について審議</p>
R2.12.10	<p>第4回 (出席者:理事5名/6名 監事1名/2名)</p> <p>決議事項  社会福祉法人恵泉会定款の一部変更について審議  令和2年度 恵泉会収支補正予算(第3号)について審議  業績手当の支給について審議  理事の辞任について審議  理事の辞任に伴う新理事候補者の選定について審議  評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について審議</p> <p>報告事項  中間監査の報告について  理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について  寄付金の報告について  社会福祉法人恵泉会各施設・事業所運営規程の一部改正について(報告)</p>
R3.03.12	<p>第5回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名)</p> <p>決議事項  令和3年度 恵泉会各種事業計画及び収支予算について審議  業績手当の支給について審議  令和2年度 恵泉会収支補正予算(第4号)について審議</p> <p>報告事項  理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について</p>
R3.03.19	<p>第6回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名)</p> <p>決議事項  施設長等の任免及び配置換えについて審議</p>
R3.03.29	<p>第7回 (出席者:理事6名/6名 監事2名/2名)</p> <p>決議事項  令和2年度 恵泉会収支補正予算(第5号)について審議  社会福祉法人恵泉会生活介護事業所レポス運営規程の制定について審議  社会福祉法人恵泉会組織規則の一部改正について審議  社会福祉法人恵泉会職員就業規則の一部改正について審議  社会福祉法人恵泉会職員給与支給規則の一部改正について審議  社会福祉法人恵泉会経理規程の一部改正について審議  社会福祉法人恵泉会文書取扱規程の一部改正について審議  社会福祉法人恵泉会利用者預り金管理規程の一部改正について審議  役員賠償責任保険契約について審議  第三者委員の選任について審議  登米市指定管理施設の譲渡について審議</p>

## (3) 評議員会

開催日	内 容
R2.06.24	定時評議員会 (出席者:評議員8名/8名 理事6名/6名 監事2名/2名) 報告事項 2019年度恵泉会事業報告について 2019年度恵泉会会計決算(計算関係書類及び財産目録)について 2019年度宮城県及び登米市指導監査の指摘事項及び改善状況について 決議事項 基本財産の処分について審議
R2.12.18	第2回評議員会 (出席者:評議員7名/8名 理事5名/6名 監事2名/2名) 決議事項 社会福祉法人恵泉会定款の一部変更について審議 役員(理事)の解任について審議 役員(理事)の選任について審議

## (4) 監査会

実施日	実施施設・事業所	監査員等
【2019年度決算監査】		
R2.05.11	東和 東和高齢者福祉施設通所介護 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス こじか園	恵泉会監事
R2.05.12	南風園・南寿荘	〃
R2.05.14	迫風園・翠風荘	〃
R2.05.15	ほたるの郷 遠山荘 恵はあと キッズつぼみ	〃
R2.05.18	光風園・ゆりの郷	〃
R2.05.21	恵泉会地域生活支援センター パルめぐみ 南方保育所	〃
R2.05.22	松風園・百楽荘	〃
R2.05.25	萩風園・菊風荘 恵泉会グループホーム	〃
R2.05.26	若草園・若生園・さくらワークス・若葉園	〃
R2.05.27	恵泉会介護支援センターいきいき 恵泉会介護支援センターらくらく 恵泉会東和介護支援センター 恵泉会とよま介護支援センター 登米市迫地域包括支援センター ほんわか 恵泉会ヘルパーステーション	〃
R2.05.28	法人本部・取りまとめ	〃



実施日	実施施設・事業所	監査員等
【令和2年度中間監査】		
R2.11.06	ほたるの郷 こじか園	恵泉会監事
R2.11.09	光風園・ゆりの郷	〃
R2.11.10	萩風園・菊風荘 恵泉会グループホーム	〃
R2.11.11	恵泉会地域生活支援センター パルめぐみ 南方保育所	〃
R2.11.13	若草園・若生園・さくらワークス・若葉園	〃
R2.11.16	恵泉会介護支援センターいきいき 恵泉会介護支援センターらくらく 恵泉会東和介護支援センター 恵泉会とよま介護支援センター 登米市迫地域包括支援センター ほんわか 恵泉会ヘルパーステーション	〃
R2.11.18	迫風園・翠風荘	〃
R2.11.20	南風園・南寿荘	〃
R2.11.24	松風園・百楽荘	〃
R2.11.26	東和 東和高齢者福祉施設通所介護 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス 遠山荘 恵はあと キッズつぼみ	〃
R2.11.27	法人本部・取りまとめ	〃

(5) 会計監査人監査

開催日	内 容	実施拠点区分	会 計 監 査 人
R2.08.04	あすの監査法人による監査(ウェブ会議) 令和2年度監査計画打合せ 令和2年度会計監査人監査(第1回)	法人本部	あすの監査法人 公認会計士
R2.10.27	あすの監査法人による監査 令和2年度会計監査人監査(第2回)	〃	〃
R2.10.28			
R3.01.12	あすの監査法人による監査(ウェブ会議) 令和2年度会計監査人監査(第3回)	〃	〃

(6) 内部監査

開催日	内 容	実施拠点区分	内 部 監 査 人
R3.01.06	恵泉会経理規程第69条に基づく内部監査 (2019年度及び令和2年度会計)	若草園 若生園 さくらワークス 若葉園	(法人本部職員3名) 参事 主任2名

(7) 入札会

開催日	件名	立会人(役職名等)
無		

## (8) 各種工事等打合せ

開催日	内 容	場 所	出 席 者
<b>【光風園空調設備等改修工事】</b>			
R2.07.08	第1回工事打合せ	光風園 在宅サービス支援棟	常務理事 参事・主任
R2.07.20	第2回工事打合せ		
R2.07.29	第3回工事打合せ		
R2.08.28	第4回工事打合せ		
R2.09.25	第5回工事打合せ		
R2.11.02	第6回工事打合せ		

## (9) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出 席 者
随時	障害事業施設長等会議(全10回)	在宅サービス支援棟	参事 他、障害サービス 事業施設長

## 4. 委員会開催状況

開催日	内 容	場 所	出 席 者
R2.05.28	第1回地震防災対策委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 参事・委員18名 法人本部2名
R2.06.01	第1回職場研修委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 参事・グループホーム施設長 法人本部1名
R2.06.08	第1回賞罰委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 委員5名・法人本部4名
R2.07.01	第1回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	常務理事・参事 グループホーム施設長 委員14名・法人本部2名
R2.08.31	第2回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	グループホーム施設長 委員12名・法人本部2名
R2.09.23	国家資格取得対策委員会	在宅サービス支援棟	常務理事・参事 松風園施設長・迫風園施設長 南風園施設長
R2.10.01	苦情処理・サービス向上委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 第三者委員3名 法人本部3名 委員19名(ウェブ出席)
R2.10.26	第2回職場研修委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 参事・グループホーム施設長 法人本部1名
R3.01.07	第2回地震防災対策委員会	在宅サービス支援棟	常務理事・参事 委員18名・法人本部2名
R3.02.05	第3回職場研修委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 参事・グループホーム施設長 法人本部1名
随時	こじか園譲渡に向けた準備委員会(全9回)	在宅サービス支援棟	参事 恵泉会地域生活支援センター施設長 法人本部2名

5. 各種サービス評価実施状況

実施日	実施施設	評価員等
<b>【令和2年度施設サービス評価】</b>		
R2.11.13	光風園・ゆりの郷	恵泉会第三者委員
R2.11.16	東和・東和デイサービス	〃
R2.11.17	松風園・百楽荘	〃
R2.11.18	菽風園・菊風荘	〃
R2.11.26	南風園・南寿荘	〃
R2.11.30	遠山荘・キッズつぼみ	〃
R2.12.01	迫風園・翠風荘	〃
R2.12.02	ほたるの郷・こじか園	〃
R2.12.08	恵泉会グループホーム・ほんわか	〃
R2.12.09	若草園・若生園	〃
R2.12.11	若葉園・さくらワークス	〃
R2.12.21	南方保育所・パルめぐみ・取りまとめ	〃

# 令和2年度 障害者支援施設若草園 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市東和町米川字町裏120番地1  
2) 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会  
3) 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会  
4) 開 設 年 月 日 平成23年 4月 1日  
5) 事 業・利 用 定 員

事 業	利 用 定 員
生活介護・施設入所	60 名
短期入所	4 名
計	64 名

## 【 基 本 方 針 】

恵泉会の基本理念並びに、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律に基づき、「施設入所」と「生活介護」の事業を一体的に行う障害者支援施設として、利用者個々の特性に配慮しつつ、一人ひとりの人権の尊重を基本とし、その人がその人らしく充実した生活を安心・安全に営むことができるよう支援しました。必要に応じて他事業所や関係機関とも連携・協働し、法令遵守のもと、安全で信頼のおけるサービスに取り組み、健全な運営に努めるようにしました。また、地域で生活している障害(児)者や家族の福祉ニーズの把握に努め、多様な福祉サービスの機会に応えるべく、施設機能と専門性を活かし事業を行うとともに、地域と施設が継続して交流活動を促進できるように地域での役割を果たしました。

## 【 重 点 項 目 】

- ・高齢等による身体機能低下や病状の進行などにより、日常生活動作のリスクが高くなるとともに、医療的な支援を必要とされる方が多くなりました。また、情緒面が落ち着かない方も多く、それに応じて入院される方も多くなりました。疾病を抱えた利用者やそのご家族のニーズを確認し、そのニーズにできる限り対応し、併せて医療機関との連携をこれまで以上に深めながら支援をおこない、生活の質を維持出来るようにしました。
- ・利用者の高齢化が進む一方、障害の影響により若年齢から心身の機能低下や様々な生活習慣病、認知症のリスクも考えられる為、常に身体・行動変化の確認・記録を行い、専門職員・医療機関との連携の他、ご家族への報告も密にしました。また、個々の身体状況の変化に対し、適した方法で支援できるよう都度話し合いを持ち、支援方法を変更し対応しました。
- ・衛生面の向上を目指し、毎日の入浴を実施しました。利用者によっては毎日の入浴を希望しない方もいましたので、その場合には本人の希望を尊重しました。入浴によって、清潔保持の他、肌の疾患や外傷などの早期発見することが出来ました。
- ・新型コロナウイルスの感染防止のため、利用者が楽しみにされている外泊・面会・外出の機会が減少してしまいました。利用者のストレス軽減の為、人混みを避けてのドライブや出前昼食など気分転換になることを企画し参加して頂きました。
- ・地域で生活されている障害(児)者の方々が、生活サイクルの安定及び情緒面の安定を図るため短期入所・日中一時支援をご利用される方が多い状況でした。
- ・これまで同様、ご家族の介護負担軽減を目的に利用されるご家族もおり、地域生活を営む上でのセーフティーネットとしての役割を果たすよう努力しました。
- ・コロナ禍で、地域の行事や学校行事の縮小に伴い、参加する機会がありませんでした。
- ・利用者に安心・安全なサービスを提供するため、職員間で権利擁護委員会や会議等で障害者虐待防止法の周知や障害者虐待防止策を検討し、「虐待を行わない」「見逃さない」「放置しない」という意識を強く持ち、虐待防止に関する基本的支援姿勢の確認と接遇の確認をくり返し行い周知徹底を図りました。接遇に関しては、ご家族へのアンケート結果などを踏まえ、所作及び言動の確認を図りました。
- ・職員の危機管理意識の向上を目指し、施設整備・防犯用具等(外周センサー・さすまた・防犯カメラ等)を用いた不審者対応訓練を実施しました。
- ・恵泉会障害(児)者支援ワーキンググループ会議を通し職員間で連携し、利用者の心身の状況や置かれている環境等に応じ利用者支援に関する共通認識を図りました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 20,905 名(施設入所支援) 15,081 名(生活介護)  
 2. 年間稼働率 95.46 %(施設入所支援) 93.44 %(生活介護)  
 (目標稼働率 97.00 % 97.00 %)  
 3. 年間平均障害程度区分 区分 4.62 (施設入所支援) 区分 4.65 (生活介護)  
 4. 月別利用状況

施設入所支援事業 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	240	217	210	217	217	180	186	206	217	217	196	217	2,520
区分4	577	596	572	617	620	623	626	630	648	651	588	651	7,399
区分5	510	527	509	527	527	513	558	540	558	558	504	558	6,389
区分6	347	372	360	376	403	390	403	390	403	403	377	373	4,597
計	1,674	1,712	1,651	1,737	1,767	1,706	1,773	1,766	1,826	1,829	1,665	1,799	20,905

生活介護事業 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	176	161	154	161	161	132	138	151	161	161	140	161	1,857
区分4	403	421	399	422	415	417	429	421	437	440	385	441	5,030
区分5	374	391	374	391	395	393	414	396	414	414	360	414	4,730
区分6	268	288	277	297	309	286	302	286	302	299	274	276	3,464
計	1,221	1,261	1,204	1,271	1,280	1,228	1,283	1,254	1,314	1,314	1,159	1,292	15,081

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	0	2	0	2	0	1	0	0	0	0	5
退所者数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3
月末入所者数	57	56	56	57	57	59	59	60	60	60	60	59	+ 2

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2.4.28	バレーボール大会	体を動かし気分転換を図ることを目的とし実施しています。	利用者 56名 職員 9名
R2.4.28	お花見	桜の名所の画像を利用し画像を見ながら歌を歌ったり四季を感じていただいています。また感染対策を行いながらドライブを行い車中からの花見を行っています。	利用者 56名 職員 11名
R2.5.20	端午の節句	端午の節句について説明を行い歌や踊りを行いながら体を動かし季節感や健康への祈念しています。	利用者 56名 職員 7名
R2.6.19	レクリエーション大会	ご家族との交流目的ではありませんが新型コロナウイルス感染防止のため、利用者、職員での競技大会となり楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者 55名 家族 0名 職員 12名
R2.8.18	かき氷	かき氷の提供を通じ季節感(夏の雰囲気)を味わって頂きました。	利用者 59名 職員 10名
R2.8.18	花火会	夏の夜の花火にて季節感を感じていただきながら、楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者 59名 職員 6名
R2.9.30	歌合戦	歌自慢者を募り、自慢ののどを披露していただき、みんなで歌ったり、踊ったりしながら過ごして頂きました。	利用者 58名 職員 9名
R2.10.28	ハロウィン	ハロウィンを通じて季節感を感じて頂き、皆さんで楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者 58名 職員 9名
R2.11.5	芋煮会	秋の味覚(芋煮汁)を味わいながらカラオケ大会も行い気分転換を図っていただき皆さんで楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者 59名 職員 10名

R2.12.22	クリスマス忘年会	クリスマス行事と一年間の労を労い、ケーキバイキングやプレゼント交換を行い楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者 57名 職員 10名
R3.1.14	新年会	新年を健康で迎えられた事に感謝し、会食し楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者 58名 職員 10名
R3.2.3	節分・年祝い	今年は節分・豆まきを行うことで季節感を感じて頂いています。	利用者 58名 職員 9名
R3.3.3	ひなまつり	ひなまつりを通じて季節感を感じて頂き楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者 57名 職員 10名

【短期入所事業サービス、他】

- 年間延べ利用人員 583 名
- 年間稼働率 39.93 %  
(目標稼働率 40.00 %)
- 年間平均障害程度区分 4.10
- 月別利用状況【短期入所事業】 (年間延べ利用人員 583 名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	4	6	4	8	4	4	6	5	6	6	0	5	58
区分3	6	7	7	8	8	10	9	10	5	4	15	13	102
区分4	24	28	32	35	28	29	23	19	16	16	14	13	277
区分5	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	3	13
区分6	14	20	13	22	6	15	15	10	8	0	2	8	133
計	48	61	66	73	46	58	53	44	35	26	31	42	583

- その他の障害福祉サービス  
月別利用状況【日中一時支援事業】 (年間延べ利用人員 269 名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登米市	19	17	18	22	13	17	12	19	19	23	16	8	203
南三陸町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栗原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
気仙沼市	2	2	9	8	7	7	9	7	4	0	2	9	66
計	21	19	27	30	20	24	21	26	23	23	18	17	269

【利用者サービスの向上】

- 職員研修実施状況  
(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R2.4.2	利用者小遣い管理と処理について(勉強会)	生活支援員	職員2名
R2.4.6	利用者小遣い管理と処理について(勉強会)	生活支援員	職員3名
R2.4.9	コンプライアンスについて	統括施設長	職員10名
R2.4.11	個人記録の記載とパソコン入力について(勉強会)	生活支援員	職員1名
R2.4.11	食事介助について(勉強会)	生活支援員	職員1名
R2.4.11	入浴介助について(勉強会)	生活支援員	職員1名
R2.4.13	排泄(オムツのあて方・リハビリパンツ交換)介助について	生活支援員	職員1名
R2.4.13	個人記録の記載とパソコン入力について(勉強会)	副主任	職員1名
R2.4.14	個人記録の記載とパソコン入力について(勉強会)	副主任	職員1名
R2.4.14	排泄(オムツのあて方・リハビリパンツ交換)介助について	サビ管	職員1名
R2.4.15	食事介助について(勉強会)	サビ管	職員1名
R2.4.15	排泄(オムツのあて方・リハビリパンツ交換)介助について	サビ管	職員1名
R2.4.15	個人記録の記載とパソコン入力について(勉強会)	生活支援員	職員1名
R2.4.15	個人記録の記載とパソコン入力について(勉強会)	生活支援員	職員1名
R2.4.16	入浴介助について(勉強会)	副主任	職員1名
R2.4.16	コンプライアンスについて	統括施設長	職員8名
R2.5.15	ハイエースリフト操作研修	副主任	職員4名
R2.5.22	コンプライアンスについて	統括施設長	職員4名
R2.6.18	食中毒予防について	管理栄養士	職員8名

R2.7.27	基礎看護について	看護師	職員9名
R2.7.30	基礎看護について	看護師	職員6名
R2.8.24	身体拘束・虐待研修	生活支援員	職員4名
R2.9.15	身体拘束・虐待研修	生活支援員	職員9名
R2.10.8	個人情報保護法について	統括施設長	職員10名
R2.10.27	恵泉会職員研修大会について	統括施設長	職員11名
R3.1.18～19	記録の書き方について	生活支援員	職員7名
R3.2.18	虐待防止について	統括施設長	職員9名
R3.3.17	ボディメカニクスについて	生活支援員	職員6名

(2) 外部研修

年月日	内容	主催者	開催地	参加者
R2.6.11	登米管内介護保険施設等管理者対象 感染対策基礎研修	宮城県東部保健福祉事務 所登米地域事務所	登米市	職員1名
R2.8.27	新型インフルエンザ等感染対策研修	宮城県東部保健福祉事務 所登米地域事務所	登米市	職員1名
R2.9.18	要配慮者利用施設の避難確保計画作 成に係る後期講習会	登米市	登米市	職員1名
R2.9.29	令和2年度登米市障害福祉サービ ス事業所職員等研修会	登米市	登米市	職員1名
R2.11.11	令和2年度サービス管理責任者等基礎研修 (4日間:11/11～11/13・11/16)	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	各種行事・各部署・委員会等申し送り及 び検討等	月1回	施設長・管理者・事務員・サビ管・ 生活支援員・看護師・管理栄養士
支援会議	利用者の生活状況及び活動班状況の検 討等	月1回	施設長・管理者・サビ管・生活支 援員・看護師・管理栄養士
給食会議	給食について委託業者と評価・検討及 び情報交換等	月1回	管理者・管理栄養士・看護 師・生活支援員・利用者様

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
ケア会議 (随時開催)	利用者様の日常生活における本人からの要望 や課題・改善点等について協議・検討を図る。	スタッフルーム・相談室	管理者・サビ管・生活支援員・ 看護職員・管理栄養士
障害児者支援 ワーキング部会 (月1回)	8施設の共有事項について検討	若草園	管理者・サービス管理責任 者 各担当職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	事故報告を分析し、事故再発防止及び発生時の 対応を検証して改善策検討する。また、感染症の 予防と改善に取り組む。マニュアルの見直し。	月1回	管理者・サビ管・事務員・ 看護師・管理栄養士・生 活支援員
サービス向上委員会	サービスの質の向上に資するための過程や結果の分 析・検討を行う。自己評価及び第三者評価による改 善への取組みと対応。利用者・家族アンケート実施 し、サービス向上に係る改善について検討。	月1回	管理者・サビ管・管理栄養 士・生活支援員
権利擁護委員会	人権擁護や虐待防止、身体拘束「ゼロ」 の取り組みや検討。	随時	管理者・サビ管・生活支援 員
感染症・褥瘡予防対策委員会	利用者・職員等の感染症の予防対策と褥瘡 発生のメカニズムの基本知識習得や発生及 び防止に対する体制の整備。	随時	看護師・管理者・サビ管・ 管理栄養士・生活支 援員
研修委員会	内部・外部研修の調整・企画し、職員の資質向上を図る。	月1回	管理者・事務員・生活支援員・管理栄養士
防災委員会	防災訓練調整及び防災設備の整備改修 等	月1回	管理者・サビ管・事務員・看護師・ 管理栄養士・生活支援員

## (2) その他の委員会

開催日	内 容	場 所	出 席 者
各月	障害児者支援施設ワーキング部会	施設持ち回り	統括施設長、他
各月	事務担当者部会	施設持ち回り	事務員
各月	看護師部会	施設持ち回り	看護職員
隔月	給食部会	施設持ち回り	管理栄養士
年2回	恵泉会地震防災対策委員会	法人本部	事務員

## 【施設機能の開放】

## 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

## (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
R2.6.28	登米市観光シティプロモーション課	施設見学	2名
R2.6.28	NHK職員	施設見学	4名
R2.12.2	宮城県迫支援学校	施設見学	9名

## (2) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
計			0名	0名

## 【今後の取り組み】

## &lt;高齢と障害が重く医療的ケアのニーズが高い利用者支援&gt;

- ・高齢等による身体機能低下が進み、介護度が高まるとともに、病状の進行などにより、年々医療支援対象者が多くなってきています。疾病を抱えた利用者やそのご家族のニーズを確認し、そのニーズにできる限り即しながら支援し、生活の質を高められるようにします。
- ・利用者様の平均年齢59歳、65歳以上の方も約3分の1と高齢化が進んでいます。また、障害のため一般の方々より若年齢から心身の機能低下や様々な生活習慣病を原因としたリスクが高く、早い段階からの認知症や老化に伴う体力の低下、疾病になることも考えられます。常に身体・行動変化の確認・記録を行い、家族・専門職員・医療機関との連携を密にします。さらに認知症ケアや個別ケア等の支援には機能訓練や運動を通して、高齢化、機能低下している利用者に対し個別に応じた支援を行い、安全で安心した生活を送ることができるようになります。

## &lt;地域での連携及び交流&gt;

- ・地域で生活されている障害(児)者の方々やその家族に対して、生活支援上のセーフティーネットの役割(短期入所・日中一時支援等)を果たすようにします。
- ・地域住民や地域の学校及び事業所等との交流活動を通し、地域に根ざした施設運営を目指します。

## &lt;安心・安全なサービスの提供&gt;

- ・新型コロナウイルス感染症に対する、感染対応を行い、安心して生活できる環境を整えます。
- ・職員間で権利擁護委員会や会議等で障害者虐待防止法の周知や虐待防止策を検討し、「虐待を行わない」「見逃さない」「放置しない」という意識を強く持ち、また、身体拘束に関して再教育にて正しく認識し、虐待防止に関する基本的支援姿勢の確認をくり返し行い周知徹底を図ります。さらに、接遇の再確認を行うとともに、行動障害に対する専門的な支援力を高め、サービス提供面からも利用者の権利擁護に積極的に取り組みます。
- ・火災、土砂災害、不審者の侵入等万が一に備え、施設整備を進めるとともに、常に点検・整備し、危機管理意識を高めるための研修や教育に努めるとともに、必要に応じて、警察や警備会社等の協力も得つつ、防犯講習や防犯訓練を実施し、利用者の安全確保に努めます。

## &lt;職員間の連携及び協働&gt;

- ・恵泉会障害(児)者支援ワーキング会議を通し職員間で連携し、利用者の心身の状況や、置かれている環境等に応じ利用者支援に関する共通認識を図ります。
- ・利用者に安心・安全な生活環境が整われる中、社会資源など活用しながら共同行事を計画し実施出来るよう取り組みます。



# 令和2年度 障害者支援施設若生園 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市東和町米川字西綱木24  
若生園居住棟:宮城県登米市東和町米川字西綱木6-1
- 2) 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会
- 3) 経 営 主 体 ”
- 4) 開 設 年 月 日 平成23年4月1日
- 5) 事 業・利用定員

事 業	利 用 定 員
施設入所支援、生活介護	50 名
短期入所支援	4 名
計	54 名

恵泉会の基本理念並びに、障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律に基づき、「施設入所支援」と「生活介護」の事業を一体的に行う「障がい者支援事業所」として、利用者個々の特性に配慮しつつ、一人ひとりの人権を重んじ、その人がその人らしく充実した生活を安心して営めるよう支援します。必要に応じて他事業所や関係機関とも連携を深めながら、安全で信頼のおけるサービスに取り組み、効率・効果的及び健全な運営に努めていきます。また、地域で生活している障がい者(児)や家族のニーズに応えるべく、施設機能と専門性を生かし事業を行うとともに、地域と施設が継続して交流活動を促進できるように地域での役割を果たします。

## 【 重 点 項 目 】

1. 生活の場(居住棟)が、全室個室のユニット型となり、更なる個別支援の促進を図り、利用者様が安心して暮らせる空間・その人らしい生活空間を創り、利用者の満足度へ繋がります。
2. 利用者個々の意向を尊重し、障がいや疾病の状態に合わせた個別支援計画書のもと、利用者の方々の笑顔が多くみられ、その人らしい自立した生活を送れるよう支援しました。
3. 保険者や関係機関と連携を図り安全安心なサービスを利用していただけの事故防止に努め、また障がい者虐待防止法を遵守し、利用者の人権擁護に努めました。
4. 医療機関との連携を図り、心身の健康管理及び感染症予防に努めました。
5. 地域で生活されている障がい児(者)の方々やその家族に対して、生活支援上のセーフティネットの役割(短期入所、日中一時支援)を果たす努力をしました。
6. 防犯、防災(自然災害)、防火について、計画に沿った訓練を実施し、リスクの改善等を行い、利用者の安全第一に努めました。
7. 地域住民や地域の公共施設(学校・保育所等)との交流活動をとおり、地域に根ざした施設運営を目指しました。
8. 専門職としてのスキルアップを図り、他種協働の基、若生園の利用者の重度高齢化に対しての介護支援体制を整えるよう努力しました。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 17,726 名 (施設入所)、 13,149 名 (生活介護)
2. 年間稼働率 97.13 % (施設入所)、 97.76 % (生活介護)  
(目標稼働率 98.00 % (施設入所)、 98.00 % (生活介護))
3. 年間平均障害程度 4.56 4.58
4. 月別利用状況

	(延べ利用者数)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	240	248	240	248	248	240	248	240	248	248	224	248	2,920
区分4	510	527	510	527	527	504	527	510	527	511	448	509	6,137
区分5	378	372	360	383	403	390	403	390	372	379	336	372	4,538
区分6	330	341	330	332	311	330	341	330	372	372	339	403	4,131
計	1,458	1,488	1,440	1,490	1,489	1,464	1,519	1,470	1,519	1,510	1,347	1,532	17,726

生活介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	176	184	176	207	184	176	184	176	184	184	160	184	2,175
区分4	365	381	365	381	381	362	371	367	380	361	312	369	4,395
区分5	281	276	264	285	299	286	299	286	276	276	240	276	3,344
区分6	260	271	260	266	250	260	271	257	292	292	257	299	3,235
計	1,082	1,112	1,065	1,139	1,114	1,084	1,125	1,086	1,132	1,113	969	1,128	13,149

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
月末入所者数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	48	49	50	+1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事他

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2.04.14	お花見会	利用者の皆様と一緒に、居住棟で抹茶会をしながら桜を眺めお花見気分を味わいながら楽しいひとときを過ごされました。	利用者 49名 職員 6名
R2.07.07	七夕交流会	新型コロナの感染対策により小学生との交流会を中止し、居住棟で、利用者のみで七夕飾りを制作し、ゲームを組み合わせ楽しい時間を過ごされました。	利用者 49名 職員 10名
R2.08.21	線香花火大会	夕方より居住棟にて、夕涼みを兼ねて線香花火や打ち上げ花火大会を実施し、夏の風物詩として楽しんでいただき利用者様が大変喜ばれて参加されていました。	利用者 50名 職員 7名
R2.09.01	手作りクッキング(サンドイッチづくり)	昼食のサンドイッチを各利用者様が、自分で好きなものをサンドされ、召し上がり、大変好評でした。	利用者 38名 職員 4名
R2.10.01	お月見会	居住棟の玄関ホール等にススキや活動時に作ったお供え団子等を飾り月に向かって手を合わせて十五夜の雰囲気を楽しめました。	利用者 30名 職員 4名
R2.11.04	焼き芋会	日中活動で植えた『サツマイモ』をたくさん収穫し、皆さんでアルミホイル等で包み、居住棟の園庭で焼き、あつあつの焼き芋をおなか一杯召し上がり、満足した会となりました。	利用者 30名 職員 4名
R2.12.17	クリスマス忘年会	活動棟にてクリスマスソングを歌ったり、ダンス・サンタクロースが登場し、クリスマスプレゼント配布などクリスマスの雰囲気を楽しんでいただきました。	利用者 49名 職員 14名
R3.01.14	新年会	新年を迎えられたことをお祝いし、新年の抱負・願い事を絵馬へ、また書道をし盛り上がり、正月の雰囲気を楽しみました。	利用者 49名 職員 11名
R3.02.02	節分豆まき	職員扮する鬼に豆をぶつけて厄を祓い、レクリエーションとして、鬼の面の口に玉入れゲームと入れ、年中行事を楽しめました。	利用者 49名 職員 8名
R3.03.04	ひなまつり会	新型コロナウイルスの感染防止のために南方保育所との交流会を中止し、居住棟にて雛人形を飾り、歌やゲームで女の節句を祝いました。	利用者 49名 職員 11名

【短期入所者・日中一時サービス】

- 年間延べ利用人員 448 名
- 年間稼働率 30.68 %  
(目標稼働率 40.00 %)
- 年間平均障害程度 3.81
- 月別利用状況 (短期入所)

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	0	0	0	0	0	2	2	27	33	33	31	19	147
区分4	8	3	4	3	0	6	10	4	4	3	0	4	49
区分5	9	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	12
区分6	0	3	4	3	4	4	4	4	6	4	4	4	44
計	17	6	8	9	4	12	16	35	43	40	35	27	252

- (1) 短期入所 (年間延べ利用人員) 252 名 (稼働率) 17.26 %
- (2) 日中一時支援事業 (年間延べ利用人員) 196 名 (稼働率) 13.42 %

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R2.4.2	新任職員研修(若生園の概要・障害やサービス・利用者支援の心構え)	管理者	職員1名
R2.4.3	服薬管理・バイタル測定の基本について	看護師	職員3名
R2.4.9	防災機器の取り扱い講習会	迫防災	職員5名
R2.4.13	新任職員研修・栄養管理・栄養ケアマネジメント	管理栄養士	職員1名
R2.4.13	利用者小遣い管理と処理について	サービス管理責任者	職員3名
R2.4.9,4.16,4.17	コンプライアンスについて	統括施設長	職員21名
R2.4.13,4.23	ガウンテクニックについて	看護師	職員11名
R2.6.19	食中毒について	管理栄養士	利用者47名
〃	〃	管理栄養士	職員3名
R2.8.13	移乗介助について	生活支援員兼サビ管	職員4名
R2.8.20	利用者虐待防止について	生活支援員兼サビ管	職員10名
R2.8.20	新任職員研修・車いすの取り扱いと移乗について	生活支援員	職員1名
R2.8.23	新任職員研修・食事介助・口腔ケアについて	生活支援員	職員1名
R2.8.28	新任職員研修・排泄介助について	生活支援員	職員1名
R2.9.2	公用車運転・リフター取り扱いについて	生活支援員兼サビ管	職員2名
R2.9.2	公用車運転・リフター取り扱いについて	生活支援員兼サビ管	職員2名
R3.2.9	障害者虐待防止について	管理者	職員8名
R3.3.8～12	介護基礎研修(排泄介助の業務改善について)・・・Web研修	Web研修	職員16名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R2.6.5	WJU管理職育成コンサル(マネジメントミーティング④)	恵泉会	法人本部	職員1名
R2.6.11	登米管内介護保険施設等管理者対象感染対策基礎研修会	登米合同庁舎	登米合同庁舎	職員1名
R2.9.17	入所施設で感染者が発生した場合の応援職員派遣体制について	宮城県障害福祉課	県障害福祉センター	職員1名
R2.9.18	要配慮者利用施設の避難確保計画作成に係る講習会	登米市他	南方改善センター	職員1名
R2.9.29	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会『障害者虐待防止と心のバリアフリー』	登米市他	登米市南方庁舎	職員1名
R2.9.30	令和2年度 新型コロナ感染症対策研修会	登米地区医療対策委員会	ホテルニューグランヴィア	職員1名
R2.11.10	令和2年度宮城県社会福祉施設『障害者福祉施設職員研修』	宮城県社会福祉協議会	宮城県官工事会館	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	施設運営全般に関する協議	毎月第3火曜日	全職種
支援会議	サービス全般に関する協議	毎月第2火曜日	全職種
ケア会議	利用者の支援に関する協議	随時	本人・行政・地域生活支援センター・施設職員等
給食会議	利用者の食事に関する協議	毎月第4木曜日	管理者・栄養士・准看護師・生活支援員

(2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出席者
連絡会議	管理職・専門職でよりよい施設運営や福祉サービスの向上に向けて協議します。	若生園	管理職・専門職
恵泉会防災会議	恵泉会防災計画の立案等(年2回)	法人本部	防火管理者
入所検討会議	入所待機者の中から入所受け入れについて協議します。	若生園	統括施設長・管理者・副主任・サビ管・栄養士・准看護師・生活支援員

### 3. 委員会開催状況

#### (1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	施設内事故の検証・分析、事故予防・対応策立案等	年3回	管理者、栄養士、准看護師、生活支援員
サービス向上委員会(研修委員会)	サービス評価の実行、集計、報告等。研修内容	年10回	管理者、栄養士、生活支援員
権利擁護委員会	身体拘束、暴言、暴力、放置等防止策立案等	年4回	管理者、栄養士、生活支援員
感染症・褥瘡予防委員会	感染症予防の計画、立案等	年13回	管理者、准看護師、栄養士、生活支援員
防災委員会	若生園防災計画の立案等	年6回	管理者、生活支援員

#### (2) その他の委員会

開催日	内 容	場 所	出 席 者
R2.05.28	恵泉会地震防災対策委員会	法人本部	防火管理者
R2.11.05	預り金規程改正説明会	法人本部	サビ管
R2.06.05	障害児者支援ワーキング第一回	こじか園	主任
R2.07.14	障害児者支援ワーキング第二回	こじか園	主任
R2.08.09	障害児者支援ワーキング第三回	こじか園	主任
R2.09.25	障害児者支援ワーキング第四回	こじか園	主任
R2.10.16	障害児者支援ワーキング第五回	若生園	主任
R3.03.10	障害児者支援ワーキング第四回	こじか園	主任

### 【施設機能の開放】

#### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

##### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
R2.06.09	涌谷町 N瓶さん	施設見学	2名
R2.07.06	東和町 Sさん	施設見学	1名
R2.08.17	迫町 Mさん	施設見学	3名
R2.09.15	津山町 Sさん	施設見学	2名
R2.10.15	気仙沼市 Hさん	施設見学	2名
R2.11.04	東和町 Oさん	施設見学	4名
R3.01.28	迫町 Kさん	施設見学	4名
R3.03.29	七ヶ浜町 Sさん	施設見学	1名

##### (2) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
R2.9.28~10.9	仙台こども専門学校	保育実習	1名	10名
計			1名	10名

### 【今後の取り組み】

#### 1.《利用者満足度の向上》

・生活の場(居住棟)が、全室個室のユニット型となり、利用者が安らぎ・くつろぎ・うるおいを感じれ安心して暮らせる空間・その人らしい生活空間を創り、利用者様に常に寄り添い、利用者の満足度へ繋げます。

・利用者様の要望を確認する機会(自治会・利用者・家族アンケート等)を定期的実施し、利用者満足度の向上に努めます。

・利用者様の日中活動として、創作活動・レクリエーション・行事・機能訓練等楽しみながら自立支援向上や残存機能の維持や一人一人の感性を引き出し、日々意欲的に取り組めるよう援助します。

#### 2.《利用者の尊厳と権利擁護》

・利用者個々の意向を尊重し、障がいや疾病の状態に合わせた個別支援計画書の促進を図り、高品質なサービスを提供し、その人らしい自立した生活を送れる支援します。

・関係機関と連携を図り安全安心なサービスを利用していただける事故防止に努め、また 障がい者虐待防止法を遵守し、利用者の人権擁護に努めます。

#### 3.《重度・高齢化課題解決》

・重度・高齢化が進んでいる現状をふまえ、利用者一人ひとりの課題と方向性を確認し、本人の状態にあったサービス提供やサービスの移行(介護保険への移行等)を家族や関係機関(計画相談・医療機関・行政等)と検討し、ご利用者様によりよい福祉サービスの提供となるよう目指します。

・医療機関との連携を図り、内部研修を重ね心身の健康管理及び感染症予防に努めます。

#### 4.《地域との連携と交流》

- ・地域で生活されている障がい児(者)の方々やその家族に対して、生活支援上のセーフティネットの役割(短期入所、日中一時支援)を果たします。
- ・地域住民や地域の公共施設(学校・保育所等)との交流や実習・ボランティアの受け入れなどをおし、地域に根ざした施設運営を目指します。

#### 5.《災害対策》

- ・自然災害時における利用者の安全確保のために『防災計画』『避難確保計画～土砂災害～』に沿って対策・訓練を実施し、職員・利用者ともに防災意識を高める機会を設定し、利用者の安全確保に努めます。

#### 6.《職員の資質・専門性の向上》

- ・OJT・OFF-JTの研修体制を実践し、職員の人材育成とスキルアップを図ります。
- ・専門職としてのスキルアップを図り、他職種協働のもと、重度高齢化への介護支援体制を整えます。

# 令和2年度 生活介護事業所パルめぐみ 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地	登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2
2. 設 置 主 体	社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体	社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日	平成17年4月1日
5. 利 用 定 員	35 名

令和2年4月は契約者数56名でスタート、年間の動向は3名が生活介護利用契約、2名が契約解除となりました。

利用状況においては、利用定員35名に対して1日当たり平均37.8名の利用となるなど、昨年度の35.8名を上回った形となりました。マイクロバスを有効に活用することで、より多くの方が送迎サービスを利用できるよう効率的かつ柔軟に対応しています。また、法人内事業所を短期利用しながら日中はパルめぐみを利用したいというニーズにも可能な限り送迎対応しています。

日中一時支援事業においては、生活サイクルの維持を目的として、迫支援学校時代に利用していた方々が、他事業所が休み(土、月、祝日)のときに利用するという状況が本年度も継続しています。一方で、放課後デイサービス事業所がいくつか出来たことで、迫支援学校の放課後利用がなくなったという現実がありました。

強度行動障害の利用者に対しては、専門的に研修を受けた職員を配置することでより個別化した支援を提供しています。専門的に研修を受けていない職員に対しても内部研修を行い、支援に大きな差が出ないようにしました。

日中活動においては、新型コロナウイルスの影響もあって活動の規模縮小、あるいは予定変更を余儀なくされましたが、世情と感染予防を意識した活動内容へ工夫しています。

令和2年12月よりICTの導入を実現し、利用者のバイタルや活動状況などをより詳細に把握するためデジタルで管理しています。情報の共有化をスムーズにし、業務をより効率化することで利用者へのサービス提供内容をさらに充実させることができるよう努めました。

## 【 重 点 項 目 】

### 1. 生活介護

入浴および排泄を必要とされる方が増加し、一人ひとりの状況に応じて対応しています。車いす使用者の個浴利用について、希望が多い日は午前中から入浴時間を調整することで多くの方が利用できるように対応しました。ストマの利用者については、入浴時間を最終にすることで利用される方全員が気持ちよく入浴できるよう調整しています。排泄介助では、定時でのトイレ誘導をベースにその日の体調に応じたトイレ誘導を柔軟に行いました。食事介助では、利用される方々がより楽しく食事をできるようにと提供時間に幅を持たせています。強度行動障害の利用者には、個別化した支援の強化を行うことで少数派の障害特性の理解を図りました。

### 2. 健康管理

高齢となる利用者や重度の障害を持つ方が増えてきたことに伴い、健康状態に不安を残す方も増えました。ご家族からの申し送りや日々の健康チェック、活動の様子、ご本人の発する言葉や様子を注視し、健康状態が悪い場合にはご家庭や関係機関に連絡し、通院の提案をするなど早期の回復を図っています。また、新型コロナウイルス、その他感染症に対し、湿度管理やうがい・手洗いの徹底等感染症に対する意識喚起をしました。新型コロナウイルスに関しては、送迎時の検温・手指消毒、乗車後の車両消毒、日中2回以上の検温、サービス提供後の施設内消毒など、マニュアルに沿った感染症対策を実施し、継続して利用者の健康状態の把握・維持に努めました。

### 3. 機能訓練・療法的活動支援

身体機能低下が懸念される方が多くなってきたことに伴い、健康器具を使用して体を動かす時間を増やすなど、機能訓練に力を入れました。体重の増加が気になる利用者などを中心に時間を設けています。ヨガ教室も心身のリラックスが可能な時間として皆さんに定着しており、積極的な参加がみられました。従来から継続している音楽療法については、利用者の増加により主体的な参加が出来なくならないよう配慮しました。ホットパック利用希望の方も増えてきており、時間を調整して対応しました。

### 4. 活動機会の提供

園芸や創作活動などの従来の日中活動のほか、デジタルカメラを用いた撮影会やカラオケ、書道、ダンスなど趣味的な活動を増やし、多様な自己表現が出来るよう支援しました。入浴介助・排泄介助対象者の増加により活動時間の確保が困難なときも多くありましたが、園芸では昨年度より多くの成果を得ることができました。

昨年度同様、四季に応じた行事を行うことで、皆さんに季節の移り変わりを感じることができています。状況に応じた内容に変更しつつも、お花見や柿狩りなどを実施しました。外出に制限がかかる中、夏イベントを3日に分けて内容の充実を図ったり、テイクアウト食事会(仮)を行うなど工夫したサービス提供を行いました。社会資源の活用として、秋の社会見学は大人数を避けるため3回に分けて実施し、石巻市の石ノ森漫画館や元気いちば、岩手サファリパークに行ってきました。

また、活動の中にリハビリ体操を取り入れたり、帰所前にも体操を行うなど、体を動かす機会を多く設けるようにしました。

5. その他

今年度は迫支援学校の体験実習や登米総合産業高等学校からの介護実習の受け入れはありませんでした。就労移行支援については、1名の方が雇用となつてからは受け入れがない状況です。ボランティアは1件あり、アイスフェスに利用者支援として参加しました。アウトリーチ事業ではクラシック・ギターコンサートのように普段あまり触れることのない音楽を楽しむ機会を提供しました。12月には法人内職員による門松づくりを披露してもらいました。

地域行事は、登米市役所南方庁舎でのトーンチャイム演奏会を予定していましたが、中止となりました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 11,670 名
2. 年間稼働日数 309 日
3. 年間稼働率 107.91 % (生活介護)
4. 年間平均障害程度区分 4.04
5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分2	22	22	44	46	43	44	22	22	23	23	20	23	354
区分3	226	229	237	245	239	261	292	261	264	260	243	285	3,042
区分4	433	450	436	460	443	439	457	429	459	439	389	454	5,288
区分5	159	149	157	158	147	140	158	144	135	135	130	147	1,759
区分6	102	108	113	110	103	102	107	103	98	90	85	106	1,227
計	942	958	987	1,019	975	986	1,036	959	979	947	867	1,015	11,670

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
契約終了者数	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
月末契約者数	57	57	58	57	57	58	58	57	57	57	57	57	+1

【利用者サービスの状況】

1. 日中活動サービス

(1) 行事

実施日	行事名	内容	参加者数
R2.06.25	こけ玉教室	フラワーショップ花かごの阿部あつ子氏による、こけ玉教室を実施。利用者、利用者家族1名参加し、鑑賞用のこけ玉作りを体験しました。	利用者 38名 職員 11名
R2.07.22	夏イベント第1弾	アイスフェスティバルを実施。数種類のアイスクリームから好きなアイスを選び、トッピングをしてオリジナルアイスを作り楽しみました。	利用者 44名 職員 12名
R2.08.02	夏イベント第2弾	流しそうめん、オンライン夏祭り登米上映会、夏祭りの雰囲気味わっていただきました。	利用者 44名 職員 11名
R2.08.06	夏イベント第3弾	ミニ縁日として、射的、輪投げ、千本引きで盛り上がりました。	利用者 44名 職員 11名
R2.9.10、17	社会見学①	岩手サファリパークへ行き、動物の餌付け体験や買い物体験をし、花と泉の公園、レストランはづみにて昼食を召し上がりました。	利用者 28名 職員 12名
R2.09.23	社会見学②	石巻市の石ノ森漫画館へ見学に行きました。昼食は近くの元気いちばで定食を味わいました。	利用者 16名 職員 4名
R2.10.29	そば打ち体験	迫町の直利庵三浦屋さんより、そば打ち体験を実施。利用者から10名ほど、そば切りの体験をして頂き、昼食にかけそばで召し上がりました。	利用者 42名 職員 12名
R2.11.05	クラシックギター演奏会	アウトリーチ事業として、プロギタリストの松尾俊介氏によるクラシックギターコンサートを実施。ほとんどの方は初めてのクラシック・ギターに聴き入っていました。	利用者 16名 職員 4名
R2.11.08	はっとフェス	登米市のハットフェスティバルをイメージし、グループ毎にはっと作りを行い、美味しかった方に投票をしていただきました。登米市のゆるキャラ「はっとん」も来所し、一緒に盛り上がりました。	利用者 43名 職員 9名
R2.11.24	レクリエーション大会	障害物パン釣り競争や、丸めて投げろシッティング玉入れを行い、身体を動かしてリフレッシュしました。	利用者 45名 職員 10名
R2.12.24	クリスマス会	職員と利用者による合同発表で、ダンスや演奏、よさこい、花笠踊りを披露しました。サンタからのプレゼント、クリスマスお楽しみランチとセレクトケーキでクリスマスを存分に味わって頂きました。	利用者 45名 職員 13名
R2.12.26	門松作り	ボランティア講師の小野寺利夫氏による門松作りを行い、見学と職員体験にて昔ながらの風習に触れることができました。	利用者 45名 職員 10名

R2.12.29	今年を振り返る会	今年の活動の様子をスライドショーで振り返り、画像を見ることでその時の楽しさが思い出されたようで、またあの行事をやってみようという希望などもあがっていました。	利用者 40名 職員 12名
R3.01.07	新年会・成人を祝う会	新年の始まりを乾杯で祝い、パルめぐみ流の福笑いをして2021年のスタートを切りました。また、新成人のお祝いも同時に行いました。	利用者 45名 職員 120名
R3.02.02	節分行事	節分の「豆」知識をクイズ形式で学んだり、元気な掛け声とともに鬼退治をしました。また、今年度は法人本部にも足を運び、福を呼び込んでいます。	利用者 42名 職員 12名
R3.3.1、 2、4	セレクトランチ	外食の機会が減ったため、事業所内で外食気分を味わうために企画しました。ラーメンやそば、かつ丼など、メニュー選択時から楽しみにしている様子がうかがえました。	利用者 42名 職員 13名
R3.03.03	ひなまつり	今年度はレクリエーション形式で行いました。レクリエーションでひな壇や桃の花を完成させ、ひな祭りを味わいました。	利用者 46名 職員 11名
R3.3.15、 16	体力測定会	パルだんで体力の衰えが感じられてきたという声から企画されました。片足立ちや長座体前屈、握力など計6種目で今の体力を各々測定していました。	利用者 49名 職員 11名

#### 【その他の利用者サービス】

- 年間延べ利用人員 852 名 (利用上限 10 名)
- 年間稼働日数 309 日
- 年間稼働率 27.57 %
- 月別利用状況 (延べ利用者数)

日中一時利用人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
利用市町村	登米市	58	56	73	71	68	74	86	71	65	54	70	69	815
	栗原市	0	3	4	3	3	2	2	3	4	0	0	0	24
	南三陸町	1	1	1	1	1	1	1	2	2	0	1	1	13
	計	59	60	78	75	72	77	89	76	71	54	71	70	852
稼働日数	26	26	26	27	26	26	27	25	25	24	24	27	309	
利用者/日	2.3	2.3	3.0	2.8	2.8	3.0	3.3	3.0	2.8	2.3	3.0	2.6	2.8	

#### 【利用者サービスの向上】

##### 1. 職員研修実施状況

###### (1) 内部研修

年月日	内 容	講 師 ( 講 演 者 )	参 加 者
R2.05.19	新任職員研修	管理者	職員
R2.06.02	虐待防止研修	サービス管理責任者	職員 利用者
R2.06.23	食中毒研修	事務員兼栄養士兼生活支援員	職員 利用者
R2.07.17	防犯教室	佐沼警察署	職員 利用者
R2.08.07	新型コロナウイルス感染症・熱中症	准看護師	職員 利用者
R2.10.07	虐待防止研修	サービス管理責任者	職員 利用者
R2.11.13	感染症予防対策研修	看護師	職員 利用者
R2.11.25	新任職員研修①	理事長 常務理事 参事 施設長	生活支援員
R2.11.27	新任職員研修②	理事長 常務理事 参事 施設長	生活支援員
R2.12.17	ICT(iPad操作説明)研修	サービス管理責任者	職員
R3.01.06	コンプライアンス研修	管理者	職員
R3.02.08	感染症予防研修(実習)	看護師	職員
R3.03.18	強度行動障害について	サービス管理責任者	職員

###### (2) 外部研修

年月日	内 容	開 催 地	参 加 者
R2.07.10	宮城県社会福祉施設中堅・監督職員研修	仙台市	生活支援員
R2.09.29	登米市障害福祉サービス事業所・職員等研修会	登米市	サービス管理責任者
R2.11.13	障がい者家族セミナー	登米市役所南方庁舎	サービス管理責任者
R3.01.27	宮城県サービス管理責任者等基礎研修3日目	仙台市	生活支援員
R3.02.10	宮城県サービス管理責任者等基礎研修4日目	仙台市	生活支援員



## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	連絡事項・各セクション毎協議、検討	第1水曜日	全職員
ケア会議	利用者支援方法、身体状況等の検討	随時	全職員
給食会議	献立内容の検討、利用者嗜好、提供状況	毎月1回	サービス管理責任者・栄養士・看護職員
恵泉会種別部会	事務部会、サビ管部会、障害者推進委員会	毎月1回	栄養士、サビ管、事務員

### (2) その他の会議

開催日	内容	会場	出席者
R2.06.09	H.S様担当者会議	パルめぐみ	本人 家族 地域生活支援センター パルめぐみ
R2.06.17	K.S様担当者会議	パルめぐみ	GH パルめぐみ
R2.06.18	N.I様担当者会議	パルめぐみ	ひだまりポッケ パルめぐみ
R2.07.14	F.A様担当者会議	パルめぐみ	GH パルめぐみ
R2.08.31	T.F様担当者会議	パルめぐみ	迫総合支所 地域生活支援センター パルめぐみ
R2.09.29	F.A様担当者会議	パルめぐみ	GH 若草園 パルめぐみ
R2.10.01	T.O様担当者会議	パルめぐみ	母 地域生活支援センター ひだまりポッケ パルめぐみ
R2.10.08	T.K様担当者会議	パルめぐみ	GH パルめぐみ
R2.11.10	D.S様担当者会議	パルめぐみ	家族 地域生活支援センター パルめぐみ
R2.11.18	R.T様担当者会議	パルめぐみ	GH パルめぐみ
R3.02.10	R.O様担当者会議	パルめぐみ	家族 地域生活支援センター パルめぐみ
R3.03.12	H.S様担当者会議	パルめぐみ	家族 地域生活支援センター パルめぐみ 保健師

## 3. 委員会開催状況

### (1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
サービス向上委員会	生活・日中活動支援、給食、行事の実施	随時	サビ管・生活支援員
リスクマネジメント委員会	安全対策、事故検証、苦情解決の実施	随時	サビ管・生活支援員
食中毒予防・感染対策委員会	衛生維持管理、清掃消毒、感染対策の実施	随時	看護師・サビ管・生活支援員
身体拘束廃止・人権侵害対策委員会	身体拘束・人権侵害の予防と取り組み	随時	サビ管・生活支援員
研修委員会	施設内・施設外研修の計画実施	随時	サビ管・生活支援員
サービス評価委員会	第三者サービス評価のとりまとめ、検証改善	随時	サビ管・生活支援員

## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

#### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R2.05.18	H.W様	見学	2名
R2.06.30	S.C様	見学	2名
R2.07.22	M.C様	利用者支援	1名
R2.08.12	H.O様	見学	3名
R3.03.04	M.K様	見学	3名

## 【今後の取り組み】

### 1. 生活介護

家庭(在宅)やグループホームなどから通う利用者等それぞれにあった介助法を模索しながら、環境作りや支援をおこなっていきます。

また、通所を通して基本的な生活習慣やマナー・服装・身だしなみなど社会性を身につけると共に、ふれあいや対話を通して情緒の安定や良好な信頼関係を構築し、利用者にとって居心地の良い空間を目指していきます。

### 2. 健康管理

高齢の方や病気を抱えている利用者も増加傾向にあるため、日々の状態観察をしながら異常の早期発見・早期対応に努めます。また、病気の状況や注意点などに関わる内容については、家庭や各機関と密に連絡を取り合いながら、疾病予防及び悪化防止に努めていきます。

感染症の予防にも早期に対応しながら、万が一感染症の症状が見られた場合には、直ちに家庭や関係機関に連絡して通院などを提案し、感染症拡大を阻止していきます。

### 3. 機能訓練・療法的活動支援

身体機能の維持向上や自立の促進を図るため、音楽療法及びヨガ教室は令和2年度も継続します。

また、機能訓練についても、各利用者の状況や家族の要望を受け、機能訓練が可能な器具などを使用して毎日実施していきます。必要に応じて、法人内や関係機関の理学療法士、言語聴覚士に伺いながら、状況に応じた訓練を実施していきます。

### 4. 活動機会の提供

創作活動や木工芸活動の他、趣味活動としてカメラや書道、ダンスに加え卓球や縄跳びなどを活動に取り入れるとともに、利用者一人ひとりの希望も取り入れながら活動を楽しむ場としていきます。また、様々な活動を体験することで趣味の幅を広げていくとともに、レクリエーション等で体を動かす機会を多く提供していきます。

更に地域行事・事業所内行事で作品発表の場を持つことを通し、社会参加の機会を増やしていきます。

### 5. その他

良質なサービス提供実施の取り組み、関係機関や地域、家族との連携を重視し、地域社会に開かれた事業所となるよう努めることを主に置き、随時ボランティアの受け入れ、体験や職業実習についても、お手伝いさせていただきます。

また、日常の各種活動(対外的なものも含めて)の様子を「パルめぐみブログ」を通してご紹介したり、定期的に広報誌を作成・発行して紹介していきます。

# 令和2年度 恵泉会グループホーム・はせやま相談支援事業所 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地 登米市中田町浅水字長谷山352-2
2. 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日 平成18年10月1日(障害者自立支援法第29条第1項に基づく指定)
5. 利 用 定 員 110 名 (※R3. 4. 1現在, 内、2名は体験利用枠)  
(ホーム数) 21ホーム:27住居

ホーム名	定員	住 所	住居区分	物件形態	夜間支援有無
みなみホーム	6名	登米市南方町瀬ノ淵	一戸建て	法人所有	あり(6名)
さつきホーム	4名	登米市南方町内ノ目	一戸建て	賃貸借	
やまびこホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借	
やまびこホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借	
ももの木ホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借	
ももの木ホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借	
はさまホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字上舟丁	一戸建て	賃貸借	
はさまホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字上舟丁	一戸建て	賃貸借	
かきの実ホーム	6名	登米市迫町佐沼字江合	アパート	賃貸借	
かりんホームⅠ	5名	登米市迫町佐沼字江合	一戸建て	賃貸借	
かりんホームⅡ(サテライト型)	1名	登米市迫町佐沼字江合	アパート	賃貸借	
こだまホーム	4名	登米市迫町佐沼字内町	アパート	賃貸借	
かごだんホームⅠ	6名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	法人所有	あり(2名)
かごだんホームⅡ	8名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	法人所有	あり(8名)
にしきホーム	6名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	賃貸借	
石森ホーム	4名	登米市中田町石森字小人町	一戸建て	賃貸借	
すみれホーム	6名	登米市中田町石森字境堀	一戸建て	賃貸借	
わたの実ホームⅠ	6名	登米市中田町石森字駒牽	一戸建て	賃貸借	あり(6名)
わたの実ホームⅡ	6名	登米市東和町錦織字大舟渡	一戸建て	賃貸借	あり(6名)
とよまホーム	6名	登米市中田町宝江黒沼字町	一戸建て	賃貸借	あり(3名)
ぐりの実ホーム	6名	登米市中田町石森字下川原毛	一戸建て	賃貸借	
梨の木ホーム	6名	登米市東和町米川字中嶋	一戸建て	賃貸借	
わかばホーム	6名	登米市東和町米川字中嶋	一戸建て	賃貸借	
ラベンダーホームⅠ	3名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有	
ラベンダーホームⅡ	2名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有	
ラベンダーホームⅢ(サテライト型)	1名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有	

2019年度(令和元年度)より、『いっしょに』～あなたによりそう「けいせんかい」～を法人内障害児者支援共通スローガンに設定し、地域で暮らす利用者の皆さんが一人ひとり生き生きと輝いて生活できる共同生活住居の提供と相談支援の充実を目指した取り組みを強化しております。

令和2年度は新型コロナウイルス対策を最重要課題とし、感染者を出さない、感染源にならないための対策として、登米市内および宮城県内の感染状況を分析しながら、衛生対策はもちろんのこと、利用者の外出・外泊の制限や行事の形態・規模などの工夫にも力を入れました。

利用者の重度・高齢化対策の推進としては、夜間支援体制の充実・拡大を図るため、わたの実ホームを宝江エリアに移転させ、新たに12名分の支援体制を確保しました。その他にも、利用者の希望を確認し老朽化ホームや危険性のあるホームについての移転整備を実施しております。

職員育成の部分では、内部研修及びOJT機能を強化し、スタッフ会議やケアカンファレンス、世話人会議などでミニ研修を実施し、「知識と技術」「支援方法の構造化」を柱として、サービス管理責任者と生活支援員とが連携を図りながらチームアプローチと業務改善に取り組みました。

また、非常災害や緊急時の対応としては、夜間支援型3ホームを地域拠点に据え、令和3年2月と3月に発生した震度5以上の地震にあっても、迅速な非常呼集と安否確認、安全な避難の対応にあたることであります。

【 重 点 項 目 】

1. 恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所の職員・世話人が取り組むべき業務への姿勢
  - (1) 利用者の皆さんの人生を豊かにするため、頼られる存在であり続けること
  - (2) 利用者の皆さんを全力で愛し、「やさしく」「やわらかな」支援を常とすること
  - (3) ご家族や関係機関、関係者の方々から頼りにされ、喜ばれる存在であること
  - (4) 余暇の充実を強力に進め、その成果を示し、利用者さんの生活に楽しみと潤いをもたらすこと
  - (5) 各ホームの安全と衛生を保ち、利用者さんの年齢や特性に合った住環境を整備すること
  
2. 恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所が実施する重点事業
  - (1) 利用者さんの特性および年齢に合った住環境の適切な活用と移転整備
    - ①こだまホーム → 道路拡張工事に伴い敷地入り口が急勾配となり危険なため、迫町錦地区に移転
    - ②こまひきホーム → 老朽化および幹線道路沿いで危険なため、中田町宝江地区に移転
    - ③くりの実ホーム → 大家の返還要請およびバス停までのアクセスが不便なため、東和町錦織地区に移転
    - ④わたの実ホーム → 夜間支援対応型の拠点ホームとして対応するため、中田町宝江地区に移転
    - ⑤夜間支援体制の強化 → 夜間支援対象者の受け入れ枠を拡大(20名→31名)
    - ⑥今後の移転計画 → 老朽化および住環境改善のため、次のホームの移転・再編を検討中  
(こだまホーム, はさまホーム, こまひきホーム, にしきホーム, やまびこホーム, ももの木ホーム)  
※取消し線部分是对応実施完了のホーム
  - (2) 5年後・10年後を想定したアセスメントの実施と将来利用サービスの検討・提案
    - ①令和2年度に恵泉会内の障害者支援施設へ移行した者(4名)
    - ②介護保険サービスの利用者(5名)
      - 菊風荘(デイサービス)利用 2名
      - 東和高齢者福祉施設(デイサービス)利用 2名
      - 迫風園(ショートステイ)および翠風荘(デイサービス)利用 1名
      - 福祉用具貸与サービス利用 3名
    - ③利用サービス等の変更・見直し
      - 一般就労から福祉就労へサービス変更(1名) 一般就労から生活介護へサービス変更(1名)
      - 福祉就労から一般就労へサービス変更(1名) 福祉就労から生活介護へサービス変更(5名)
      - 介護保険サービスへの移行及び併用 (3名) 他法人から法人内サービスへの移行者(2名)
    - ④はせやま相談支援事業所への契約変更者(6名)
  - (3) 利用者預り金管理体制の強化および抜本的見直しの実施
    - ①宮城県ガイドラインに即した帳簿整備ならびに世話人管理範囲の限定適正化  
→ 進捗率100%, 預り金管理規程の見直しおよび内規の作成
    - ②後見人制度の活用推進および家族管理への切り替え(11名)
  
3. 消防設備の整備・拡充  
特定小規模施設用連動型自動火災報知設備への交換・移設(こだまホーム, わたの実ホームⅠ・Ⅱ)

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人数 38,163 名
2. 年間稼働日数 365 日
3. 年間稼働率 97.7 %
4. 年間平均障害支援区分 3.29
5. 月別利用状況

(1) 共同生活援助 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
区分2	570	589	570	620	619	599	589	569	589	589	532	589	7,024
区分3	1,260	1,299	1,230	1,269	1,240	1,195	1,240	1,189	1,178	1,178	1,064	1,188	14,530
区分4	1,140	1,177	1,110	1,145	1,174	1,138	1,192	1,165	1,243	1,262	1,148	1,270	14,164
区分5	120	124	149	155	153	134	124	120	124	124	112	123	1,562
区分6	60	62	60	62	62	30	31	30	31	31	28	31	518
計	3,180	3,282	3,149	3,282	3,279	3,126	3,207	3,103	3,196	3,215	2,912	3,232	38,163
日数	3,210	3,317	3,210	3,317	3,317	3,210	3,317	3,210	3,317	3,317	2,996	3,317	39,055
稼働率	99.1%	98.9%	98.1%	98.9%	98.9%	97.4%	96.7%	96.7%	96.4%	96.9%	97.2%	97.4%	97.7 %

## (2) 計画相談支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本計画	12	3	12	5	4	18	6	10	7	2	9	7	95
モニタリング	37	45	43	44	54	86	44	65	34	16	29	29	526
合計	49	48	55	49	58	104	50	75	41	18	38	36	621

## 6. 契約の状況

## (1) 共同生活援助

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
契約終了者数	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	4
月末契約者数	107	107	107	107	106	105	105	105	105	105	105	105	-2

## (2) 計画相談支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	2	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	6
契約終了者数	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	4
月末契約者数	189	190	189	188	190	190	190	191	191	189	189	189	+2

## 【利用者サービスの状況】

## 1. 入居者支援

## (1) 生活支援(共同生活援助・相談支援状況)

## 【形態・月別相談件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	13	18	9	10	14	13	11	8	7	10	9	12	134
電話	40	45	39	34	48	43	45	38	52	46	37	51	518
訪問	36	42	31	32	35	52	48	36	44	31	30	40	457
計	89	105	79	76	97	108	104	82	103	87	76	103	1,109

## (2) 健康管理

## ①通院先・月別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
精神)佐藤医院	7	5	6	7	6	6	8	10	11	3	5	15	89
精神)三峰病院	7	3	13	10	6	4	1	2	5	2	15	7	75
精神)石越病院	3	2	2	2	3	2	2	2	3	2	2	2	27
精神)こだまホスピタル	2	1	1	2	1	2	1	1	1	1	2	3	18
登米市立米谷病院	2	1	4	5	5	6	6	1	10	7	7	12	66
上杉皮膚科医院	13	11	23	15	12	23	6	9	14	10	10	12	158
その他(登米市民病院他)	65	57	75	88	80	64	95	126	86	82	69	78	965
計	99	80	124	129	113	107	119	151	130	107	110	129	1,398

## ②市内・市外別 通院対応件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市内	87	72	102	110	100	93	109	146	121	99	92	114	1,245
市外	12	8	22	19	13	14	10	5	9	8	18	15	153
計	99	80	124	129	113	107	119	151	130	107	110	129	1,398

## (3) 就労・日中活動支援

## ①就労・日中活動先への訪問および支援件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	40	46	35	74	90	86	79	68	126	76	65	57	842

## (4) 余暇支援

実施月	行事名	内 容	参加者数	
4月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買い物など)	回数 4回 参加 8名	
5月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買い物など)	回数 4回 参加 8名	
6月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買い物など)	回数 3回 参加 6名	
	ふるさと訪問	コロナ対策を実施しての個別の実家訪問(お墓参りなど)	回数 1回 参加 1名	
7月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買い物など)	回数 4回 参加 4名	
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(会食パーティー)	回数 1回 参加 7名	
8月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買い物など)	回数 5回 参加 14名	
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(外食)	回数 2回 参加 12名	
9月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買い物など)	回数 3回 参加 7名	
	ふるさと訪問	コロナ対策を実施しての個別の実家訪問(お墓参りなど)	回数 4回 参加 11名	
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(外食)	回数 1回 参加 1名	
10月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買い物など)	回数 4回 参加 14名	
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(成人を祝う会)	回数 1回 参加 10名	
11月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(写真撮影など)	回数 2回 参加 4名	
12月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買い物など)	回数 6回 参加 9名	
	ふるさと訪問	コロナ対策を実施しての個別の実家訪問(お墓参りなど)	回数 1回 参加 2名	
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(外食)	回数 1回 参加 5名	
1月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買い物など)	回数 5回 参加 16名	
	ふるさと訪問	コロナ対策を実施しての個別の実家訪問(お墓参りなど)	回数 1回 参加 2名	
2月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(写真撮影など)	回数 6回 参加 15名	
3月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(写真撮影など)	回数 9回 参加 19名	
実 施 回 数		68 回	延 べ 参 加 者 数	175 名

## 【月別件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
件数	1	4	3	4	2	4	3	4	1	1	0	0	27

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参 加 者
R2.04.01	新人世話人OJT(業務内容確認)	グループホーム職員	職員等5名
R2.04.03	職員ミニ研修(今年度の組織体系について)	施設長	職員16名
R2.04.09	職員ミニ研修(新型コロナウイルス対策について①)	施設長	職員7名
R2.04.09	職員ミニ研修(新型コロナウイルス対策について②)	施設長	職員6名
R2.04.10	世話人ミニ研修(新型コロナウイルス対策について)	施設長	世話人19名
R2.04.20	恵泉会人事考課者研修	法人役員他	職員2名(運営1名)
R2.05.01	職員ミニ研修(利用者支援について)	グループホーム職員	職員16名
R2.05.12	防災教育(AED使用講習)	グループホーム職員	職員等5名
R2.05.13	新人世話人OJT(業務内容確認)	グループホーム職員	職員等2名
R2.05.15	防災教育(AED使用講習)	グループホーム職員	職員等15名
R2.06.01	職員ミニ研修(グループホーム経営分析)	施設長	職員17名
R2.06.08	新任職員OJT①(法人規則および事業概要)	施設長	職員1名
R2.06.09	新任職員OJT②(障害者支援の理解)	施設長	職員1名
R2.06.10	新任職員OJT③(書類作成, 事務手続き)	グループホーム職員	職員1名
R2.06.11	新任職員OJT④(巡回支援について)	グループホーム職員	職員1名
R2.06.12	世話人ミニ研修(預り金管理について)	施設長	世話人19名
R2.06.19	コンプライアンス研修	施設長	職員13名
R2.06.21	新任職員OJT⑤(余暇支援, 医療支援)	グループホーム職員	職員1名
R2.06.22	コンプライアンス研修(個別伝達)①	施設長	職員5名
R2.06.24	コンプライアンス研修(個別伝達)②	施設長	職員6名
R2.06.25	新任職員フォローアップ①	グループホーム職員	職員1名
R2.07.01	職員ミニ研修(コミュニケーション術)	施設長	職員19名
R2.07.03	新任職員フォローアップ②(宿直時の対応)	グループホーム職員	職員等2名
R2.07.10	世話人OJT(預り金管理について①)	グループホーム職員	職員等6名
R2.07.20	恵泉会経営者研修(連携推進法人等について)	WJU(株)鈴木氏	職員1名
R2.07.28	新人世話人フォローアップ①	グループホーム職員	職員等2名
R2.08.07	世話人ミニ研修(預り金管理事務手続きについて)	グループホーム職員	世話人19名
R2.09.03	職員ミニ研修(自然災害時の対応について)	グループホーム職員	職員19名
R2.09.08	職員ミニ研修(てんかんケアについて①)	グループホーム職員	職員等3名
R2.09.23	世話人OJT(預り金管理について②)	グループホーム職員	職員等4名
R2.10.01	職員ミニ研修(自閉症児童の支援について)	施設長	職員13名
R2.10.09	世話人ミニ研修(虐待防止と権利擁護)	施設長	世話人16名
R2.10.16	第41回恵泉会職員研修大会(配信映像視聴)		職員19名
R2.11.02	職員ミニ研修(半期経営状況分析)	施設長	職員15名
R2.12.02	職員ミニ研修(てんかんケアについて②)	施設長	職員17名
R2.12.08	職員フォローアップ(接遇, 電話対応)	施設長	職員3名
R2.12.22	新人世話人フォローアップ②	グループホーム職員	職員等2名
R3.01.06	職員ミニ研修(自己分析)	施設長	職員17名
R3.03.01	職員ミニ研修(他者理解, 意思決定)	施設長	職員15名
R3.03.24	新人世話人フォローアップ③	グループホーム職員	職員等2名

【内部研修 実施件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
件数	6	4	11	5	1	3	3	1	3	1	0	2	40

## (2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参加者
R2.06.18	登米管内感染症対策基礎研修	登米保健所	登米合同庁舎	職員1名
R2.06.23	登米市新卒者向け職業ガイダンス撮影会	登米市	中田庁舎	職員1名
R2.08.28	障害者虐待防止研修	県社協	東京エレクトロンホール宮城	職員1名
R2.09.18	登米市避難確保計画研修会	登米市	南方改善センター	職員1名
R2.09.29	障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員2名
R2.10.22	社会福祉施設新任職員研修①	県社協	JAビル	職員1名
R2.10.23	社会福祉施設新任職員研修①	県社協	JAビル	職員1名
R2.10.28	障害福祉支援者サポート事業(愛着形成, 共依存)	登米市	南方庁舎	職員3名
R2.11.19	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	県社協	宮城県管工事会館	職員1名
R3.01.25	サービス管理責任者等初任者研修①	県社協	ハーネル仙台	職員1名
R3.01.26	サービス管理責任者等初任者研修②	県社協	ハーネル仙台	職員1名
R3.01.27	サービス管理責任者等初任者研修③	県社協	ハーネル仙台	職員1名
R3.02.10	サービス管理責任者等初任者研修④	県社協	ハーネル仙台	職員1名
R2.10～R3.3	恵泉会介護職員初任者研修	恵泉会	web他	職員1名

## 【外部研修 参加件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
件数	0	0	2	0	1	2	10	5	0	3	1	4	28

## 2. 会議開催状況

## (1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参加職員
職員会議	行事計画, 支援課題, 事務連絡, ミニ研修 等	毎月1回	グループホーム・はせやま職員
ケアカンファレンス	個別支援計画, モニタリング, 支援方針 等	毎月1回	利用者, 担当職員 他
世話人会議	情報共有, 事業方針, 業務連絡, ミニ研修 等	毎月1回	各ホーム世話人, 担当職員

## (2) その他の会議・委員会

会 議 名	内 容	開 催 日	参加職員
サービス担当者会議	外部関係者を交えた支援方針等の検討・調整	随 時	担当職員, 関係者, 本人
サポート会議	個別支援計画の見直しに関するカンファレンス	随 時	担当職員 他
職場連携会議	就労先等を訪問しての情報共有	随 時	担当職員, 関係機関, 本人
行政機関等連携会議	新規入居希望者等を対象とした情報共有	随 時	担当職員, 関係機関
経営企画チーム(コンサル関係)	法人内の経営課題等に関する検討, 打合せ	全26回	施設長
障害児者施設長会議	法人内障害児者支援事業の検討・調整	全10回	施設長
障害児者支援ワーキング	支援技術の向上と事業所間の連携	全7回	施設長, 担当職員
職員研修大会実行委員会	研修大会の運営・調整・打合せ	全5回	施設長, 担当職員

## 3. 委員会開催状況

## (1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
防災安全・権利擁護委員会	災害や非常時に備えた計画の整備, 訓練実施。事故や虐待, 権利擁護等に関する検証。	毎月1回	委員会メンバー, 関係職員
入居者支援・余暇検討委員会	支援方法や業務手順, 余暇に関する企画・実施。支援方法や入居ホームに関する検討・調整。	毎月1回	委員会メンバー, 関係職員
サービス向上・研修委員会	サービス内容に関する評価とマニュアルの整備, 研修計画の立案と実施。	毎月1回	委員会メンバー, 関係職員



【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R2.06.12	新規入居希望者	見学(みなみホーム, はさまホーム)	2名
R2.07.07	新規入居希望者	見学(かりんホーム)	3名
R2.07.27	利府・塩竈地区施設事業所職員	視察, 事業説明(かごだんエリア)	7名
R2.09.02	新規入居希望者	見学(こだまホーム)	3名
R2.09.08	東部児童相談所気仙沼支所	視察, 事業説明(かごだんエリア)	2名
R2.09.16	仙台市障害児施設事業所職員	視察, 事業説明(かごだん, 佐沼エリア)	2名
R2.09.30	東部児童相談所	視察, 事業説明(かごだんエリア)	2名
R2.10.22	登米市内相談支援事業所職員	見学(宝江エリア)	2名
R2.12.01	迫支援学校(生徒・保護者・教員)	見学, 事業説明(かごだん, 佐沼エリア)	25名
R3.01.13	グループホーム利用者家族	見学, 事業説明(宝江エリア)	4名
R3.01.16	グループホーム利用者家族	見学, 事業説明(宝江エリア)	6名
R3.01.31	宝江町地区 地域住民	見学, 事業説明(宝江エリア)	8名
R3.02.08	宝江町地区 地域住民	見学, 事業説明(宝江エリア)	2名
R3.03.08	新規入居希望者, 相談支援事業者	見学(宝江エリア)	3名
R3.03.20	新規入居希望者	見学(宝江エリア)	2名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数			1	2		4	1		1	3	1	2	15

(2) 体験ステイ, 体験入居(介護給付費対応)

年月日	対象者	内容	延べ人数
R2.10.04~06	新規入居希望者	体験入居(かごだんホームⅡ)	3名
R2.10.12~17	新規入居希望者	体験入居(かごだんホームⅡ)	6名
R2.10.24~31	新規入居希望者	体験入居(かごだんホームⅡ)	8名
R3.03.22~31	新規入居希望者	体験入居(わたの実ホームⅠ)	10名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数							17					10	27

【今後の事業の取り組み】

1. 恵泉会障害児者支援共通スローガン(令和元年度~令和3年度)

『いっしょに』 ~ あなたによりそう「けいせんかい」 ~

2. 恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所の職員・世話人が取り組むべき業務への姿勢

- ① 利用者の皆さんの人生を豊かにするため、頼られる存在であり続けること
- ② 利用者の皆さんを全力で愛し、「やさしく」「やわらかな」支援を常とすること
- ③ ご家族や関係機関、関係者の方々から頼りにされ、喜ばれる存在であること
- ④ 余暇の充実を強力に進め、その成果を示し、利用者さんの生活に楽しみと潤いをもたらすこと
- ⑤ 各ホームの安全と衛生を保ち、利用者さんの年齢や特性に合った住環境を整備すること

3. 恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所が実施する重点事業

- ① 利用者さんの重度高齢化への対策強化  
→夜間支援対応型ホームの拠点を宝江エリアに移転・拡大し、より安全な支援体制を構築
- ② 利用者さんの特性および年齢に合った住環境の適切な活用と移転整備  
→女性利用者向けの夜間支援体制の検討および少人数物件や老朽化物件の移転・集約など
- ③ 10年後を想定したアセスメントの実施と将来利用サービスの検討・提案  
→本人・家族と一緒に心身の状況を確認しながら将来プランを作成し、介護保険とも連携を図る
- ④ 利用者預り金管理体制の強化および新しい管理・運用方法について  
→宮城県ガイドラインに即した帳簿整備ならびに法人内の新運用方法に則った正確な処理
- ⑤ 相談支援事業の目標予算の達成と相談支援記録システム導入による能率的な業務改善  
→相談支援専門員一人あたりのマネジメント件数の引き上げと業務効率の追求

4. 共同生活援助事業所としての役割を明確にし、理想を追求すると共にその実現を目指す

\*\*\* 共同生活援助事業の役割について \*\*\*

- ① グループホームの役割は、その人のニーズに合うサービスを創り出していく仕事です。  
言い換えれば、利用者さん一人ひとりと一緒に、『地域をつくる』仕事です。
- ② グループホームは、利用者さん一人ひとりの家であり、生活する居住の場です。  
決して集団生活を強いることや指導・訓練が中心となるような場所ではありません。
- ③ 恵泉会のグループホームは、若草園・若生園・若葉園の出身利用者が9割を占めています。  
法人全職員は、在宅の利用者さんと同じ目線で、一人ひとりに尊厳をもって接し、  
主体性のある生き方を応援します。

# 令和2年度 恵泉会地域生活支援センター 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地 宮城県登米市迫町佐沼字中江一丁目10番地4中江第一ビル1-1、1-2
2. 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日 平成18年10月1日
5. 利 用 定 員 なし（利用者の障害種別は問わない）

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 7,439 名
 

○登米市障害者相談支援事業	}	3,639 名	
○宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業			
○宮城県障害児等療育支援事業			
○指定特定相談支援事業(計画相談支援)			2,506 名
○障害者就業・生活支援事業			1,294 名

2. 年間稼働日数 293 日

3. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登米市障害者相談支援事業 宮城県発達障害者地域支援 マネジャー配置事業 宮城県障害児等療育支援事業	295	327	382	319	312	332	362	285	279	247	215	284	3,639
指定特定相談支援事業	175	134	208	218	192	198	321	216	227	183	167	267	2,506
障害者就業・生活支援事業	95	81	119	135	108	109	112	125	95	78	98	139	1,294
計	565	542	709	672	612	639	795	626	601	508	480	690	7,439

4. 登録の状況

登米市障害者相談支援事業・宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業・宮城県障害児等療育支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	3	0	0	4	0	1	2	3	0	0	4	4	21
月末登録者数	393	393	393	397	397	398	400	403	403	403	407	411	

障害者就業・生活支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	6	1	3	1	2	1	5	5	3	2	2	0	31
登録抹消者数	0	14	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	15
月末登録者数	275	262	265	266	268	269	274	279	281	283	285	285	

5. 相談実績件数

登米市障害者相談支援事業/宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業  
宮城県障害児等療育支援事業/指定特定相談支援事業(計画相談支援)

障害者就業・生活支援事業

訪問相談	来所相談	電話相談	機関連携	地域支援他	職場実習	就職者	定着支援
719	270	1,690	715	2,584	9	22	271

【利用者サービスの状況】

1. 日常サービス

(1) 技術支援

実施日	項目	内 容	参加者数	
R2.09.17	ペアレントプログラム	保護者・支援者を対象にしたプログラム(さわおとの森)	17名	
R2.10.01	〃	〃	18名	
R2.10.15	〃	〃	16名	
R2.11.05	〃	〃	18名	
R2.11.19	〃	〃	18名	
R2.12.03	〃	〃	19名	
R3.03.04	〃	〃	16名	
R2.10.23	ペアレントプログラム	保護者・支援者を対象にしたプログラム(こじか園)	8名	
R2.11.06	〃	〃	8名	
R2.11.20	〃	〃	8名	
R2.12.04	〃	〃	6名	
R3.02.05	〃	〃	7名	
R2.10.27	ペアレントプログラム	保護者・支援者を対象にしたプログラム(はげまし学園)	8名	
R2.11.10	〃	〃	7名	
R2.11.24	〃	〃	8名	
R3.02.09	〃	〃	6名	
R2.08.28	あそぼっくり	支援者研修会(栗原)	22名	
R2.09.11	〃	〃	28名	
実 施 回 数		18回	延 べ 参 加 者 数	238名

(2) 療育相談

実施日	項目	内 容	参加者数	
R2.06.21	はあとタイム	理学療法士・言語聴覚士による療育相談(登米)	11名	
R2.07.19	〃	〃	16名	
R2.08.23	〃	〃	15名	
R2.09.27	〃	〃	16名	
R2.10.18	〃	〃	15名	
R2.11.15	〃	〃	17名	
R3.02.21	〃	〃	13名	
R3.03.21	〃	〃	17名	
R2.07.28	ほんによりタイム	理学療法士・言語聴覚士による療育相談(栗原)	9名	
R2.12.17	〃	〃	6名	
実 施 回 数		10回	延 べ 参 加 者 数	135名

(3) 療育行事

実施日	項目	内 容	参加者数	
R2.11.29	オープンはあとアクション	こけ玉製作 ～もふ★コロ☆こけ玉を作ろう～	10名	
実 施 回 数		1回	延 べ 参 加 者 数	10名

(4) 在職者交流会・在職者と求職者の交流活動

実施日	項目	内 容	参加者数	
R2.08.30	たいあっぷ	身だしなみについて	6名	
R2.11.29	〃	こけ玉ワークショップ	8名	
R3.03.14	〃	コロナ禍の今だからこそ工夫していること～	5名	
R2.09.18	ピアサポート活動	就労ビフォーアフター	21名	
R3.03.14	〃	働くイメージをつかもう	5名	
実 施 回 数		5回	延 べ 参 加 者 数	45名

## (5) 研修事業等

実施日	項目	内 容	参加者数
R2.08.18	マネジャー配置・療育支援事業	登米市放課後子ども教室スタッフ研修会	20名
R2.08.28	マネジャー配置・療育支援事業	療育支援事業研修会(栗原)	30名
R2.09.29	相談支援事業	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	20名
R2.10.01	相談支援事業	宮城県障害者相談支援従事者初任者研修	60名
R2.10.09	就業支援ネットワーク強化事業	第1回就労関係事業所連絡会	21名
R2.11.02	マネジャー配置・療育支援事業	気になる子どもの発達応援セミナー	31名
R2.11.12	マネジャー配置・療育支援事業	東部児童相談所 発達障害児等支援者研修会	57名
R2.11.20	就業支援ネットワーク強化事業	第2回就労関係事業所連絡会	6名
R2.12.15	マネジャー配置・療育支援事業	栗原地域自立支援協議会相談支援部会勉強会	13名
R3.02.01	「ゆい」進路学習支援	迫支援学校授業講師協力	20名
R3.02.25	「ゆい」研修事業	『はたらく気持ち、つながる思い』～支援学校からの就職～	37名
R3.03.15	就業支援ネットワーク強化事業	第3回就労関係事業所連絡会	20名
実 施 回 数		12回	延べ参加者数
			335名

## 【利用者サービスの向上】

## 1. 職員研修実施状況

## (1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R2.04.28	コンプライアンス「社会的責任を果たす上での根幹」	施設長	相談業務担当職員
R2.05.27	グループスーパービジョン(事例検討)※毎月実施	施設長(スーパーバイザー)	〃
R3.02.03	感染症の予防について	施設長	〃

## (2) 外部研修(主な研修)

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R2.6.8	ペアレントプログラム・レクチャー	宮城県	仙台市	職員2名
R2.10.5	発達障害支援者研修会(7/8/12月)	宮城県	仙台市 他	職員2名
R2.11.13	アセスメント研修(就業支援)	宮城県	大崎市	職員1名
R2.11.13	障がい者家族セミナー	登米市	登米市	職員2名
R2.11.17	精神障害者雇用推進セミナー	宮城県	気仙沼市	職員2名
R2.11.18	精神障害者雇用推進セミナー	宮城県	大崎市	職員1名
R2.11.20	精神障害者雇用推進セミナー	宮城県	石巻市	職員2名
R2.12.02	ひきこもり研修会	宮城県	仙台市	職員1名
R2.12.07	みやぎ農福連携サポーター養成講座(計3回)	Switch石巻	登米市他	職員1名
R3.02.01	ペアレントプログラム・アドバンスワークショップ	宮城県	仙台市	職員2名

## 2. 会議開催状況

## (1) 定例会議 内部の会議以外、コロナ禍のため開催中止の時期あり

会議名	内 容	開催日	参加職員
相談支援事業者連絡会議	相談支援事業者と福祉事務所との定例協議	毎月実施	相談支援事業担当職員
自立支援協議会運営会議	相談支援事業者と福祉事務所との運営協議	毎月実施	相談支援事業担当職員
登米GSV	相談支援の技術向上等を目的とした事例検討	毎月実施	相談支援事業担当職員
職員会議	各事業の現状報告並びに今後の援助対策検討	毎月実施	相談業務担当職員
職員ミーティング	相談業務の共有化と個別対応方法検討	隔週実施	相談業務担当職員
グループスーパービジョン	相談支援の技術向上等を目的としたOJT	毎月実施	相談業務担当職員

## (2) その他の会議(主な会議)

開催日	内 容	場 所	出席者
R2.05.15	宮城就業支援ネットワーク事務局会議(7・9・12・3月)	オンライン	職員1名
R2.10.19	登米市障害者自立支援協議会課題検討部会	登米市南方庁舎	職員1名
R2.11.13	宮城県障害者雇用支援合同会議	仙台市	職員1名

## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

#### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R2.11.26	宮城県立支援学校小牛田高等学園2年生	「ゆい」見学・センターの機能説明	3名
R2.12.01	宮城県立迫支援学校高等部3年生	センター見学・センターの機能説明	21名

## 【事業に伴う成果】

#### (1) 登米市障害者相談支援事業

- ・障害の種別や状況を問わず、相談を幅広く受け入れることで、地域生活の総合窓口としての位置付けが浸透し、より専門的な機関につながるための、支援の入り口・導入の機能も強くなっています。
- ・相談支援の経験を重ねた職員を継続して配置することで、各種制度やサービスの細かな内容に精通し、相談に的確に応じることができ、利用者のライフステージを通じた関わりも可能となっています。
- ・利用者のみならず、行政(保健師)や他支援機関から技術協力を求められる場面が増え、直接的な関わり以外にも、支援者のサポートや、支援体制作りの中心的役割を担うことで、地域の支援力向上の一助になっています。

#### (2) 宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業

- ・宮城県が発達障害児者支援に重点を置いた施策のひとつとして令和元年度から新規事業化した取り組みについて、2年目となる今年度も、事業受託を継続し、理学療法士を地域支援マネジャーとして配置しています。
- ・県内の現状を踏まえ、課題や方向性を県に提言し、システム構築の一助となっています。
- ・登米エリアだけでなく、栗原エリアの療育も補完し、研修事業を充実させる取り組みを図っています。
- ・宮城県からの依頼により、各圏域においても、ペアレントプログラムを取り組めるよう、養成研修の講師として協力しています。成果は市内からの評価にとどまらず、県内の療育関係者に広く認知されています。
- ・栗原エリアの療育充実に向けた取り組みのなかで、卒業後の支援体制を学校側と協議する場に加わり、教育との連携の一步を踏み出す支援を図っています。

#### (3) 宮城県障害児等療育支援事業

- ・療育支援担当に言語聴覚士を配置し、専門的な療育相談を身近な地域で受けられる体制を確保し、発達の状況に合わせた適切な助言を行っています。
- ・はあとタイムでの療育相談では、様々な障害(未診断を含む)特性に合わせて、専門職による個別対応を図り、家族も一緒に参加することで、家庭での療育実践につなげられる内容となっています。
- ・発達の遅れに不安を抱く家族の気持ちを受け止め、育児に自信を持てるような働きかけを通じて、不安の緩和を図り、その後のより良い療育に向けて、具体的な行動につなげられています。

#### (4) 障害者就業・生活支援センター「ゆい」

- ・「ゆい」登録者のうち、今年度は22名(延べ人数)が就職に結びついています。
- ・働き始めるためだけでなく、長期に働き続けるための支援やサポート体制作りについて、企業からの協力依頼が増えており、企業の関心や雇用意欲が高まっています。
- ・ハローワークの協力を得て、市内の就労系サービス事業所を対象にした「就労関係事業所連絡会」を年3回開催(年間計画4回のところ、コロナウイルスの影響で1回中止)し、事業所間の連携強化や就労支援の意識向上を図っています。
- ・支援学校との連携においては、個別移行支援会議等への参加、「ゆい」事業所見学の受け入れ、学校訪問、授業講師協力などを通して、就労に対する意識醸成の一助を担っています。また、在学中から関わることで、卒業後の切れ目のない支援につながっています。

# 令和2年度 多機能型事業所若葉園 事業報告

## 【施設概要】

- |          |                           |
|----------|---------------------------|
| 1. 所在地   | 宮城県登米市東和町米川字西綱木23番地16     |
| 2. 設置主体  | 社会福祉法人 恵泉会                |
| 3. 経営主体  | 社会福祉法人 恵泉会                |
| 4. 開設年月日 | 平成21年 4月 1日               |
| 5. 利用定員  | 40名(就労移行支援6名、就労継続支援B型34名) |

## 【基本方針の実施状況】

### 1. 就労移行支援

一般就労を希望する利用者に対し、個別性を重視した個々の支援計画に基づき、就労のための基礎的な体力や技術及び社会的なマナーの習得を目指すとともに、ハローワーク等の関係機関と連携し、希望や適正にあった就労や職場定着に向けた支援を実施しました。令和2年度は3名の就職者を出すことが出来ました。

### 2. 就労継続支援B型

個別性を重視した個々の支援計画に基づき、就労や生産活動等を通して就労の場を提供し、社会生活における習慣の体得と技能の習得を目指しながら、工賃向上計画に準拠して、安定した工賃を払えるよう企業等とも連携を図り、生産体制の確立を図りました。

### 3. 就労定着支援

就労移行支援は利用者との対面による相談等や利用者を雇用した企業への訪問、関係機関との連絡調整等を一体的に実施し雇用の定着を目指すよう支援します。

## 【重点項目に対する評価、成果】

### 1. 個別支援の充実

サービス等利用計画に基づき、身体状況や社会的環境に配慮した個別支援計画作成を念頭に実施し、定期的にモニタリングしながら達成状況等を確認し、ニーズに沿った個別支援計画の充実が図れるよう取り組みました。

### 2. 工賃の向上

各作業班毎にコスト軽減や生産・販売の効率化に努めながら実施しましたが、特にグリーン工房においてはコロナ禍における販売先の不調等思うように販売が出来ない時期があり工賃アップに結びつけることが出来ませんでした。月々の目標金額は達成できたものの一時金の金額が昨年度より減少しました。

### 3. 就労支援体制のさらなる充実

関係機関と連携しながら、実施してきたがコロナ禍の中、職場実習や企業合同説明会が中止となりましたが、昨年度は就労移行支援事業において利用者1名が障害者雇用にて就職しましたが、令和2年度目標就職者3名が就職することが出来ました。今後も多くの利用者の就職に向けて支援していきます。

### 4. 就労定着に向けた専門的な支援

平成30年10月1日より開始となった就労定着支援事業であるが、定着支援の効果と思われる定着率が100%となっており令和2年度6名、令和3年度は2名が加わる予定となっており、今後も就職者の定着に向けて支援していきます。就労定着支援事業の指定を受けていることにより、就労移行支援の利用者が増えています。

### 5. 虐待防止等

打ち合わせ時や会議時に、職員間で虐待防止法の周知を図り、虐待を行わない、見逃さない、放置しないという基本的姿勢の確認を繰り返し行いました。

【 利 用 状 況 】

就労継続支援B型事業 定員 34名

1. 年間延べ利用人員 9,111 名
2. 年間稼働日数 243 日
3. 年間稼働率 110.28 % ( 目標稼働率 : 103% )
4. 月別利用状況 ( 延べ利用者数 )

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	21	18	22	21	20	20	22	19	19	0	0	0	182
区分2	117	105	122	110	95	98	107	100	131	140	134	158	1,417
区分3	227	192	232	223	208	214	213	185	194	201	192	241	2,522
区分4	251	214	261	249	231	230	260	225	238	215	215	273	2,862
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未申請	195	166	197	186	164	180	200	177	188	153	155	167	2,128
合計	811	695	834	789	718	742	802	706	770	709	696	839	9,111

5. 契約状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	4
契約解除者数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
月末契約者数	42	42	42	41	41	41	41	41	42	43	43	43	+ 2

就労移行支援事業 定員 6名

1. 年間延べ利用人員 1,479 名
2. 年間稼働日数 243 日
3. 年間稼働率 101.44 % ( 目標稼働率 : 100% )
4. 月別利用状況 ( 延べ利用者数 )

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	22	22	22	23	20	18	20	19	0	0	0	0	166
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分4	36	33	44	40	40	39	42	36	40	19	18	23	410
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未申請	85	67	81	69	64	79	82	73	76	71	70	86	903
合計	143	122	147	132	124	136	144	128	116	90	88	109	1,479

5. 契約状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
契約解除者数	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	4
月末契約者数	8	7	8	8	8	8	7	7	6	5	5	5	- 3

若葉園(全事業合計) 定員 40名

1. 年間延べ利用人員 10,590 名
2. 年間稼働日数 243 日
3. 年間稼働率 108.95 % ( 目標稼働率 : 100% )
4. 月別利用状況 ( 延べ利用者数 )

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	21	18	22	21	20	20	22	19	19	0	0	0	182
区分2	139	127	144	133	115	116	127	119	131	140	134	158	1,583
区分3	227	192	232	223	208	214	213	185	194	201	192	241	2,522
区分4	287	247	305	289	271	269	302	261	278	234	233	296	3,272
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未申請	280	233	278	255	228	259	282	250	264	224	225	253	3,031
合計	954	817	981	921	842	878	946	834	886	799	784	948	10,590



5. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	6	11
契約解除者数	0	1	0	0	0	2	0	1	1	0	0	1	6
月末契約者数	50	49	50	49	49	49	48	48	48	48	48	48	+5

就労定着支援事業

- 年間延べ利用人員 66 名
- 年間稼働日数 12 日以上
- 年間稼働率 100.00 % ( 目標稼働率 : 100% )
- 月別利用状況 ( 延べ利用者数 )

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	66

5. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

【利用者サービスの状況】

1. 週間予定

就労継続支援B型事業

曜日	午 前	午 後
月	出勤押印確認:生産活動	生産活動
火	出勤押印確認:生産活動	生産活動
水	出勤押印確認:生産活動	生産活動
木	出勤押印確認:生産活動	生産活動
金	出勤押印確認:生産活動	生産活動
土	休み	休み
日	休み	休み

就労移行支援事業

曜日	午 前	午 後
月	出勤押印確認:生産活動	生産活動
火	出勤押印確認:生産活動	生産活動
水	出勤押印確認:生産活動	生産活動
木	出勤押印確認:生産活動	生産活動
金	出勤押印確認:生産活動	生産活動
土	休み	休み
日	休み	休み

2. 工賃支払い状況

就労継続支援B型事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計(年間)
月別合計	897,645	764,570	879,785	838,745	774,060	786,485	837,330	751,460	843,160	802,100	779,910	934,095	1,490,721	11,380,066
1人平均月額	21,894	18,648	21,458	20,457	19,352	19,662	20,933	18,787	20,565	19,563	19,022	22,783	35,493	278,617

就労移行支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計(年間)
月別合計	157,375	153,320	179,165	159,685	141,790	140,520	128,020	110,020	114,895	108,905	107,770	133,520	198,550	1,833,535
1人平均月額	22,482	21,903	25,595	22,812	20,256	20,074	25,604	22,004	22,979	21,781	21,554	26,704	39,710	313,458

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講師(講演者)	参 加 者
R2.04.23	コンプライアンス研修	統括施設長	2名
R2.05.27	パン技術講習会	サトー商会	9名
R2.06.05	WJU管理職研修	WJU鈴木真一氏	1名
R3.02.25	障がい者虐待防止研修	統括施設長	3名

(2) 外部研修

年 月 日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R2.09.29	事業所職員研修会	登米市福祉事務所	登米市	1名
R2.10.09	就労関係事業所連絡会	迫公民館	登米市	1名
R3.03.15	就労関係事業所連絡会	迫公民館	登米市	1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職 員 会 議	連絡事項・各セクション毎協議、検討	毎月第4木曜日	全職員

(2) その他の会議

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
随 時	スタッフ会議	支援員室他	各班チーフ責任者

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
リスクマネジメント委員会	ヒヤリハットの検証、虐待防止、苦情処理対応検討	随 時	若葉園職員8名
個別支援計画策定委員会	個別支援計画及び利用者支援について検討	随 時	若葉園職員5名
事業所サービス評価委員会	サービス評価に関することを検討	随 時	若葉園職員6名
事業所利用検討委員会	利用希望の方について検討	随 時	若葉園職員6名
防 災 委 員 会	消防計画に基づき防災について検討	随 時	若葉園職員8名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年 月 日	団 体 名	内 容	来 訪 者 数
R3.05.21	利用希望者ほか	事業所見学	2名
R3.06.23	ビックママ施設長ほか	事業所見学	2名
R3.07.28	迫支援学校高等部生徒・家族・担任	事業所見学	3名
R3.07.31	迫支援学校教員	卒業生の状況確認	2名
R3.08.19	小牛田高等学園教員	卒業生の状況確認	1名
R3.08.26	利用希望者ほか	事業所見学	2名
R3.10.20	利用希望者ほか	事業所見学	3名
R3.12.02	迫支援学校高等部生徒・家族・担任	事業所見学	20名
R3.12.03	利用希望者ほか	事業所見学	2名
R3.03.02	利用希望者ほか	事業所見学	2名
計			39名

(2) 実習

年 月 日	団 体 名	実 習 内 容	実 人 数	延 人 数
R2.08.31	迫支援学校高等部(5日間)	産業現場実習	2名	10名
R2.10.07	小牛田高等学園(5日間)	産業現場実習	1名	5名
計			3名	15名

## 【今後の取り組み】

1. 個別支援の充実
  - ・サービス等利用計画に基づき、利用者の希望や意向に添った目標を設定し、身体状況や特性、社会的環境に配慮した支援計画を立案します。また、定期的にモニタリングしながら達成状況を確認し、ニーズに沿った個別支援計画の充実を図ります。
2. 工賃の向上
  - ・新商品開発はもとより、商品製造の増産体制、販路拡大を図ります。
  - ・利用者に対し、各種作業の工程や技術を身につけるよう支援します。
  - ・職員は、各種作業の専門的知識習得のため、自己研鑽に努めます。
  - ・コスト意識の浸透を図り、経費削減に取り組み、無駄を無くすよう努めます。
  - ・工賃向上計画に基づき、作業する達成感、責任感が得られるように幅広い作業提供を実施し、工賃支給を継続させます。
3. 就労支援体制のさらなる充実
  - ・希望に沿った就労が出来るよう、日々の作業を通して、働くうえで必要な資質の向上を図ります。
  - ・企業や関係機関と連携した支援体制を作ります。
4. 虐待防止等
  - ・障害者権利条約、障害者基本法、障害者差別解消法、障害者虐待防止法等で示されている事を大事にして利用者支援を行います。
  - ・職員は利用者の権利を侵さないことはもちろん、積極的に擁護主体であるという自覚を持ち、基本的姿勢の確認を繰り返します。
5. 新規事業の検討
  - ・新規の事業を検討するとともに、利用者の高齢化重度化を鑑み、他事業所と連携しながら今後のあり方等について検討します。

# 令和2年度 就労継続支援B型さくらワークス 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市東和町米川字西綱木6-1 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会         |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会         |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成19年1月1日          |

## 【 基 本 方 針 】

恵泉会 障害者支援共通スローガン

『いっしょに』 ～あなたによりそう「けいせんかい」

『いっしょに』に込められた意味とは、「あなたとわたし」「利用者さんと職員」「利用者さん同士」「利用者さんと家族」「職員同士」「事業所同士」など、大切な誰かとわたしを意識し、一緒にその人らしい生活を応援していこうと考えるものです。

その人の傍らに、必ず優しくよりそう恵泉会があります。この地域に必要なとされ、地域のリーダーとして期待される法人・施設・職員となるよう、一丸となって福祉課題に向き合っています。

事業の実施にあたっては、利用者の基本的人権を尊重し、利用者個々の有する能力及び適性を十分に考えながら、社会的自立と就労支援を中心に就労移行を目指します。また、社会の一員として必要な知識、技術を習得させ、個性を尊重して安心して暮らせるための社会的役割を果たすよう努力しています。

- ①障害者総合支援法の中にある、自己決定と自己選択の尊重を基に、課題に対応したサービス提供体制を整えることで、希望する日中活動を保障するよう努めています。
- ②利用者の社会的自立を目指し、就労移行、雇用に向けた支援を行っています。
- ③グループホームの支援と連携を図っています。

## 【重点項目に対する評価、成果】

○地域生活において重要な・就労支援(生産活動の実施、職場規律の指導)・生活支援(健康管理、相談支援、余暇支援)を柱に、利用者の状況に応じ適切かつ柔軟な対応を心がけ支援する。また、ここ数年で高齢・重度化が進んでいることから、支援体制の改善に向けた検討を進めています。

○利用者個々のサービス等利用計画に基づき、一人ひとりのニーズに合った個別支援計画を作成し、就労の意識を高めます。また、生活支援体制を整備しながら、サービスの量、質の充実に努めています。

- ①自 立 支 援 … 生活活動、日中活動を通して、個別の状況に応じた対応から実際の生活の安定へとつながられるよう努力しています。
- ②主体性の尊重 … 利用者が自己選択・自己決定できる機会を拡充し、本来有している能力がよい方向で発揮できるよう支援しています。
- ③就 労 支 援 … 利用者の雇用及び就労移行业務へのステップアップに向けた支援を行っています。
- ④地域生活の充実 … 地域との連携を強めた活動を展開しています。
- ⑤家 族 支 援 … 総合的な支援体制を整えるため、家族との協力関係の構築に努めています。

### 1. 受託加工

・ミヤギトップ

デイズニー製品の作成、梱包 ◇コロナウィルスの影響で、5月から受注が止まっています。

・エスコアハーツ

給湯器解体・仕分け ◇受注量は年間を通じ一定レベルを確保しています。

### 2. 受託事業

軽作業(除草・草刈等) 91件

登米市軽度生活援助作業 26件

3. 法人内受託作業
- |        |                                         |       |              |
|--------|-----------------------------------------|-------|--------------|
| 法人本部   | 園庭・駐車所除草(4回)                            | パルめぐみ | 園庭・駐車所除草(4回) |
| 萩風園    | 園庭周囲草刈り(2回)                             | 南寿荘   | 周辺草刈り(1回)    |
| 光風園    | 支障木枝打ち、周辺草刈(2回)                         | ゆりの郷  | 周辺草刈(2回)     |
| ほんわか   | 畑耕運(1回)                                 | はたるの郷 | 花壇耕耘         |
| こじか園   | 園庭除草、周囲草刈り(2回)                          |       |              |
| 恵泉会体育館 | 草刈り(3回)                                 |       |              |
| 若草園    | 洗濯、園庭及び周辺草刈り(3回)芝刈り(4回)                 |       |              |
| 若生園    | 洗濯、園庭及び周辺草刈り、除草(2回)庭木の剪定(1回)、園庭側溝清掃(1回) |       |              |
- ◇法人内の受託作業は、施設毎に見直ししながら今後も継続して行きます。
4. 法人内販売(微酸性電解水生成・販売)  
法人本部、パルめぐみ、若草園、若生園、

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 6,720 名  
 2. 年間稼働日数 243 日  
 3. 年間稼働率 92.18 %  
 4. 年間平均区分 3.08  
 5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	126	110	110	125	116	118	128	113	121	115	103	137	1,422
区分3	313	260	323	294	251	247	275	232	241	224	209	268	3,137
区分4	147	127	159	165	170	179	196	148	158	148	142	182	1,921
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	586	497	592	584	537	544	599	493	520	487	454	587	6,480
非該当	21	17	21	22	18	19	20	18	19	18	17	30	240
計	21	17	21	22	18	19	20	18	19	18	17	30	240
合計	607	514	613	606	555	563	619	511	539	505	471	617	6,720

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
契約終了者数	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	4
月末契約者数	29	28	29	29	29	29	28	28	27	27	27	28	-2

【 利用者サービスの状況 】

1. 週間予定

曜日	午 前	午 後
月	出勤確認:作業	作業
火	出勤確認:作業	作業
水	出勤確認:作業	作業
木	出勤確認:作業	作業
金	出勤確認:作業	作業
土	休み	休み
日	休み	休み

2. 工賃支払い状況

就労継続支援B型事業所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計(年間)
月別合計	499,345	318,660	374,135	374,065	336,685	350,645	398,385	323,085	366,150	351,215	336,195	434,490	1,499,580	5,962,635
1人平均月額	17,219	10,988	12,901	12,899	11,610	12,091	13,737	11,539	13,077	13,008	12,452	15,518	53,556	210,595

### 3. 余暇・レクリエーション活動

#### (1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2.04.14	お花見昼食会	さくらの開花に合わせ弁当を注文し、食べながら利用者職員との交流を図っている。	利用者 26名 職員 8名
R2.09.17	DVD観賞昼食会	プロジェクターを設置してDVD観賞しながら、注文した弁当を食べて楽しんでいる。	利用者 29名 職員 7名
R2.12.17	クリスマスゲーム大会	クリスマスに合わせ自作のビンゴゲームで楽しい一時を過ごしていただく。	利用者 26名 職員 7名

#### 【利用者サービスの向上】

#### 1. 会議開催状況

##### (1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	利用者の状況確認報告並びに援助対策検討	毎月最終木曜日	統括施設長・事務員他全職員

##### (2) その他の会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
担当者会議	利用者個々の今後の支援について検討	随時	グループホーム職員・相談支援担当・サービス管理責任者

#### 2. 委員会開催状況

##### (1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
身体拘束廃止適正化委員会	身体拘束や虐待等無く適切に支援がなされているか検討	3ヶ月に1回	さくらワークス職員7名
リスクマネジメント委員会	ヒヤリハットの検証・虐待防止、苦情処理対応検討	随時	さくらワークス職員7名
サービス向上委員会	サービス支援評価、工賃アップ向上等評価検討	随時	さくらワークス職員7名
個別支援計画策定委員会	個別支援計画及び利用者支援について検討	随時	さくらワークス職員7名
事業所サービス評価委員会	サービス評価に関すること	随時	さくらワークス職員7名
感染予防委員会	利用者の衛生管理と感染予防に対する実践対策、研修	随時	さくらワークス職員7名

#### 【施設機能の開放】

#### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

##### (1) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R2.10.12	迫支援学校	産業現場実習	1名	10名
	計		1名	10名

#### 【今後の取り組み】

○地域生活において重要な就労支援(生産活動の実施、職場規律の指導)・生活支援(健康・相談援助・職場規律)を軸として、利用者個々の状況に応じた支援を誠意を持って行って参ります。また、地域で働く職業意識も高揚させながら、地域との関わりやグループホームとの連携、家族との相互理解を深めていきます。

○個別支援計画を作成する上でのアセスメント・モニタリング等を実施し、①自立支援②主体性の尊重③就労支援④地域生活の充実⑤家族支援等を中心としたニーズを発掘し、その人らしい暮らしの実現に向けて行きます。また、高齢・重度化に伴う身体的・精神的な配慮を含めた部分も支援計画に結び付けます。更に、関係事業所(若葉園)との協議、連携を図ります。

1. 受託加工事業について、(株)リハーツ東北の(給湯器解体作業)を中心に行います。受託作業単価が安価であること、能力的な受け入れ制限等があり、バランスを調整して今後の取り組みを行っていきます。技術を伝達できる利用者の育成を図りながら事業へ取り組みます。ミヤギトップの(ディズニー製品の作成、梱包)作業はコロナウイルスの影響を受け、5月から止まっている状態が続く今後の見通しも立たないことから、来年度は一旦受注を中止します。

2. 受託事業について、軽作業(一般作業、窓掃除、草刈り、支障木伐採等)の請負、特に地域や一般からの請負について依頼が多く、時期によっては多忙な状況となり作業の受け入れ調整が必要です。また、登米市の軽度生活援助事業を法人として受託し、東和地区を限定とした利用者の地域ニーズも加味しながら継続し、さらに岩手県アーク牧場の作業委託を受け(除草・運搬等)1年を通しての利用者支援、人材育成も含めながら継続した事業を推進していきます。
3. 法人内受託作業について、若草園、若生園、南寿荘、パルめぐみ、こじか園、ほんわか、光風園、ゆりの郷、萩風園等数施設から、除草、草刈り、芝刈り等を受託し、各事業所の協力を得ながら計画的に取り組みます。
4. 法人内販売について、微酸性生成電解水を販売しています。法人内施設(恵泉会法人本部支援棟1階、若生園、パルめぐみ等)の利用実績と収益に結びつけます。コロナウィルスへの効果は期待できないが、他の感染症や衛生処理に効果的であるという実績を持って今後も販売します。

# 令和2年度 登米市児童発達支援センターこじか園 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地	登米市中田町上沼字大柳117番地2
2. 設 置 主 体	登 米 市
3. 経 営 主 体	社会福祉法人 恵 泉 会
4. 開 設 年 月 日	平成23年 4月 1日 (指定管理開始)
5. 利 用 定 員	指定障害児通所支援事業 ・児童発達支援(未就学児) 10名 ・放課後等デイサービス(就学児) 15名 ・保育所等訪問支援 定員区分なし 指定障害児相談支援事業(児童サポートセンター「バンビ」) ・指定障害児相談支援 定員区分なし ・指定特定相談支援(計画相談) 定員区分なし 登米市および石巻市地域生活支援事業 ・障害児日中一時支援事業 20名(障害児通所支援契約者を主とする)

こじか園では、障害児の通所支援事業所として平成23年度の指定管理開始から3期目の3年が経過し、指定管理施設として質の高い療育プログラムの提供を目指し、サービス提供および事業運営を行ってまいりました。施設設置者である登米市や地域の計画相談支援事業者からの指導および協力により、障害児相談支援ならびに保育所等訪問支援についても、効果的な事業推進が図られるよう努め、実績も着実に伸びつつあります。

事業の実施にあたっては、児童福祉法や障害者総合支援法等関係法令および登米市児童発達支援センターこじか園条例、ならびに恵泉会理念に沿った運営を行うことを基本とし、これまで全体での集団活動がメインとなっていた活動プログラムについて、児童発達支援管理責任者を中心とする『全体集団活動』と、発達段階・習熟度・年齢等を総合的に勘案してクラス分けを行う『小集団活動』を中心療育形態とし、一人ひとりの強みや興味関心を引き出しながら、生きる力と意欲ある生活ができる療育訓練の実践に努めました。心の安定や見通しをもった行動、期待して待つこと、挑戦する意欲など、小さな集団で訓練することで、周囲の環境変化についても少しずつ克服できる力を養い、園外での体験療育の機会も増やしております。

また、家族参加型行事については、「家族と共に考える子育て」を目標とし、合同企画行事の実施や家族・支援者向けセミナー(通称:こじ豆)の開催などを行いました。

## 【 重 点 項 目 】

1. (C) 子供たちの「できる」「できた」、一瞬の感動を大切にします。

個々の障害特性等に応じた支援を強化するため、個別支援計画の作成にあたっては、児童発達支援管理責任者を中心とした個別のサポートチームを編成し療育プログラムを作成しました。子供たち一人ひとりの「できる」「できた」を大切にしながら、今後もより専門的なサポートを目指して参ります。

- ◇モニタリング件数 …… 児童発達支援 52件 , 放課後等デイサービス 84件  
(継続障害児支援利用援助) 保育所等訪問 43件 , 障害児相談支援 61件
- ◇個別支援計画作成数 …… 児童発達支援 42件 , 放課後等デイサービス 83件  
(障害児支援利用計画) 保育所等訪問 43件 , 障害児相談支援 52件
- ◇サポート検討(会議) …… 児童発達支援 55件 , 放課後等デイサービス 84件  
(ケアカンファレンス) 保育所等訪問 50件 , 障害児相談支援 56件
- ◇職員向けアンケート(運営・サービス・行事分野)……達成度評価(11月実施)

2. (D) 自分で「伝える」、自分で「考える」、自分で「決める」力を伸ばしていきます。

3つの力を伸ばしていけるよう、活動内容に合わせて個別・小集団・全体といった様々な活動形態を日々取り入れて活動しました。また、就学児においては、自主研修外出として、同じ分野に興味関心のある児童がグループをつくり、研修場所や研修内容を自分たちで企画・相談し、社会体験のための外出を実施しました。

- ◇個別活動 …… 生活訓練, 自立課題, 学習補習, 作業訓練, 機能訓練
- ◇小集団活動 …… 粗大運動, 音楽療法, 園芸活動, からだづくり(運動訓練)
- ◇全体活動 …… はじまりの会, かえりの会, リズム活動, 各種行事
- ◇自主研修 …… 実施回数 10回, 参加児童 63名



3. ㊦ 家族の「想い」、家族と一緒に「子育て」、家族同士の「交流」を大切にします。

ご家族や関係機関など、子供たちや施設に関わりのある方々や機関とのつながりを大切にしながら療育を進めました。家族参加型行事の充実や保護者・支援者向けセミナー(こじ豆)の実施など、年間を通じて企画・実践いたしました。また、保護者が自由に集い情報交換や親交を深められる場(通称:こじカフェ)を設定し、定期開催させていただきました。

◇参加交流行事 …… 療育参観, 親子遠足, タベのつどい, 親子レクゲームなど  
実施回数…10回(家族等参加延べ人数 150名)

◇こじカフェ …… 実施回数…11回 営業日に実施(延べ71名利用)

◇家族・訪問先アンケート(運営・サービス・行事分野)…12月(家族)、2月(訪問先)実施,満足度評価

【 利 用 状 況 】

《 障害児通所支援事業, 障害児相談支援事業 》

1. 年間延べ利用人員 7,423 名 (障害児通所支援事業)※児童発達支援+放課後等デイサービス
2. 年間稼働日数 240 日 (児童発達支援)  
305 日 (放課後等デイサービス)  
240 日 (保育所等訪問支援)  
240 日 (障害児相談支援/バンビ)
3. 年間稼働率 106.42 % (障害児通所支援事業)※児童発達支援+放課後等デイサービス  
(116.67) % (児童発達支援) 定員 10 名  
(101.05) % (放課後等デイサービス) 定員 15 名  
10.5 件 (保育所等訪問支援 月平均訪問件数)  
13.3 件 (障害児相談支援/バンビ 月平均提出件数)
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
児童発達支援	231	234	234	249	248	232	260	224	194	218	203	273	2,800
放課後等デイサービス	345	373	397	422	390	398	417	388	349	365	363	416	4,623
保育所等訪問支援	4	3	18	13	11	13	13	13	6	6	16	10	126
障害児相談支援	11	9	13	8	10	9	58	9	6	6	7	13	159
計	591	619	662	692	659	652	748	634	555	595	589	712	7,708

5. 契約の状況

	前年度末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数 (児童発達支援)	19	2	0				2		0				1	24
契約者数 (放課後等デイ)	10	3	1				0	0		0	0		0	14
契約者数 (保育所等訪問)	19	2	1				1	0	0	0	0		0	23
契約者数 (相談支援)	45	0	1									1	3	50
契約終了者数 (児童発達支援)													13	13
契約終了者数 (放課後等デイ)					1				1				2	4
契約終了者数 (保育所等訪問)		1										1	2	4
契約終了者数 (相談支援)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末契約者数	93	99	102	102	101	101	104	104	103	103	103	103	90	90

【療育サービスの状況】

1. 療育支援サービス

(1) 年間行事

① 児童発達支援

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2.7.7	七夕会	七夕飾りの製作や行事についてパネルシアターを用いて七夕の由来を学習	児童 13名 職員 6名
R2.7.17	親子体験療育(海)	保護者やお友達と一緒に海や砂浜の感触を楽しむ。また保護者の方にも活動を一緒に体験してもらうことで療育への理解を深めてもらう。(南三陸町サンオーレ袖浜)	家族 7名 児童 12名 職員 9名
R.2.8.29	夏祭り	地域の幼稚園や保育所で経験するような「お祭り」行事を体験させたいという保護者の希望を汲み取り企画・実施。ゲームコーナーなど保護者と協力して行う。コロナウイルス感染防止のため飲食物は持ち帰りとした。	家族 23名 児童 18名 職員 11名
R2.9.25	親子体験療育(山/公園)	保護者やお友達と一緒に海や砂浜の感触を楽しむ。また保護者の方にも活動を一緒に体験してもらうことで療育への理解を深めてもらう。(登米市米山町 平筒沼ふれあい公園)	家族 12名 児童 14名 職員 7名
R2.10.5～ R2.10.16	療育参観	利用児童のご家族に児童の園での様子を見ていただくと共に、保護者と職員間の交流を図る。またこじかでの療育について理解を深めてもらう。	児童 19名 家族 21名 職員 9名
R2.10.30	からだづくり	長沼フットピア公園へ行き体を動かして遊ぶ予定だったが雨天だった為ドライブへ変更した。	児童 10名 職員 8名
R2.12.11	クリスマス会	クリスマスツリーの飾り付けや、サンタからプレゼントをもらいクリスマスの雰囲気を楽しむ。	児童 9名 職員 15名
R.3.2.3	豆まき会	節分の由来や歌に触れる。各自製作した鬼のお面をかぶり鬼へ豆まきをすることで、楽しみながら節分の雰囲気を楽しむ。	児童 12名 職員 15名
R.3.3.5	卒園セレモニー	1年間のまとめの行事として実施。思い出DVDの上映、記念品の贈呈、学習成果の発表。(感染症の蔓延防止のため規模を縮小して開催)	児童 11名 職員 17名

② 放課後等デイサービス

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2.7.05	七夕会	七夕の行事に関心を持ち、七夕にちなんだ紙芝居や飾りをみて楽しむ	児童 17名 職員 9名
R2.8.8	お楽しみ会	園内でプール遊びやBBQをして夏の遊びを楽しむほか、野外炊飯を体験することで協調性や社会性を身に付ける。	児童 14名 職員 6名
R2.8.11	お楽しみ会	園内でプール遊びやBBQをして夏の遊びを楽しむほか、野外炊飯を体験することで協調性や社会性を身に付ける。	児童 14名 職員 7名
R2.8.18	お楽しみ会	園内でプール遊びやBBQをして夏の遊びを楽しむほか、野外炊飯を体験することで協調性や社会性を身に付ける。	児童 5名 職員 7名
R2.8.29	お楽しみ会	園内でプール遊びやBBQをして夏の遊びを楽しむほか、野外炊飯を体験することで協調性や社会性を身に付ける。	児童 5名 職員 5名
R2.10.15	りんご生育体験	小野寺りんご園(中田町)にて、りんごの収穫作業体験を実施	児童 17名 職員 12名
R2.12.25	クリスマス会	クリスマスにちなんだ製作し(スタンドグラスオーナメント)、その後ゲームを楽しむ。	児童 13名 職員 8名
R3.02.03	豆まき会	鬼をモチーフにした小物入れを製作した後、〇×ゲームを行う。	児童 14名 職員 7名
R3.03.29	卒園生を祝う会	1年間のまとめの行事として実施 記念品の贈呈や卒園する高校3年生をみんなで祝う	児童 11名 職員 8名

【その他の児童サービス】

《 登米市日中一時支援事業 》

1. 年間延べ利用人員 1,794 名
2. 年間稼働日数 305 日
3. 年間稼働率 29.41 %
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
日 中 一 時	4時間未満	239	233	83	94	207	72	49	63	95	125	69	157	1,486
	4～6時間	46	58	37	49	34	6	3	9	16	5	37	300	
	6～8時間	0	0	6			1	0	0	1	0	0	8	
	8時間以上			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	送迎	64	69	24	57	106	34	23	27	40	63	34	98	639
合 計(送迎含まず)	285	291	126	143	241	79	52	72	96	141	74	194	1,794	

【療育サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修(こじか園主催・実施関係)

年 月 日	内 容	講 師 ( 講 演 者 )	参 加 者
R2.04.21	新型コロナウイルス感染症患者発生時の対応について	施設長	こじか園職員 18名
R2.04.21	コンプライアンス研修	施設長	こじか園職員 18名
R2.05.21	リフレーミング	施設長	こじか園職員 20名
R2.06.19	サービスの円滑な実施を確保するために	施設長	こじか園職員 18名
R2.08.21	虐待防止について	施設長	こじか園職員 18名
R2.09.18	脳の機能について	施設長	こじか園職員 17名
R2.10.21	医療ケア児について	施設長	こじか園職員 18名
R2.10.23	こじか園ペアレント・プログラム①	地域生活支援C	保護者等 4名
R2.11.06	こじか園ペアレント・プログラム②	地域生活支援C	保護者等 5名
R2.11.20	こじか園ペアレント・プログラム③	地域生活支援C	保護者等 5名
R2.12.04	こじか園ペアレント・プログラム④	地域生活支援C	保護者等 3名
R3.01.21	報酬改定の方向性について	施設長	こじか園職員 18名
R3.02.05	こじか園ペアレント・プログラム⑤	地域生活支援C	保護者等 4名
R3.02.19	利他性の発達について	施設長	こじか園職員 15名
R3.03.19	レジリエンスがある人の5つの特徴について	施設長	こじか園職員 17名

(2) 内部研修(法人本部主催・実施関係)

年 月 日	内 容	講 師 ( 講 演 者 )	参 加 者
R2.10.16	第41回 恵泉会職員研修大会(web)		こじか園職員22名

(3) 外部研修

年 月 日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R2.10.28	令和2年度 障害福祉支援者サポート事業	登米市	登米市	職員2名
R2.11.13	障害者家族セミナー	登米市	登米市	職員1名
R2.10.24	宮城県強度行動障害支援者養成研修	宮城県社協	仙台市	職員1名
R2.10.31				
R2.11.07	宮城県サービス管理責任者等基礎研修追加研修	宮城県社協	仙台市	職員1名
R3.01.25～27				
R3.02.10	はたらく気持ち、つながる思い	恵泉会「ゆい」	登米市	職員1名
R3.02.25				

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
スタッフ会議	月間予定, 事業方針・内容の調整協議	毎月1回	全職員対象
ケアカンファレンス	療育や支援に関する調整・協議 個別支援計画に関する確認	毎月1回 または随時	全職員対象

## (2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出 席 者
随 時	行政機関連携会議(市教委,福祉事務所 他)	こじか園	担当職員
随 時	登米市障害者自立支援協議会(部会,研修,全体会)	登米市福祉事務所ほか	施設長
年 7 回	相談支援事業者 事例検討会	こじか園ほか	相談支援専門員
年 2 回	中田中学校区連絡会	ふれあいセンター他	児発管,担当職員
随 時	迫支援学校 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随 時	南方保育所 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随 時	さくら幼稚園 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随 時	豊里幼稚園 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随 時	東郷幼稚園 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随 時	錦織保育園 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随 時	南方幼稚園 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随 時	石越小学校 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随 時	米岡小学校 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随 時	浅水小学校 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随 時	上沼小学校 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随 時	佐沼小学校 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随 時	新田小学校 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随 時	東郷小学校 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
不定期	障害児教育相談連絡会	迫支援学校	児発管、担当職員

## 3. 委員会開催状況

## (1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
リスクマネジメント委員会	事故原因の分析・改善, サービス提供時におけるリスクの評価・検討	年12回	管理者,委員,関係職員
サービス向上・研修委員会	施設サービス向上のための検証・改善 研修計画の立案と実施	随時	管理者,委員,関係職員
防災委員会	非常災害時に備えた計画の整備や訓練活動の企画・実施	年11回	管理者,委員

## (2) その他の委員会

- 障害児者支援ワーキング部会
- 事務部会
- 看護師部会
- 栄養士部会
- リハビリテーション部会
- 地震防災対策委員会

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R2.04.06	東郷幼稚園	施設見学	2名
R2.04.10	迫支援学校教諭	施設見学	2名
R2.04.27	錦織小学校教諭	施設見学	1名
R2.04.30	東郷小学校教諭	施設見学	1名
R2.05.21	東郷小学校教諭	施設見学	2名
R2.05.21	南方保育所	施設見学	1名
R2.05.27	迫支援学校教諭	施設見学	1名
R2.06.04	保健師(登米市中田町、登米町)	施設見学	2名
R2.06.08	保健師(登米市迫町)	施設見学	1名
R2.06.25	さくら幼稚園	施設見学	1名
R2.07.30	保健師(登米市迫町)	施設見学	1名
R2.09.17	保健師(登米市)	施設見学	1名
R2.09.23	保健師(登米市中田町)	施設見学	1名
R2.10.08	保健師(登米市)	施設見学	1名
R2.10.19	白鳥ゆめっこ保育園	施設見学	1名
R2.10.27	保健師(登米市東和町)	施設見学	1名
R2.10.29	保健師(登米市中田町)	施設見学	1名
R2.12.10	宮城県立視覚支援学校	施設見学	2名
R3.01.22	保健師(登米市)	施設見学	1名
R3.02.12	保健師(登米市)	施設見学	1名
計			25名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R2.08.17	宮城学院女子大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
R2.08.31	聖和学院短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	2名	20名
R2.09.14	宮城誠真短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	2名	20名
R2.09.28	仙台こども専門学校	保育実習(10日間) 観察・演習	2名	20名
R2.11.16	東北福祉大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
R2.11.16	淑徳大学短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
R2.11.30	仙台青葉学院短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
R3.01.18	仙台青葉学院短期大学	保育実習(5日間) 観察・演習	2名	10名
R3.02.04	石巻専修大学	保育実習(14日間) 観察・演習	1名	14名
計			13名	124名

(3) フリーカフェ

年月	項目	利用数	年月	項目	利用数
					0名
計					0名

## 【今後の取り組み】

### 1. 【令和3年度に向けて】

◎登米市児童発達支援センターこじか園は、平成23年から登米市の指定管理を受け、登米圏域において、療育が必要なお子さんに、適切で質の高い療育を提供できる拠点を目指して事業運営を行ってきました。令和3年度からは登米市からの施設譲渡を受け、法人の持つ障害児者支援の専門性を活かし、登米市の障害者福祉計画にも掲げられている【だれもが笑顔で安心して暮らせるまちとめ】の実現に一翼を担う多機能サポートセンターとして更に発展していきます。

事業の根拠となる児童福祉法や障害者総合支援法等関係法令を遵守し、恵泉会理念に基づいた運営を行うことで、地域での中核的な事業所として積極的に地域貢献に努めていきます。

具体的な事業内容は、

①児童発達支援センターとしてこれまで通り『全体集団活動』と、発達段階・習熟度・年齢等を総合的に勘案してクラス分けを行う『小集団活動』を中心療育形態とし、一人ひとりの強みや興味関心を引き出しながら、将来に向けた生きる力を高め、意欲ある生活ができる療育訓練の実践し、『医療的ケア児』の受け入れにも適切かつ安全に対応できるよう体制を整えます。更に今年度は中核的な療育支援拠点として、切れ目のない継続的な相談・支援(保育所等訪問他)の提供、障害児サービス事業所とのネットワークづくりと機能強化支援として研修事業等、関係機関と連携していきます。

②生活介護事業所レポス(仮)を開設し、18歳以上の方の日中活動の場として、利用者の声を受け止めながら、身体面・精神面・環境面等の状態に配慮し、個別支援計画に基づいて、活き活きとした楽しみのある生活が営めるサービスを提供します。そのために社会的・対外的活動を多く取り入れ、利用者が主体的に生きる支援による生活の質の向上を目指します。

### 2. 【令和3年度 こじか 療育目標】

こじか園では、次の内容を療育目標と掲げ、子供たちの可能性を追求し、家族支援を強化して参ります。

- ㉔ 子供たちの「できる」「できた」、一瞬の感動を大切にします。
- ㉕ 自分で「伝える」、自分で「考える」、自分で「決める」力を伸ばしていきます。
- ㉖ 家族の「想い」、家族と一緒に「子育て」、家族同士の「交流」を大事にします。

### 3. 【児童発達支援センターとしての役割】

- ◇ 障害種別に関わらない適切な障害児通所支援サービスの提供
- ◇ 身近な障害児支援の拠点となる地域支援サービスの提供
  - ① 地域の障害児やその家族へのサービス利用に関する相談支援
  - ② 家族や地域の保育施設・学校等教育施設への援助・助言
- ◇ 関係機関との連携やノウハウの共有による地域支援体制の強化
- ◇ 関係機関との連携やノウハウの共有による地域支援体制の強化

### 4. 【施設機能の解放】

- ・保育士養成に係る現場実習の受入(令和2年度受入予定…14名)
- ・学生の職場体験やキャリア教育, ボランティア受け入れに関する協力
- ・母子通園による施設開放および支給決定前の児童を対象とした体験療育「すくすく広場」の随時開催
- ・「こじかカフェ」の設置  
保護者や地域で療育されている母子が自由に集う喫茶スペースを設置し、茶話会や図書貸し出し、ワークショップを開催する
- ・ご家族や保育施設等職員、障害児通所支援事業所職員等を対象としたセミナー(こじ豆)の実施
- ・障害児通所施設職員の療育実習受け入れや、中田町上沼地区の高齢者との交流機会の継続

# 令和2年度 南方保育所 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市南方町山成前1074-2 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会         |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会         |
| 4. 開 設 年 月 日 | 昭和53年 4月 1日        |
| 5. 利 用 定 員   | 70名                |

## 【 基 本 方 針 】

- 0歳児 一人ひとりの生活リズムを把握し、落ち着いた環境の中でゆったり過ごし、信頼関係を築くことを大切にしました。子ども達の成長を保護者と共有し、共に喜びながら過ごすことができました。
- 1歳児 身の回りのことを自分でやろうとする気持ちが育ち、できるようになることで子ども達の自信や意欲にもつながりました。友達との関わりでトラブルが多く見られましたが、子ども達の思いを受け止めながら、自分の言葉で思いを伝えられるように援助しました。
- 2歳児 友達を意識しながら遊んだり、行動したりできるように保育者間で声を掛け合いながら見守ったり、自分のやりたいことを安心して意欲的に取り組めるような環境づくりに努めました。一人ひとりが満足して生活を送ることができました。
- 3歳児 友達との関わりの中で意見や思いの違いからトラブルになることもあり、過程を見守ったり、必要に応じて保育者が仲立ちをするようにしました。身の回りのことが一人でできるようになった子が多く、子どもの成長を保護者と共に喜びあえました。
- 4歳児 一人ひとりの子どもの思いや考えを尊重し、対話を大切にしました。その子らしい育ちを認め、受け入れ、理解するように努めました。約束や決まりが分かり、少しずつ気持ちをコントロールできるようになったり、褒められようとする気持ちが強くなるなど良い意識が高まるよう関わり、その成長が見られました。
- 5歳児 子どもの発達に適した保育内容を考え、保育に当たるように努めました。個人差があり、個別に支援を要する子への対応や保護者対応をしっかり行い、各機関との情報共有に努めました。保育者間で連携を図り、把握に努め、友達同士の関わりを見守ることができました。小学校就学を意識しながら、最年長児として役割を自覚し過ごすことができました。

## 【 重 点 項 目 】

1. 一人ひとりの生活リズムや気持ちや行動などを理解し、その子に合った関わり方や安心して過ごせるような環境づくりを行いました。
2. 子どもに寄り添い、安心できるような雰囲気をつくったり、言葉がけをするように意識しました。送迎の際、家庭での様子を聞き、個々に接することで落ち着いた保育を行い、個別に対応することでその子の発達に合った援助をしました。
3. 保護者が保育所生活で気になっていること、不安に思っていることがあった際は必要に応じて面談を行いました。
4. 定期的に内部研修に参加し、保育士として必要な知識について理解を深めることができました。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 16,109 名

2. 月別利用状況(名) (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	57	78	100	104	107	114	135	117	119	107	108	135	1,281
1歳児	216	188	237	231	196	226	244	211	217	205	202	244	2,617
2歳児	193	169	257	235	179	232	253	227	214	210	200	240	2,609
3歳児	304	259	365	348	284	336	360	327	325	296	292	352	3,848
4歳児	178	167	236	216	173	218	239	209	204	189	192	233	2,454
5歳児	251	227	310	304	237	290	309	269	267	255	256	325	3,300
計	1,199	1,088	1,505	1,438	1,176	1,416	1,540	1,360	1,346	1,262	1,250	1,529	16,109

### 3. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	68	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	72
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末入所者数	68	71	71	71	72	72	72	72	72	72	72	72	72

#### 【利用者サービスの状況】

#### 1. 保 育

##### (1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数	
R02.07.31	おまつりごっこ	宮太鼓の演奏やゲームコーナーを用意し、お祭りの雰囲気を楽しみながら楽しいひとときを過ごす	利用者	70名
			職員	16名
R02.09.28	運動会ごっこ	つき組の運動会ごっこを実施する。広い体育館でのびのびとリレーやかけっこなどを楽しむ	利用者	16名
			職員	5名
R02.09.30	運動会ごっこ	にじ、ゆき組の運動会ごっこを実施する。広い体育館でのびのびとリレーやかけっこ、玉入れなどを楽しむ	利用者	26名
			職員	5名
R02.09.30	運動会ごっこ	はな、そら、ほし組の運動会ごっこを実施する。かけっこや遊戯など体を動かす楽しさを味わう	利用者	29名
			職員	9名
R02.11.06	保幼小交流会	幼稚園や小学校の子ども達とふれあい、小学校に期待を持つ	利用者	14名
			職員	2名
R02.11.25	ミニ発表会	保育所内にてはな、そら組のミニ発表会を実施する	利用者	17名
			職員	14名
R02.11.26	ミニ発表会	保育所内にてほし、つき組のミニ発表会を実施する	利用者	29名
			職員	14名
R02.11.27	ミニ発表会	保育所内にてにじ、ゆき組のミニ発表会を実施する	利用者	26名
			職員	14名
R03.02.13	一日入所	令和3年度新入所児の保護者を対象に、入所に関する話及び個人面談を行う	利用者	11名
			職員	7名
R03.03.11	修了式・お別れ会	修了児をお祝いし、昼食は人気メニューを取り入れ、お別れ会を行う	利用者	43名
			職員	10名
R03.03.20	修了式	令和2年度卒園児のお祝いの会を行う	利用者	15名
			職員	14名

#### 【利用者サービスの向上】

#### 1. 職員研修実施状況

##### (1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R02.04.24	新任職員研修	施設長・副主任	保育士 4名
R02.05.26	食物アレルギー研修	保育士	保育士 6名
R02.07.10	救命救急研修	副主任	保育士 5名
R02.09.11	プライバシー、個人情報保護研修	施設長	保育士 5名
R02.10.27	人権擁護研修	仙台法務局登米支局	保育士 8名
R02.10.28	人権擁護研修	仙台法務局登米支局	保育士 7名
R02.11.19	特別支援研修	宮城県立迫支援学校	保育士 7名
R02.11.20	特別支援研修	宮城県立迫支援学校	保育士 8名
R03.01.12	感染症予防研修	保育士	保育士 15名

##### (2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R02.08.28	保育施設等新型コロナウイルス感染症対策研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員2名
R02.09.18	避難確保計画作成に係る講習会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R02.12.23	保育士等キャリアアップ研修(リモート研修)	宮城県社会福祉協議会	登米市	職員1名
R02.12.24	保育士等キャリアアップ研修(リモート研修)	宮城県社会福祉協議会	登米市	職員1名
R02.12.25	保育士等キャリアアップ研修(リモート研修)	宮城県社会福祉協議会	登米市	職員1名



## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	次月の行事予定、各部署からの連絡	毎月1回	全職員
給食会議	前月の給食の状況、改善点等	毎月1回	施設長、副主任保育士、委託業者

### (2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出席者
随 時	ケース検討会議	事務室	職員全員
毎月1回	防災委員会	事務室	委員他
毎月1回	リスクマネジメント委員会	事務室	委員他
3ヶ月に1回	地域交流委員会、研修委員会	事務室	委員他
随 時	事業計画検討委員会	事務室	委員他

## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・職場体験受入状況

年月日	団 体 名	内 容	来 訪 者 数
R02.10.20	南方中学校	職場体験	3名

### 2. 実習受入状況

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
R02.07.06～17	宮城誠真短期大学	保育実習Ⅰ期	1名	10名
R02.07.27～08.07	宮城誠真短期大学	保育実習Ⅱ期	1名	10名
R02.09.07.09.10.11	東北文教大学	保育実習Ⅰ期	1名	4名
R02.12.07～18	仙台子ども専門学校	保育実習Ⅰ期	1名	10名
R03.01.18～29	仙台子ども専門学校	保育実習Ⅱ期	1名	10名
計			5名	44名

## 【今後の取り組み】

### (1) 子どもの最善の利益を考慮

一人ひとりの発育、発達の状況を把握し、無理のない保育内容、活動、援助の仕方を考え行っていきます。

### (2) 養護と教育を一体的に行う

保育所での子どもの活動の取り組みや様子など、分かりやすく保護者に伝えていきます。

### (3) 保護者と地域の子育て家庭に対する支援

感染症の影響もあるが、地域の子育て家庭に対してできることを検討し、発信していくよう努めます。

### (4) 保育士の専門性の向上

外部研修への参加が難しいため、内部研修で様々な知識を深めることができるよう、今後も内部研修の内容の充実を図っていきます。

# 令和2年度 事業所内保育所キッズつぼみ 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市登米町寺池馬場塚777 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会        |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会        |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成28年 4月 1日       |
| 5. 利 用 定 員   | 19名               |

## 【 基 本 方 針 】

地域型保育事業所として事業所内保育の運営にあたっては、保育指針に基づき、それぞれの子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場として、子どもや保護者、地域、そしてそこで働く職員たちがお互いに育ちあえる場、安心して楽しく生活できる拠点にします。

## 【 重 点 項 目 】

- (1) 子育て、子育ての拠点として:新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、地域の方々に園を開放する事はできませんでした。感染症の流行に伴い、保健所に指導を受けながら感染症予防対策に努め、保護者様との連携を密にし、早期発見・早期治療を呼びかけました。
- (2) 地域ニーズ:登米市の動向を視野に入れながら、地域・保護者のニーズを把握する様に努めました。
- (3) 保護者との連携:保護者様にお子様の成長を伝え合いながら個々に合わせた保育を行い、できた事の喜びを感じられる保育に努めました。
- (4) 社会的使命感:事業所内保育所として法人で働く職員が安心してお子さんを預け、働くことができるように努めました。また、地域の方々にも事業所をご利用していただけるように今後も事業所のPRを継続して行っていきます。
- (5) 研修:内部研修に重点をおき、職員の知識向上に努めました。
- (6) 連携:感染症流行時、登米市子育て支援課、登米保健所、嘱託医との連携を図り、保護者様に状況をしっかりと周知しながら感染症拡大防止に努めました。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 4,827 名

2. 月別利用状況(名) (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	65	97	148	136	125	132	152	131	128	122	119	135	1,490
1歳児	187	175	219	203	196	214	238	214	214	185	172	205	2,422
2歳児	79	60	86	81	76	82	88	67	73	71	69	83	915
計	331	332	453	420	397	428	478	412	415	378	360	423	4,827

3. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	19	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末入所者数	19	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22

【利用者サービスの状況】

1. 保 育  
(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2.05.14	クッキング (フルーチェ)	お友達と作る楽しみを経験しながら、食べる喜びを感じられる様に工夫した。	利用者 10名 職員 4名
R2.05.27	お楽しみ会	保育室に様々な遊びのブースを設け、お友達と関わり合いながら体を動かして遊ぶ事を楽しんだ。	利用者 19名 職員 8名
R2.05.25	恵はあと利用者様の100歳式典参加	いつもお世話になっている利用者様の100歳のお誕生日式典に、感謝の気持ちを持ってお祝いに参加した。	利用者 4名 職員 2名
R2.05.28	野菜の苗植え	ミニトマトやピーマンを自分たちの手で育てる事で、野菜の生長を見守り、収穫して食べる喜びに繋げられる様にした。	利用者 4名 職員 2名
R2.06.04	歯磨き教室	ペープサートの教材をとおして、歯の大切さを伝えた。	利用者 19名 職員 7名
R2.07.07	七夕会	七夕の行事をとおして、日本の伝統文化を子ども達に分かりやすく説明した。	利用者 20名 職員 8名
R2.08.28	夏祭り	夏祭りをとおして、友達や保育者と言葉のやり取りを楽しみ、お神輿を担いだり、屋台巡りをし夏祭りの雰囲気を楽しんだ。	利用者 21名 職員 9名
R2.09.10	クッキング (おにぎり)	自分で作る楽しさを味わい、食事の大切さを子ども達に分かりやすく説明した。	利用者 14名 職員 4名
R2.09.18	光風園交流会	コロナウイルス感染症拡大防止のため交流会は中止とし、敬老の日にちなみ、手作りプレゼントを作成し利用者様へお渡しした。	利用者 3名 職員 2名
R2.09.18	敬老交流会 (遠山荘)	コロナウイルス感染症拡大防止のため交流会は中止とし、敬老の日にちなみ、手作りプレゼントを作成し遠山荘利用者様へお渡しした。	利用者 4名 職員 2名
R2.09.24	敬老交流会 (恵はあと)	コロナウイルス感染症拡大防止のため交流会は中止とし、敬老の日にちなみ、手作りプレゼントを作成し恵はあと利用者様へお渡しした。	利用者 4名 職員 1名
R2.10.06	ピクニックごっこ (運動会応援弁当)	運動会に向けて気持ちを高められるように子ども達が一人でも食べられる昼食にし、自分で食べる喜びとお友達とお外で食べる楽しさを味わった。	利用者 13名 職員 5名
R2.10.13	運動会 (キッズつぼみ単独)	運動会に参加する事で丈夫な体と豊かな心を育てると共に、最後まで頑張る気持ちを育てた。	利用者 20名 職員 10名
R2.10.30	クッキング (かぼちゃ茶巾絞り)	ハロウインの日にちなみ、かぼちゃを使ったクッキングを楽しんだ。	利用者 15名 職員 5名
R2.11.12	クッキング (フルーチェ)	自分で作る楽しさを味わい、それを食べる事により、食への興味を持たせる様に工夫した。	利用者 15名 職員 5名
R2.12.04	お遊戯会 (キッズつぼみ単独)	リズム表現をする事を楽しみ、クラスのお友達と関わりながら、ひとつの事をみんなで表現する楽しさを体験させた。	利用者 22名 職員 8名
R2.12.10	クッキング (ホットドッグ)	自分で作る楽しさを味わい、それを食べる事により、食への興味を持たせる様に工夫した。	利用者 15名 職員 5名
R2.12.24	クリスマス会	クリスマス会に興味関心が持てるようにし、お友達と楽しい時間を過ごせる様に工夫した。	利用者 20名 職員 8名
R3.01.15	クッキング (おにぎり)	昼食時、自分でおにぎりをにぎって食べる事で食への関心を持たせ食べる事への意欲に繋げた。	利用者 15名 職員 5名
R3.02.02	豆まき会	感染症流行のため豆まき会は中止とするが、少人数で自分で作ったお面を被り、節分を楽しんだ。	利用者 13名 職員 5名
R3.03.03	ひなまつり会	桃の節句をお祝いし、ひなまつりに関するクイズに答えたり、お内裏様、お雛様になり写真撮影を行った。	利用者 22名 職員 6名
R3.3.25,26	おもいでDVD鑑賞 お店屋さんごっこ	子ども達の1年の成長を喜び合うとともに、お友達同士関わり合いながらお店屋さんごっこをし、楽しい時間を過ごした。	利用者 22名 職員 8名

\*この他、該当月にお誕生会を実施する。

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R2.04.17	新任研修	管理者	保育士 2名
R2.05.20	コンプライアンス・プライバシー保護研修	管理者	保育士3名 栄養士
R2.05.21	コンプライアンス・プライバシー保護研修	管理者	保育士 4名
R2.05.28	食中毒予防について	栄養士	保育士 5名
R2.06.19	水遊びの安全性と危険性について	保育士	保育士 6名
R2.06.25	教材研究(夏の玩具)	保育士	保育士 4名
R2.11.25	新任職員研修	恵泉会	保育士 1名
R2.11.27	新任職員研修	恵泉会	保育士 1名
R2.12.14	コロナウイルス対策研修	管理者 保育士	保育士3名 栄養士
R2.12.25	書類様式確認		管理者 保育士 5名
R3.02.12	感染症対策(嘔吐処理について)	遠山荘看護師	管理者 栄養士 保育士4名
R3.02.19	事故研修について	保育士	管理者 保育士3名
R3.02.19	感染症対策(オムツ交換について)	遠山荘看護師	保育士4名
R3.02.26	エアコン・加湿器清掃について	保育士	管理者 保育士5名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R2.08.28	令和2年度保育施設等新型コロナウイルス感染症対策研修会	登米市	登米市	職員1名
R2.10.08	令和2年度登米市保・幼・小関連研修会	登米市	登米市	職員1名
R2.10.27	令和2年度感染予防対策セミナー	宮城県	登米市	職員1名
R2.10.30	令和2年度宮城県保育士等キャリアアップ研修(1日目)	宮城県	仙台市	職員1名
R2.11.02	気になる子どもの発達応援セミナー	宮城県	登米市	職員1名
R2.11.05	令和2年度宮城県保育士等キャリアアップ研修(2日目)	宮城県	仙台市	職員1名
R2.11.06	令和2年度宮城県保育士等キャリアアップ研修(3日目)	宮城県	仙台市	職員1名
R2.11.27	令和2年度保育施設長会議	登米市	登米市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	次月の行事予定、各部署からの連絡	毎月1回	全職員(保育状況を考慮)
保育会議	利用者の状況について	随時	保育士全員(保育状況を考慮)
給食会議	前月の給食の状況、改善点等	毎月1回	栄養士、保育士全員(保育状況を考慮)

(2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出席者
毎月1回	防災委員会	保育室	委員他
毎月1回	安全管理対策委員会	保育室	委員他
隔月1回	感染予防対策委員会	保育室	委員他
隔月1回	研修委員会 マニュアル検討委員会	保育室	委員他
必要時に開催	サービス向上委員会	保育室	委員他

【今後の取り組み】

今年度は冬から春先にかけて感染症が流行し、登米保健所指導の下、オムツ交換の仕方、清掃の仕方、消毒の仕方などを再度見直して、感染予防に努めてきました。現在、登米市内においても新型コロナウイルス感染症が流行していることから、引き続き感染予防対策を徹底していきます。尚、子ども達の状態を細かく把握する事により病状を早期発見し、保護者様に早期治療を呼びかけて感染症拡大防止に努めていきます。

また、感染症拡大防止を徹底していく中で地域交流の場は少なくなってきたが、その様な中でも地域の方々とのつながりを大切にし、キッズつばみの家庭的な雰囲気の中での手厚く充実した保育提供を外部へ発信できる機会を作っていきます。

# 令和2年度 特別養護老人ホーム光風園 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市登米町寺池金沢山60-3
- 2) 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会
- 3) 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会
- 4) 開 設 年 月 日 昭和51年4月1日
- 5) 事業・利用定員

事 業	利 用 定 員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	5 名
計	55 名

最大の課題であるコロナウイルス感染症予防については、圏域で感染者が拡大していますが感染者は出ませんでした。今後も緊張感を持ち対策に万全を期し安全に乗り越えられることを目標にしていきます。利用者介護については、特に看取り介護に力を入れ、重度・高齢化に対応しました。

また、職員の負担軽減や利用者の状態変化に対応できるよう見守りセンサーやタブレットを導入しITC化を図りました。開所45年を経過、施設設備の改修として全館のエアコン工事を実施し生活環境の整備を行い、入居されている方だけでなく地域の超高齢化に向けた対応も行いました。

## 【 重 点 項 目 】

1. ケアプランに基づいた適切な支援—栄養ケアマネジメント・口腔衛生・褥瘡マネジメントを継続して実施し、また、重度者の積極的受け入れも継続実施しました。
2. 看取り体制の整備—看取り介護の対象者4名に対し家族とのつながりを持ち、最後まで施設でできる限り穏やかに過ごせるよう嘱託医・協力病院と連携し実施しました。
3. 事故防止—ヒヤリハット・軽微・事故を含め65件で前年度127件と比較して約半減しました。職員が充足していたことや見守り機器の導入、コロナ禍により活動量が減ったことなどが原因と思われます。
4. ロボット等導入—見守りセンサー10台・ケアパレット2台を導入、利用者への迅速な対応、記録の分析による個人の体調管理や介護職員の負担軽減を行うことができました。
5. 在宅中・重度者の積極的な受け入れ—訪問看護ステーションと連携し、短期入所利用中も在宅時と変わらない体制で健康管理を実施することができました。
6. 施設整備—全館のエアコンの入替工事实施しました。今後も継続した施設設備等の更新を行い環境を整えていく必要があります。
7. 法人内他事業所との連携—老人施設長部会や専門部会を通じ登米・豊里エリア事業所で連携、協力体制を継続、入居者の情報共有等を実施、効率化を図っています。
8. 地域との連携—コロナウイルス感染症の拡大により地域の小学校や中学校、婦人部との定期的な交流及びオレンジカフェの開催はできませんでした。コロナウイルス感染症収束後に新たな関係性を構築する必要があります。
9. 災害時の連携—連携が必要な事案はありませんでしたが火災や自然災害時に備え、地域との協力体制を継続しBCP計画策定に繋がります。
10. 職員の質の向上—コロナ禍で、Webでの研修となりました。十分な回数や内容とまではいきませんでしたが、可能な範囲で参加、スキルアップにつなげることができました。また、施設内研修の定期的な開催や法人で実施する初任者研修に職員を派遣も行いました。
11. 安定経営に向けた取り組み—長期入所稼働率目標97%に若干届きませんでしたが、最大限目標数値に近づけることができました。短期入所はエアコン工事で受け入れ制限を行いました。
12. 社会のニーズに対応—コロナ禍でもできる限りの受入れを柔軟に行ってきました。感染予防とのバランスは非常に難しくはありますが今後も慎重にサービス提供を行っていきます。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 17,666 名
2. 年間稼働率 96.80 %  
(目標稼働率 97.00 %)
3. 年間平均介護度 4.09
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	10	0	316
要介護3	233	248	240	242	217	210	210	180	195	217	196	217	2,605
要介護4	726	827	810	837	836	840	882	784	844	848	777	832	9,843
要介護5	417	415	404	434	389	390	403	405	411	416	384	434	4,902
計	1,406	1,521	1,484	1,544	1,473	1,470	1,526	1,399	1,481	1,512	1,367	1,483	17,666

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	4	0	1	0	1	0	1	3	2	2	0	1	15
退所者数	0	1	0	1	0	1	2	3	2	0	1	1	12
月末入所者数	50	49	50	49	50	49	48	48	48	50	49	49	+3

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

年間実施回数 23 回

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2.06.17 ～19	香りの湯	湯船に浸かりながら、草花の香り等から五感を養っていた だき、身体をリフレッシュしていただきました。	利用者 53名 職員 21名
R2.07.28	納涼会	夏の涼を実感してもらおうと共に昔ながらの駄菓子屋やゲーム を楽しんで頂きました。	利用者 45名 職員 10名
R2.08.13 ～16	盆供養	利用者職員で祖先を敬い、亡くなられた方々のご冥福を 祈りました。	利用者 23名 職員 8名
R2.08.19 ～21	香りの湯	湯船に浸かりながら、草花の香り等から五感を養っていた だき、身体をリフレッシュしていただきました。	利用者 54名 職員 21名
R2.09.18	長寿を祝う会	長寿を祝い、長年の労に感謝し、幸せを願い、職員の余 興等を楽しんで頂きました。	利用者 45名 職員 12名
R2.10.14 ～16	香りの湯	湯船に浸かりながら、草花の香り等から五感を養っていた だき、身体をリフレッシュしていただきました。	利用者 50名 職員 21名
R2.12.15 ～17	香りの湯	湯船に浸かりながら、草花の香り等から五感を養っていた だき、身体をリフレッシュしていただきました。	利用者 52名 職員 21名
R3.01.05	新年会	余興等を楽しみながら新年を祝い、また、1年間健やかに過ごす ことが出来るよう利用者・職員で新年をお祝いしました。	利用者 53名 職員 13名
R3.02.02	節分	節分という伝統行事を、利用者・職員共に楽しみながら、 一年間の無病息災を願いました。	利用者 53名 職員 21名
R3.02.18 ～20	香りの湯	湯船に浸かりながら、草花の香り等から五感を養っていた だき、身体をリフレッシュしていただきました。	利用者 50名 職員 21名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 879 名
2. 年間稼働率 48.16 %  
(目標稼働率 97.00 %)
3. 年間平均介護度 3.48
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	3	25	2	3	7	7	13	13	6	7	7	7	100
要介護2	14	16	6	4	4	20	7	18	2	0	5	19	115
要介護3	11	7	7	4	0	0	1	7	11	8	19	17	92
要介護4	44	55	22	30	21	33	52	18	34	44	22	33	408
要介護5	3	9	10	6	0	0	12	29	18	35	16	26	164
計	75	112	47	47	32	60	85	85	71	94	69	102	879

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R2.04.01	公用車特殊車両取扱・設備関係(止水栓等)について	主任	転勤者5名
R2.04.20	人事考課者研修会	理事長他	光風園職員2名
R2.04.28	防災関係(非常設備・避難経路等)について	主任	光風園職員27名
R2.05.07	介護保険について	主任	光風園職員2名
R2.05.26	身体拘束廃止事例検討について	介護福祉士	光風園職員11名
R2.06.23	食中毒予防について	管理栄養士	光風園職員14名
R2.08.11	新型コロナウイルスとは?蔓延防止について	准看護師	光風園職員9名
R2.08.27	集団感染予防研修	施設長	光風園職員7名
R2.08.27	介護予防研修「脱水・水分補給」	看護師	光風園職員7名
R2.09.01	個人防護具の着脱方法、手洗い・手指消毒	准看護師	光風園職員11名
R2.09.23	看取り(終末期介護について)	看護師	光風園職員14名
R2.10.06	施設内ゾーニング基本的な考え方・消毒方法	准看護師	光風園職員10名
R2.10.13	施設の中でウイルスを広めないための研修	厚労省配信動画	光風園職員5名
R2.10.27	コンプライアンス研修	施設長	光風園職員14名
R2.11.25	恵泉会新任職員研修	理事長他	光風園職員1名
R2.12.15	新型コロナウイルス感染症・食事・入浴・排泄	准看護師	光風園職員11名
R2.12.22	身体拘束廃止事例検討について	介護福祉士	光風園職員13名
R3.01.26	心肺蘇生法の確認とAEDの活用方法	看護師	光風園職員12名
R3.02.24	介護事故防止	介護福祉士	光風園職員14名
R3.03.23	認知症介護基本研修	看護師	光風園職員27名
R3.03.23	プライバシー保護について	副主任	光風園職員11名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R2.8.18	介護保険施設等感染防御スタッフ研修会	登米市	登米市	職員2名
R2.8.27	新型インフルエンザ等感染対策研修	登米市	登米市	職員1名
R2.9.30	令和2年度新型コロナウイルス感染症対策研修会	登米市	登米市	職員1名
R2.10.5	HACCP導入推進セミナー	ダスキン・宮城県食品衛生協会	登米市	職員1名
R2.10.29	診療看護師の役割と活動の状況	東北医科薬科大学	登米市	職員8名
R2.11.27	社会福祉施設新任職員研修会	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	職員1名
R2.11.28	社会福祉施設新任職員研修会	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	職員1名

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	事業計画の遂行並びに各種報告及び課題について検討	毎月第三金曜日	光風園全職員
連絡会議	各セクションの代表者により次週並びに翌月の事業予定について検討	随時	各セクションの代表者
サービス担当者会議	ケアプランに基づき適切なサービスが実施されるよう検討	入所時	各セクションの代表並び担当
ケア会議	利用者介護の質の向上とケアの課題等を協議	毎月第2金曜日	介護・看護スタッフ、相談員
ケアカンファレンス	利用者への援助過程に於いて、的確な援助を行うため討議	随時	各セクションの職員
給食会議	食事サービスの質的向上を図るため、実施	毎月1回	代表利用者・給食事業者・給食委員
サービス評価会議	法人のサービス評価基準に則り、施設としての自己評価を実施	年2回	各セクションの代表者
各種部会	法人内の各部門別の検討事項について協議	月1～2回	各部会代表者

## 3. 委員会開催状況

### (1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
感染症対策検討委員会	感染症の予防及び蔓延防止の検討	火曜日	施設長と委員
褥瘡予防検討委員会	利用者個々人の分析・評価による予防対策の検討		
研修委員会	職員の資質及びサービスの質的向上に向けた検討	火曜日	委員
マニュアル検討委員会	既存のマニュアルの見直し、新規マニュアルの作成を行う		
サービス向上検討委員会	介護サービスの質的向上に向けた検討	火曜日	施設長と委員
個別ケア検討委員会	利用者の個々の状況に応じた支援方法の検討		
リスクマネジメント委員会	介護事故防止の検討	火曜日	施設長と委員
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束の完全廃止に向けての検討		
防災委員会	消防計画の立案及び訓練の実施について検討	随時	委員
入所判定委員会	第三者委員を交えて入所申込み者の入所順位を決定する	3ヶ月おき開催	施設長と委員

### 【今後の取り組み】

1. 感染症や災害への対応力強化—研修や環境整備、対応マニュアル等の見直しや備蓄品の確保。訓練の定期実施。関係機関、法人内施設及び地域住民との連携を図ります。
2. 地域包括ケアシステムの推進、地域との連携—住み慣れた地域において、利用者の尊厳を保持しつつ、サービスが切れ目なく提供されるよう、認知症対応力強化、看取り介護の充実など取り組みを推進します。
3. 自立支援・重度化の防止の取り組みの推進—制度の目的に沿って、質の評価やデータの活用を行いながら、科学的に効果が裏付けられた質の高いサービスの提供。寝たきり、重度化防止を推進します。
4. 介護人材の確保・介護現場の革新—職員のモチベーションアップに繋がる人事考課制度の活用とさらなる充実。Web等を活用した研修機会の確保。見守り機器等の有効活用と他のテクノロジー導入検討による労働環境の改善を推進します。
5. 事故防止—研修や資格取得に重点を置き、職員の専門知識を高めると共に、利用者との関係を構築し介護事故防止に努めます。また、働く環境を整備し職員の労働災害防止に努めます。
6. 施設整備—施設設備が老朽化しており、計画的な改修等が行えるよう、広い視野と地域の実情や福祉施策を踏まえ慎重に検討を進めます。
7. 法人内他事業所との連携—安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一丸となり、協力体制を構築し支え合う体制を作ります。
8. 地域との連携—地域の小学校や中学校、婦人部との定期的な交流を継続し、認知症のオレンジカフェを開催します。
9. 職員の質の向上—個人の経験や能力に合わせた研修に参加、スキルアップにつなげ、また施設内研修の定期的な開催や法人で実施する初任者研修や国試、ケアマネ試験対策講師に職員を派遣し、先輩職員が後輩職員を育成する土壌を作ります。



# 令和2年度 特別養護老人ホーム松風園 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 登米市豊里町笑沢153-62
- 2) 設 置 主 体 社会福祉法人恵泉会
- 3) 経 営 主 体 社会福祉法人恵泉会
- 4) 開 設 年 月 日 昭和58年4月1日
- 5) 事 業・利用定員

事 業	利 用 定 員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	4 名
計	54 名

2025年を「超高齢・介護成熟社会」とするために、地域包括ケアの中核となる介護事業所の役割が注目されています。地域包括ケアシステムを深化・推進していく観点から「医療・介護の連携」「縦割」から“我が事・丸ごと”へ転換する地域共生社会の実現にむけた取り組みの推進が重要視されます。

超高齢化社会となり、65歳以上の人口割合が増す中で、高齢者と障害児者が同一のサービスを受けられる「共生型サービス」や「予防」の認知症介護の推進を図りながら、現役世代(担い手)の減少が進む、2040年を見据えて、介護人材不足などの対応を考えた多様なサービスの展開と、事業所間、地域連携が求められています。

施設運営にあっても、恵泉会理念である「人間の尊厳」「主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」を強く意識し、今日の社会を築き上げてきた利用者お一人おひとりに、最期の一瞬まで、自分らしく生きられる社会へ、予防から看取りまで、その人らしさを輝かせる高齢者福祉をリードする、この展望を掲げて介護、支援していきます。

そして、すべての利用者に楽しく、“自信”と“誇り”“望み”をもって、その人らしい生活を営むことが出来る様、職員と利用者が「想いを一つに、幸せを感じて」をモットーに個別ケアに対応したサービス提供に取り組んでいきます。

## 【 重 点 項 目 】

### 1 「幸せを感じて」いただく取り組み

1. 利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加を促しその人らしい生活が送れる様に支援します。
  - ・利用者及び家族の意向を尊重したケアプランを作成し、個々のニーズに則した生活が継続出来るように支援しました。
  - ・常に利用者の意向に耳を傾け、茶話会や生きがいケア等により、施設生活の中で喜びを感じて頂けるよう支援に努めました。
2. 利用者の個々の能力に応じて自立した生活を営み、「潤いのある生活」「充実した時間」を過ごせるよう、買い物、余暇、趣味活動等様々な場面で提供します。
  - ・リハビリ等必要な利用者の方に対して、個別リハビリに取り組み、残存機能維持、向上に努めました。
  - ・ふれあいケア、生きがいケアを通じ、利用者お一人おひとりと関わる時間を設けることにより、寄り添う介護が実践できました。

### 2 サービス向上に向けた取り組み

3. ケアパレット・介護ロボット導入し、介護業務の効率化・最適化を図るとともに、介護職員の業務負担の軽減をすすめます。
  - ・ケアパレット・介護ロボット導入により、介護業務の効率化・最適化が図れています。また介護ロボットにより、利用者の方の状況がパソコンで表示され、健康状態の把握ができています。
4. 中重度・認知症高齢者の積極的な受け入れを行い、対応できる様に医療機関・関係機関との連携を密にし、精神面でのケアの充実と身体的機能の維持向上に努めます。
  - ・短期入所生活介護利用の際、医療機関との連携が図れるよう調整し、利用者の緊急時受け入れも対応出来ています。地域との連携を密にして、地域包括ケアシステムの中核施設としての役割を果たすよう努めました。

5. 介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら、介護事故防止に努めます。
  - ・事故発生の原因分析から、改善案を探り事故防止策の検討を行い、その周知徹底を図り再発防止に努めました。
  - ・常に利用者支援の中に潜むリスクに着目し、事故防止に努めるのはもとより、利用者個々の詳細な行動を分析し、職員間の周知徹底に努めました。

### 3 職員の資質、専門性の向上の取り組み

6. 職員が意欲と自信をもって働ける様に、積極的に研修に参加させ、基本に忠実な介護実践と、一步先を見通せる職員の育成に努めます。
  - ・新型コロナウイルス感染症防止のため、外部への研修を全職員参加することは困難でしたが、オンラインでの研修に積極的に参加しました。
7. 法人内で実施している研修(介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策)への講師派遣により次世代の人材育成を行います。
  - ・法人内で実施している研修について、新型コロナウイルス感染症防止のため、オンライン研修等での講師派遣により、次世代の人材育成に努めました。
8. 社会福祉士・介護福祉士実習指導施設として資格取得に向けた実習生、各種ボランティアを積極的に受け入れ、次世代の介護の担い手育成と、人材確保に繋がります。
  - ・新型コロナウイルス感染症防止のため、施設への受け入れはできませんでしたが、東北医科薬科大学東北医科薬科大学医学部学生の介護在宅医療体験実習において、オンラインによる質問を受け入れました。今後は、WEB対応等の工夫をし、実習生、各種ボランティアの需要が増えるよう魅力のある施設に努めていきます。

### 4 地域貢献、地域連携の取り組み

9. 情報公開を積極的に行い、利用者家族はもちろん、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたります。
  - ・利用者家族はもちろん、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、事業運営に取り組みました。また信頼できる事業運営を行えるように継続していく必要があります。
10. 地域貢献事業、地域交流として認知症カフェ「とよさと」を豊里・津山地域の介護事業所合同で開催します。
  - ・津山・豊里地域包括支援センターや地域の介護事業所と協賛し、認知症カフェ企画・運営会議を開催し、情報交換に努めました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、実施できませんでしたが、活動を再開する方向で、準備してまいります。
11. 安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって、協力体制を構築し、支え合う体制を整えます。
  - ・法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって協力し、支えあう体制を強化することで、安定経営に努めていきます。
12. 地域(庚申地区)との災害協定を結び、また、既に災害協定を締結している他施設(迫風園、南風園)と連携し、災害時(火災・地震・防犯・原発事故等)の対応を行います。
  - ・様々な想定での防災訓練を実施し、地震火災時の防火訓練はもとより原子力災害(UPZ圏内)対策について避難計画、マニュアル策定し訓練を行いました。

### 5 継続可能な事業運営の取り組み

13. 毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めます。
  - ・毎月の事業収支、利用状況を会議で周知しました。稼働率は概ね達成し、省エネは毎月の使用量をみて職員に周知しています。
14. 中長期計画の作成を行い、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員が共有しながら事業の展開を行います。
  - ・中長期の事業目標、収支・施設整備・新規事業等については、会議を通して全職員に周知し共有しています。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 17,653 名
2. 年間稼働率 96.73 %  
(目標稼働率 97.00 %)
3. 年間平均介護度 4.28

4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
要介護2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	25	24	31	355
要介護3	90	93	120	122	97	90	93	90	93	93	84	93	1,158
要介護4	790	809	767	813	790	795	831	770	775	761	697	799	9,397
要介護5	500	501	471	549	547	527	589	570	644	634	579	632	6,743
計	1,410	1,434	1,388	1,515	1,465	1,442	1,544	1,460	1,543	1,513	1,384	1,555	17,653

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	2	1	1	0	2	0	0	2	1	(1)	1	11
退所者数	2	1	1	0	0	2	0	2	0	1	1	0	10
月末入所者数	48	49	49	50	50	50	50	48	50	50	50	51	+1

( )はやむ措置入所

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2.04.22	春祭り	職員紹介(担当)後、職員によるアトラクションを楽しみました。	利用者 40名 職員 14名
R2.05.7.8.9	菖蒲湯	菖蒲を湯に浮かべ無病息災の縁起を担ぎ、季節を感じていただきました。	利用者 48名 職員 6名
R2.06.07	屋外食	晴天の中、日光浴を行いながら外のテラスでテーブルを囲み昼食を食べていただきました。	利用者 3名 職員 1名
R2.06.08	ゲーム大会	ペットボトルボーリングを点数で競い楽しく気分転換を図っていただきました。	利用者 15名 職員 3名
R2.07.07	七夕会	七夕飾りを見て楽しみながら願い事を発表し季節を感じていただきました。	利用者 19名 職員 3名
R3.07.17	夏祭り	スイカ割、水ヨーヨー、くじ引き等夏を感じていただき楽しんでいただきました。	利用者 50名 職員 18名
R2.08.21	盆供養	香林寺住職が来園し、故人の冥福を祈りました。	利用者 13名 職員 5名
R2.08.29	ゲーム大会	クイズを出題し脳トレーニングしながら楽しんでいただきました。	利用者 17名 職員 4名
R2.09.18	長寿を祝う会	利用者の長寿に敬意を表し、家族様と共に祝い、皆さんとアトラクションを楽しんでいただきました。	利用者 50名 職員 18名
R2.10.01	お月見会	十五夜に因んだ由来を聞きながら中秋の名月を祝いました。	利用者 21名 職員 7名
R2.10.09	芋煮会	野外で芋煮を行い季節を感じていただきました。	利用者 25名 職員 6名
R2.10.31	レクリエーションゲーム大会	ペットボトルにお手玉を当て倒すゲームを楽しんでいただきました。	利用者 20名 職員 3名
R2.11.06	焼き芋会	野外で焼き芋を行いおやつに食べていただきました。	利用者 49名 職員 5名
R2.11.08	紅葉散策	紅葉のきれいな園庭を散歩し気分転換を図っていただきました。	利用者 9名 職員 8名
R2.11.24	ゲーム大会	紅白に分かれて玉入れゲームを行い楽しんでいただきました。	利用者 15名 職員 3名

R2.12.21.2 2.23	ゆず湯	ゆずの香りに包まれながら、1年の疲れを癒し、季節を感じていただきました。	利用者 50名 職員 6名
R2.12.25	クリスマス会	利用者と職員でハンドベルを演奏し、クリスマスの雰囲気の中サンタクロースよりプレゼントを頂き、楽しいひと時を過ごしました。	利用者 23名 職員 10名
R2.12.28	餅つき大会	杵と臼で餅つきを行い、正月の準備としてみずの木に餅や飾り付けを行いました。	利用者 17名 職員 3名
R3.01.14	新年会	新年にあたり甘酒を頂き、職員による獅子舞にて悪魔を追い払い、その後かるた取りを行い新年会を楽しみました。	利用者 41名 職員 14名
R3.01.26	お正月遊び	福笑いなどの懐かしいお正月遊びを行い楽しんでいただきました。	利用者 9名 職員 2名
R3.02.03	節分	年祝い者による節分豆まきを行い、無病息災を祈りました。	利用者 50名 職員 12名
R3.03.03	ひな祭り会	ひな祭りの歌を皆さんで合唱し、ひなあられや甘酒を頂きました。その後カラオケを行い楽しい一時を過ごしています。	利用者 23名 職員 4名
R3.03.19	彼岸供養	香林寺住職が来園し、利用者と共に故人の冥福を祈っていただきました。	利用者 15名 職員 2名

### 【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 1,433 名
2. 年間稼働率 98.15 %  
(目標稼働率 94.00 %)
3. 年間平均介護度 3.11
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	29	19	18	32	27	21	13	19	12	3	3	3	199
要介護2	15	10	17	20	22	18	28	25	27	47	47	48	324
要介護3	31	26	27	26	49	48	38	35	35	46	27	27	415
要介護4	16	22	12	10	4	6	7	7	6	5	7	12	114
要介護5	48	59	40	25	30	29	23	29	26	25	24	23	381
計	139	136	114	113	132	122	109	115	106	126	108	113	1,433

### 【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況  
(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R2.04.03	防災機器等の取扱いについて	生活相談員	職員4名
R2.4.5.6	公用車の操作方法について	介護福祉士	職員4名
R2.04.21	入浴介助及び機器操作について	介護福祉士	職員5名
R2.04.28/5.7.11.13	法令遵守	施設長	職員24名
R2.05.15	腰痛予防について	准看護師	職員8名
R2.05.26	食中毒予防研修	管理栄養士	職員9名
R2.06.10.11	スライドシートの使用方法について	介護福祉士	職員10名
R2.06.16.17.30	オムツ交換について	介護福祉士	職員16名
R2.07.20	褥瘡対策について	准看護師	職員8名
R2.08.17	新型コロナウイルス感染症対策について	看護師	職員7名
R2.08.24	口腔ケアについて	看護師	職員8名
R2.09.15	介護保険について	生活相談員	職員7名
R2.09.23	介護事故対策について	介護福祉士	職員6名
R2.10.15	ポジショニング研修	(百楽荘)作業療法士	職員23名
R2.10.20	スライドボード移乗介助について	介護福祉士	職員6名
R2.10.30	介護記録の書き方	介護福祉士	職員7名
R2.11.18.21.22	公用車の操作方法について	職員3名	職員26名
R2.11.27	看取り研修	看護師	職員7名
R2.11.27	感染症研修	看護師	職員7名

R2.12.12	急変時対応について	看護師	職員9名
R2.12.15	体位交換について	介護福祉士	職員7名
R2.12.21	ポジショニング研修	(百楽荘)作業療法士	職員11名
R2.12.22	身体拘束廃止・高齢者虐待について	介護福祉士	職員6名
R3.01.06	公用車の操作方法について	介護福祉士	職員10名
R3.01.16	着脱介助について	介護福祉士	職員7名
R3.01.27	感染症について	看護師	職員7名
R3.01.29	ポジショニング研修	(百楽荘)作業療法士	職員12名
R3.02.12	ポジショニング研修	(百楽荘)作業療法士	職員9名
R3.02.24	急変時の対応	准看護師	職員9名
R3.03.09	排泄介助について	介護福祉士	職員9名
R3.03.22	ポジショニング研修	(百楽荘)作業療法士	職員13名
R3.03.24	防災機器等の取扱いについて	介護福祉士	職員7名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R2.04.20	人事考課者研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R2.06.05	WJU管理職育成コンサル「マネジメントミーティング」	恵泉会	法人本部	職員1名
R2.06.18	登米管内介護保険施設等管理者対象感染対策基礎研修	宮城県東部保険福祉事務所	登米市	職員1名
R2.08.03	令和2年度認知症カフェ研修会	登米市	登米市	職員1名
R2.09.01	新型インフルエンザ等感染対策推進事業介護保険施設等感染防御スタッフ研修	宮城県登米保健所	登米市	職員2名
R2.10.05	HACCP導入セミナー(食品事故を防ぐために)	ダスキン	登米市	職員1名
R2.11.05	利用者預り金管理規定改訂に係る説明会	恵泉会	登米市	職員1名
R2.11.25.27	令和2年度恵泉会新任職員研修	恵泉会	登米市	職員1名
R2.12.11	令和2年度福祉レクリエーション研修	宮城県社会福祉協議会	登米市	職員1名
R2.12.23	令和3年度介護報酬改定の詳細と事前対策(オンライン)	NDソフトウェア(株)	登米市	職員1名
R2.12.25	新型コロナウイルス感染症に関する高齢者施設での対応(Web)	宮城県	登米市	職員1名
R3.02.09	令和2年度リスクマネジメント研修(オンライン)	宮城県社会福祉協議会	登米市	職員1名
R3.02.15	令和2年度OJT指導者養成研修(オンライン)	宮城県社会福祉協議会	登米市	職員1名
R3.02.24	権利擁護と高齢者虐待防止(オンライン)	宮城福祉オプスネット「エール」	登米市	職員1名
R3.03.04	ポジショニング研修(オンライン)	パラマウントベット(株)	登米市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	各職種の連絡調整に関する事項の協議	第3水曜日	施設長、各部代表者
サービス担当者会議	サービス提供に関する事項の協議	随時	施設長、介護支援専門員、各部代表
連絡調整会議	松風園、百楽荘との連携	第1水曜日	施設長、各部代表者
ケア会議	利用者サービス内容及びケア内容等の検討	第3水曜日	施設長、介護支援専門員、各部代表

(2) その他の会議

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
R2.08.24	認知症カフェ企画・運営会議	登米市豊里町	職員1名
R3.02.15	登米市地域ケア会議	登米市役所南方庁舎	職員2名
R3.03.12	認知症カフェ企画・運営会議	登米市豊里町	職員1名

### 3. 委員会開催状況

#### (1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
サービス向上検討委員会	利用者の自立促進のための評価項目毎の自己評価	第4木曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災訓練の計画と実施、安全対策の内容検討	随時	施設長、防火管理者、各委員
マニュアル検討委員会	職員の業務標準化を目指しマニュアルの検討	第3木曜日	施設長、各委員
感染症対策委員会	感染症の防止と対策を図る	随時	施設長、各委員
リスクマネジメント検討委員会	リスクの検証、検討、評価の実施	第2木曜日	施設長、各委員
褥瘡対策委員会	褥瘡の発生要因と予防の検討	随時	施設長、各委員
身体拘束廃止・高齢者虐待廃止検討委員会	身体拘束の改善と処遇の検討	随時	施設長、各委員

#### (2) その他の委員会

開催日	内 容	場 所	出 席 者
R2.06.03	令和2年度第1回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
R2.09.03	令和2年度第2回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
R2.12.04	令和2年度第3回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
R3.03.04	令和2年度第4回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員

### 【施設機能の開放】

#### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

##### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
計			0名

##### (2) 実習

年月日	団 体 名	実習内容	実人数	延人数
R2.11.13	東北医科薬科大学医学部2年	介護在宅医療体験実習 インタビュー(WEB)		6名
計				6名

### 【今後の取り組み】

#### 1 「幸せを感じて」いただく取り組み(自立支援・重度化防止)

- ・利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加を促しその人らしい生活が送れる様に支援します。
- ・利用者個々に、リハビリや日々の過ごし方についてのアセスメントを実施し、それに基づいて、施設サービス計画の策定・実施・評価を行います。

#### 2 サービス向上に向けた取り組み

- ・ケアパレット・介護ロボットを活用し、介護業務の効率化・最適化を図るとともに、介護職員の業務負担の軽減をすすめます。
- ・中重度・認知症高齢者の積極的な受け入れを行い、対応できるように医療機関・関係機関との連携を密にし、精神面でのケアの充実と身体的機能の維持向上に努めます。
- ・医療・福祉関係の資格を有さない介護職員については、認知症介護基礎研修の受講により、認知症対応力を身につかせます。
- ・介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら、介護事故防止に努めます。

#### 3 介護人材確保・職員の資質、専門性の向上の取り組み

- ・職員が意欲と自信をもって働ける様に、ハラスメント対策の強化を図ります。また、積極的に研修に参加させ、基本に忠実な介護実践と、一步先を見通せる職員の育成に努めます。
- ・法人内で実施している研修(介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策)への講師派遣により次世代の人材育成を行います。
- ・社会福祉士・介護福祉士実習指導施設として資格取得に向けた実習生、各種ボランティアを積極的に受け入れ、次世代の介護の担い手育成と、人材確保に繋がります。

#### 4 地域包括ケアシステムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み

- ・ 住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたります。
- ・ 地域貢献事業、地域交流として認知症カフェ「とよさと」を豊里・津山地域の介護事業所合同で開催します。
- ・ 安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって、協力体制を構築し、支え合う体制を整えます。
- ・ 地域(庚申地区、笑沢・平林事業所連絡協議会)との災害協定を結び、また、既に災害協定を締結している他施設(迫風園、南風園)と連携し、災害時(火災・地震・防犯・原発事故等)の対応を行います。

#### 5 感染症や災害への対応力強化に向けた取組

- ・ 感染症対策として、現行の感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修、訓練について実施します。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、利用者が家族等との面会が制限されている状況を解消するため、iPad活用によるオンライン面会を継続します。

#### 6 制度の安定性・持続可能性の確保

- ・ 業務継続に向けた取組として、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、業務継続に向けた計画(BCP)の策定、研修、訓練の実施を進めます。
- ・ 毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めます。
- ・ 中長期計画の作成を行い、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員が共有しながら事業の展開を行います。

# 令和2年度 豊里デイサービスセンター百楽荘 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市豊里町笑沢153-78 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会        |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会        |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成8年4月1日          |
| 5. 利 用 定 員   | 30名               |

## 【 基 本 方 針 】

2025年を「超高齢・介護成熟社会」とするために、地域包括ケアの中核となる介護事業所の役割が注目されています。地域包括ケアシステムを深化・推進していく観点からの見直しが行われ、「医療・介護の連携」「縦割」から“我が事・丸ごと”へ転換する地域共生社会の実現にむけた取り組みの推進が重要視されています。

超高齢化社会となり、65歳以上の人口割合が増す中で、高齢者と障害児者が同一のサービスを受けられる「共生型サービス」や「予防」の認知症介護の推進を図りながら、現役世代(担い手)の減少が進む2040年を見据えての介護人材不足などの対応を考えた多様なサービスの展開と事業所間、地域連携が求められています。

施設運営にあっても、恵泉会理念である「人間の尊厳」「主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」を強く意識し、今日の社会を築き上げてきた利用者お一人おひとりに、最期の一瞬まで、自分らしく生きられる社会へ、予防から看取りまで、その人らしさを輝かせる高齢者福祉をリードします。この展望を掲げて介護、支援していきます。

そして、すべての利用者へ、楽しく、“自信”と“誇り”“望み”をもって、その人らしい生活を営むことが出来る様、職員と利用者が「想いを一つに、幸せを感じて」をモットーに個別ケアに対応したサービス提供に取り組んでいきます。

## 【 重 点 項 目 】

### 1 「幸せを感じて」いただく取り組み

1. 利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加を促しその人らしい生活が送れる様に支援しています。季節行事を取り入れ、出来るだけ地域イベントへ参加できるように支援しました。
2. 利用者の個々の能力に応じて自立した生活を営み、「潤いのある生活」「充実した時間」を過ごせるよう、買い物、余暇、趣味活動等提供しています。個々の能力に応じ、余暇活動、レクリエーションや園芸活動、趣味活動を提供しました。

### 2 サービス向上に向けた取り組み

3. ケアパレットを導入し、介護業務の効率化・最適化を図るとともに、介護職員の業務負担の軽減をすすめています。介護業務の効率化・最適化が図れ、業務負担の軽減は図れるようになっていきます。
4. 作業療法士による個別機能訓練(個別機能訓練加算1)により利用者の機能維持・向上を図っています。希望者に対し、個別機能訓練の実施で、利用者の機能維持・向上は図れるようになっていきます。
5. 介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら、介護事故防止に努めています。リスクを検証することで、全職員での共有は図れるようになって来ていますが、十分ではないのでリスクの検証を深め介護事故防止の徹底を図っていくことの継続が必要です。

### 3 職員の資質、専門性の向上の取り組み

6. 職員が意欲と自信をもって働ける様に、積極的に研修に参加させ、基本に忠実な介護実践と、一步先を見通せる職員の育成に努めています。積極的な研修への参加は消極的なので参加意欲を持たせるようにします。また、今年度は、新型コロナウイルス感染予防の為、外部への研修を全職員参加することは困難でしたが、Webを利用し、研修に参加できるものは参加しております。
7. 法人内で実施している研修(介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策)への講師派遣により次世代の人材育成を行っていました。継続して次世代の人材育成に努めていきます。
8. 社会福祉士・介護福祉士実習指導施設として今後とも資格取得に向けた実習生・各種ボランティアを積極的に受け入れ、次世代介護の担い手育成と人材確保に繋げています。新型コロナウイルスの影響により、実習生、ボランティアの受け入れは難しかったです。今後は、工夫(Web対応等)をし、実習生、各種ボランティアの需要が増えるよう魅力のある施設に努めていきます。

### 4 地域貢献、地域連携の取り組み

9. 情報公開を積極的に行い、利用者、利用者家族はもちろん、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたっています。利用者家族はもちろん、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、信頼できる施設運営を行えるよう継続していく必要があります。



10. 社会福祉法人として食事代無料化とし、利用者負担の軽減を図っています。利用者負担の軽減は図れていますので今後も継続して行き、負担なく必要なサービスを提供できるように支援していきます。
11. 地域貢献事業・地域交流として、認知症カフェ「とよさと」を豊里・津山地域の介護事業所合同で開催しています。今年度は、コロナ禍の中感染拡大予防の観点から実施できませんでしたが、活動を再開する方向で準備してまいります。
12. 安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって協力体制を構築し支え合う体制を整えています。協力体制を構築し支え合う体制を強化することで安定経営に努めていきます。
13. 登米市の福祉避難所として災害発生時、登米市と共同し一般避難所等で生活が困難な高齢者や障害者等の受け入れ支援を行っています。登米市の福祉避難所としての役割を果たせるよう体制を十分に整備してまいります。

## 5 継続可能な事業運営の取り組み

14. 毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めています。事業収支、利用状況を的確に捉え、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを継続して行ってまいります。
15. 中長期計画の作成を行い、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員が共有しながら事業の展開を行っています。全職員で共有しながら事業の展開を行っていくことへの周知徹底してまいります。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 8,549 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 91.92 % (通所介護＋総合事業)  
(85.02) % (通所介護)  
(6.90) % (総合事業)  
(0.00) % (生きがい)
4. 年間平均介護度 1.98 (通所介護)

### 5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	189	208	207	218	212	220	241	239	237	208	227	272	2,678
要介護2	251	254	272	286	272	263	291	278	292	248	249	279	3,235
要介護3	145	141	141	148	149	151	153	133	126	117	113	123	1,640
要介護4	24	36	20	20	19	23	21	8	8	8	8	18	213
要介護5	24	27	26	24	21	6	2	0	0	0	0	11	141
計	633	666	666	696	673	663	708	658	663	581	597	703	7,907
事業対象者	4	4	5	4	5	4	4	5	4	4	4	5	52
要支援1	9	8	9	9	11	12	13	6	6	4	7	7	101
要支援2	44	47	44	47	40	36	45	38	37	38	40	33	489
計	57	59	58	60	56	52	62	49	47	46	51	45	642
合計	690	725	724	756	729	715	770	707	710	627	648	748	8,549

### 6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	2	1	1	0	0	2	2	0	0	0	3	3	14
契約終了者数	1	1	3	1	0	1	2	1	3	0	3	2	18
月末契約者数	78	78	76	75	75	76	76	75	72	72	72	73	

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2.04.09～11	お花見	ドライブを兼ねて近隣のお花見へ外出する	利用者 54名 職員 16名
R2.07.06～07	七夕会	七夕飾りを眺めながら映写会を楽しむ	利用者 60名 職員 18名
R2.08.06	夏祭り	利用者の方全員で花笠音頭を踊り、スイカ割りやくじ引きを行い、夏祭りを楽しむ	利用者 31名 職員 9名
R2.09.14～16	長寿を祝う会	利用者の方々に長寿をお祝いする	利用者 84名 職員 26名
R2.10.14	芋煮会	施設内にて、野菜を切るなど芋煮会の気分を味わっている	利用者 30名 職員 10名
R2.11.04	焼き芋会	焼き芋を食べながら、季節を感じ、利用者間での交流を深める	利用者 24名 職員 8名
R2.11/10.12.18.27	リンゴ園見学	市内の果樹園にてリンゴ狩りを楽しむ	利用者 42名 職員 12名
R2.12.16～18	クリスマス忘年会	ツリーを眺めながら、ビンゴを楽しむ	利用者 82名 職員 30名
R2.12.23	餅つき	杵と臼で餅つきを行い、みずの木に飾り付けを行う	利用者 23名 職員 8名
R3.01.07～09	新年会	新年を祝い、絵馬づくりを楽しんで頂く	利用者 82名 職員 25名
R3.02.03～05	節分豆まき	年男・年女の利用者が袴を着て、豆まきを行い福を招く	利用者 78名 職員 28名
R3.03.03	ひな祭り	雛人形作りを行い、雛饅頭や甘酒を召し上がっていただく	利用者 28名 職員 10名
実 施 回 数		12 回	延べ参加者数 818 名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者数
R2.04.20	公用車リフト操作手順	介護福祉士	3名
R2.04.28～5.7	法令順守(コンプライアンス研修)	施設長	11名
R2.05.16	口腔ケアの方法について	准看護師	3名
R2.05.27	着脱について	介護福祉士	5名
R2.05.28	移乗について	介護福祉士	4名
R2.06.01	記録について	管理者	5名
R2.06.03	食中毒予防について	管理栄養士	6名
R2.07.04	実習受け入れについて	介護福祉士	3名
R2.07.30	排泄介助について	介護福祉士	4名
R2.08.27	体位交換とポジショニングについて	作業療法士	3名
R2.10.05	入浴介助について	介護福祉士	4名
R2.12.23	身体拘束について	介護福祉士	4名
R3.01.26	オムツ交換時について	介護福祉士	4名
R3.03.16	褥瘡予防について	介護福祉士	4名
		14回	延べ参加者数 63名

## (2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R2.04.20	令和2年度 人事考課研修	恵泉会事務局	登米市	職員1名
R2.08.19	登米リハビリテーション専門職健康づくりについて	登米市民病院リハビリテーション室	登米市	職員1名
R2.11.25～27	令和2年度 恵泉会新任職員研修	恵泉会事務局	登米市	職員2名
R2.12.11	福祉レクリエーション研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R2.12.25	新型コロナウイルス感染症に関する高齢者施設での対応	宮城県保健福祉部	Wed・登米市	職員1名

## 2. 会議開催状況

## (1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 者
連絡調整会議	松風園、百楽荘との行事や連絡事項等を話し合い業務の徹底を図る	第1水曜日	施設長・主任・副主任
サービス調整会議	百楽荘の行事、利用者や家族の意見、業務連絡をし徹底を図る	第3金曜日	施設長・事務員・栄養士・DS職員
給食会議	委託業者と給食についての評価、検討及び情報交換	毎月1回	施設長・栄養士・生活相談員・介護員
職員会議	各セクション、職員間の業務調整及び諸懸案の協議	毎月1回	施設長・栄養士・生活相談員・看護師・介護員
デイサービス部会	各デイサービスとの情報交換	第3水曜日	生活相談員

## (2) その他の会議

開 催 日	内 容	場 所	参 加 者
随時	サービス担当者会議	利用者自宅	生活相談員

## 3. 委員会開催状況

## (1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 者
サービス評価委員会	評価項目毎の自己評価、改善項目の検討	隔月第1火曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災訓練の計画と実施、安全対策の内容検討	随時	施設長、防火管理者、各委員
マニュアル検討委員会	職員の業務標準化を目指しマニュアルの検討	隔月第1火曜日	施設長、各委員
感染症対策委員会	感染症の防止と対策を図る	随時	施設長、各委員
リスクマネジメント検討委員会	ヒヤリハットの検証、検討、評価の実施	第1火曜日	施設長、各委員

## 【施設機能の開放】

## 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

## (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
		新型コロナウイルス感染症防止のため中止している。	0名

## 2. 情報の開示

発行日	名 称	内 容
R2.04.27	百楽荘新聞	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R2.05.27	百楽荘新聞	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R2.06.24	百楽荘新聞	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R2.07.22	百楽荘新聞	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R2.08.25	百楽荘新聞	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R2.09.29	百楽荘広報	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R2.10.26	百楽荘新聞	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R2.11.24	百楽荘新聞	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R2.12.25	百楽荘新聞	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R3.01.25	百楽荘新聞	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R3.02.22	百楽荘新聞	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介
R3.03.25	百楽荘広報	行事のお知らせ・外出や活動時の写真を活用し内容の紹介

## 【今後の取り組み】

### 1 「幸せを感じて」いただく取り組み(自立支援・重度化防止)

- ・利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加を促しその人らしい生活が送れる様に支援します。
- ・利用者個々に、リハビリや入浴方法等、日々の過ごし方についてのアセスメントを実施し、それに基づいて、通所サービス計画の策定・実施・評価を行います。

### 2 サービス向上に向けた取り組み

- ・ケアパレットを活用し、介護業務の効率化・最適化を図るとともに、介護職員の業務負担の軽減をすすめます。
- ・作業療法士による個別機能訓練(個別機能訓練加算1イ)を実施することにより利用者の機能維持・向上を図ります。
- ・医療・福祉関係の資格を有さない介護職員については、認知症介護基礎研修の受講により、認知症対応力を身につかせます。
- ・介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら、介護事故防止に努めます。

### 3 介護人材確保、職員の資質、専門性の向上の取り組み

- ・職員が意欲と自信をもって働ける様に、積極的に研修に参加させ、基本に忠実な介護実践と、一步先を見通せる職員の育成に努めます。
- ・法人内で実施している研修(介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策)への講師派遣により次世代の人材育成を行います。
- ・介護福祉士実習指導施設として資格取得に向けた実習生、各種ボランティアを積極的に受け入れ、次世代の介護の担い手育成と、人材確保に繋がります。

### 4 地域包括システムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み

- ・住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、利用者、利用者家族はもちろん、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたります。
- ・社会福祉法人の使命の一つとして、食事代を無料とし、要介護者・低所得者の高齢者が福祉サービスを受けやすくします。
- ・地域貢献事業、地域交流として認知症カフェ「とよさと」を豊里・津山地域の介護事業所合同で開催します。
- ・安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって協力体制を構築し支え合う体制を整えます。

### 5 感染症や災害への対応力強化に向けた取組

- ・感染症対策として、現行の感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修、訓練について実施します。
- ・登米市の福祉避難所として災害発生時、登米市と共同し一般避難所等で生活が困難な高齢者や障害者等の受け入れ支援を行います。
- ・地域(庚申地区、笑沢・平林事業所連絡協議会)との災害協定を結び、災害時(火災・地震・防犯・原発事故等)の訓練等を地域の方々と連携して行います。

### 6 制度の安定性・持続可能性の確保

- ・業務継続に向けた取組として、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、業務継続に向けた計画(BCP)の策定、研修、訓練の実施を進めます。
- ・毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めます。
- ・中長期計画の作成を行い、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員が共有しながら事業の展開を行います。

# 令和2年度 特別養護老人ホーム萩風園 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                      |
|--------------|----------------------|
| 1) 所 在 地     | 宮城県登米市中田町浅水字長谷山352-4 |
| 2) 設 置 主 体   | 社会福祉法人恵泉会            |
| 3) 経 営 主 体   | 社会福祉法人恵泉会            |
| 4) 開 設 年 月 日 | 平成2年4月1日             |
| 5) 事 業・利用定員  |                      |

事 業	利 用 定 員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	5 名
計	55 名

職員一人ひとりが自分の働き方に責任を負う経営人材として、戦略(目標)を持って、理念(方向性・到達点=目的)に近づく事業運営を図り、地域共生社会の実現を目指し下記の5項目を柱としこれまで同様に継続して実践する予定でしたが、今年度に限っては、不十分な結果となってしまいました。

- ①地域ご利用者のしあわせを考えた支援と施設づくり
- ②職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり
- ③安定した経営を目指した健全な財政運営
- ④社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革
- ⑤時代の要求に応じた各種研修と質の高い職員育成

新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、最重点項目としての感染対策に追われた1年となりました。市内でのクラスター発生や首都圏での緊急事態宣言発令と、感染拡大が収まる気配が感じられず、未だに感染対策の徹底継続が必要とされております。

幸いなことに、ご利用者・職員ともに感染することなく1年を過ごすことが出来ました。入所施設では最重要課題の感染症対策を否応なしに経験できたことは、今後のサービス向上の糧となると推測します。また、事業継続計画にも反映され、「災い転じて福となす」の言葉通り、より強固なサービス提供体制構築の礎となることと思われま

## 【 重 点 項 目 】

- ① 尊厳ある「看取り」に向け、ご利用者、ご家族、嘱託・協力医療機関である米谷病院との連携強化。  
連携は不十分ながらも図れておりましたが、感染対策において入院時や施設入所中の面会制限や規制等があり、ご利用者とご家族の「想い」に寄り添うことは不十分であったと思われま
- ② 介護ロボット等AIの活用を図り、職員の負担軽減図り業務改善(効率化、最適化)を図る。  
眠りSCANの活用に加え、眠りSCAN専用であったルーターを解放し、ノートPC及びタブレットの接続を図り現有設備の活用化を最大限に図ることができました。Wi-Fi環境が整ったことにより、居住棟のどの場所でもリモート面会に対応する環境も整いました。
- ③ 介護支援システムの連携を図り、バイタルチェック等の入力手間を省き正確化・時間短縮を図る。  
Care Palette導入によりバイタル等の手書き、転記が不要となり省力及び正確さが図れました。また、カメラ機能によりご利用者の変化をいち早く記録として残すことにも役立っております。
- ④ 介護について「地域の核」となるべく、地域貢献事業を通し地区への働きかけや、機能解放を実践する。  
新型コロナウイルス感染症対策のあおりを受け実施できておりません。今回のパンデミックを経験したことにより、Web活用を地域へ浸透させることも施設機能の解放の一環と捉え感染対策が解除となった折には進めていきます。
- ⑤ 内部研修地域の方を招き、認知症セミナー等を集客方式にて開催。  
④と同様の状況となりました。
- ⑥ 地域貢献の新しい形(SmallLocalHub:小さな拠点)を模索し必要な提携や協力に取り組む。  
④と同様の状況となりました。
- ⑦ 職員が健康で意欲をもって仕事に取り組む職場作り。専門性の向上を図り更なる資質向上を図る。  
具体例(ヒヤリハット等)に沿った対策を、ボディーメカニクスに沿って実技講習を隔月に行ったり、各部署の担当を講師として、ほぼ1ヶ月に2回程度内部研修を実施しました。
- ⑧ 指導監督職が次世代職員の育成を担う役割を遂行する。(法人内研修等)  
法人での経験による階層別の研修を法人全体で実施していただいております。また、施設では考課者に対しての面接や、打ち合わせ等で、評価重視より育成重視の面接を心がける考え方が浸透がしました。
- ⑨ 会議実習施設として、次世代の担い手を育成する。  
これまで、実習施設として毎年登米総合産業高校生を受入れて、微力ながら育成に当たっておりましたが、感染症対策にて実施できませんでした。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 17,186 名
2. 年間稼働率 94.17 %  
(目標稼働率 97.00 %)
3. 年間平均介護度 4.31
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	173	186	180	186	186	180	186	210	201	186	198	202	2,274
要介護4	589	589	570	589	590	600	644	609	645	651	569	651	7,296
要介護5	642	651	606	647	636	605	631	633	665	661	588	651	7,616
計	1,404	1,426	1,356	1,422	1,412	1,385	1,461	1,452	1,511	1,498	1,355	1,504	17,186

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	0	1	1	2	1	3	1	0	0	0	3	13
退所者数	1	1	1	1	1	0	2	0	1	1	1	0	10
月末入所者数	47	46	46	46	47	48	49	50	49	48	47	50	+3

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2. 5. (3.4)	菖蒲湯	菖蒲の香りに包まれ、無病息災を祈願し入浴する。	利用者 45名 職員 10名
R2.08.05	夏祭り	感染症予防対策として合同夏祭りを見合わせ、施設単独での企画となる。夏祭りにちなんだゲーム等を取り入れ楽しまれた。	利用者 34名 職員 14名
R2.08.23	盆供養	例年地域住職へ読経依頼を行っていたが見合わせ、利用者及び職員のみで故人の冥福を祈っている。	利用者 13名 職員 5名
R2.09.16	長寿を祝う会	感染症予防対策としてご家族不参加での実施。アトラクションとして職員による演武が披露されると皆さん喜んでいました。	利用者 45名 職員 18名
R2.12.16	クリスマス忘年会	クリスマスにちなんだゲームを行う。その後1年を振り返りながらおやつバイキングを楽しまれた。	利用者 25名 職員 16名
R2. 12. (21. 22)	ゆず湯	ゆずの香りに包まれリラックスした雰囲気の中、無病息災を祈願し入浴を行う。	利用者 48名 職員 12名
R3.01.16	新年会	職員による獅子舞披露、新聞紙を使った玉入れ合戦、新年の抱負を語り合い正月気分を味わった。	利用者 41名 職員 14名
R3.02.02	節分	年男、年女が袴を身につけ棟内に豆をまき邪気を払う。利用者は節分にちなんだゲームを行い楽しむ。	利用者 29名 職員 16名
R3.3.17~ 23	彼岸供養	彼岸の期間は多目的室を開放。故人の冥福を祈っている。	利用者 5名 職員 1名
実施回数		9 回	延 べ 参 加 者 数 391 名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 1,598 名
2. 年間稼働率 87.56 %  
(目標稼働率 95.00 %)
3. 年間平均介護度 2.99
4. 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	20	16	21	7	7	7	7	7	11	11	11	11	136
要介護2	31	29	33	31	42	42	54	45	43	40	35	38	463
要介護3	24	22	30	40	46	35	36	35	26	38	41	44	417
要介護4	36	38	31	30	39	47	47	37	42	36	35	34	452
要介護5	6	29	15	6	20	22	7	7	6	3	3	6	130
計	117	134	130	114	154	153	151	131	128	128	125	133	1,598

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R2.04.15	緊急時の対応方法について	准看護師	9名
R2.05.01	新任職員研修	施設長	1名
R2.05.14	コンプライアンス研修	施設長	16名
R2.05.21	コンプライアンス研修	施設長	9名
R2.06.18	事故防止研修	介護福祉士	8名
R2.06.24	食中毒蔓延防止のための研修	管理栄養士	10名
R2.07.15	事故防止研修	生活相談員	10名
R2.07.23	感染症予防について気を付けておくべき事	准看護師	10名
R2.08.19	認知症研修	生活相談員	12名
R2.08.27	介護技術講習会「着脱介助」	生活相談員、介護福祉士	11名
R2.09.23	身体拘束防止研修	介護福祉士	11名
R2.10.21	介護技術講習会「着脱介助」	生活相談員	11名
R2.10.28	対人援助技術研修	介護福祉士	9名
R2.11.11	感染症予防研修	准看護師	13名
R2.12.28	介護技術講習会「利用者様個別対応」	生活相談員	8名
R3.01.27	個人情報の取り扱いについて	施設長	13名
R3.02.18	吐物処理の方法について	准看護師	13名
R3.02.24	身体拘束等の適正化における研修	介護福祉士	10名
R3.02.24	介護技術講習会「拘縮のある方の体位変換」	生活相談員	7名
R3.03.10	看取りについて	看護師	11名
R3.03.24	2人介助で移乗する際の事故防止について	相談員	5名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R2.09.01	登米圏域介護保険施設感染防御スタッフ研修	登米市民病院	登米市民病院	職員1名
R2.11.25	令和2年度 恵泉会新任職員研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R2.11.25	令和2年度 恵泉会新任職員研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R3.12.23	令和3年度介護報酬改定の詳細と事前対策	(株)NDソフトウェア	リモート講習	職員1名

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	行事予定及び実施報告反省点の検討、各部門の連絡調整等	月1回	施設長、生活相談員他
ケアスタッフ会議	看護・介護・給食支援共有、新規更新利用者各種プラン説明等	月1回	施設長、生活相談員他
給食会議	献立メニュー、療養食・低栄養高リスクケース提供食の検討等	月1回	施設長、生活相談員他
連絡調整会議	施設運営、各種会議の議題設定等の検討	月1回	施設長、生活相談員他
サービス担当者会議	ケア手段・方法の検討、プラン目標の設定検討等	月1回・随時	施設長、生活相談員他

## 3. 委員会開催状況

### (1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
入所判定検討委員会	入所申込の確認、入所判定基準に従い優先順位の決定	3か月1回	施設長、生活相談員他
栄養ケアマネジメント検討委員会	栄養ケアマネジメントに関わる関連職種間の情報交換	月2回	施設長、生活相談員他
サービス向上検討委員会	介護サービス計画の検討、サービス評価の実施・評価	月1回	施設長、生活相談員他
防災対策・安全運転検討委員会	防災計画の作成、防災訓練の実施、災害対策の検討	月1回	施設長、生活相談員他
感染症・褥瘡予防対策委員会	感染症の蔓延防止対策の検討、褥瘡予防計画書の作成	3か月1回	施設長、生活相談員他
身体拘束・虐待廃止対策委員会	身体拘束ゼロ対策の検討、虐待防止対策の検討	月1回	施設長、生活相談員他
事故防止・苦情対策委員会	事故防止対策の検討、ヒヤリハット・苦情処理等の検討	月1回	施設長、生活相談員他

### 【今後の取り組み】

- ①感染症や災害への対応力強化
- ②地域包括ケアシステムの推進
- ③自立支援・重度化防止の取組の推進…サービスの質の向上
- ④介護人材確保・介護現場の革新
- ⑤制度の安定性・持続可能性の確保



# 令和2年度 中田デイサービスセンター菊風荘 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地	宮城県登米市中田町浅水字長谷山352-2
2. 設 置 主 体	社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体	社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日	平成2年3月15日
5. 利 用 定 員	30 名

## 【基本方針の実施内容について】

法人の基本理念を全職員が理解し利用者本位の質の高い介護サービス提供に努め、職員一人ひとりが自分の働き方に責任を負う経営人材として、戦略(目標)を持って、理念(方向性・到達点=目的)に近づく事業運営を図ることを基本目標としております。また、地域の中心的ポジションを確立できるよう地域共生社会の実現を目指し下記の5項目を柱とし掲げておりました。

- ①地域ご利用者のしあわせを考えた支援と施設づくり
- ②職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり
- ③安定した経営を目指した健全な財政運営
- ④社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革
- ⑤時代の要求に応じた各種研修と質の高い職員育成

しかし、新型コロナウイルス感染症の世界的流行に対し、感染予防とご利用者サービスの確保に費やした年度となりました。そのため、本来の基本目標とは違った形での実践となってしまいましたが、職員とご利用者の感染を完全に防げたことは、今年度の評価すべき結果と思われれます。

## 【 重 点 項 目 】

◎中重度の要介護者や認知症高齢者への対応強化を重点項目としております。

介護度別に利用割合をまとめますと中重度の方は36%となっており、重点目標に沿ったサービス提供と考えられます。個別機能訓練を充実させ可動域の向上など身体機能の向上を図られた方が毎月数名、維持されている方はほぼ機能訓練契約者の9割となっております。今後も可能な限り維持する体制を今後も取り続けます。

- ① 在宅生活を継続するための支援。  
利益還元は達成しているものの、感染症での利用控えもあり十分に達成できていない状況で課題となっております。
- ② 認知症カフェにて認知症セミナー等を集客方式にて開催及び地区ミニデイ等に出向き研修を行う。  
新型コロナウイルス感染症対策のあおりを受け実施できておりません。パンデミックを経験したことにより、Web活用を地域へ浸透させることも施設機能の解放の一環と捉え感染対策が解除となった折には進めていきます。
- ③ 介護ロボット等AIの活用を図り、職員の負担軽減を図り業務改善(効率化・最適化)を図る。  
Care Palette導入によりバイタル等の手書き、転記が不要となり省力及び正確さが図れました。また、カメラ機能によりご利用者の変化をいち早く記録として残すことにも役立っております。
- ④ 個別ケアとプライバシーに配慮した環境改善。重度のご利用者への対応充実。  
プライバシーに向けては継続した目標であります。在宅サービスの方向性が報酬改正のたび変化するため環境改善のみならず制度として求められるサービスの精査に充てる年度となりました。
- ⑤ 介護について「地域の核」となるべく、地域貢献事業を通し地区への働きかけや、機能解放を実践する。  
新型コロナウイルス感染症対策のあおりを受け実施できておりません。今回のパンデミックを経験したことにより、Web活用を地域へ浸透させることも施設機能の解放の一環と捉え感染対策が解除となった折には進めていきます。
- ⑥ 地域貢献の新しい形(SmallLocalHub:小さな拠点)を模索し必要な提携や協力に取り組む。  
⑤と同様の状況となりました。
- ⑦ 職員が健康で意欲をもって仕事に取り組む職場作り。専門性の向上を図り更なる資質向上を図る。  
萩風園と一体にて具体例(ヒヤリハット等)に沿った対策を、ボディーメカニクスに沿って実技講習を隔月に行ったり、各部署の担当を講師として、ほぼ1ヶ月に2回程度内部研修を実施しました。
- ⑧ 指導監督職が次世代職員の育成を担う役割を遂行する。(法人内研修等)  
法人での経験による階層別の研修を法人全体で実施していただいております。また、施設では考課者に対する面接や、打ち合わせ等で、評価重視より育成重視の面接を心がける考え方が浸透がしました。
- ⑨ 会議実習施設として、次世代の担い手を育成する。  
これまで、実習施設として毎年登米総合産業高校生を受入れて、微力ながら育成に当たっておりましたが、感染症対策にて実施できませんでした。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 6,954 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 74.77 % (通所介護+総合事業+生きがいデイ)  
(66.99) % (通所介護)  
(7.78) % (総合事業)
4. 年間平均介護度 2.47 (通所介護)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	77	71	76	70	63	59	69	85	99	112	105	122	1,008
要介護2	285	277	281	278	267	259	277	246	246	184	192	208	3,000
要介護3	107	96	91	99	91	92	94	108	88	61	59	63	1,049
要介護4	61	47	49	51	55	45	50	55	40	64	57	61	635
要介護5	47	52	62	52	40	41	41	33	34	50	40	46	538
計	577	543	559	550	516	496	531	527	507	471	453	500	6,230
事業対象者	15	12	12	15	11	16	12	12	14	8	11	15	153
要支援1	13	13	13	13	14	14	13	13	14	12	10	10	152
要支援2	28	36	38	30	33	39	40	36	35	29	32	43	419
計	56	61	63	58	58	69	65	61	63	49	53	68	724
合計	633	604	622	608	574	565	596	588	570	520	506	568	6,954

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	5	1	1	0	0	1	4	0	2	3	1	1	19
契約終了者数	3	3	1	1	3	3	3	3	2	2	3	3	30
月末契約者数	77	75	75	74	71	69	70	67	67	68	66	64	- 11

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2.7.6 R2.7.7	七夕会	七夕の由来や事前に短冊を作成し、短冊の願い事を発表したりと季節を感じて頂き、楽しい時間を過ごしていただく。	利用者 44名 職員 18名
R2.9.9	夏まつり	スイカ割りやかき氷、水ヨーヨー、射的などの模擬店をはじめ、職員による余興を披露している。抽選会も行い、小規模で実施している。	利用者 27名 職員 12名
R2.9.14	長寿を祝う会	米寿、喜寿、皆勤賞の方々に表彰状を授与している。利用されている方々にも記念品を贈呈している。	利用者 27名 職員 12名
R2.12.24 R2.12.25	クリスマス忘年会	職員による余興を披露する。クリスマスプレゼントを全利用者様へプレゼントしている。	利用者 43名 職員 20名
R2.12.28	餅つき会	餅つきやお正月飾りを行う。	利用者 23名 職員 10名
R3.2.1 R3.2.3	節分豆まき	年男、年女の方が鬼に豆をまき、他利用者様も豆を巻いていただき、赤鬼と青鬼を退治する。	利用者 48名 職員 20名
R3.3.2 R3.3.3	ひな祭り会	ひな祭り人形を飾り、ひな祭りの歌やひなあられゲームを行っている。	利用者 27名 職員 21名
実施回数	7回	延 べ 参 加 者 数	239名

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員 18 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 (0.19) %
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
生きがいデイサービス	0	0	4	4	4	5	1	0	0	0	0	0	18
合計	0	0	4	4	4	5	1	0	0	0	0	0	18

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R2.05.14	コンプライアンス研修	施設長	5名
R2.05.21	コンプライアンス研修	施設長	4名
R2.06.18	事故防止研修	介護福祉士	2名
R2.07.15	事故防止研修	生活相談員	2名
R2.07.23	感染症予防について気を付けておくべき事	准看護師	2名
R2.08.19	認知症研修	生活相談員	2名
R2.08.27	介護技術講習会「着脱介助」	生活相談員、介護福祉士	2名
R2.09.23	身体拘束防止研修	介護福祉士	1名
R2.10.21	介護技術講習会「着脱介助」	生活相談員	2名
R2.10.28	対人援助技術研修	介護福祉士	2名
R2.11.11	感染症予防研修	准看護師	2名
R3.01.27	個人情報の取り扱いについて	施設長	2名
R3.02.18	吐物処理の方法について	准看護師	4名
R3.02.24	身体拘束等の適正化における研修	介護福祉士	1名

(2) 外部研修

今年度、未実施。

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	萩風園を含め施設管理等運営に関する検討	月1回	生活相談員1名
デイサービス調整会議	デイ行事企画・事業執行等の検討	月1回	施設長他12名
給食会議	給食内容・栄養管理等の検討	月1回	生活相談員1名

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
防災対策・安全運転委員会	防災計画の作成、防災訓練の実施	月1回	生活相談員他4名
サービス向上委員会	①サービス提供内容の検討②介護サービス提供計画の作成③サービス評価の実施・評価④サービス情報公表の実施・評価⑤内部・外部職員研修計画の作成⑥研修会の開催⑦記録整備の検討毎月1回別添計画の内容で実施	月1回	生活相談員他4名
事故防止・苦情対策検討委員会	事故防止対策、ヒヤリハット、苦情処理、安全対策の検討、記録整備の検討。毎月1回別添計画の内容で実施	月1回	生活相談員他3名
身体拘束・虐待廃止対策委員会	身体拘束ゼロ対策、人権擁護、人間の尊厳、虐待廃止対策の検討。	随時	生活相談員他3名
感染症・褥瘡予防対策委員会	感染症の蔓延防止、衛生管理体制の検討、褥瘡予防対策の検討。	随時	生活相談員他4名

## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

#### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
	なし		

#### (2) 活動ボランティア

年月日	団体名	内容	来訪者数
	なし		

## 【今後の取り組み】

### 1. 次期介護保険法改正に向けた準備

次期介護保険法改正では事業者が利用者の要介護度を下げた場合に、それに見合ったインセンティブが事業者には与えられる見込みです。つまり事業者が経営状態を改善するためには要介護度を上げるのではなく、むしろ下げの方が得策だという方向性となります。そのための制度として2018年の介護報酬改定で導入することが決定したのが、アウトカム評価です。

しかし、「ADL維持等加算」に対する現状でのアウトカム評価は、「Barthel Indexの評価負担が大きい」「事務負担が大きい」といった問題から加算申請をしていない事業者がほとんどです。評価方法が見直される次年度の単価改正に合わせてエビデンスをしっかりと構築し備える必要があります。

### 2. 外部環境への適応

前回の介護保険法改正にて、通所介護の専門性が協議されており、①預かり機能(レスパイト)に特化したサービス②機能訓練を中心とした自立支援の要素の強いサービス③専門性を持って認知症ケアに特化したサービス④ナーシング機能を持つサービス等考えられております。

今後15年間は我々事業者をふるいに掛ける様な政策が想像され「強いサービス提供事業者」のみが生き残れる時代と予想されます。「介護保険を使うのであれば重度者対応は必須」の見通しに、私たちが取り組むべき具体策としては、重度者への対応の強化や生産性の向上などがあげられます。

制度改正や報酬改定、ニーズの増減・変動、地域の実情などを注視しながら、前述の専門性を持った通所介護事業者として、外部環境に適応して変わっていくことが大事となっていきます。

### 3. 「ICT」活用を視野に入れた専門性

厚生労働省は、介護サービス事業所が指定申請や報酬請求を行う際に人員配置などを明らかにする「勤務体制・勤務形態一覧表」について、令和3年度中に全国共通の様式を確立する計画を打ち出しております。このように「事務処理・申請等」の標準化・簡素化が進められていく中、事業者独自でも事務処理を簡素化すべく、記録の手間を省き、誤入力をなくすため「Care Palette」等活用します。

また、アウトカム評価に対する準備のため、身体機能の測定の標準化とともに記録化もできるソフトなど検討を重ね「個別機能訓練」利用者を広げていく手段を検討いたします。

# 令和2年度 特別養護老人ホーム迫風園 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| 1) 所 在 地     | 宮城県登米市迫町北方字大洞56番地6 |
| 2) 設 置 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会         |
| 3) 経 営 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会         |
| 4) 開 設 年 月 日 | 平成5年4月1日           |
| 5) 事 業・利用定員  |                    |

事 業	利 用 定 員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	10 名
計	60 名

## 【 基 本 方 針 】

迫風園は、法人の基本理念を全職員が理解し、利用者本位のサービス提供に努めます。職員一人ひとりが自分の働き方に責任を負う経営人材として、戦略(目標)を持って、理念(方向性・到達点=目的)に近づく事業運営を図ります。その為に、全職員で良い「空気(職場環境)」を作り、「言える化(建設的対立)」を大切に、必死のコミュニケーションに努め、組織力を最大限に発揮できるようにします。そして、組織が常にデーワン(1日目)の活力を保てるように、「捨てる」「止める」「入れ替える」という新陳代謝を考えます。無駄を省き、常に効率化・最適化を指向し、業務にメスを入れ続ける「改善」を最も重要な現場の本来業務とし、介護サービスの品質の維持・向上を図ります。働き方改革等の時代の変化に対応するために異なる意見やアイデアを建設的にぶつけ合い、挑戦(実践の理論化)し、成長し続ける個人や組織を目指します。また、社会福祉法人の原点である安定経営と奉仕の精神をもとに、高齢者ケアの基本理念である自立支援を個別の施設サービス計画書に基づき実践します。そして地域包括ケア体制の中にきちんとしたポジションを確立できるように、他事業所や病院、学校などと連携し、地域共生社会の実現を目指します。その為に以下の五つの柱を基に実践します。

- ①地域ご利用者のしあわせを考えた支援と施設づくり
- ②職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり
- ③安定した経営を目指した健全な財政運営
- ④社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革
- ⑤時代の要求に応じた各種の研修と質の高い職員の育成

## 【 重 点 項 目 】

1. 地域ご利用者のしあわせを考えた支援と組織づくり
  - ・利用者、家族の意見を取り入れた個別ケア提供により、その人らしく生活できるサービス体制に努めました。
  - ・利用者、家族の同意のもとに、看取り介護を実施し、利用者の尊厳や人権、生活の質を最後まで保てました。
  - ・定期的なモニタリングの実施で、課題分析されたケアプランに基づいたサービス提供の実施を継続できました。
  - ・新型コロナウイルス感染症のため、定期的にマッサージ師・音楽療法士を招くことができませんでした。
  - ・定期的な歯科医師の専門指導を受け、口腔ケアの徹底を図れました。
  - ・利用者の医療ニーズを各医療機関に適切につなげられました。
  - ・介護機器・設備・施設各所の定期点検と修繕により、安全確保と業務の効率化を図れました。
  - ・ヒヤリハット、事故報告の検証を徹底し、予防策・対応策の立案と実行を図れました。
  - ・感染症予防・対策、防災・防犯・非常時対応に対する危機管理の徹底に努めました。
  - ・ご利用者及びご家族等からの苦情や提案に速やかに対応し、解決を図りました。
  - ・新型コロナウイルス感染症により幼児・児童・生徒・学生・地域住民との交流を定期的に開催できませんでした。
  - ・新型コロナウイルス感染症により実習やインターンシップ、見学やボランティアを受け入れできませんでした。
  - ・行政区自治会、婦人会、公民館、民生委員などと連携、地域ニーズの把握に努めました。
  - ・新型コロナウイルス感染症によりRUI Cafe(オレンジカフェ)はオンラインのみの開催でした。
  - ・地域のケアマネジャーや地域包括支援センターなどと連携し、緊急ショートステイなど積極的に受け入れました。
  - ・併設する翠風荘と連携して、生活リハビリの積極的な導入を図れませんでした。
  - ・施設行事と地域貢献活動を同時に行えるよう、他事業所や他団体、学校などの共同開催を図れませんでした。
  - ・災害協定を結んでいる他施設(南風園・松風園)と連携し災害時対応ができるように努めました。

2. 職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり
  - ・行動目標シートの作成と、実行及び評価を通じて、職員一人ひとりの行動目標の達成に努めました。
  - ・定期的な健康診断・検診を実施しました。
  - ・法人内の研修(新任、階層別、フォローアップ)に計画的に参加しました。
  - ・施設の内部研修(テーマ別)を毎月開催できました。他施設や地域住民も参加する拡大版での実施はありませんでした。
  - ・マニュアルを利用した業務習得状況の確認と、必要な指導を行うOJT体制を整備しました。
  - ・禁煙や健康増進体操などに取り組み、労働災害防止に繋がりました。
  - ・「企画王」(利用者に関する事、業務に関する事、職員に関する事等様々な事を企画する取組)は実施しました。
  - ・昼の20分ミーティングを定期的に行い、波長合わせを行いました。
3. 安定した経営を目指した健全な財政運営
  - ・節電・節水を常に意識し、光熱水費の削減を図りました。
  - ・修繕できるものは修繕し利用することを心し、常に「我が身」対応を心がけました。
  - ・十分ではないが、5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)を行い、ムダを省くよう努めました。
  - ・金銭、スペース、探す時間、取りに行く時間のムダを洗い出し削減や最適化に努めました。
  - ・ベンチマーク(完成度の高いサービスやその水準を理解する)を設定し、近づく手順や方法を検討しました。
  - ・介護ロボット等を活用し、職員の負担軽減を図ると同時に、業務改善(効率化・最適化)を図れました。
4. 社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革
  - ・専門職以外のマンパワーの育成・活用に向けたカフェ等の取り組みは不十分でした。
  - ・介護医療一体化構想を理解し、一層の連携強化を図れました。
  - ・地域貢献の新しい形を模索し、その為に必要な連携や協力に取り組みました。
5. 時代の要求に応じた各種の研究と質の高い職員の育成
  - ・各委員会活動の充実を図れました。
  - ・認知症介護実践者研修・リーダー研修、実習担当者養成研修等計画的に参加できませんでした。
  - ・オンラインによる研修会に積極的に参加し専門的知識を身につけ、伝達を行うことができました。
  - ・指導監督職員が次世代の育成を担う役割が遂行できるよう努めました。
  - ・安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現を図りました。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 17,605 名
2. 年間稼働率 96.47 %  
(目標稼働率 97.00 %)
3. 年間平均介護度 4.01
4. 月別利用状況

	(延べ利用者数)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	330	341	330	334	330	328	341	317	310	310	280	310	3,861
要介護4	690	777	750	805	802	780	794	776	866	895	812	879	9,626
要介護5	358	372	374	403	370	337	371	331	341	298	252	311	4,118
計	1,378	1,490	1,454	1,542	1,502	1,445	1,506	1,424	1,517	1,503	1,344	1,500	17,605

## 5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	3	1	1	0	1	1	1	1	1	0	2	13
退所者数	2	0	1	0	1	1	2	1	0	2	0	0	10
月末入所者数	46	49	49	50	49	49	48	48	49	48	48	50	+3

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
4月23日	さくら祭り	新型コロナウイルス感染防止の為、外部アトラクションやご家族の来園を中止し、食堂にてカラオケやリハビリ体操を実施した。	利用者 35名 職員 12名
7月9日	七夕会	余暇活動時に作成した七夕飾りや短冊を竹に飾り付け、利用者同士コミュニケーションを図り、季節感を味わって頂く。	利用者 39名 職員 7名
7月22日	夕涼み会	射的やストラックアウトといった出店、かき氷やスイカ割など、夏や夏祭りの雰囲気を感じてもらおう企画を実施した。	利用者 49名 職員 10名
8月20日	盆供養	会議室において、心性寺の住職さんによる盆供養が実施された。利用者なしで、職員のみ立ち合いのもと実施となった。	利用者 0名 職員 4名
8月21日	納涼花火大会	園庭にて、参加希望者を対象として、花火大会を実施。お盆の送り火として鎮魂の祈りを捧げる。	利用者 9名 職員 2名
9月17日	長寿を祝う会	新型コロナウイルス感染防止の為、外部アトラクションやご家族の来園を中止。余興については職員による南京玉すだれを行う。	利用者 49名 職員 16名
10月15日	お月見会	十五夜に合わせて、秋の風物詩であるお月見会を行い、利用者に季節感を味わってもらおう。	利用者 38名 職員 7名
11月5日	収穫祭	春に植えた南瓜とサツマイモを調理して食べ、収穫の喜びと季節感を味わってもらおう。	利用者 53名 職員 15名
11月6日	100歳敬老祝い	佐藤みつほさんが誕生日で100歳となり、登米市よりお祝いのセレモニーを開いていただく。	利用者 1名 職員 4名
11月11日	100歳を祝う会	佐藤みつほさんが誕生日で100歳となり、食堂において職員・利用者全体でお祝いをする。	利用者 40名 職員 6名
12月17日	クリスマス会	グループ合同のクリスマス会を食堂にて実施。ビンゴ大会を中心にクリスマス気分を味わうことができた。	利用者 41名 職員 8名
12月28日	餅つき会/正月飾り付け	年末恒例の餅つき・正月飾り付けを、職員と利用者で実施。利用者は手先を使い良いリハビリにもなった。	利用者 29名 職員 8名
1月1日	新年会	新年のご挨拶とお屠蘇を振る舞い、獅子舞やおみくじ、御祝膳で新春の季節感を味わっていただいた。	利用者 38名 職員 5名
2月3日	節分・豆まき	年男(利用者)と鬼に仮装した職員が記念写真を撮影した後、食堂付近で豆まきをした。季節感を味わっていただけた。	利用者 47名 職員 14名
3月3日	ひな祭り会	ひな祭りにちなんだゲームを行い、雛壇や桃の花を見てもらいながら季節の雰囲気を楽しんでもらう。	利用者 39名 職員 8名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 3,128 名
2. 年間稼働率 85.70 %  
(目標稼働率 90.00 %)
3. 年間平均介護度 3.29
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	3	3	3	3	3	3	3	4	25
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	13	14	31	20	17	12	10	12	10	15	17	15	186
要介護2	31	21	25	32	35	33	42	38	44	26	31	41	399
要介護3	123	135	134	132	132	138	129	128	119	108	124	119	1,521
要介護4	33	32	15	18	18	16	26	30	21	24	29	36	298
要介護5	48	57	57	67	79	77	77	87	58	34	19	21	681
その他	3	5	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	18
計	251	264	268	273	284	279	287	298	255	210	223	236	3,128

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
4月8日	コンプライアンス研修(服務規程)	施設長	5名
4月9日	コンプライアンス研修(服務規程)	施設長	6名
4月24日	防災・災害時・緊急時の対応研修	副主任	10名
5月21日	介護基礎研修(身体拘束・高齢者虐待防止)	施設長	7名
5月27日	介護基礎技術研修(移動・移乗・接遇)	介護福祉士	3名
6月12日	介護基礎技術研修(排泄介助)	介護福祉士	4名
6月17日	行動規範・個人情報保護研修	施設長	7名
7月8日	介護基礎技術研修(食事介助)	管理栄養士・介護福祉士	7名
7月15日	感染症予防研修(新型コロナウイルス)	看護師	5名
7月16日	食中毒予防研修	管理栄養士	8名
8月19日	安全運転・安全衛生研修	施設長	7名
9月18日	認知症研修	副主任	3名
10月21日	機能訓練研修・看取り研修	看護師	7名
11月7日	接遇研修	介護福祉士	4名
12月8日	介護基礎(事故防止研修)	介護福祉士	5名
12月17日	介護基礎(事故防止研修)	介護福祉士	3名
12月17日	褥瘡・感染症対応研修	看護師	5名
1月20日	事故防止(リスクマネジメント)研修	副主任	8名
2月9日	ノロウイルス対策研修	看護師	9名
2月10日	ノロウイルス対策研修	看護師	7名
2月10日	防犯対策研修	副主任	7名
2月17日	介護保険制度	副主任	5名
3月10日	接遇・事故防止(リスクマネジメント)研修	施設長	8名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
6月18日	管理者対象感染対策基礎研修	宮城県	登米市	職員1名
7月17日	新型インフルエンザ等感染対策に関する施設意見交換会	宮城県	登米市	職員2名
7月20日	恵泉会経営者研修(WJU)	恵泉会	登米市	職員1名
9月1日	介護保険施設等感染防御スタッフ研修	登米市民病院	登米市	職員2名
9月18日	避難確保計画作成に係る講習会	登米市	登米市	職員1名
10月10日	介護福祉士養成継続的訓練(研修)	養成継続研究会	オンライン	職員1名
10月24日	介護福祉士養成継続的訓練(研修)	養成継続研究会	オンライン	職員1名
11月7日	介護福祉士養成継続的訓練(研修)	養成継続研究会	オンライン	職員1名
11月21日	介護福祉士養成継続的訓練(研修)	養成継続研究会	オンライン	職員1名
11月25日	令和2年度恵泉会新任職員研修	恵泉会	登米市	職員1名
11月27日	令和2年度恵泉会新任職員研修	恵泉会	登米市	職員1名
12月5日	介護福祉士養成継続的訓練(研修)	養成継続研究会	オンライン	職員1名
12月19日	介護福祉士養成継続的訓練(研修)	養成継続研究会	オンライン	職員1名
1月9日	介護福祉士養成継続的訓練(研修)	養成継続研究会	オンライン	職員1名
1月23日	介護福祉士養成継続的訓練(研修)	養成継続研究会	オンライン	職員1名
2月5日	高齢者施設感染症対策研修	宮城県	オンライン	職員3名
2月6日	介護福祉士養成継続的訓練(研修)	養成継続研究会	オンライン	職員1名
2月20日	介護福祉士養成継続的訓練(研修)	養成継続研究会	オンライン	職員1名
2月24日	高齢者権利擁護推進研修	宮城県	オンライン	職員2名
3月2日	福祉施設におけるBCP研修	損保ジャパン	オンライン	職員2名
3月6日	介護福祉士養成継続的訓練(研修)	養成継続研究会	オンライン	職員1名
3月13日	介護福祉士養成継続的訓練(研修)	養成継続研究会	オンライン	職員1名



## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
リーダー会議	グループケアを進めるうえでの業務改善点を話し合い、協議しながらグループ間の調整を図る	第1木曜日	グループリーダー
ケア会議	介護全般及び個別支援内容の統一を図る。	第2木曜日	施設長、栄養士、相談員 看護師、介護職員
職員会議	利用者の生活の質の向上に向け、業務全体が円滑に進むよう連絡、調整を図る	第3木曜日	全職員
給食会議	充実した食事提供のため、献立、調理に関する事項の検討及び改善を行う	第2金曜日	施設長、栄養士、調理員、相談員、看護師、介護職員、利用者

### (2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
随時	モニタリング・ケアカンファレンス(ケアプランの見直し等)	介護部	相談部、介護部、給食部、看護部
随時	サービス担当者会議(更新・変更・新規)	会議室	施設長、相談部、介護部、給食部、看護部、利用者、家族

## 3. 委員会開催状況

### (1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	リスクマネジメント、身体拘束廃止の取り組み、検討	第3木曜日	施設長、各委員
感染症・褥瘡対策委員会	感染症予防や褥瘡予防の検討	奇数月第3木曜日	施設長、各委員
アクティビティケア検討委員会 (自立支援・重度化防止検討委員会)	地域交流や日中活動の内容検討 科学的根拠に基づいた理論と技術の実践	第1木曜日	施設長、各委員
業務改善委員会 (介護ロボット活用委員会)	職員の資質の向上やサービス内容の向上 業務の省力化、効率化を検討する	第2木曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災に関する検討	随時	施設長、各委員
入所検討委員会	第三者委員を交えて入所申込者の入所順番を決定する。	随時	施設長、各委員
拠点連携委員会	併設通所介護事業所との連携事業の検討	随時	施設長、各委員

## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

#### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
8月3日	築館高校三年生	施設見学	1名
10月16日	東北生活文化大学四年生	施設見学	1名

#### (2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
10月13日	登米総合産業高等学校1年生	地域における様々な福祉サービス(代替授業)	16名	16名
10月13日	登米総合産業高等学校2年生	地域における様々な福祉サービス(代替授業)	21名	21名
11月26日	東北医科薬科大学	介護在宅医療体験実習代替	1名	1名
計			38名	38名

## 【今後の取り組み】

1. 地域ご利用者のしあわせを考えた支援と施設づくり
  - ・利用者、家族の意見を取り入れた個別ケア提供により、その人らしく生活できるサービス体制を構築します。
  - ・利用者、家族の同意のもとに、看取り介護をガイドラインに沿って実施し、利用者にとって最善の方針をとります。
  - ・利用者の尊厳や人権を守るため、虐待防止や身体拘束廃止の担当者を選定します。
  - ・定期的なモニタリングの実施で、課題分析されたケアプランに基づいたサービス提供の実施を継続します。
  - ・定期的にマッサージ師・音楽療法士を招き、心身の活性化を図ります。
  - ・定期的な歯科医師の専門指導を受け、口腔ケアの徹底を図ります。
  - ・利用者の医療ニーズを各医療機関に適切につなげます。
  - ・介護機器・設備・施設各所の定期点検と修繕により、安全確保と業務の効率化を図ります。
  - ・ヒヤリハット・事故報告の検証を徹底し、予防策・対応策の立案と実行を図ります。(安全対策担当者の選定)
  - ・感染予防・対策、防災・非常時対応に対する危機管理を徹底します。(業務継続計画の作成と訓練実施)
  - ・ご利用者及びご家族等からの苦情や提案に速やかに対応し、解決を図ります。
  - ・幼児・児童・生徒・学生・地域住民との交流を定期的に開催します。(みやぎ教育応援団登録済)
  - ・実習やインターンシップ、見学やボランティアを受け入れ、マンパワーの養成と確保に努めます。
  - ・行政区自治会、婦人会、公民館、民生委員と連携、地域ニーズを把握します。
  - ・RUICafe(オレンジカフェ)にて認知症セミナー等を開催します(オンライン含)
  - ・地域のケアマネジャーや地域包括支援センターなどと連携し、緊急ショートステイなど受け入れます。
  - ・外部のリハ専門職等との連携やICTの活用により、自立支援・重度化防止に資する介護を図ります。
  - ・多職種によるチームケアのもと、利用者の日中の生活支援を評価し、自立支援・重度化防止に繋がります。
  - ・災害協定を結んでいる他施設(南風園・松風園)と連携し災害時対応を図ります。地域と連携し協定を結べるよう努めます。
2. 職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり
  - ・行動目標シートの作成と、実行及び評価を通じて、職員一人ひとりの行動目標の達成を目指します。
  - ・定期的な健康診断・検診を実施します。適切なハラスメント対策を実施します。
  - ・法人内の研修の新任職員研修、階層別研修、フォローアップ研修に計画的に参加します。
  - ・施設の内部研修(テーマ別研修)を毎月開催。他施設とオンラインによる開催も実施します。
  - ・マニュアルを利用した業務習得状況の確認と、必要な指導を行うOJT体制を確立します。
  - ・禁煙や健康増進体操(モビバン利用)などに取り組み、労働災害防止にもつなげます。
  - ・「企画王」(利用者に関する事、業務に関する事、職員に関する事等様々な事を企画する取組)を実施します。
  - ・昼の20分ミーティングを定期的で開催し、波長合わせを行います。
3. 安定した経営を目指した健全な財政運営
  - ・節電、節水を常に意識し、光熱水費の削減を図ります。
  - ・修繕できるものは修繕し利用することを心し、常に「我が身」対応を心がけます。
  - ・5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)を徹底的に行い、ムダを省きます。
  - ・業務の3M(ムリ・ムダ・ムラ)を洗い出し効率化・最適化を図ります。
  - ・ベンチマーク(完成度の高いサービスやその水準を理解する)を設定し、近づく手順や方法を検討します。
  - ・介護ロボット等を活用し、職員の負担軽減を図ると同時に、業務改善(効率化・最適化)を図ります。
4. 社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革
  - ・専門職以外のマンパワーの育成・活用を検討していきます。
  - ・介護医療一体化構想を理解し、一層の連携強化を図ることができます。
  - ・地域貢献の新しい形(small Local Hub小さな拠点)を模索し、その為に必要な提携や協力に取り組みます。
5. 時代の要求に応じた各種の研究と質の高い職員の育成
  - ・各委員会活動の充実を図ります。
  - ・認知症介護実践者研修・リーダー研修、実習担当者養成研修等計画的に参加します。
  - ・各種・各機関の研修会に積極的に参加し専門的知識を身につけ、伝達を行うことができます。
  - ・指導監督職が次世代の育成を担う役割を遂行できます。(初任者研修講師や国試・ケアマネ試験対策講師)
  - ・安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現を図ります。
  - ・新任職員で無資格者に関しては、認知症介護基礎研修・介護職員初任者研修を実施します。

# 令和2年度 迫デイサービスセンター翠風荘 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市迫町北方字大洞45-3 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会        |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会        |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成3年4月1日          |
| 5. 利 用 定 員   | 40 名              |

翠風荘は、法人の基本理念を全職員が理解し、利用者本意のサービス提供に努めます。職員一人ひとりが自分の働き方に責任を負う経営人材として、戦略(目標)を持って、理念(方向性・到達点=目的)に近づく事業運営を図ります。その為に、全職員で良い「空気(職場環境)」を作り、「言える化(建設的対立)」を大切にして、必死のコミュニケーションに努め、組織力を最大限に発揮できるようにします。そして、その組織が常にデーワン(1日目)の活力を保てるように、「捨てる」「止める」「入れ替える」という新陳代謝を考えます。無駄を省き、常に効率化・最適化を指向し、業務にメスを入れ続ける「改善」を最も重要な現場の本来業務とし、介護サービスの品質の維持・向上を図ります。働き方改革等の時代の変化に対応するために異なる意見やアイデアを建設的にぶつけ合い、挑戦(実践の理論化)し、成長し続ける個人や組織を目指します。また、社会福祉法人の原点である安定経営と奉仕の精神をもとに、高齢者ケアの基本理念である自立支援を個別の施設サービス計画に基づき実践します。そして地域包括ケア体制の中にきちんとしたポジションを確立できるように、他事業所や病院、学校などと連携し、地域共生社会の実現を目指します。その為に以下の五つの柱を基に実践します。

- ①地域ご利用者のしあわせを考えた支援と施設づくり
  - ②職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり
  - ③安定した経営を目指した健全な財政運営
  - ④社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革
  - ⑤時代の要求に応じた各種の研修と質の高い職員の育成
- サービス提供時間は7時間以上8時間未満とします。

## 【 重 点 項 目 】

1. 地域ご利用者のしあわせを考えた支援と施設づくり
  - ・利用者及び家族の意向や意見を尊重しケアプランを基に個別ニーズを把握しサービスの向上に繋がりました。
  - ・一人ひとりの活動を尊重しながらグループ毎の活動を充実し自立支援に繋がりました。
  - ・対人援助技術の向上を図り、あらゆる場面で心地よい接遇に努めました。
  - ・季節感ある環境整備により、生活の活性化を図りました。
  - ・介護機器・設備・施設各所の定期点検と修繕により、安全確保と業務の効率化を図りました。
  - ・ヒヤリハット・事故報告の検証を徹底し、予防策・対応策の立案と実行を図りました。
  - ・感染予防・対策、防災・防犯・非常時対応に対する危機管理の徹底に努めました(特に新型コロナウイルス対策)。
  - ・新型コロナウイルス拡大に伴い、幼児・児童・生徒・学生・地域住民との交流、定期的な開催ができませんでした。
  - ・新型コロナウイルス拡大に伴い、実習やインターンシップ、見学やボランティアの積極的な受け入れができませんでした。
  - ・利用者や家族のニーズを捉え、サービスの改善に積極的に取り組みました。
  - ・利用時の対話から思いを把握し個々人の連絡帳の活用を図り信頼関係を築きました。
  - ・担当者会議において各事業者等と互いに情報の共有に努めました。
  - ・新型コロナウイルス拡大に伴い、RUIカフェ(オレンジカフェ)にて認知症セミナー等の開催ができませんでした。
  - ・広報誌の発行(年4回)により施設の活動内容を発信し、理解を深めました。
  - ・新型コロナウイルス拡大に伴い、行事や地域貢献を他事業所や他団体、学校などと連携し、共同開催ができませんでした。
  - ・社会福祉法人としての利益還元として食事代無料化とし、利用者負担の軽減を図りました。
2. 職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり
  - ・行動目標シートの作成と、実行及び評価を通じて、職員一人ひとりの行動目標の達成に努めました。
  - ・定期的な健康診断・検診を実施しました。
  - ・法人内研修の新任職員研修、階層別研修、フォローアップ研修に計画的に参加しました。
  - ・事業所内部研修(テーマ別研修)を実施したが、他施設や地域住民も参加する拡大版は感染防止のため中止しました。
  - ・十分ではないが禁煙や健康増進体操(モビバン利用)などに取り組み、労働災害防止に繋がりました。

3. 安定した経営を目指した健全な財政運営
  - ・節電、節水を常に意識し、光熱水費の削減に努めました。
  - ・修繕できる物は修繕し利用することを心し、常に「我が身」対応を心がけました。
  - ・5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)を徹底的に行い、ムダを省くよう努めました。
  - ・ベンチマーク(完成度の高いサービスやその水準を理解する)を設定し、それに近づく手順や方法を検討しました。
  - ・介護ロボット等を活用し、職員の負担軽減を図り、業務改善し、業務の効率化・最適化を図りました。
4. 社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革
  - ・十分ではないが、専門職以外のマンパワーの育成・活用を検討しました。
  - ・新型コロナウイルス拡大に伴い、介護医療一体化を理解し一層の連携強化が図れませんでした。
  - ・地域貢献の新しい形を模索し、その為に必要な提携や協力に取り組むことは十分ではありませんでした。
5. 時代の要求に応じた各種の研修と質の高い職員の育成
  - ・各委員会活動の充実を図りました。
  - ・新型コロナウイルス拡大に伴い、認知症介護実践者研修・リーダー研修、実習指導担当者養成研修等に参加できませんでした。
  - ・新型コロナウイルス拡大に伴い、各種・各機関の研修会に参加し専門的知識を身につけ伝達を行うことができませんでした。
  - ・指導監督職職員が次世代の育成を担う役割が遂行できました(介護職員初任者研修講師や国試・ケアマネ試験対策講師)。
  - ・安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現を図りました。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 11,161 名
2. 年間稼働日数 361 日
3. 年間稼働率 77.29 % (通所介護＋総合事業)  
(70.51) % (通所介護)  
(6.78) % (総合事業)
4. 年間平均介護度 2.49 (通所介護)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	133	143	135	160	171	154	156	137	143	145	142	170	1,789
要介護 2	347	357	371	371	328	352	375	345	324	291	294	339	4,094
要介護 3	192	181	192	230	248	245	224	207	170	167	169	197	2,422
要介護 4	106	108	114	115	101	109	101	94	103	87	101	114	1,253
要介護 5	47	44	53	56	58	60	61	56	51	39	41	58	624
計	825	833	865	932	906	920	917	839	791	729	747	878	10,182
事業対象者	13	13	12	14	12	10	12	12	12	11	12	12	145
要支援 1	20	19	24	12	15	15	15	23	10	8	8	9	178
要支援 2	48	57	61	54	51	56	64	61	45	50	53	56	656
計	81	89	97	80	78	81	91	96	67	69	73	77	979
合計	906	922	962	1,012	984	1,001	1,008	935	858	798	820	955	11,161

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	2	2	8	3	3	1	3	3	5	4	3	38
契約終了者数	1	0	8	0	1	3	3	3	6	2	1	6	34
月末契約者数	101	103	97	105	107	107	105	105	102	105	108	105	4

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2.08.24	夏祭り	射的や水ヨーヨーなどのゲームを行い、盆踊りを踊り夏祭りの雰囲気を楽しんでいただく。	利用者 32名 職員 13名
R2.09.17 ～09.19	長寿を祝う会	利用者の長寿をご家族と一緒に祝い、アトラクションなどを楽しんでいただく。	利用者 111名 職員 34名
R2.12.22 ～12.24	クリスマス忘年会	職員と一緒に余興に参加したり職員の扮するサンタクロースからクリスマスプレゼントを貰い、クリスマスを満喫していただく。	利用者 85名 職員 35名
R3.01.11 ～01.13	新年会	ボランティアによる余興を見たりお屠蘇を振る舞い、新年を迎えたことをみんなで祝う。	利用者 83名 職員 37名
R3.02.02 ～02.04	節分会	年男・年女の利用者様を紹介し豆まきを行い、邪気や厄を払い一年間健康に過ごせるよう祈願する。	利用者 47名 職員 38名
		延べ参加者数	利用者 358名 職員 157名

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員 4 名
2. 年間稼働日数 361 日
3. 年間稼働率 0.03 %
4. 月別利用状況

<身障デイ>

(延べ利用者数)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分6	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
計	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R2.04.16 ～04.17	コンプライアンス研修	施設長	16名
R2.05.10 ～05.11	認知症ケア研修	管理者兼生活相談員	10名
R2.06.16 ～06.17	個人情報保護(プライバシー)研修	管理者兼生活相談員	13名
R2.07.10 ～07.11	接遇研修	介護福祉士兼生活相談員	12名
R2.07.14 ～07.15	安全運転講習	介護福祉士	13名
R2.08.17 ～08.18	リスクマネジメント研修	介護福祉士兼生活相談員	11名
R2.08.26 R2.10.08	感染症予防・食中毒予防研修	管理栄養士	10名
R2.09.10 ～09.11	緊急時対応(救命救急)研修	管理者兼生活相談員	13名
R2.10.14 ～10.15	チームマネジメント研修	施設長	16名
R2.11.21 R2.11.23	身体拘束廃止研修	介護福祉士兼生活相談員	8名
R2.12.19 ～12.20	冬道の安全運転研修	介護員	15名

## (2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R2.06.18	登米管内介護保険施設等管理者対象感染対策基礎研修	登米市	登米市	職員1名
R3.02.01 R3.02.05	高齢者施設感染症対策研修	東北医科薬科大学	オンライン開催	職員2名
R3.02.24	高齢者権利擁護推進研修	オンブズネット「エール」	オンライン開催	職員2名
R3.03.02	福祉施設におけるBCPセミナー	損保ジャパン株式会社	オンライン開催	職員1名

## 2. 会議開催状況

## (1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	利用者職員に関わる議題内容	月1回	生活相談員 1名
ケアスタッフ会議	利用者利用状況等に関わる議題内容	月1回	施設長他 17名
デイサービス部会	各デイサービスの利用状況報告等	月1回	管理者兼生活相談員 1名
給食会議	給食に関する事項等	月1回	給食係 1名

## 3. 委員会開催状況

## (1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
サービス検討委員会	利用者のサービス向上について	月1回	生活相談員他5名
リスクマネジメント委員会	リスクマネジメント、身体拘束廃止について	月1回	生活相談員他5名
アクティビティケア検討委員会	地域交流、利用者ケアの充実について	月1回	生活相談員他5名

## 【施設機能の開放】

## 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

## (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来 訪 者 数
R2.04.06 ～04.19	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	4名
R2.05.12 ～05.26	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	4名
R2.06.02 ～06.17	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	4名
R2.07.08 ～07.21	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	4名
R2.08.03 ～08.25	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	4名
R2.09.01 ～09.23	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	4名
R2.10.01 ～10.21	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	4名
R2.11.02 ～11.30	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	4名
R2.12.03 ～12.15	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	3名
R3.01.08 ～01.19	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	3名
R3.02.09 ～02.24	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	3名
R3.03.05 ～03.24	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	4名
計			45名

## (2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R2.08.31	東北医科薬科大学	介護・在宅医療体験実習代替	1名	1名
計			1名	1名

### 【今後の取り組み】

- 地域ご利用者のしあわせを考えた支援と施設づくり
  - 利用者及び家族の意向や意見を尊重しケアプランを基に個別ニーズを把握しサービスの向上に繋がります。
  - 利用者の尊厳や人権を守るため、人権の擁護や虐待防止の担当者を選定し、取り組みます。
  - 対人援助技術の向上を図り、あらゆる場面で心地よい接遇を心掛けます。
  - 季節感ある環境整備により、生活の活性化を図ります。
  - 介護機器・設備・施設各所の定期点検と修繕により、安全確保と業務の効率化を図ります。
  - ヒヤリハット・事故報告の検証を徹底し予防策・対応策の立案と実行を図ります。(安全対策担当者の選定)
  - 感染予防・対策、防災・防犯・非常時対応に対する危機管理を徹底します。(業務継続計画の作成と訓練の実施)
  - 幼児・児童・生徒・学生・地域住民との交流を定期的に行い交流を図ります(みやぎ教育応援団登録済)。
  - 実習やインターンシップ、見学やボランティアを積極的に受け入れ、マンパワーの養成と確保に努めます。
  - 利用者や家族のニーズを捉え、サービスの改善に積極的に取り組みます。
  - 利用時の対話から思いを把握し個人々の連絡帳の活用を図り信頼関係を築きます。
  - 担当者会議において各事業者等と互いに情報の共有に努めます。
  - RUIカフェ(オレンジカフェ)にて認知症セミナー等を開催します(オンライン含)。
  - 外部のリハ専門職等との連携やICTの活用により、自立支援・重度化防止に資する介護を図ります。
  - 広報誌の発行(年4回)により施設の活動内容を発信し、理解を深めていただきます。
  - 行事や地域貢献を、他事業所や他団体、学校などと連携し、共同開催を図ります。
  - 社会福祉法人としての利益還元として食事代無料化とし、利用負担の軽減を図ります。
- 職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり
  - 行動目標シートの作成と、実行及び評価を通じて、職員一人ひとりの行動目標の達成を目指します。
  - 定期的な健康診断・検診を実施。適切なハラスメント対策を実施します。
  - 法人内の研修の新任職員研修、階層別研修、フォローアップ研修に計画的に参加します。
  - 事業所内部研修(テーマ別研修)を毎月実施。他施設とオンラインによる開催も検討します。
  - 禁煙や健康増進体操(モビバン利用)などに取り組み、労働災害防止にも繋がります。
- 安定した経営を目指した健全な財政運営
  - 節電・節水を常に意識し、光熱水費の削減を図ります。
  - 修繕できる物は修繕し利用することを心し、常に「我が身」対応を心がけます。
  - 5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)を徹底的に行い、ムダを省きます。
  - ベンチマーク(完成度の高いサービスやその水準を理解する)を設定し、それに近づく手順や方法を検討します。
  - 介護ロボット等を活用し、職員の負担軽減を図り、業務改善し、業務の効率化・最適化を図ります。
- 社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革
  - 専門職以外のマンパワーの育成・活用を検討します。
  - 介護医療一体化を理解し、一層の連携強化を図ります。
  - 地域貢献の新しい形(Small Local Hub小さな拠点)を模索し、その為に必要な提携や協力に取り組みます。
- 時代の要求に応じた各種の研修と質の高い職員の育成
  - 各委員会活動の充実を図ります。
  - 認知症介護実践者研修・リーダー研修、実習指導担当者養成研修等計画的に参加します。
  - 各種・各機関の研修会に参加し専門的知識を身につけ伝達を行います。
  - 指導監督職が次世代の育成を担う役割を遂行します(介護職員初任者研修講師や国試・ケアマネ試験対策講師)。
  - 安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現を図ります。
  - 新任職員で無資格者に関しては、認知症介護基礎研修・介護職員初任者研修を実施します。

# 令和2年度 特別養護老人ホーム南風園 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市南方町高石6番地43  
 2) 設 置 主 体 社会福祉法人恵泉会  
 3) 経 営 主 体 社会福祉法人恵泉会  
 4) 開 設 年 月 日 平成6年5月1日  
 5) 事 業・利用定員

事 業	利 用 定 員
介護老人福祉施設	54 名
短期入所生活介護	16 名
計	70 名

住み慣れた地域において、生活を継続していくためのサービス提供体制の中核拠点、地域づくりを目指して、自立支援、重度化防止といった観点から、サービスの質の向上、認知症介護、職員の資質・専門性の向上に下記のとおり取り組みました。

業務改善・働き方改革については、職員の業務負担の軽減を図るため介護ロボットを導入し、一応の成果を見せています。

地域貢献・地域連携については、「認知症カフェ」開催に向けて準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大により開催することができませんでした。同様に防災訓練においても地域と連携しての訓練を実施することができず、自施設のみで行いました。未だコロナ感染の収束時期が読めない状況ですが、地域の状況を踏まえての取り組みについては翌年度以降も継続して推進を図ります。

## 【 重 点 項 目 】

### 1. サービスの質の向上の取り組み

- 1) 栄養マネジメントは、管理栄養士が主になり、嘱託医、看護師、介護福祉士、介護支援専門員、生活相談員の他職種協働で実施しました。身体状況に応じて食形態、栄養確保、摂食状況等の検討をしました。

機能訓練指導員により定期的に機能訓練を実施。集団リハビリは年42回、個別機能訓練は年75回実施しました。

皮膚トラブルを防ぐため、週3回の入浴を実施し、褥瘡ケアマネジメントを褥瘡予防委員会を中心にすすめ、発生を防ぎました。

機能維持向上も効果測定には、バーセルインデックスを用いてBI値測定、ADL評価を実施しました。

- 2) 認知症介護

認知症介護実践者研修を受講し、1名修了しました。認知症ケアの実践体制づくりをすすめました。

個別援助計画を立て認知症ケアを実践しました。

### 2. 職員の資質・専門性の向上の取り組み

外部研修は、14回、のべ15人、内部研修は20回、のべ212人が参加し、専門的知識・技術の習得をすすめました。

認知症ケア実践者研修に1名参加、修了しました。認知症ケア実践の体制づくりをすすめました。

新任職員研修、介護職員初任者研修に参加し、知識技術の習得に努めました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、予定していた介護実習は中止となっています。

### 3. 業務改善・働き方改革の一環としての取り組み

介護ロボット(見守りセンサー)を導入し、利用者のバイタル、体動などの検知により状態把握が容易となりました。このことから業務負担が軽減され、精神的安心感により介護職員の介護業務への注力へと繋がりました。

職場ストレス評価を実施し、セルフケア、感情のコントロールについて理解を深めることができました。

### 4. 地域貢献・地域連携の取り組み

地域貢献事業として、認知症カフェ「みなみかぜ」を開催予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、開催できませんでした。

防災訓練においても自施設のみで訓練を実施しました。

### 5. 継続的な事業運営の取り組み

認知症ケア加算取得に向けた取り組みとして、認知症介護実践者研修へ1名参加、受講することで体制づくりをすすめました。

毎月の事業活動収支の状況を把握し、職員会議等で職員間共有を図りました。備品、物品の在庫管理について把握、倉庫等の整理整頓を行いました。



【 利 用 状 況 】

- 1. 年間延べ利用人員 18,969 名
- 2. 年間稼働率 96.24 %  
(目標稼働率 97.00 %)
- 3. 年間平均介護度 4.23
- 4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	240	248	240	242	225	262	279	270	248	279	252	262	3,047
要介護4	711	722	700	701	727	690	734	734	774	738	592	776	8,599
要介護5	660	667	608	651	651	614	602	600	596	577	524	573	7,323
計	1,611	1,637	1,548	1,594	1,603	1,566	1,615	1,604	1,618	1,594	1,368	1,611	18,969

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	0	1	1	1	1	0	1	1	3	2	11
退所者数	0	0	0	1	2	1	0	0	2	2	3	2	13
月末入所者数	54	54	54	54	53	53	54	54	53	52	52	52	-2

【利用者サービスの状況】

- 1. 生きがいサービス  
(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2.04.19	春まつり	感染予防の為、規模縮小での開催。桜の見えるダイルームで春を感じながらカラオケ大会を実施。	利用者 52名 職員 17名
R2.05.01 ~5	菖蒲湯	端午の節句にちなみ、昔からの風習に倣って湯船に菖蒲を浮かべ健康と無病息災を願う。その効能により腰痛や神経痛を和らげ心身にリラックスする。	利用者 66名 職員 22名
R2.07.02	七夕交流会	感染予防の為、他事業所との交流会は実施せず。職員と利用者によるレクリエーションを実施。	利用者 47名 職員 20名
R2.07.31	夕涼み会	夕涼み会を開催し、利用者の方々に夏の涼を実感して頂く。余興を鑑賞し、気分転換を図る。	利用者 62名 職員 23名
R2.08.19	盆供養	住職を迎え読経・焼香を行い物故者の冥福を祈る。	利用者 15名 職員 4名
R2.09.13	長寿を祝う会	長年の労に感謝し、余興を楽しみながら家族と共に祝う。	利用者 52名 職員 14名
R2.10.06	秋のレクリエーション (あやめ園との交流会代替)	職員と入所者の方々にレクリエーションを実施し、明るく楽しく過ごし、気分転換を図る。	利用者 35名 職員 12名
R2.12.16 ~19	ゆず湯	寒くなってくる季節のため、昔からの風習に倣って湯船に柚子を浮かべて入浴して頂く。ゆず湯には、乾燥予防や体を温め風邪を予防する効果がある他、ゆず独特の良い香りで癒しの効果がある。	利用者 68名 職員 24名
R2.12.23	クリスマス忘年会	余興やスライドショーを楽しみながら、クリスマスの雰囲気味わい一年間の思い出を振り返る。	利用者 52名 職員 12名
R3.01.12	新年会	新年の雰囲気を感じながら新年を祝い、一年の健康を願う。また、余興を楽しみ和やかな時間を過ごす。	利用者 38名 職員 11名
R3.02.02	節分	健康と長寿を願い、豆をまき厄を払う。	利用者 53名 職員 13名

【短期入所者生活介護サービス】

- 1. 年間延べ利用人員 4,130 名
- 2. 年間稼働率 70.72 %  
(目標稼働率 85.00 %)
- 3. 年間平均介護度 3.17
- 4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	3	3	12	18	0	0	0	36
要介護1	19	20	16	25	32	36	32	36	31	45	54	38	384
要介護2	59	74	95	94	112	85	90	82	72	92	86	105	1,046
要介護3	64	69	50	73	87	71	89	79	98	85	80	82	927
要介護4	93	93	102	91	74	74	93	100	78	56	33	49	936
要介護5	52	68	82	95	73	72	74	58	55	49	45	58	781
その他	3	3	6	1	0	3	2	2	0	0	0	0	20
計	290	327	351	379	378	344	383	369	352	327	298	332	4,130

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R2.04.19~24	コンプライアンス研修	南風園施設長	33名
R2.04.19	防災機器・ボイラーの取扱研修	南風園介護福祉士	6名
R2.05.19	身体拘束廃止推進研修(前期)	南風園介護福祉士	14名
R2.05.27	医療研修 緊急時の対応	南風園主任准看護師	14名
R2.06.24	食中毒予防研修	南風園管理栄養士	12名
R2.07.15	介護事故防止研修(前期)	南風園介護福祉士	10名
R2.07.29	褥瘡予防研修	南風園副主任看護師	9名
R2.08.12	感染予防研修	南風園副主任看護師	10名
R2.08.13	感染予防研修	南風園副主任看護師	8名
R2.08.17	感染予防研修	南風園副主任看護師	7名
R2.08.18	感染予防研修	南風園副主任看護師	6名
R2.09.29	認知症高齢者基本介護研修	南風園看護師	19名
R2.10.29	介護予防研修	南寿荘作業療法士	10名
R2.11.27	身体拘束廃止推進研修(後期)	南風園介護福祉士	8名
R2.11.27	感染症予防研修	南風園副主任看護師	10名
R2.12.15	介護事故防止研修(後期)	南風園介護福祉士	10名
R3.01.19	プライバシー研修	南風園主任生活相談員	10名
R3.02.16	個別援助計画書作成についての研修	南風園副主任生活相談員	8名
R3.02.24	個別援助計画書作成についての研修	南風園副主任生活相談員	8名
R3.02.26	個別援助計画書作成についての研修	南風園副主任生活相談員	8名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R2.08.27	新型インフルエンザ等感染対策研修会	宮城県登米保健所	登米市	職員1名
R2.09.01	登米圏域介護保険施設等新型インフルエンザ等感染対策推進事業 介護保険施設等感染防御スタッフ研修	宮城県東部保健福祉事務所登米地域事務所	登米市	職員2名
R2.09.02	平成31年度宮城県認知症介護実践者研修会(第IV期)報告会	宮城県介護研修センター	大崎市	職員1名
R2.10.05	HACCP導入推進セミナー―一般飲食店向け(食品事故を防ぐ)	登米市迫体育館	登米市	職員1名
R2.12.18	令和3年度 介護報酬改定の詳細と事前対策	NDソフトウェア(株)(オンライン)	仙台市	職員1名
R2.12.25	新型コロナウイルス感染症に関する高齢者施設での対応	東北薬科大学病院感染制御部/感染症内科遠藤史郎氏(オンライン)	登米市	職員1名

R3.02.03	現場で遭遇しそうなトラブルセミナー (倒れた時に必要な観察方法)	東北大学クリニカル・スキルスラボ(オンライン)	仙台市	職員1名
R3.02.16	令和2年度第2回介護福祉士養成施設 実習指導者研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R3.02.17	現場で遭遇しそうなトラブルセミナー (転んで頭を打った時の観察方法)	東北大学クリニカル・スキルスラボ(オンライン)	仙台市	職員1名
R3.02.24	権利擁護と高齢者虐待防止～より良い 介護サービス提供のために～	宮城福祉オンブズネット 「エール」(オンライン)	仙台市	職員1名
R3.02.26	令和2年度第2回介護福祉士養成施設 実習指導者研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R3.03.03	現場で遭遇しそうなトラブルセミナー (窒息が起きた時の対応方法)	東北大学クリニカル・スキルスラボ(オンライン)	仙台市	職員1名
R3.03.16	令和2年度第2回介護福祉士養成施設 実習指導者研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R3.03.17	現場で遭遇しそうなトラブルセミナー (痙攣時の対応方法)	東北大学クリニカル・スキルスラボ(オンライン)	仙台市	職員1名

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の 検討	毎月第2木曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・ 看護師・介護職員
ケアスタッフ会議	利用者のサービス内容に関する事項 の検討	毎月第2木曜日	施設長・事務員・相談員・ 看護師・介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事 項の検討	月1回	施設長・相談員・相談員・ 看護師・介護職員
サービス担当者会議	個別サービス内容及び問題ケースに 関する検討	月1回	施設長・相談員・栄養士・ 看護師・介護職員
栄養ケアマネジメント会 議	利用者栄養状態の把握等をマネジメ ント及び検討	月1回	施設長・相談員・栄養士・ 看護師・介護職員

## 3. 委員会開催状況

### (1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
苦情処理リスクマネジメント委員会	家族・利用者の苦情に対しリスクを考 慮しながら予防と防止対策を図る。	毎月第1木曜日	施設長・相談員・看護師・ 介護職員
サービス向上委員会	利用者サービスの質の向上を検討企 画し、サービス評価事業に取り組む。	毎月第3木曜日	施設長・相談員・栄養士・ 看護師・介護職員
研修委員会	職員の資質の向上を図れるよう、施設 内研修の実施の企画調整を行う。	毎月第3木曜日	施設長・事務員・栄養士・ 看護師・介護職員
身体拘束廃止推進委員会	身体拘束0をめざし誘発原因の除去 や環境の整備を行う。	毎月第4木曜日	施設長・相談員・栄養士・ 看護師・介護職員
予防衛生対策委員会	各種感染症の予防・対策の検討を行 い、まん延の防止に努める。	毎月第4木曜日	施設長・相談員・栄養士・ 看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡が発生しないよう体制の整備及 び、研修等を行う。	毎月第4木曜日	施設長・相談員・栄養士・ 看護師・介護職員
防災委員会	非常時に備え、防災訓練の実施、安 全な環境を整備する。	毎月第1金曜日	施設長・事務員・相談員・ 栄養士・看護師・介護職員

## 【今後の取り組み】

### 1. サービスの質の向上の取り組み

自立支援に資する機能訓練・口腔ケア・栄養ケア・褥瘡予防ケア・認知症ケアを一体的に取り組みます。

#### 1) 自立支援・重度化防止の取り組み

①心身機能維持の取り組みは、体を使った活動と生きがいサービス活動により展開します。定期的に機能訓練プログラム(認知機能・運動器機能)を実施します。また、生きがいサービス活動(生花・書道・音楽・創作・レク活動・外出等)を実施します。機能向上や維持の効果測定にはADL評価を6ヶ月に1回実施し、個別援助計画に反映、個別ケアに取り組みます。

②口腔ケアの取り組みは、主治医の指導指示に基づくケア実践、口腔機能スクリーニングの実施、評価など利用者の状態に応じた丁寧な口腔衛生管理を実践します。

③栄養ケアは、利用者の栄養状態の把握、低栄養リスクの高い利用者への丁寧な実施、経口維持の継続的な取り組みを行います。栄養(1,400~1,500kcal/日)と水分(1,500ml)を摂取目標とし、心身の状態、摂取状況の確認により状態に合わせた食形態や食事提供全般にわたる工夫や試みを担当者会議で検討し、栄養ケアマネジメントを管理栄養士が主体的に他職種連携により行います。

④褥瘡予防ケアは、褥瘡発生や改善は栄養と大きく関わることを踏まえ、栄養ケア同様、他職種の連携により行う。また、スキントラブルや希望者を中心に週3回の入浴を実施します。

## 2) 寝たきり防止等・重度化防止の取り組み

①利用者の尊厳の維持、自立支援・重度化防止の推進、廃用や寝たきりの防止のため、機能訓練や日々の利用者の状態をアセスメント、個別援助計画に反映し個別ケアを実践します。

②排泄ケアは、排泄に係るスクリーニングを実施し、排泄状態を改善もしくは維持することが可能な状況を確認し、その利用者に応じた適切な対応により排泄に係る要介護状態を軽減する取り組みを実施します。

## 2. 地域包括ケア推進への取り組み

要介護状態となっても住み慣れた地域で暮らし続けることにあつては、認知症への対応不安は大きいため、地域の受け皿として取り組みます。

### 1) 認知症への対応力向上に向けた取り組み

①認知症についての理解の下、利用者主体のケアを行い、認知症の利用者の尊厳の保障を実現するために認知症ケアに関する専門研修を受講し、その人員配置及び加算取得に向けた取り組みを実施します。

②無資格の介護職員には、認知症介護基礎研修の受講を推奨し、認知症対応力を向上させ、認知症ケア実践の体制作りをします。

③認知症の特性に応じた介護技術研修や認知症予防プログラムにより、特性に応じたケアや予防の取り組みをします。

## 3. 感染症や災害への対応力強化に向けた取り組み

感染症の発生及び蔓延等や災害が発生した場合であっても必要なサービス提供が継続できる体制を構築します。

1) 感染症対策強化として、感染症の発生及び蔓延等に関する取組の徹底は、現行の予防衛生対策委員会(感染対策委員会)を通し、指針の整備や研修訓練を実施します。

2) 現下の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、利用者・家族等が面会制限を強いられている状況を少しでも解消するため、iPad活用によるオンライン面会を実現します。

## 4. 介護人材確保、職員の資質・専門性の向上への取り組み

1) 外部研修や伝達研修、内部研修の充実に継続して取り組みます。時間の合間を見つけたミニ研修も随時実施し、理論、実践の学びを深めます。

2) 認知症介護実践リーダー研修、認知症介護指導者研修の受講により「認知症ケア加算」取得をめざし体制を作ります。

3) 基本理念、倫理綱領の理解と行動規範、服務規程等、その他取り巻く規則規程の遵守徹底を図り、職員間共通認識を高め、よりよい職場環境を作ります。

4) 人材育成については、法人内で実施している研修への講師派遣(介護福祉士試験対策講習、ケアマネジャー試験対策講習、介護職員実務者講習、介護職員初任者研修)により、法人全体で職員の資格取得に向け取り組みます。施設内においては、研修マニュアル、研修計画に基づき育成を行い、評価や分析、講師となった職員へフィードバックする等研修委員会が進めます。

## 5. 業務改善・働き方改革の一環としての取り組み

1) ケアパレット・iPad導入により、記録等の業務負担軽減をすすめます。

2) サービス向上委員会(業務改善委員会)において、業務内容の見直しと工夫、効率的な業務、利用者視点でのサービス提供について検討します。

①マニュアル検討委員会を設け、既存のマニュアルの見直しの他、サービス提供において必要なマニュアル、手順書について検討します。

②介護事故防止のため事故検証に必要な情報収集を多くし適切な対応策を検討します。

③利用者満足度調査の実施(年2回)、情報収集の他、利用者興味・関心チェックシートを活用し、サービス提供における分析、評価、改善に用います。

3) ストレスマネジメント(職場ストレス評価)を実践し、セルフケア、ラインケアにより、感情のコントロールを意識し、組織として関わり合いが出来る組織づくり、職場環境改善に取り組みます。

# 令和2年度 南方デイサービスセンター南寿荘 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市南方町高石6-8 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会     |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会     |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成6年5月1日       |
| 5. 利 用 定 員   | 32 名           |

恵泉会の基本理念である「人間の尊厳」、「人権の擁護・平等・主体性の尊重」、「生活の質の向上」、「地域福祉の向上」、「職員の資質・専門性の向上」を基本とし、住み慣れた地域において、生活を継続していくためのサービス提供体制の中核拠点、地域づくりを目指し下記のとおり取り組みました。

自立支援、重度化防止については、よりサービスの質(自立支援、認知症介護、中重度ケア)を高めるための取り組みとして個別機能訓練や運動器機能向上プログラムを取り入れ一応の成果を得る事ができました。また利用者のみならず地域の拠点としての機能や地域連携については、コロナウイルス感染対策により、交流支援事業は全て中止となりました。未だコロナウイルス感染の収束が見込めない状況下ではあるが状況を踏まえながら、地域の拠りどころとしてサービス提供体制の基盤強化と介護の受け皿となる拠点づくりに向け今後も継続した連携推進を図ります。

## 【 重 点 項 目 】

1. サービスの質の向上の取り組み
  - ・心身機能に応じた日常活動、行事参加等を行いました。集団リハビリにより体を適度に動かす事を意識していただき体力維持向上に繋げ、ADL評価を年2回実施しました。
  - ・認知症実践者研修に職員1名参加、認知症ケア実践体制づくりをすすめました。
  - ・中重度ケアにおいては、生活リズムを整えるための一日の流れを集团でつかみ、食後のうがい等で口腔内衛生管理に努めました。年間通じて誤嚥性肺炎を起こす利用者はいませんでした。
2. 職員の資質・専門性の向上の取り組み
  - ・認知症実践者研修、介護福祉士受験対策講習会等各々参加、受講しました。介護福祉士1名の資格を取得しました。
  - ・次年度、サービス提供体制加算の取得条件を満たすことで、収入増へつなげます。
3. 業務改善・働き方改革の一環としての取り組み
  - ・委員会やグループ活動において、業務表の見直し、手順書の見直しを行い業務効率、改善に取り組みました。
  - ・職場ストレス評価を実施し、職員の状況把握、モチベーション維持、必要に応じての面談を実施。感情のコントロールについて意識、理解を図りました。
4. 地域貢献、地域連携の取り組み
  - ・新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、年2回予定していた認知症カフェ「みなみかぜ」の開催を見送りました。
  - ・新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、ボランティア、交流会、実習等の受入を制限し、感染予防に努めました。
5. 継続的な事業運営の取り組み
  - ・各種加算の取得に向け取組を行いました。特にADL維持等加算については、取得条件を満たせず取得できませんでしたが、今後の取組として継続していきます。
  - ・食費無料としたことに加え、定員30名を32名に変更し利用延べ人数の減少を抑えることができました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 8,639 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 87.09 % (通所介護+総合事業)  
(79.21) % (通所介護)  
(7.87) % (総合事業)
4. 年間平均介護度 1.99 (通所介護)
5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	282	267	237	232	248	261	245	216	181	198	209	203	2,779
要介護2	224	255	241	266	266	265	303	268	236	198	200	223	2,945
要介護3	120	113	139	139	135	140	132	147	153	132	145	160	1,655
要介護4	51	41	47	44	19	23	22	18	23	17	22	27	354
要介護5	14	15	17	11	9	8	7	4	9	12	11	8	125
計	691	691	681	692	677	697	709	653	602	557	587	621	7,858
事業対象者	15	16	16	15	16	15	17	14	15	12	9	12	172
要支援1	14	16	18	17	15	11	12	3	4	0	0	10	120
要支援2	52	39	42	52	35	38	43	40	42	33	33	40	489
計	81	71	76	84	66	64	72	57	61	45	42	62	781
合計	772	762	757	776	743	761	781	710	663	602	629	683	8,639

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	4	2	2	4	4	0	3	0	1	1	2	1	24
契約終了者数	4	1	1	6	0	4	0	1	4	3	4	0	28
月末契約者数	78	76	78	80	76	80	78	79	81	76	76	77	

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2.9.15~17	長寿を祝う会	社会に貢献された利用者の方々に感謝と敬意を表し、長寿をお祝いする。	利用者 89名 職員 34名
R2.12.24~26	クリスマス忘年会	職員による余興をご覧頂き、一緒に身体を動かされたり楽しい雰囲気味わうと共に今年一年を振り返る機会に繋げる。	利用者 79名 職員 27名
R3.1.11~13	新年会	新年のお祝いをすると共に、お屠蘇や獅子舞をご覧になり楽しみ、張りの有る生活に繋ぐ。	利用者 72名 職員 28名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R2.04.20	令和2年度人事考課者研修	理事長 他2名	1名
R2.04.21.22.24	「倫理及び法令遵守」「コンプライアンスと接遇」研修	施設長	10名
R2.05.19	身体拘束廃止推進研修	介護福祉士	2名
R2.05.27	医療研修・緊急時の対応	看護師	2名
R2.06.24	食中毒予防研修	管理栄養士	1名
R2.07.15	介護事故防止研修 前期	介護福祉士	1名
R2.07.29	褥瘡予防研修	看護師	1名
R2.09.29	認知症高齢者介護基本研修	看護師	2名
R2.08.12.14.17.18	感染予防研修・ガウンテクニック研修	看護師	8名
R2.09.29	移乗研修	介護福祉士	4名
R2.10.02	新任職員研修	施設長	1名
R2.10.16	新任職員研修	管理者	1名
R2.10.29	介護予防研修	作業療法士	1名

R2.11.03	新任職員研修	介護福祉士	1名
R2.11.27	身体拘束廃止推進研修(後期)	介護福祉士・介護員	1名
R2.11.27	感染症予防研修	看護師	1名
R2.12.15	介護事故防止研修 後期	介護福祉士	3名
R3.01.19	プライバシー研修	生活相談員兼介護支援専門員	3名
R3.02.16. 24. 26	個別援助計画書作成についての研修	生活相談員兼介護支援専門員	11名
実 施 回 数		19 回	延 べ 参 加 者 数
			55名

(2) 外部研修

年 月 日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R2.04.30	感染対策基礎研修	登米保健所	迫町	1名
R2.09.02	令和元年度宮城県認知症介護実践者研修	宮城県社会福祉協議会	大崎市	1名
R3.02.24	宮城県高齢者権利擁護推進研修 「権利擁護推進員養成研修」	宮城福祉オンブズ ネット「エール」	仙台市	1名
R3.03.03	現場で遭遇しそうなトラブル対応セミナー	東北大学クリニカル・スキルラボ	仙台市	1名
R3.03.17	現場で遭遇しそうなトラブル対応セミナー	東北大学クリニカル・スキルラボ	仙台市	1名
実 施 回 数		5回	延 べ 参 加 者 数	5名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の 検討	毎月第2木曜日	施設長・事務員・相談員・栄養 士・看護師・介護職員
デイ職員会議	利用者のサービス内容に関する事項 の検討	毎月第2金曜日	施設長・事務員・相談員・栄養 士・看護師・介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事 項の検討	毎月第3火曜日	施設長・相談員・栄養 士・看護師・介護職員
ケアスタッフ会議	個別サービス内容及び問題ケースに 関する検討	毎月第2金曜日	施設長・相談員・栄養 士・看護師・介護職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
防災委員会	非常時に備え、防災訓練の実施、安全な 環境を整備する。	毎月第1金曜	施設長、事務員、栄養士、看護 師、生活相談員、介護員
苦情処理・リスクマネジメ ント委員会	家族及び利用者の苦情に対応し、リスク (介護事故等)を考慮して対策を行う。	毎月第3金曜	施設長、看護師、生活相談員、 介護員
サービス向上委員会	サービス提供のための過程や結果を検討 し、サービスの質の向上に努める。	毎月第3金曜	施設長、事務員、栄養士、看護 師、生活相談員、介護員
身体拘束廃止委員会	利用者の自由と人権、尊厳を守るため、身 体拘束ゼロの実現をめざす。	毎月第4木曜	施設長、事務員、栄養士、看護 師、生活相談員、介護員
研修委員会	介護等における基礎知識の習得、及び 専門的知識、技術の向上を図る。	毎月第3木曜	施設長、事務員、栄養士、看護 師、生活相談員、介護員
予防衛生対策委員会	感染予防や食中毒の予防、研修などを 行い、リスクに備えた環境作りを行う。	毎月第4木曜	施設長、事務員、栄養士、看護 師、生活相談員、介護員

【施設機能の開放】

1. 地域貢献事業・ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

\* コロナのため受け入れ実績はありませんでした。

(2) 実習

\* 実習生の受け入れ実績はありませんでした。

## 【今後の取り組み】

### 1. サービスの質の向上の取り組み

自立支援に資する機能訓練・口腔ケア・栄養ケアの一体的な取り組みをすすめます。

①心身機能維持の取り組みは、機能訓練プログラム(認知機能・運動器機能)を取り入れた集団リハビリ体操を実施します。また、生きがいサービス(レク活動・創作活動・趣味活動等)においても機能訓練の一環としての取り組みをすすめます。心身機能維持や向上の効果測定にはADL評価(バーセルインデックス)を6ヶ月に1回実施し、個別ケアへの取り組みをすすめます。

②総合事業対象の運動器機能向上(転倒予防)の訓練を実施し、筋力低下の防止、身体機能維持、介護予防の取り組みをすすめます。その評価は体力測定(5m歩行・UP&GO・開眼片足立ち・握力)を6ヶ月に1回実施します。

③要介護者対象の個別機能訓練を実施。ADL(身体機能)・IADL(生活機能)の自立、自ら望む生活を目標設定、計画介入により心身機能の維持や向上をすすめます。

④生活に潤いと生きがい、楽しみを持つ心のサポートの取り組みは、外出訓練(外食・社会見学・買物・社会適応訓練等)と四季折々の年間行事の中で実施します。

⑤口腔ケア・栄養ケアの取り組みは、介護職員による口腔機能スクリーニング・栄養スクリーニングの実施し、利用者の状態に応じた丁寧な口腔衛生管理、栄養改善を要する状態の把握により必要なケアを実践します。

### 2. 地域包括ケア推進への取り組み

要介護状態となっても住み慣れた地域で暮らし続けることには、認知症への対応不安は大きいと、地域の受け皿としての取組をすすめます。

①認知症への対応力向上に向けた取り組み

1)認知症の理解と周辺症状に合わせた介護技術の習得のため、認知症実践者研修、認知症実践者リーダー研修を積極的に受講し、認知症ケア実践の体制作りをすすめます。

2)認知症サポーター養成講座を地域包括支援センターの協力のもと開催し、地域の方の認知症についての理解を深め、ケアに携わる人の価値を認め、支援や協力体制が組める取り組みを検討していきます。

### 3. 感染症や災害への対応力強化に向けた取り組み

感染症の発生及び蔓延等や災害が発生した場合であっても必要なサービス提供が継続できる体制構築をすすめます。

①感染症対策強化として、感染症の発生及び蔓延等に関する取り組みは、現行の予防衛生対策委員会(感染対策委員会)を通して、指針の整備や研修訓練の実施をすすめることにより行います。

②災害への地域と連携した対応強化としての非常災害の対応訓練実施にあたっては、地域住民、関係機関の参加が得られるよう連携をすすめます。

### 4. 介護人材確保、職員の資質・専門性の向上の取り組み

①外部研修や伝達研修、内部研修の充実に継続して取り組みます。時間の合間を見つけたミニ研修も随時実施し、理論と実践の学びを深めます。

②介護福祉士実習指導者講習の受講、実習指導者を配置し受入体制をすすめます。また登米総合産業高校福祉科介護実習、職場体験実習の受け入れ、実習生の介護福祉に関する専門知識技術の習得と介護福祉士資格取得に向けた支援をすすめます。

### 5. 継続的な事業運営の取り組み

①取り損ねている加算の取得(ADL維持等加算)により、収入増を目指します。

②毎月事業収支の把握、月管理を徹底し、省エネやムダを省く等細やかに実践していきます。

③中長期計画の作成。長期目標と短期目標を明確にし共有します。収入見通し、設備整備計画、新規事業の展開、経営効率の評価分析、検討します。

### 6. 継続的な事業運営の取り組み

①業務継続に向けた取り組みとして、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築する観点から、業務継続に向けた計画(BCP)の策定、研修・訓練の実施をすすめます。

②報酬改定に応じた加算、特に算定できずにいる加算の取得(ADL維持等・認知症ケア)を目指します。

③毎月の事業収支の把握、月管理を徹底し、省エネやムダを省く等細やかに実践します。

④中長期計画の策定、長期目標と短期目標を示し共有します。収入見通し、設備整備計画、新規事業の展開、経営効率の評価分析、検討します。



# 令和2年度 地域密着型特別養護老人ホーム東和 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地
- 2) 設 置 主 体 社会福祉法人恵泉会
- 3) 経 営 主 体 社会福祉法人恵泉会
- 4) 開 設 年 月 日 平成21年4月1日
- 5) 事 業・利用定員

事 業	利 用 定 員
地域密着型介護老人福祉施設	20 名
短期入所生活介護	空床
計	20 名

新型コロナウイルス感染防止対策で面会や外出等の制限を設けざるを得ず、利用者様には大きなストレスを感じさせてしまう1年でした。そのような状況下において、利用者様に寄り添う支援を基本として24時間シートを活用し、一人一人の生活リズムに合わせた支援を行ってきました。ご家族にも定期的に利用者様の状況を電話や郵送でお知らせし、可能な方については電話でご家族と会話を行いました。空床が生じた際には在宅介護の負担軽減のため速やかに短期利用に活用し、地域貢献事業等を通して交流、情報発信の拠点施設として地域に必要とされる施設運営を目指しました。

## 【 重 点 項 目 】

1. ユニットケア施設の機能を生かし、利用者が居心地の良い雰囲気の中で、その人らしさと尊厳のある暮らしが継続できるよう常に利用者と共に寄り添えるケアの充実に努めます。

利用者様の個性を大切にし、24時間シートを活用し、個別ケアの実践を心がけました。居室を自宅からの馴染みの物で整えたり、食堂の配置を工夫し、居心地の良い場所作りを行いました。集団ケアではなく、一人一人の意思を尊重したケアを心がけ実践しました。

2. 利用者の健康状態や嗜好に応じた食事の提供に努めると共に、低栄養利用者の予防・改善に努めます。

利用者様の健康状態の把握や嗜好調査を行い、よりよい食事の提供を行ってきました。また、栄養士と看護師、担当職員との連携を密に図り、食形態の変更や補食の検討、食器の工夫を行い、食事を召し上がって頂ける環境にも配慮し、食べる喜びを感じて頂けるようなケアを行いました。

3. 利用者の安心安全な生活を最優先に考え、苦情や事故が発生した際には迅速に行動して、早期解決と再発防止に努めます。

新型コロナウイルス感染防止対策で面会が出来なかったため、エルダー通信として定期的に利用者様の近況報告に写真を添えて郵送しました。このような取り組みによりご家族にも安心して頂き、今年度も苦情はありませんでした。利用者様の大きな事故はありませんでしたが、転倒が続く利用者様に対して、リスク対策委員会だけでなく、臨時ユニット会議として解決策を話し合い対応しました。又、何かあればご家族にその都度連絡と報告を行い、信頼関係の構築に努めました。

4. 協力医療機関と連携を図りながら、利用者の病状悪化防止、感染症や褥瘡発生の予防に努めます。

近隣に協力医療機関がある利点を活かし、協力医療機関との密な連携を図りながら、利用者様の病状悪化防止、感染症の発生及び褥瘡予防に努めてきました。褥瘡も当施設での発生ケースはなく、入院中に褥瘡が発生したケースはありましたが、退院後施設でのケアにより現在は改善傾向に向かっています。感染症については感染対策委員会が中心となり、新型コロナウイルスなどの感染症対策を徹底し、緊張感を持ちながら日々の業務に当たっております。

5. 介護ロボットの導入により、介護職員の身体的負担の軽減や業務の効率化など、就労環境の整備を図ります。また、有給休暇の取得を促進し、心身共にリフレッシュできる職場環境を目指します。

介護ロボットについては1台のみの導入となっており、その有効性については残念ながら低い状況でした。有給休暇の促進については全職員が5日以上有給休暇を取得できており、モチベーションアップに繋がりました。

6. 法人が開催する資格取得研修に講師を派遣し、次代を担う人材育成に努めます。また、施設内外の研修に積極的に参加し、職員各自のスキルアップを図ります。

法人が開催する資格取得研修はオンラインでの実施となり、当施設からも研修講師として職員を派遣しました。研修委員会が中心となり内部研修も計画的に行われ、各職員のスキルアップに繋がりました。また、今年度は1名の職員がユニットリーダー研修を受講し、ユニットケアについて学び、リーダーを育成することができました。

7. 施設設備の開放や地域住民との交流機会を増やし、地域社会の一員として積極的に地域貢献活動に取り組みます。

新型コロナウイルスの影響により、例年行われていた地域行事への参加や、施設を開放しての避難訓練などは実施できませんでしたが、地域貢献活動として花壇の除草作業を行い、来年度の取り組みに向けたアンケート調査も行うなどしながら、出来る範囲で地域との関わりを継続しました。

8. 防災計画に基づいた避難訓練、通報訓練など各種訓練を実施し、危機管理の徹底に努めます。また、地域との災害協定締結に取り組み、災害発生時の相互協力体制を整えます。

消防計画にのっとり、避難訓練、通報訓練を行いました。風水害対策マニュアルの見直しもを行い、避難場所である萩風園と避難方法について話し合っています。実際の避難訓練は行えていないため、来年度は萩風園と合同の避難訓練を行い、有事に備えていきます。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 6,945 名  
 2. 年間稼働率 95.14 %  
 (目標稼働率 95.00 %)  
 3. 年間平均介護度 4.04  
 4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
要介護3	193	195	196	207	180	179	205	210	217	217	196	210	2,405
要介護4	100	79	133	149	144	161	179	180	186	186	168	186	1,851
要介護5	223	268	243	248	218	210	209	210	217	217	196	217	2,676
計	529	542	572	604	542	550	593	600	620	620	560	613	6,945

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	1	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	6
退所者数	2	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	6
月末入所者数	19	19	20	20	18	20	20	20	20	20	20	20	±0

## 【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

○合同行事

実施日	行事名	内 容	参加者数	
R2.5.04 ～06	菖蒲湯	伝統行事である菖蒲湯に入ることにより心身まで温まって頂き、無病息災を祈る。	利用者	16名
			職員	6名
R2.08.09	夕涼み会	縁日風の出店やゲームを行い夏ならではの風物詩を楽しんで頂く。	利用者	16名
			職員	7名
R2.09.20	長寿を祝う会	ご家族不参加ではあるが、利用者様と職員で長寿を祝い、レクゲームやおやつ作りを行う。	利用者	19名
			職員	9名
R2.11.20	合同クッキング	秋の食材であるさつまいもを使用しおやつを作り季節を感じて頂く。	利用者	12名
			職員	3名
R2.12.21 ～23	ゆず湯	季節の風物詩としてゆず湯につかっていただく。	利用者	20名
			職員	6名
R3.02.02	節分豆まき	職員扮する鬼に向かって豆まきを行い福を呼び込む。	利用者	20名
			職員	4名

○ユニット行事(1丁目)

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2.07.07	七夕クッキング	午前クッキングを行い、午後短冊に願い事を書き、作ったおやつを会食する。	利用者 10名 職員 3名
R2.10.01	お月見会	テラスにすすきとお団子をお供えし、月を眺め季節感をあじわって頂く。	利用者 3名 職員 2名
R2.12.21	クリスマス会	おやつのゼリーにデコレーションをし、クリスマスを楽しんで頂き、気分転換を図る。	利用者 7名 職員 3名
R3.02.14	バレンタインクッキング	チョコレートを使ったお菓子を作り、調理の楽しさをあじわって頂きながら、楽しいひと時を提供する。	利用者 10名 職員 4名
R3.03.07	園芸・お茶会	春を感じるような寄せ植えを行い、それを眺めながら和菓子と共にお茶会を開く。	利用者 10名 職員 4名

○ユニット行事(2丁目)

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2.04.15	お花見散歩	満開の桜を眺めながら、春の季節感を感じて頂く。	利用者 3名 職員 5名
R2.05.17	お茶会	窓際の廊下で気分転換を兼ねてお茶会を開く。	利用者 8名 職員 3名
R2.06.20	お楽しみクッキング	夏野菜の浅漬けを作り、季節を味わっていただく。	利用者 7名 職員 3名
R2.06.22	出前昼食会	出前にてそれぞれ好みのメニューを選んで頂き、給食とは違う食事を楽しんで頂く。	利用者 8名 職員 2名
R2.07.07	七夕	短冊に願い事を書いて頂き、ユニット食堂に飾りおやつを会食する。	利用者 5名 職員 1名
R2.07.13	出前昼食会	夏バテしないようになぎを注文し召し上がっていただく。	利用者 5名 職員 3名
R2.09.03	クッキング	たこ焼き器を使用し、お菓子作りを行い会食する。	利用者 6名 職員 4名
R2.11.15	レクリエーション茶話会	ボウリングや輪投げを行った後茶話会を行う。	利用者 5名 職員 3名
R3.02.22	出前昼食会	利用者様の誕生日会を兼ね、皆さんで食事会を楽しむ。	利用者 10名 職員 3名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 54 名

2. 年間平均介護度 1.30

3. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	8	8	8	5	0	8	5	0	0	0	0	3	45
要介護2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
要介護3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	15	8	8	5	0	10	5	0	0	0	0	3	54

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R2.04.21,28	施設設備研修	介護福祉士	職員1名
R2.04.14,23	介護事故防止研修※夜間緊急時対応について	准看護師、他	職員10名
R2.4.20	人事考課者研修	参事	職員2名
R2.05.23,06.09	医療研修(血圧測定・熱発クーリングについて)	看護職員	職員9名
R2.05.05,25	新任職員研修	施設長	職員1名
R2.06.07	WJUマネジメントミーティング	WJU鈴木氏	職員1名
R2.06.19	身体拘束及び虐待防止研修	介護福祉士	職員3名
R2.06.07	公用車運転操作研修	介護福祉士	職員3名
R2.06.19	食中毒予防研修(脱水予防)	管理栄養士	職員3名
R2.7.13,15,16	法令遵守研修 (全職員対象)	施設長	特養全職員
R2.07.20	経営者研修	WJU鈴木氏	職員1名
R2.09.19	褥瘡予防・感染対策研修	看護師	職員3名
R2.09.26	介護事故防止研修	介護福祉士	職員2名
R2.08.14～10.3	介護施設における感染対策研修(全職員対象)	ユニットリーダー、他	特養全職員
R2.10.21	新任研修	施設長	職員1名
R2.10.27	介護サービス研修	生活相談員	職員2名
R2.10.31	認知症高齢者基本研修	介護福祉士	職員1名
R2.11.26	虐待防止研修	介護福祉士	職員1名
R2.12.21	医療研修(バイタル測定)	看護師	職員5名
R3.02.03	プライバシー研修	生活相談員	職員4名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R2.06.11	登米管内介護保険施設等管理者感染対策基礎研修	宮城県登米保健所	宮城県登米合同庁舎	職員1名
R2.08.18	介護保険施設等感染防御スタッフ研修	宮城県東部保健福祉事務所	宮城県登米合同庁舎	職員2名
R2.9.3～4	安全衛生推進者等養成講習	宮城労働基準協会	瀬峰労基会館	職員1名
R2.09.18	要配慮利用施設の避難確保計画作成に係る後期講習会	登米市	南方農村環境改善センター	職員1名
R2.12.15～16	ユニットリーダー研修(座学研修)	全国ユニット型施設推進協議会	オンライン	職員1名
R3.02.24	権利擁護推進員養成研修	宮城オンブズネット「エール」	オンライン	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	行事、業務改善、施設運営管理等の企画・調整。	毎月第3水曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
給食会議	受託業者と給食内容、栄養管理について検討。	毎月第3水曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・相談員・介護職員
運営推進会議	サービス内容の評価・改善、利用者の生活状況報告。	2か月に1回	施設長・相談員・運営推進委員
ユニット会議	ユニット行事や入居者のケアについて検討。	毎月第2火・木曜日	ユニットリーダー・介護職員
セクション会議	各セクションの調整、業務の効率を図る。	必要時開催	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
入所判定会議	実態調査の結果を基に、総合的に入居の可否を判定。	必要時開催	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	毎月第1水曜日	施設長・介護職員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止、虐待防止等の検討を行う。	毎月第1水曜日	施設長・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討を行う。	毎月第2水曜日	施設長・相談員・介護職員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成等を行う。	毎月第2水曜日	施設長・介護職員・看護師
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	毎月第4水曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	毎月第4水曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	毎月第1金曜日	施設長・相談員・介護職員
入所検討委員会	新規入所申込者の入所順位を決定する。	3か月に1回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
	※コロナのため受け入れなし		

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
	※コロナのため受け入れなし			

【今後の取り組み】

1. 新型コロナウイルスやインフルエンザその他の感染症に対し、消毒と換気の徹底及び健康観察を行い感染予防に取り組みます。
2. 24時間シートを活用し、個別ケアの充実と、重度化防止を目標に生活リハビリ支援と自立支援に力を入れ、ADL低下の予防に取り組みます。
3. 地域の特性を活かし、社会福祉法人の運営する施設として事業所を開放し、認知症カフェの開催などを通じ、地域における社会資源と地域づくりの拠点機能を構築し、地域に貢献できる開かれた施設になるよう働きかけていきます。

# 令和2年度 東和高齢者福祉施設デイサービス 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地	宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地
2. 設 置 主 体	社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体	社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日	平成14年10月15日
5. 利 用 定 員	32 名

在宅の継続支援を支えるサービスとして法人の基本理念に基づき、可能な限り自立した生活が出来るよう支援させていただきました。新型コロナウイルスの流行にて活動では外出、慰問等制限されることもありましたが、お楽しみ会やゲーム大会等企画し、活動を盛り上げながら体を動かし機能訓練に繋げていきました。重度や認知症の重い方も意欲的に受け入れ、特浴槽やリクライニング車椅子の利用等施設の機能を生かし、安心して利用していただけたし、スポット利用も柔軟に受け入れ、稼働率の上昇に繋がりました。新型コロナウイルスの流行により家族や地域との関わりが薄くなってしまいがちでしたが、どの様な状況に於いても、信頼されるサービスを継続していけるよう努めていきたいと思っております。

## 【 重 点 項 目 】

1. 法人の基本理念に基づき、利用者がその居宅において可能な限り自立した生活が継続できるよう、サービスの充実に努めます。また利用者家族の相談に適切に対応し、安心して在宅介護が継続できるよう支援します。  
法人の基本理念に基づき、利用者の生活を線で支えるサービスとして丁寧な対応を心掛け、自立支援を進めてまいりました。利用者ご家族が安心してご利用していただけるように、適時に介護の相談やスポット利用も柔軟に受け入れながらサービス内容の充実に努めました。
2. 利用者の安心安全な生活を支援する為、リスクの分析から改善策を的確に検討し、事故防止に努めます。  
ヒヤリハットや事故が発生した場合は速やかに報告書を作成し、職員の打合せにて検討を行いました。会議や委員会で改善策を更に検討し職員に周知徹底を図り、事故の再発防止に努めてきました。
3. 在宅生活の継続を支えるサービスとして、認知症高齢者や重度の要介護者を積極的に受け入れ、機能訓練や活動を行い、状態の維持・軽減を図ります。  
リクライニング車イスや特別浴槽等、施設機能を最大限に活かし、他の事業所では対応が困難となった認知症高齢者や重度要介護者、退院直後の利用者も積極的に受け入れ、在宅生活の継続を支えるサービスとして、身近で頼れるように取り組んできました。音楽やレクリエーション等活動も利用し、楽しみながら体を動かしたり、生活リハビリも取り入れながら機能訓練を行い、状態の維持・軽減を図りました。
4. 在宅での自立支援に向け、利用者個々の心身状況に応じた個別プランを作成し、身体機能の維持と認知症ケアの充実に努めます。  
在宅での生活が継続出来るよう自立支援に向け、個々の機能維持に努めてきました。サービス担当者会議に出席し、ケアマネジャーのケアプランと利用者様の意向に沿った個別援助計画書の作成に努めてきました。看護師による機能訓練を毎利用時に行い機能維持に努め、内部研修を通して認知症の利用者様に対する関わり方を職員に理解してもらい、良質なサービスに繋げてきました。
5. 人材確保と育成のため、施設内外の研修に積極的に参加し、職員各自の資質向上を目指します。  
施設内の研修では、職員の知識技術の向上を行い、特に必要性が高いものには、研修日をずらし、全員が研修できる体制を整え、外部への研修にもできる限り参加し、自己研鑽を図りました。
6. 時間外労働の抑制や年次有給休暇の取得促進を図り、職員が健康で意欲を持って仕事に取り組める職場づくりに努めます。  
時間外労働ゼロに努め、年次有給休暇の取得促進を図るとともに、職員健康診断や腰痛検査等の実施により、異常の早期発見と健康維持に努め、働きやすい職場環境になるよう配慮してきました。
7. 施設設備の開放や地域住民との交流機会を増やし、地域社会の一員として積極的に地域貢献活動に取り組みます。  
新型コロナウイルス感染症の流行にて地域行事への参加は見送られましたが、施設前の除草作業を定期的に取り組みました。また、認知症カフェの外部研修に参加し、今後を見据えた取り組みを検討いたしました。
8. 社会福祉法人が経営する事業所として、その利益還元として食事代を無料とすることにより、利用者負担の軽減を図ります。  
食事代を無料とすることにより、利用者負担の軽減を図り、より利用し易くいたしました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 8,831 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 89.02 % (通所介護+総合事業)  
(79.67) % (通所介護)  
(9.35) % (総合事業)
4. 年間平均介護度 2.73 (通所介護)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	129	121	123	132	122	121	117	97	107	116	127	141	1,453
要介護2	134	152	176	198	158	185	196	160	156	125	111	127	1,878
要介護3	187	190	179	157	164	166	222	249	237	233	261	281	2,526
要介護4	88	91	88	99	107	125	126	126	132	120	140	161	1,403
要介護5	35	49	63	59	68	65	62	54	52	38	46	52	643
計	573	603	629	645	619	662	723	686	684	632	685	762	7,903
事業対象者	16	9	17	23	20	20	25	18	16	16	21	26	227
要支援1	9	9	4	8	10	8	9	9	14	18	15	14	127
要支援2	35	32	37	54	53	66	61	53	39	39	44	61	574
計	60	50	58	85	83	94	95	80	69	73	80	101	928
合計	633	653	687	730	702	756	818	766	753	705	765	863	8,831

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	2	2	6	1	2	2	4	6	2	3	2	33
契約終了者数	5	1	2	5	7	1	1	3	2	1	1	3	32
月末契約者数	84	85	85	86	80	81	82	83	87	88	90	89	+1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2.04.08 ～04.11	お花見散歩	新型コロナの流行の為ドライブは中止し、施設周辺の桜の所まで数名で歩いてお花見を行っている。	利用者 13名 職員 6名
R2.07.06 ～07.09	七夕会	新型コロナ感染予防の為、ボランティアによる慰問は中止し、職員と一緒に歌を歌ったり、踊りを披露し楽しんでいる。	利用者 75名 職員 25名
R2.08.06 ～08.08	夏祭り	はっぴを着て御輿を担ぎ、盆踊りで体を動かした後は出店でかき氷を食べていただいている。	利用者 77名 職員 21名
R2.09.10 ～09.12	長寿を祝う会	新型コロナ感染予防の為、ボランティアによる慰問は中止し、職員で余興を行い、盛り上がりながら行うことができた。	利用者 82名 職員 26名
R2.09.12 R2.09.13	芋煮会	新型コロナ感染予防の為、厨房で調理したものを職員がよそって配っている。「おいしい」と喜んで召し上がっている。	利用者 34名 職員 10名
R2.10.12 ～10.14	ミニ運動会	玉入れをしたり、うちわを使ったパタパタゲームをして皆様大盛り上がりで行うことが出来ている。	利用者 78名 職員 29名
R2.12.10 ～12.11	クリスマス会	プレゼントや余興を楽しんでいただいている。	利用者 48名 職員 18名
R3.01.19 ～01.22	新年会	新型コロナ感染予防の為、お屠蘇配りは代表者のみ盃で飲んで頂き、その他の利用者の方は紙コップで飲んで頂いている。	利用者 87名 職員 26名
R3.02.03 ～02.05	節分ゲーム	年男、年女の利用者の方々による豆まきが実施されている。併せてアトラクションも楽しんでいる。	利用者 79名 職員 25名
R3.03.04 ～03.06	ひな祭りゲーム	ひな人形を飾り、桃の節句を祝い、ゲームをして楽しんでいる。	利用者 94名 職員 26名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R2.04.14	緊急時・夜間対応研修	准看護師	全職員
R2.04.23	緊急時・夜間対応研修	准看護師	全職員
R2.04.28	施設設備研修	㈱迫防災	職員2名
R2.05.09	夜間緊急対応研修	生活援助員兼介護福祉士	管理当直対象職員
R2.05.11	夜間緊急対応研修	生活援助員兼介護福祉士	管理当直対象職員
R2.05.25	新任職員研修	施設長	職員1名
R2.06.09	医療研修	准看護師	職員2名
R2.06.09	公用車運転操作研修	介護福祉士兼生活相談員	職員2名
R2.06.12	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修	介護福祉士兼生活相談員	職員2名
R2.06.19	食中毒(脱水)予防研修	管理栄養士	職員2名
R2.7.13~17	法令遵守研修	施設長	全職員
R2.09.18	介護施設における感染対策研修	看護師、他	職員2名
R2.09.19	褥瘡予防・感染対策研修	無	職員2名
R2.09.26	介護事故防止研修	無	職員3名
R2.10.6~14	介護施設における感染対策研修	看護師、他	職員10名
R2.10.21	新任職員研修	施設長	職員1名
R2.10.27	介護サービス基本研修	無	職員1名
R2.10.31	認知症高齢者基本研修	介護福祉士兼	職員2名
R2.11.25・27	恵泉会新任職員研修(WEB)	恵泉会理事長ほか	職員1名
R2.11.27	虐待防止研修	介護福祉士	職員2名
R3.01.11	医療研修	看護師	職員1名
R3.02.03	プライバシー研修	生活相談員	職員2名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R2.04.30	登米管内介護保険施設等看護職員対象感染対策基礎研修	宮城県登米保健所	宮城県登米合同庁舎	職員1名
R2.08.03	登米市認知症カフェ研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第3木曜日	施設長、事務員、栄養士、相談員、看護師、介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	毎月第3水曜日	施設長、事務員、栄養士、相談員、看護師、介護職員
セクション会議	各セクションの調整、業務の効率を図る。	必要時開催	施設長・相談員・栄養士・看護師
デイサービス調整会議	サービス提供の内容・行事企画・業務執行等の運営に関し検討	毎月第4水曜日	施設長・デイサービス職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開催日	参加職員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	毎月第1月曜日	施設長・介護職員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止、虐待防止等、苦情処理の検討を行う。	毎月第1水曜日	施設長・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討行う。	毎月第2水曜日	施設長・相談員・介護職員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成、給食業務等の評価改善を行う。	毎月第2月曜日	施設長・介護職員
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	毎月第1金曜日	施設長・相談員・介護職員



## 【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況
  - (1) ボランティア・視察・見学 新型コロナウイルス感染症の流行により実施していない。
  - (2) 実習 新型コロナウイルス感染症の流行により実施していない。

## 【今後の取り組み】

1. 感染症の予防に努め、利用者の健康状態をきちんと把握し、安全、安心に利用して頂けるよう努めます。
2. 利用者の身体状態の改善・維持や自宅での生活を継続するための支援を行い、利用者が地域において可能な限り自立した生活を送れるよう、地域包括ケアシステムの役割と推進に努めていきます。
3. 施設内外の研修等に積極的に参加し、職員の知識やスキルの向上を図ることで、質の高いサービス提供ができるよう努めます。
4. 常に業務改善と効率化を検討し、職員の年次有給休暇取得の促進など、職員の働きやすい職場環境をすることで、職員の離職防止や新しい人材の確保につなげていきます。
5. 利用者個々の心身状況に応じた個別プランを作成し、身体状態の改善・維持はもちろん認知症の進行抑制を図り、利用者が自立した生活を送れるよう支援していきます。
6. 利用者の安全を確保するために全職員でリスク分析と改善策の検討を行い、介護事故の防止に努めます。
7. 施設設備の開放や地域住民との交流機会を持ちながら、地域社会の一員として積極的に地域貢献活動に取り組みます。
8. 食事代を無料とし、利用者の負担軽減を図りながら利用者の生活を支えています。
9. 事業所の経営状況と地域のニーズ予測に合わせ、今後の事業展開に関する中長期計画を作成します。その計画を全ての職員で共有し、短期計画の実践を積み重ねながら、将来の事業展開へ着実に繋げていきます。

# 令和2年度 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地  
 2) 設 置 主 体 登米市  
 3) 経 営 主 体 社会福祉法人恵泉会  
 4) 開 設 年 月 日 平成14年10月1日  
 5) 事 業・利 用 定 員

事 業	利 用 定 員
生活支援ハウス	10 名
介護家族支援レスパイト	空床
計	10 名

住み慣れた自宅に一日でも長く住んでいたいと思う思いは誰もが抱いています。しかし、その自宅で生活していくことが難しい時もあるのが実情です。ここ支援ハウスでは、個々の入所理由に対応し、快適な住環境、バランスの取れた食事の提供等を行い安心して生活できるよう支援しています。とりわけ、冬季入所者は寒さを心配することなく春を迎えられることに安堵されています。また、今年度は新型コロナウイルス感染症の流行もありましたが、入所者の協力をいただきながら予防の徹底を図ってきました。今後も登米市及び各関係機関と連携を図り、利用者に安全と安心を提供していきます。

## 【 重 点 項 目 】

- 住み慣れた地域で暮らしていくために、安全で安心できる住居を提供します。  
誰もが住み慣れた自宅で暮らしていくことを望んでいます。しかし、年齢を重ねるごとに酷暑や厳冬期を自宅で過ごすことが大変となってくることも事実です。支援ハウスでは恵まれた環境の下で安心して過ごしていただける住居を提供しています。
- 共同生活を楽しみながらも、個々の個性を尊重した支援を行います。  
一緒に笑いあえる誰かがいるという共同生活を送りながらも、個室という自分の空間を持つことで自立心を失うことなく生活していくことが出来ています。
- 地域の福祉ニーズを踏まえつつ、セーフティネットの機能を高めるために、社会福祉法人による地域貢献に積極的に取り組みます。  
緊急入所の対応など、登米市及び地域包括支援センターとの連携を図り柔軟に対応しています。

## 【 利 用 状 況 】

- 年間延べ利用人員 1,117 名
- 年間稼働率 30.60 %  
(目標稼働率 50.00 %)
- 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要援助者	0	0	0	0	0	0	0	42	95	67	75	88	367
要支援1	1	0	0	0	0	0	0	0	124	181	168	144	618
要支援2	15	0	0	0	0	16	31	17	22	31	0	0	132
要介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	16	0	0	0	0	16	31	59	241	279	243	232	1,117

- 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	0	0	0	1	0	2	8	0	1	0	12
退所者数	3	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	6	13
月末入所者数	0	0	0	0	0	1	1	2	9	8	8	2	-1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2.12.01 ～R3.3.31	貼り絵クラブ	例年大型の貼り絵を制作していたが、新型コロナウイルス対策として密となる活動を避け、個別の塗り絵などの活動に変更している。	利用者 10名 職員 2名

【その他の利用者サービス】

\*介護家族支援レスパイト事業

1. 年間延べ利用日数 0 日

2. 月別利用状況 (延べ利用日数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R2.4.23	夜間緊急対応研修	生活援助員兼介護福祉士	全職員
R2.5.9～11	夜間緊急対応研修	生活援助員兼介護福祉士	全職員
R2.06.19	食中毒(脱水)予防研修	管理栄養士	職員1名
R2.7.13・16・17	法令遵守研修	施設長	職員2名
R2.10.06	介護施設における感染対策研修	看護師、他	職員2名
R2.11.25・27	恵泉会新任職員研修(WEB)	恵泉会理事長ほか	職員1名
R3.01.11	医療研修	看護師	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第3木曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
支援ハウス調整会議	利用者状況報告・入所希望者の実態把握	毎月第4金曜日	施設長・事務員・生活援助員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	毎月第3水曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
支援ハウス利用検討会議	入所申請が上がった際に、登米市福祉事務所を主催に随時開催	随時	登米市職員・包括支援センター職員・生活援助員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	毎月第1月曜日	施設長・介護職員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止、虐待防止等の検討を行う。	毎月第1水曜日	施設長・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討を行う。	毎月第2水曜日	施設長・事務員・相談員・介護職員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成等を行う。	毎月第2月曜日	施設長・介護職員
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	毎月第1金曜日	施設長・相談員・栄養士・介護職員

【今後の取り組み】

1. 共同生活を送りながらも、個性を大切に生活を送れるよう支援します。
2. 感染症の予防に努め、適切な対応対策を図り、安心して暮らせる環境を作ります。
3. 地域の福祉ニーズを踏まえつつ、セーフティーネットの機能を高めるために、社会福祉法人として地域貢献に積極的に取り組みます。

# 令和2年度 地域密着型特別養護老人ホームゆりの郷 事業報告

## 【 施設概要 】

- 1) 所在地 宮城県登米市登米町寺池金沢山60-5
- 2) 設置主体 社会福祉法人 恵泉会
- 3) 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
- 4) 開設年月日 平成23年4月18日
- 5) 事業・利用定員

事業	利用定員
地域密着型介護老人福祉施設	34名
短期入所生活介護	空床
計	34名

## 【 基本方針 】

その人らしい暮らしが継続できるよう、利用者の立場に立ち根拠に基づいた支援を行うことを主眼にケアを実施してきましたが、コロナウイルス感染症の拡大は施設での生活を大きく変化させました。特に面会制限により家族・地域とのつながりを持つことが激減し、また、職員の外部研修も無くなり内部研修やWeb研修で対応しました。受け身の一年でありましたが、次年度は介護報酬の改定があります。感染症の対策も継続しながら国の施策に柔軟に対応していきます。

## 【 重点項目 】

### 1. ケアプランに基づいた適切な支援

入居者及び家族の意向を捉えたアセスメント・24時間シートも活用し心身の状況や以前の生活状況などその人らしく生活することにつなげ、安定した生活を送ることにつながりました。感染症の拡大により生きがい対策が不十分であったことは否めませんが、感染対策を講じた上での取り組みを模索します。

### 2. 看取り体制の整備

診療看護師の訪問・見守りセンサーの導入、家族の看取り介護への理解が深まったことなどから看取り介護の充実が図られました。職員も経験を重ね、より柔軟に対応することができるようになりました。

### 3. 事故防止

大きな事故はありませんでしたが、今後も委員会等での検証や研修により、介護技術の向上やノーリフトなど環境の改善を継続し行っていきます。

### 4. 地域に根差した施設運営

運営推進会議は書面のみでの開催でした。ボランティアの受け入れも実施出来ず、感染症収束後も定期的に交流を図れるよう良好な関係を継続できるよう取り組みます。

### 5. ロボット等介護機器やIT機器の導入検討

見守りセンサーを3台、タブレットを1台導入しました。看取り介護や職員の負担軽減に生かすことができました。今後有効活用の方法を検討していきます。

### 6. 法人内他事業所との連携

各部会等で利用者の情報を共有することで、効率的な入所や利用者の早期状態の安定に繋げることができました。感染症の対策や介護保険制度上の必要な様式の共同作成など協力し行いました。

### 7. 災害時の連携

幸い、当事業所では支援や連携が必要な災害はありませんでしたが、BCP計画策定を踏まえ、さらに具体的な連携の形を検討します。

### 8. 職員の質の向上

感染症の拡大によりWEBでの研修参加の形が多くなりました。内部研修では職員相互で研修講師を行うことで質の向上にもつながっているようです。個人のレベルにあった研修計画を立て質の向上に努めます。

### 9. 安定経営に向けた取り組み

WJUの研修を受け、空きベッドの管理、加算取得の方法など具体的に学びおおよそ目標値に近づけることができました。今後も継続していきます。

### 10. 社会のニーズに対応

地域の高齢化に対応できるよう、常に職員の質の向上や環境整備の取り組みを行い質の高いケアを提供できるように今後も体制を作っていきます。

【 利 用 状 況 】

1 年間延べ利用人員 12,002 名  
 2 年間稼働率 96.71% %  
 ( 目標稼働率 98.00 % )  
 3 年間平均介護度 4.18  
 4 月別利用状況

( 延べ利用者数 )

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介護3	156	155	150	155	155	150	155	150	155	155	140	155	1,831
要介護4	407	418	387	407	404	420	443	450	450	476	426	449	5,137
要介護5	390	427	420	434	414	389	392	390	363	372	318	360	4,669
計	983	1,031	987	1,027	1,004	989	1,021	1,020	999	1,034	912	995	12,002

5 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	1	1	1	2	1	3	0	1	1	0	4	16
退所者数	1	1	1	0	2	3	1	0	2	0	2	2	15
月末入所者数	33	33	33	34	34	32	34	34	33	34	32	34	+ 1

【利用者サービスの状況】

1 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2.04.13	春まつり	ゆりの郷を囲む桜を見て季節を感じていただきました。また、新年度にあたり、入居者と職員の交流を深めています。	入居者 34名 職員 10名
R2.09.17	長寿を祝う会	長寿を祝いながら、長年の労に感謝し、これからの健康を祈りました。また、会食をしながら、楽しい一時を過ごして頂いています。	入居者 33名 職員 12名
R3.01.13	新年会	入居者同士や職員と交流を図り、新年の雰囲気を楽しみながら共に楽しい時間を過ごしていただいています。	入居者 32名 職員 10名

【短期入所者生活介護サービス】

1 年間延べ利用人員 54 名  
 2 年間平均介護度 3.24

3 月別利用状況

( 延べ利用者数 )

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	22	7	0	0	4	8	0	0	0	0	0	0	41
要介護4	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	13
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	22	7	0	13	4	8	0	0	0	0	0	0	54

【利用者サービスの向上】

1 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R2.04.09	防災設備取扱い研修	生活相談員	介護職員2名
R2.05.31/06.03	ヒヤリハットについて	介護福祉士	介護職員8名他1名
R2.06.16	食中毒について	管理栄養士	介護職員6名他3名
R2.06.24	感染症予防について	准看護師	介護職員6名他2名
R2.06.24/06.26	オンコールについて	看護師	介護職員12名他3名
R2.07.11/07.26	接遇について	介護福祉士	介護職員7名
R2.07.26/07.31	ユニットケアについて	介護福祉士	介護職員8名
R2.08.26	看取りについて	看護師	介護職員7名他1名
R2.09.11	コンプライアンスについて	施設長	介護職員5名他2名
R2.09.22/09.30	介護事故防止について	介護福祉士	介護職員8名
R2.10.17/10.28	認知症介護基本について	介護福祉士	介護職員6名
R2.10.28	感染症(インフルエンザ)について	看護師	介護職員3名
R2.11.18/11.27	身体拘束廃止/虐待防止について	介護福祉士	介護職員8名他2名
R2.11.25/11.27	新任職員研修	介護福祉士	介護職員1名
R2.12.09~12/31	褥瘡予防について	看護師	介護職員13名
R2.12.09~12/31	コロナ感染対策現場研修について	看護師	介護職員16名他4名
R2.12.23/12.29	介護予防について	介護福祉士	介護職員8名他1名
R3.01.15/01.27	介護事故防止について	介護福祉士	介護職員8名他1名
R3.02.21/02.26	身体拘束廃止事例検討について	介護福祉士	介護職員8名他2名
R3.03.10	プライバシー保護について	生活相談員	介護職員6名他1名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R2.09.18	要配慮者利用施設の避難確保計画作成に係る講習会	登米市総務部総務課防災係	登米市南方町	職員1名
R2.09.30	新型コロナウイルス感染症の院内及び施設内感染対策について	登米地区地域医療対策委員会	登米市迫町	職員1名
R2.11.20	施設におけるゾーニング、コホーティング及び衛生管理指導	宮城県東部保険福祉事務所	登米市登米町	光風園・ゆりの郷出勤職員
R2.12.17	令和2年第一回勉強会 コロナ禍における心の平穏の保ち方～上手なストレスとの付き合い方～	宮城県社会福祉法人経営青年会	オンライン	職員1名
R2.12.25	新型コロナウイルス感染症に関する高齢者施設での対応	東北医科薬科大学病院感染制御部	webセミナー	職員1名
R3.02.04	ユニットケアワンポイントセミナー個別ケアと栄養マネジメント研修	宮城県保健福祉部	オンライン	職員1名
R3.02.15	令和2年度OJT指導者養成研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R3.02.24	令和2年度宮城県高齢者権利擁護推進研修	宮城福祉オンブズネット「エール」	オンライン	職員1名

2 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
ユニット会議	入居者状況、業務課題・問題・行事内容を検討しています。	毎月1回	管理栄養士・看護師・介護職員
リーダー・サブリーダー会議	ユニット間の連絡調整、行事・サービス・ケア内容の検討しています。	毎月1回	管理栄養士・看護師・介護職員
職員会議	事業計画の遂行、並びに各種報告及び課題等について検討しています。	第3火曜日	全職員
運営推進会議	サービス評価・改善、入居者の生活状況確認しています。	6回/年	運営推進委員・入居者代表・施設長・相談員
給食会議	調理部門と給食内容、栄養管理に関して検討しています。	第3水曜日	入居者代表・施設長・管理栄養士・調理員・看護師・介護部
入所判定会議	実態調査を終了した方の入居の可否を検討、決定しています。	4回/年	施設長・相談員・看護師・介護職員

## (2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出 席 者
随時	担当者会議(ケアプランの確認、見直ししています)	相談室	ご家族、施設長、相談部、看護部、介護部

## 3 委員会開催状況

## (1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
施設指名委員会	見積り合わせなどの指名業者の審議、入札の場合は法人本部に内申を行います。	随時	施設長、総務部、担当職員
身体拘束廃止推進委員会	身体拘束廃止に向けての検討しています。	第1火曜日	各委員
リスクマネジメント委員会	事故等の防止対策を検証・共有し再発防止に努めています。	第1火曜日	各委員
感染症対策・褥瘡予防委員会	感染症・褥瘡等の予防対策しています。	第2火曜日	各委員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル等の評価・改善しています。	随時	各委員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため、研修の企画・実施しています。	随時	各委員
防災委員会	災害時等の防災訓練を企画・実践し、施設の安全な環境整備を行っています。	随時	各委員
マニュアル検討委員会	施設に合ったマニュアルの作成及び整備を行っています。	第2土曜日	各委員
入所判定検討委員会	入所申し込みの確認、入所判定基準に従い優先順位の審査、決定します。	3ヶ月に1回	第3者委員、施設長、栄養士、看護部、相談部、ユニットリーダー

## 【施設機能の開放】

## 1. 地域交流・視察・見学・実習受入状況

## (1) 地域交流

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
		受け入れ実績ありません。	

## (2) 視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
		受け入れ実績ありません。	

## (3) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
		受け入れ実績ありません。		

## 【今後の取り組み】

- ・感染症や災害への対応力強化  
研修や環境整備、対応マニュアル等の見直しや備蓄品の確保。訓練の定期的実施。関係機関、法人内施設、および地域住民との連携を図ります。
- ・地域包括ケアシステムの推進、地域との連携  
住み慣れた地域において、利用者の尊厳を保持しつつ、サービスが切れ目なく提供されるよう認知症対応力強化、看取り介護の充実など取り組みを推進します。
- ・自立支援・重度化の防止の取り組みの推進  
制度の目的に沿って、質の評価やデータの活用を行いながら、科学的に考課が裏付けられた質の高いサービスの提供をします。寝たきり、重度化防止の推進します。
- ・介護人材の確保・介護現場の革新  
職員のモチベーションアップに繋がる人事考課制度の活用とさらなる充実を行います。Web等を活用した研修機会の確保します。見守り機器等の有効活用と他のテクノロジー導入検討による労働環境の改善推進します。
- ・事故防止  
研修や資格取得に重点を置き、職員の専門知識を高めると共に、利用者との関係を構築し介護事故防止に努めます。また、働く環境を整備し職員の労働災害防止に努めます。
- ・法人内他事業所との連携  
安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一丸となり、協力体制を構築し支え合う体制を作ります。
- ・地域との連携  
地域の小学校や中学校、婦人部との定期的な交流を継続し、認知症のオレンジカフェを開催します。
- ・職員の質の向上  
個人の経験や能力に合わせた研修に参加、スキルアップにつなげます。また、施設内研修の定期的な開催や法人で実施する初任者研修や国試、ケアマネ試験対策講師に職員を派遣し、先輩職員が後輩職員を育成する土壌を作ります。



# 令和2年度 地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市東和町米川字寺内28-22
- 2) 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会
- 3) 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会
- 4) 開 設 年 月 日 平成23年4月18日
- 5) 事 業・利用定員

事 業	利 用 定 員
地域密着型介護老人福祉施設	34 名
短期入所生活介護	空床型
計	34 名

地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷は、入居者様一人ひとりの意志及び人格を尊重しながら、心穏やかに充実した生活を送れるよう支援しました。

コロナ禍により、地域の方々との交流や地域行事の参加など、自粛を余儀なくされましたが、この地域で暮らしてよかったと思える施設づくりを目指し工夫しながら余暇活動や行事に取り組みました。

恵泉会の基本理念である「人間の尊厳」「人権の擁護・平等・主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」の5つの理念を基本的な方針として、「福祉」＝「幸せ」となるように入居後も入居者がその能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう自己実現の支援を行い、入居者様の心身機能の維持が図られるよう取り組みました。

また、ユニットケアの特質を活かし、入居者様一人ひとりの暮らしをそれぞれの生活リズム、スタイルに沿って支援し、個人を重視した取組に努めました。更にコロナ感染対策に細心の注意を払い、日々予防に取り組んでいます。

## 【 重 点 項 目 】

1. ケアプラン、個別援助計画、24時間シートなどのツールを使い、個別ケアを重視した取り組みを実践し、ターミナルケアの充実にも取り組んでいます。  
入居者一人一人の生活リズムを把握し、ケア提供を行っていくために24時間シートを活用しケア提供を実施することで、排泄のリズムを掴み、誘導を行いトイレでの排泄に繋がる方や食事の内容や介助方法を検討することで、「個」に重点を於いたサービスを継続する努力をしております。委員会を通し、ターミナルケアの研修充実にも努力しました。
2. ユニット毎の余暇活動(時間)の充実を図り楽しみと潤いのある生活を提供します。  
各ユニット毎に日々の余暇活動を実施し、孤立や寝たきりの予防を図っています。また、生花教室、書道教室など感染予防対策を取りながら開催、コロナ禍にあっても、楽しみを感じていただける企画を実施しています。
3. 地域福祉の拠点として機能の充実と地域との交流を企画・実施していきます。  
コロナ禍により、地域との交流は、残念ながら自粛せざるを得ない状況でした。
4. リスクマネジメントに心がけ、安全・安心が確保され快適な生活ができるようサービス提供をします。  
リスクマネジメント委員会を中心に、ヒヤリハット等を検証し、改善案に基づく対応を実践しました。移動時の転倒、食事介助の際の誤嚥防止、入浴介助中の事故など事故防止が図られていますが、少数の事故報告があり今後も継続して取り組み、介護事故ゼロが目標です。
5. 質の高いサービス提供に向け各種研修等へ参加し職員の資質・専門性の向上に努めます。  
コロナ禍により、研修委員会が中心となり、施設内研修を充実させました。職員の知識や技術の向上に繋がる研修を実施しています。  
また、外部研修は、感染予防の観点から中止し、オンライン研修を取り入れるなど、今できる最大の工夫をしてケアの質向上をはかりました。  
更に、資格を持たない新任職員等には、内部研修だけでなく、初任者研修を受けてもらう配慮をし、技術や知識の習得向上を図っています。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 12,178 名
2. 年間稼働率 98.13 %  
(目標稼働率 98.00 %)
3. 年間平均介護度 4.06
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介護3	210	217	217	248	248	240	265	247	248	248	241	268	2,897
要介護4	360	372	360	397	399	360	372	360	403	403	342	402	4,530
要介護5	420	434	401	372	367	348	372	360	372	371	290	279	4,386
計	1,020	1,054	1,008	1,048	1,045	978	1,040	997	1,054	1,053	901	980	12,178

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	0	1	0	2	0	0	1	0	0	3	7
退所者数	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	5	0	9
月末入所者数	34	34	33	34	32	34	33	33	34	34	29	32	-2

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2.07.10 R2.07.17	出前昼食会	土用の丑の日が近いいため、希望者でうなぎの出前を取り、会食を行う。	利用者 15名 職員 4名
R2.08.19	夏祭り会	かき氷やすいか割りと夏を感じながら祭りの雰囲気を楽しむ。	利用者 29名 職員 6名
R2.09.18	長寿を祝う会	入居されている皆様の長寿をご家族・地域の方々とお祝いする。	利用者 33名 職員 14名
R2.10.21	芋煮会	秋の風物詩である芋煮を調理しているところを見学し会食を行う。	利用者 29名 職員 6名
R2.12.18	ほたるカフェ	入居者が希望されるデザートを若葉園に発注し、喫茶店の雰囲気を楽しみながら味わう。	利用者 34名 職員 11名
R2.12.27	正月飾り作り	正月飾りをユニット毎にみずの木に飾り付けをして新年の準備を行う。	利用者 21名 職員 3名
R3.02.02	節分・豆まき	厄を祓い健康と幸せを願い豆まきをし無病息災を願う。	利用者 34名 職員 13名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 61 名
2. 年間平均介護度 3.00
3. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	0	0	6	0	0	0	15	6	0	0	16	18	61
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	6	0	0	0	15	6	0	0	16	18	61

【入居者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R2.04.03	新任職員研修	看護師他	職員 1名
R2.04.09	手洗いについて	看護師	職員 4名
R2.04.22	災害対応研修	相談員	職員 5名
R2.04.27	コンプライアンスについて	施設長	職員 6名
R2.04.27	腰痛予防について	看護師	職員 5名
R2.05.01	新任職員研修	施設長他	職員 1名
R2.05.25	食中毒予防について	栄養士	職員 5名
R2.06.04	事故防止研修	ユニットリーダー	職員 6名
R2.06.22	ユニットケア研修	ユニットリーダー	職員 6名
R2.06.25	消防設備研修	相談員	職員 6名
R2.07.09	看取りについて	看護師	職員 5名
R2.07.09	コロナウイルスの予防と対策について	准看護師	職員 4名
R2.07.27	身体拘束廃止研修	ユニットリーダー	職員 7名
R2.08.24	事故防止研修	ユニットリーダー	職員 6名
R2.09.07	新任職員研修	施設長	職員 1名
R2.09.30	接遇研修	ユニットリーダー	職員 5名
R2.10.01	新任職員研修	施設長	職員 1名
R2.10.08	感染予防研修	准看護師	職員 5名
R2.10.19	虐待防止研修	ユニットリーダー	職員 4名
R2.10.26	メンタルケア研修	ユニットリーダー	職員 5名
R2.10.26	プライバシー研修	ユニットリーダー	職員 5名
R2.11.30	救命救急研修	相談員	職員 8名
R2.12.28	認知症研修	ユニットリーダー	職員 5名
R2.12.28	新型コロナ感染対策について(復命研修)	看護師	職員 8名
R3.01.14	褥瘡予防について	准看護師	職員 4名
R3.01.18	身体拘束廃止研修	ユニットリーダー	職員 4名
R3.01.25	看取りについて	看護師	職員 6名
R3.02.24	レジオネラについて	准看護師	職員 7名
R3.03.22	介護技術研修(おむつ交換)	介護福祉士	職員 5名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R2.04.20	人事考課者研修	恵泉会	登米市	職員3名
R2.04.30	登米管内介護保険施設看護職員対象感染対策基礎研修	登米保健所	登米市	職員1名
R2.06.05	管理職育成コンサル・マネジメント	恵泉会	登米市	職員1名
R2.06.11	登米管内介護保険施設管理者対象感染対策基礎研修	登米保健所	登米市	職員1名
R2.07.20	経営者研修	恵泉会	登米市	職員1名
R2.08.03	登米市認知症カフェ研修会	登米市	登米市	職員1名
R2.08.27	新型インフルエンザ等感染対策研修	登米保健所	登米市	職員1名
R2.09.01	介護保険施設等感染防御スタッフ研修	登米保健所	登米市	職員2名
R2.09.15	WJU個別コンサル	恵泉会	登米市	職員1名
R2.09.18	要配慮者利用施設の避難確保計画作成に係る後期講習会	登米市	登米市	職員1名
R2.10.13	WJU個別コンサル	恵泉会	登米市	職員1名
R2.11.25・27	令和2年度恵泉会新任職員研修	恵泉会	オンライン開催	職員2名
R2.12.25	高齢者施設感染症対策研修	宮城県保健福祉部	オンライン開催	職員1名
R3.03.02	ユニットケアワンポイントセミナー	ユニット型施設推進協議会	オンライン開催	職員1名
R3.03.23	ユニットケアワンポイントセミナー	ユニット型施設推進協議会	オンライン開催	職員1名
R3.03.30	ユニットケアワンポイントセミナー	ユニット型施設推進協議会	オンライン開催	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
ユニット会議	業務課題、問題、24Hシートの見直しをユニットで行う。	随時	各ユニット職員
リーダー会議	ユニット間の連絡調整、サービス、ケア内容の検討。	第3木曜日	各セクション職員
職員会議	事業計画の遂行、並びに各種報告及び課題等について検討。	第4月曜日	全職員
運営推進会議	利用者の状況説明、事故報告、施設状況の説明。	2ヶ月毎	施設職員、登米市職員、地域住民、包括支援センター
入居判定会議	実態調査等を元に入居可否の検討を行う。	随時	各セクション職員
給食会議	調理部門と給食内容、栄養管理に関して検討。	第3月曜日	施設長、栄養士、調理員、相談員、医務、介護員、SV

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
サービス評価委員会	サービス評価、検討	随時	施設長、各委員
研修委員会	職員の資質向上を図るため、研修の計画実施を図る。	第1木曜日	各委員
感染症対策・褥瘡予防委員会	感染症・褥瘡の予防対策について	第2木曜日	各委員
リスクマネジメント委員会	リスクマネジメントの取り組み、検討	第1木曜日	施設長、各委員
マニュアル検討委員会	マニュアルの整備、見直しを行う。	第4木曜日	施設長、各委員
虐待防止・身体拘束防止委員会	入居者の虐待防止、身体拘束防止への取り組み。	第4月曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災に関する検討	第4木曜日	施設長、各委員
入居検討委員会	入居申込者の点数、順位の見直し	3ヶ月毎	施設長、各委員、外部委員
環境整備委員会	施設の環境整備に関すること	第2木曜日	各委員
指名委員会	備品等の購入、契約に関する指名業者の選定	随時	施設長、各委員
ターミナル検討委員会	看取りに関する情報共有、対応	第2木曜日	施設長、各委員、ユニット職員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
		コロナ禍のため中止している。	
合計			

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
		コロナ禍のため中止している。		
	計			

【今後の取り組み】

- ケアプラン、個別援助計画、24時間シートなどのツールを使い、個別ケアを重視した取り組みを実践し、ターミナルケアの充実についても、取り組んでいきます。
- ユニット毎の余暇活動(時間)の充実を図り楽しみと潤いのある生活を提供します。又、介護ロボット等を活用し、職員の負担軽減を図ると同時に業務改善(効率化・最適化)に取り組めます。
- 地域福祉の拠点として機能の充実と地域との交流を企画(ほっとカフェ<認知症セミナー等>)・実施していきます。
- リスクマネジメントに心がけ、感染症予防を始め、安心した生活ができるようサービス提供をします。更に、地域と災害協定を結べるよう働きかけ、またすでに災害協定を結んでいる他施設(若草園)と連携し、災害時対応を確立していきます。
- 質の高いサービス提供に向け各種研修等へ参加し職員の資質・専門性の向上に努めます。なお、次世代の育成を担う役割を遂行できる人材育成にも取り組めます。

# 令和2年度 恵泉会登米デイサービスセンター遠山荘 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地	宮城県登米市登米町寺池馬場塚777番地
2. 設 置 主 体	社会福祉法人恵泉会
3. 経 営 主 体	社会福祉法人恵泉会
4. 開 設 年 月 日	平成5年3月15日
5. 利 用 定 員	45 名

### ○事業内容

- [1]通所介護
- [2]介護予防通所介護
- [3]日常生活支援総合事業通所型サービス(第1号通所事業)
- [4]基準該当生活介護(障害デイサービス)
- [5]登米市生きがい対応デイサービス

- (1) 「笑顔」「思いやり」「安心」のある支援、施設・人をつくる。
- (2) 質の高いサービス提供。
- (3) 施設機能解放・地域社会への貢献。
- (4) 利用者の安定確保・健全な経営。

## 【 重 点 項 目 】

1. リハビリについて、個別機能訓練加算Ⅰを取得し、機能維持向上に向け、利用者のやる気にも繋がりました。レスパイト機能のみならず、精神的なケアと共に身体機能の維持向上を目指しましたが、加算取得を増やすまでには至りませんでした。
2. 利用者・職員等が安心して生活できる施設や職場創り・・・オレンジカフェ「えん」の継続開催をすることで、利用者や家族、地域の方々との関係性が広がり固定の利用客も増えてきていましたが、コロナ禍で開催自体が出来ませんでした。コロナの状況にもよりますが、地域交流の一環として工夫しながら継続していきます。
3. 隣接施設との世代間交流を通した生きがい作り・・・コロナ禍で触れ合うといった交流は出来ませんでしたが、中庭で行うキッズつぼみの運動会を見物したり、庭や遠山荘のテラスで遊ぶ子どもたちを眺めているだけでも、微笑ましく癒されていた様子が見られました。コロナの状況にもよるが、世代間交流として継続していきます。
4. 事故ゼロに向けた取り組み・・・介護度が変わるような事故や交通事故はありませんでした。介護に伴う事故やミス、ヒヤリハットは委員会等で検証を十分に行い今後の再発防止に努めました。
5. 経費削減・安定経営・・・こまめな節電・節水を心がけ、職員間で声掛けし、経費削減に努めました。利用定員を45名に増やすことで稼働率を上げ収入を増やすことを目指しました。重度の入所者を受け入れることで中重度者ケア体制加算の取得やリハビリの重点化だけでなく、施設機能の専門性を深め効果的なサービスを提供することで利用者の獲得をねらいます。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 11,949 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 85.66 % (通所介護+総合事業)  
(79.93) % (通所介護)  
(5.73) % (総合事業)
4. 年間平均介護度 2.37 (通所介護)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	243	209	221	245	243	253	235	207	214	175	186	188	2,619
要介護2	407	466	429	413	337	357	379	306	322	265	297	304	4,282
要介護3	121	129	162	167	229	204	219	217	239	183	157	205	2,232
要介護4	84	79	76	92	88	108	125	138	167	188	183	202	1,530
要介護5	44	30	51	43	42	74	61	27	22	20	38	35	487
計	899	913	939	960	939	996	1,019	895	964	831	861	934	11,150
事業対象者	9	8	12	14	10	13	14	12	13	11	11	13	140
要支援1	14	14	14	18	17	15	19	17	7	7	14	16	172
要支援2	62	56	47	45	33	40	35	29	36	31	32	41	487
計	85	78	73	77	60	68	68	58	56	49	57	70	799
合計	984	991	1,012	1,037	999	1,064	1,087	953	1,020	880	918	1,004	11,949

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	2	4	2	1	1	3	3	5	2	2	4	3	32
契約終了者数	4	1	4	1	3	1	2	3	1	8	0	8	36
月末契約者数	103	106	104	104	102	104	105	107	108	102	106	101	-4

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2.05.05	菖蒲湯	菖蒲湯	利用者 41名 職員 9名
R2.07.07	七夕会	七夕レクリエーション	利用者 40名 職員 8名
R2.08.15	スイカ割り	スイカ割り	利用者 35名 職員 9名
R2.08.28	夏祭り	職員余興、出店、盆踊り	利用者 43名 職員 12名
R2.09.16	長寿を祝う会	3日間実施、(職員余興)	利用者 126名 職員 34名
R2.09.23	映画上映会	7日間実施、(映画鑑賞)	利用者 255名 職員 40名
R2.10.17	レクリエーション大会	玉入れ、足踏みリレー、職員対抗風船割りリレー	利用者 38名 職員 9名
R2.11.11	ふれあいカフェ	6日間実施、ふれあいカフェ	利用者 236名 職員 41名
R2.12.21	ゆず湯	ゆず湯	利用者 42名 職員 7名
R2.12.24	クリスマス会	プレゼント	利用者 39名 職員 11名
R3.01.04	新年会	6日間実施、(書初め、お屠蘇)	利用者 239名 職員 43名
R3.02.03	節分・年祝い	豆まき	利用者 44名 職員 8名

R3.02.15	カフェ	6日間実施、(カフェ)	利用者 236名 職員 43名
R3.03.03	ひな祭り会	6日間実施、(ケーキバイキング)	利用者 233名 職員 46名

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員 254 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 1.82 %
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
デ 生 イ キ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身 障 デ イ	区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分4	21	22	22	20	20	22	22	21	22	19	20	23	254
	区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	21	22	22	20	20	22	22	21	22	19	20	23	254
合 計	21	22	22	20	20	22	22	21	22	19	20	23	254	

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R2.06.05	介護技術研修(移乗について)	介護福祉士	4名
R2.06.08	介護技術研修(移乗について)	介護福祉士	4名
R2.07.14	対人援助技術研修	介護員	6名
R2.07.27	防災研修(防災機器操作)	介護福祉士	6名
R2.07.28	防災研修(防災機器操作)	介護福祉士	5名
R2.07.30	防犯訓練(不審者対応)	介護福祉士	3名
R2.10.21	救命救急研修	介護福祉士	1名
R3.01.11	認知症研修	介護福祉士	5名
R3.01.12	認知症研修	介護福祉士	5名
R3.01.12	リスクマネジメント研修	介護員	10名
R3.01.19	身体拘束廃止研修	介護福祉士	5名
R3.01.20	身体拘束廃止研修	介護福祉士	5名
R3.03.09	コンプライアンス研修	管理者	7名
R3.03.16	コンプライアンス研修	管理者	6名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R2.04.20	令和2年度 人事考課者研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名
R2.08.03	登米市認知症カフェ研修会	登米市	南方町	職員1名
R2.09.08	令和2年度 新任職員研修	宮城県	仙台市	職員1名
R2.09.09	令和2年度 新任職員研修	宮城県	仙台市	職員1名
R2.09.18	要配慮者利用施設の避難確保計画作成に係る後期講習会	登米市	南方町	職員1名
R2.11.25	令和2年度恵泉会新任職員研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名
R2.11.27	令和2年度恵泉会新任職員研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	全職員参加し、業務や利用者についてなど全般にわたり検討	月1回	全職員
給食会議	委託業者を交えて給食についての検討	月1回	委託業者・栄養士・利用者・職員
デイサービス部会	恵泉会内デイサービスの検討	月1回～2ヶ月に1回	生活相談員
担当者会議	モニタリング、計画書の確認	随時	全職員、生活相談員

## 3. 委員会開催状況

### (1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束廃止に向けての検討	必要時	全職員
褥瘡予防検討委員会	褥瘡発生予防、高リスク利用者分析・評価	定期	全職員
感染症対策検討委員会	感染症対策に関すること	月1回程度	全職員
リスクマネジメント委員会	施設のリスク全般について	月1回程度	全職員
防災委員会	防災についての検討	随時	防災委員会

## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

#### (1) ボランティア・視察・見学

※コロナの状況により受け入れていない

### 2. 認知症カフェ プチ・ルポ「えん」開催

※コロナの状況により開催していない。

## 【今後の取り組み】

1. 住み慣れた地域で在宅生活の継続ができるよう、状態の維持向上に向けた活動や集団リハビリ等を提供します。
2. オレンジカフェの開催、地域行事への参加を通し地域との共生を目指します。
3. 隣接するサービス付き高齢者向け住宅「恵はあと」、事業所内保育所「キッズつぼみ」、地域住民との交流を通じ生きがい作りの場を提供します。
4. 介護・交通事故「ゼロ」に向けた取り組みを行います。
5. 利用者確保を目指すと共に、経費削減に努め、安定経営につなげます。



# 令和2年度 地域密着型通所介護恵泉会デイサービスセンターほんわか 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                        |
|--------------|------------------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市中田町宝江黒沼字十文字211-5 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会             |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会             |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成21年 3月15日            |
| 5. 利 用 定 員   | 10名                    |

地域に密着した小規模事業所の特性を活かし、一人ひとりに寄り添った家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりが安心してその人らしい生活が送れることを意識しながら支援することができました。住み慣れた地域や家庭での生活が継続できるように、個々の状況に合わせた支援を考慮し、一日を満足して過ごしていただく環境作りに取り組みました。

創作活動では、利用者同士協力し作品を仕上げ、皆で達成感を味わい喜ぶ姿が見られました。ゲームやレクリエーション、軽運動では、楽しそうな笑顔や声が飛び交い充実した時間を過ごして頂きました。季節の移り変わりを感じていただくために、季節毎の花々の見学やりんご狩りに出掛け、気分転換の場が提供できました。また、外食の機会を多くし、大変喜んで貰うことが出来ました。交流面に於いては、沢山のボランティアの来所により踊りや歌で元気をもらい、沢山の方々とふれあい、信頼関係の構築もできました。

また、運営推進委員の方々を招いてお花見昼食会を行い、地区の方々との交流も図れました。誕生会ではホールケーキと手作りの誕生カードでお祝いし大変喜んでいただくと共に、昔話をしたり、語りの場と交流を図る時間の提供ができました。

今年度は利用者さんの安定した利用により、年間稼働率99%を達成することが出来ました。一年を通してスタッフ一人ひとりが質の高いサービス提供を目指し内部研修等で、技術の向上に努めました。

## 【 重 点 項 目 】

1. 利用者本人の思いを汲み取り在宅で快適な生活が送れるように、一人ひとりのニーズをとらえ、又利用者の状態を常に把握し、安心して過ごせる環境で、スタッフ全員が意識統一を図り最適なサービス提供ができました。
2. サービス会議やモニタリング等で利用者の状況について話し合い、小さな変化も見逃さず、ニーズに適した介護計画の見直しを行い、一人ひとりの状態にあったサービス提供ができました。
3. 担当者会議において利用者の幸せや家族の要望に配慮し、ケアマネージャーや各サービス担当者と情報の共有を密に行い、利用者本人が在宅でより快適に暮らすことが出来るような支援を心掛けることができました。
4. デイサービス連絡手帳にバイタルや利用状況を記載し、体調面や一日の様子について細かく伝えることができました。変化のあった際は家族やケアマネージャーに迅速に連絡して対応することができました。
5. 病状の変化や状態に応じ食事形態等を考慮した食事提供ができました。おやつは健康状態に配慮し、できる限りバラエティーに富んだ手作りおやつを提供して喜んで頂くことができました。
6. クッキングやタオルたたみ等の生活リハビリを行い日常の生活動作に結びつける事ができました。また、レクリエーション等を多く取り入れたり、個別リハビリ(柔道整復師によるマッサージ)の実施で身体機能の維持が図れました。
7. 地域のボランティアさんを招いて交流を深め、新鮮な雰囲気でデイサービスを提供できました。又、運営推進会議でほんわかの様子を伝え地域の方々や御家族様にも伝える事が出来ました。運営推進委員を招いての昼食会で更にほんわかの様子を見て頂く事が出来ました。
8. 担当者会議等で情報の共有化を図り連携を深め、ケアプランに基づいたより良いサービス提供に努めました。
9. 研修計画に基づき毎月内部研修を実施し、職員一人ひとりの資質向上と専門性の向上に努め職員の意識改革に取り組むことができました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 3,090 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 99.68 % (通所介護・総合事業)  
91.42 % (通所介護)  
8.26 % (総合事業)
4. 年間平均介護度 2.41 (通所介護)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	52	52	51	59	61	58	67	54	58	39	32	34	617
要介護2	77	79	75	76	71	82	87	86	88	87	78	90	976
要介護3	57	60	54	66	61	59	55	56	60	73	64	69	734
要介護4	52	53	58	48	46	38	38	33	23	20	25	29	463
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	23	44
計	238	244	238	249	239	237	247	229	229	219	220	245	2,834
事業対象者	14	7	13	12	13	13	12	13	14	12	12	14	149
要支援1	0	0	9	9	8	10	11	8	10	8	8	9	90
要支援2	8	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
計	22	16	22	21	21	23	23	21	24	20	20	23	256
合計	260	260	260	270	260	260	270	250	253	239	240	268	3,090

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	5
契約終了者数	1	0	0	1	1	2	0	1	0	1	0	2	9
月末契約者数	28	28	28	27	27	25	25	24	25	25	26	25	

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R2.05.05	菖蒲湯	無病息災を祈って菖蒲湯に浸り、邪気を払うといわれる昔ながらの風習を味わって頂く。	利用者 9名 職員 1名
R2.07.07	七夕会	手作りの七夕飾りをホールに飾り短冊に願いを込める。	利用者 10名 職員 4名
R2.08.04	ほんわか夏まつり	模擬店で夏祭りの雰囲気を楽しみ、交流を深めていただく。	利用者 34名
R2.08.06			職員 12名
R2.09.21	長寿を祝う会	利用者に敬意を表し、長寿と健康を祈念する。敬老祝い膳で御祝い行っている。(4日間)	利用者 44名
R2.09.24			職員 15名
R2.12.25	クリスマス会	クリスマスメニューの提供と、ビンゴゲームで上位三名の方にプレゼントを送った。ボランティアによるギター演奏を楽しんだ後、手作りのクリスマスカードを全員にプレゼントした。	利用者 11名 職員 5名
R2.12.28	正月飾り(門松)作り	新年に飾る門松を利用者様に手伝っていただきながら作る。	利用者 10名 職員 4名
R3.01.04	新年会	「新年御祝い御膳」を提供。喜んで召し上がっていただく。(4日間)	利用者 37名
R3.01.07			職員 16名
R3.02.02	節分	一年間の無病息災を願い、豆まきを行う。	利用者 10名 職員 4名
R3.03.02	ひな祭り会	ひなまつりにちなんだ昼食(3日間)とおやつひなあられで桃の節句を祝う。午後の活動ではひな人形作りを行い持ち帰っていただいた。	利用者 31名
R3.03.04			職員 13名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R2.05.01	コミュニケーション研修	管理者	職員4名
R2.06.01	食中毒予防研修	介護員	職員5名
R2.07.01	リスクマネジメント研修	介護福祉士	職員4名
R2.09.01	法令遵守研修	管理者	職員4名
R2.10.01	実習指導者研修復命会	介護福祉士	職員5名
R2.11.17	緊急時対応について	管理者	職員4名
R2.12.01	業務改善研修復命会	介護員	職員4名
R3.01.04	利用者理解とコミュニケーション研修	介護員	職員5名
R3.02.01	認知症実践者研修	介護福祉士	職員5名
R3.02.15	キャラバン車椅子の使用法	介護福祉士	職員1名
R3.03.03	身体拘束廃止・プライバシーに関する研修	介護員	職員4名
R3.03.29	介護実践研修(体位交換・移乗)	介護員	職員5名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R2.8.7,21 9.4,18	令和2年度第一回介護福祉士養成施設実習指導者研修会	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R2.11 .4,5,6,9,10 R3.1 .20	宮城県認知症介護実践者研修	宮城県介護研修センター	大崎市	職員1名
R2.12 .23	利用者理解とコミュニケーション	宮城県介護人材確保協議会	仙台市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
デイサービス部会	各デイサービスの利用状況報告等	2ヶ月に1回	生活相談員1名
サービス会議	利用者の利用状況や行事予定について	月1回	全職員
給食会議	食事に関する事項等	月1回	全職員
運営推進会議	事業報告等	年2回	管理者・生活相談員・事務員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開催日	参加職員
防災委員会	通報順位や通報訓練について	R2.4.7	全職員
	・通報訓練の振り返り・総合防災訓練について	R2.6.3	全職員
	総合防災訓練について	R2.6.12	全職員
	防災訓練(火災想定)について	R2.9.7	全職員
	防災訓練の振り返りと防災教室(防災DVD鑑賞)について	R2.10.26	全職員
	不審者対応訓練の振り返りについて	R2.12.1	全職員
	防災教室(防災DVD鑑賞)について	R2.12.14	全職員
	通報訓練(図上)について	R3.1.28	全職員
研修委員会	今月の反省及び次月の食中毒予防研修について	R2.5.26	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月のリスクマネジメント研修会について	R2.6.22	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の法令遵守研修について	R2.7.20	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の法令遵守研修について	R2.8.24	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の実習指導者研修について	R2.9.15	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の緊急時対応について	R2.10.26	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の業務改善研修復命会について	R2.11.26	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の利用者理解とレクリエーション研修復命会について	R2.12.25	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の認知症実践者研修復命会について	R3.1.12	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月のキャラバン車椅子の使用法について	R3.2.19	管理者・生活相談員

リスクマネジメント委員会	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R2.5.1	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R2.6.1	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R2.7.1	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R2.8.3	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R2.9.1	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R2.10.1	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R2.11.17	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R2.12.1	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R3.1.4	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R3.2.3	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R3.3.3	全職員
サービス向上委員会	研修の計画についてとマニュアルの確認について	R2.4.1	全職員
	利用状況・行事展開・給食・各種委員会について	R2.5.1	全職員
	利用状況・行事展開・給食・各種委員会について	R2.6.1	全職員
	利用状況・行事展開・給食・各種委員会について	R2.7.1	全職員
	利用状況・行事展開・給食・各種委員会について	R2.8.3	全職員
	利用状況・行事展開・給食・各種委員会について	R2.9.1	全職員
	利用状況・行事展開・給食・各種委員会について	R2.10.1	全職員
	利用状況・行事展開・給食・各種委員会について	R2.11.17	全職員
	利用状況・行事展開・給食・各種委員会について	R2.12.1	全職員
	利用状況・行事展開・給食・各種委員会について	R3.1.4	全職員
	利用状況・行事展開・給食・各種委員会について	R3.2.1	全職員
利用状況・行事展開・給食・各種委員会について	R3.3.3	全職員	
褥瘡予防検討委員会	状況確認と対応について	R2.5.1	全職員
	状況確認と対応について	R2.6.1	全職員
	状況確認と対応について	R2.7.1	全職員
	状況確認と対応について	R2.8.3	全職員
	状況確認と対応について	R2.9.1	全職員
	状況確認と対応について	R2.10.1	全職員
	状況確認と対応について	R2.11.17	全職員
	状況確認と対応について	R2.12.1	全職員
	状況確認と対応について	R3.1.4	全職員
	状況確認と対応について	R3.2.1	全職員
	状況確認と対応について	R3.3.3	全職員
感染症対策検討委員会	感染症予防対策について	R2.5.1	全職員
	感染症予防対策とバルサン散布について	R2.6.1	全職員
	感染症予防対策について	R2.7.1	全職員
	感染症予防対策とバルサン散布について	R2.8.3	全職員
	感染症予防対策と皮膚状況について	R2.9.1	全職員
	感染症予防対策と皮膚状況について	R2.10.1	全職員
	感染症予防対策とインフルエンザ予防接種について	R2.11.17	全職員
	感染症予防対策と加湿器の使用について	R2.12.1	全職員
	感染症予防対策とインフルエンザの状況について	R3.1.4	全職員
	感染症予防対策と利用者状況について	R3.2.1	全職員
感染症予防と新型コロナウイルスの対策について	R3.3.3	全職員	
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束の現状について	R2.9.1	全職員
	身体拘束の現状について(内部研修実施)	R3.2.2	全職員

#### 【今後の取り組み】

1. 利用者一人ひとりのニーズをとらえ、安全で快適に過ごせる最適なサービスを提供し、選ばれる事業所となります。
2. 地域の方々やボランティアの方々を招き、地域に根ざしたサービス提供を展開し、家族や地域の方々を含めた援助が行えるように努め、地域に貢献出来る事業所を目指します。
3. 家族やケアマネージャーとの連携を密に行い、情報の共有を図り、利用者のしあわせを考えた支援を目指します。
4. 各種研修会や内部研修で専門性を高め、適切な支援を実践に活かし質の高いサービスを提供します。
5. 目標稼働率97%以上を達成します。

# 令和2年度 恵泉会ヘルパーステーション 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                       |
|--------------|-----------------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会            |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会            |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成17年4月15日            |

利用者個々の持っている能力と、それぞれの要望を尊重した上で適切なサービスを提供し、安心した日常生活を営む事が出来るよう支援しました。在宅医療を受ける人が多くなり、在宅医療・介護に携わる大きなチームの一員として、介護専門員や訪問看護師などの職種とも連携を図り、質の高いサービス提供が行えるよう努めました。

障害者サービスに於いて、在宅で日常生活をより良く営むことができるよう、自立に向け一人ひとりにあわせた援助を行いました。

## 【 重 点 項 目 】

1. 良質なサービスを提供するために、サービス提供責任者が職員・登録ヘルパーの技術面・意識面においてサービスの質の向上を図るため指導しました。また、現在行っている業務内容等の見直しを行いました。
2. 利用者が満足するサービスを提供するため、介護専門員を通して各サービス事業所と連携し、利用者・家族の意向や介護生活の状況などをアセスメントを行い、計画に沿ったサービスを適確に行いました。
3. 毎月の内部研修と、その都度検討会を実施し、職員の意識改革と専門性の向上に努めました。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員                    5,752 名
2. 年間稼働日数                        365 日
3. 年間平均介護度                    2.67 (訪問介護)
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	69	59	38	36	38	34	55	47	66	65	61	84	652
要介護2	118	137	168	175	171	189	218	213	176	146	137	148	1,996
要介護3	107	110	67	67	67	97	107	122	112	117	93	91	1,157
要介護4	64	62	78	71	57	65	65	48	59	55	34	29	687
要介護5	26	26	25	26	25	29	38	52	78	50	39	72	486
計	384	394	376	375	358	414	483	482	491	433	364	424	4,978
要支援1	26	25	23	25	23	24	27	23	23	24	23	43	309
要支援2	46	37	38	39	33	33	35	34	33	31	32	37	428
事業対象者	2	3	3	5	4	4	3	4	5	4	0	0	37
計	74	65	64	69	60	61	65	61	61	59	55	80	774
合 計	458	459	440	444	418	475	548	543	552	492	419	504	5,752

### 5. 契 約 の 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	6	0	1	5	1	2	1	1	3	3	3	26
契約終了者数	1	4	2	2	1	0	0	2	0	2	1	5	20
月末契約者数	69	71	69	68	72	73	75	74	75	76	78	76	+ 6

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員 809 名
2. 年間稼働日数 365 日
3. 月別利用状況

(延べ利用者数)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
居宅介護	区分なし				1								1	
	区分2	20	13	18	20	17	20	17	16	20	16	16	28	221
	区分3	18	15	15	13	11	10	9	9	11	9	10	10	140
	区分4	12	13	8	6	8	6	7	7	9	6	7	9	98
	区分5	11	8	9	9	8	9	9	8	10	8	8	9	106
	区分6	34	30	30	30	14	18	14	14	16	13	13	17	243
	計	95	79	80	78	59	63	56	54	66	52	54	73	809
合計	95	79	80	78	59	63	56	54	66	52	54	73	809	

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R2.04.27	感染症の予防について	介護福祉士	職員5名
R2.05.11	コンプライアンスについて	介護福祉士	職員5名
R2.06.18	法令順守(ハラスメント)について	管理者	職員5名
R2.07.20	介護職にとっての接遇とは	介護福祉士	職員5名
R2.08.21	事故発生時及び緊急時対応マニュアルについて	介護福祉士	職員5名
R2.09.24	身体拘束排除への取り組みについて	介護福祉士	職員5名
R2.10.12	食中毒の予防・蔓延防止・コロナウイルス感染症について	介護福祉士	職員4名
R2.10.28・30	登録ヘルパー研修会	管理者	登録ヘルパー10名
R2.11.20	高齢者・障害者の虐待について	介護福祉士	職員4名
R2.12.21	リスクマネジメントについて	管理者	職員4名
R3.01.25	プライバシー保護	介護福祉士	職員4名
R3.02.12	登録ヘルパー研修会	管理者	登録ヘルパー8名
R3.02.15	認知症の理解・ケアの基本	介護福祉士	職員4名
R3.03.19	介護予防・要介護進行予防について	管理者	職員4名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R2.05.23	登米市障害福祉サービス事業所職員研修	登米市	南方庁舎	管理者

2. 会議開催状況

(1) 定例会議・委員会

会議名	内 容	開催日	参加職員
ケアカンファレンス	契約利用者のサービス状況について	随時	介護福祉士
職員会議	業務に関する課題への対応方策について話し合う	月1回	介護福祉士
スタッフ会議	訪問介護員の技術指導を目的とする	月末	介護福祉士・登録ヘルパー
伝達会議	サービス提供責任者と訪問介護員の情報伝達および報告	月1回	介護福祉士・登録ヘルパー
感染症対策委員会	各感染について理解し、予防・対応策について周知する。	4・8・12・月・随時	介護福祉士

【今後の取り組み】

1. 感染症対策を強化し、他の職種及び事業所との連携を図り、利用者の必要としているサービスと自立を目指し、満足していただけるサービスが提供できるよう努めます。
2. サービス計画書と連動した訪問介護計画書を作成のうえ、訪問介護員にはサービス提供責任者による同行訪問にてより良い指導を行います。また、手順書を作成することで、適切で統一されたサービス提供ができるようにします。
3. サービス提供状況の確認を強化し、質の高いサービスを提供できるよう、積極的に研修会に参加し訪問介護員のキャリアアップに努めます。また、登録ヘルパーを積極的に確保・育成しサービス提供の現場に送り出せるようにします。

# 令和2年度 恵泉会介護支援センターいきいき 事業報告

## 【 施設概要 】

- |          |                       |
|----------|-----------------------|
| 1. 所在地   | 宮城県登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2 |
| 2. 設置主体  | 社会福祉法人恵泉会             |
| 3. 経営主体  | 社会福祉法人恵泉会             |
| 4. 開設年月日 | 平成19年4月1日             |

## 【 重点項目 】

- ・職員一人ひとりが心身共に良好で気持ち良く働ける職場環境づくりに関しては、ストレスの多い中で、互いにフォローしながら、また、適宜面談をするなどメンタルケアに取り組み、離職者を出さずに業務を行いました。
- ・今年度2名が主任介護支援専門員の資格を取得し、アセスメント、課題分析の充実に関しては、主任介護支援専門員のケアプランチェックや助言でスキルアップを図り、利用者の自立に向けた固有のニーズの引き出しができるようになっていきます。各自の力量も概ね平均化しています。
- ・各地域包括支援センター、医療機関とも連携を図り、トラブルなく円滑な関係を継続することができました。
- ・各種研修への参加は、コロナの影響で開催自体が少なかったが、ウェブでの参加など積極的参加することができました。また、週1回の伝達会議においても情報提供する事で各職員の知識向上につながりました。
- ・医療依存度の高い利用者を特定事業所Ⅰの事業所として積極的に受け入れ、早期のマネジメントにつなげました。また、ターミナル期、退院時の支援も積極的に行ったことで、次年度の加算算定(特定事業所医療介護連携加算)要件を満たすことが出来ました。
- ・コロナ禍の中、予防対策を行いながら合同研修を実施し、体不調者も出すことがありませんでした。
- ・困難事例については数件あったが、担当のみで抱えることが無いように情報を共有し支援を行うことが出来ました。
- ・初任者研修、介護福祉士試験対策の講師を派遣し、職員の資格取得へ協力することができました。

## 【 利用状況 】

### 1. 月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	84	89	94	92	91	85	89	91	88	84	84	86	1,057
女	218	215	215	210	207	212	216	210	211	208	215	209	2,546
計	302	304	309	302	298	297	305	301	299	292	299	295	3,603

### 2. 月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	63	63	62	64	61	59	58	57	58	66	65	63	739
要介護2	80	77	82	82	79	79	84	81	82	77	80	79	962
要介護3	76	74	77	74	79	80	81	77	75	72	68	70	903
要介護4	52	56	56	53	52	52	53	56	53	49	53	53	638
要介護5	31	34	32	29	27	27	29	30	31	28	33	30	361
計	302	304	309	302	298	297	305	301	299	292	299	295	3,603

### 3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	14	9	3	5	5	5	6	7	6	10	8	9	87
契約終了者数	7	3	9	6	5	4	7	2	5	9	3	50	110

【利用者サービスの状況】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	60	59	58	56	54	54	54	58	56	57	52	51	669
訪問入浴	24	24	23	21	21	21	22	23	22	24	23	23	271
訪問看護	48	48	47	44	43	45	45	46	47	45	45	47	550
通所介護	183	186	189	188	187	188	185	185	185	174	180	189	2,219
通所リハ	28	30	32	31	32	32	29	32	31	31	29	31	368
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉用具	195	199	198	193	195	199	198	196	197	191	191	200	2352
短期生活	63	63	65	63	71	71	69	67	47	43	49	50	721
短期療養	4	7	5	8	5	4	8	7	5	4	4	5	66
認知通所介護	3	3	3	4	4	3	3	3	3	2	3	3	37
地密通所介護	45	45	44	43	45	43	43	39	40	42	40	39	508
計	653	664	664	651	657	660	656	656	633	613	616	638	7,761

【認定調査状況】

1. 認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	14	11	9	10	12	10	12	7	8	2	8	12	115

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	2	1	1	0	0	0	0	1	2	2	2	2	13
要支援2	4	5	5	7	6	7	7	6	6	6	4	4	67
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	11
計	7	7	7	8	7	8	8	7	9	9	7	7	91

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予 防 対 象 件 数	迫町	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4
	中田町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	18
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	0	0	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	8
	南方町	4	4	5	4	4	5	4	4	5	5	3	3	50
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	7	7	8	7	7	8	8	8	9	9	7	7	92

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	15
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	18



4. 総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
通所型サービス	5	5	5	5	5	6	6	6	8	8	6	6	71
計	6	6	6	5	5	6	6	6	8	8	6	6	74

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師・事例提供者	参加者
R2.05.12	法令遵守について	介護支援センター施設長	10名
R2.06.12	個人情報保護について	介護支援センターいきいき 介護支援専門員	8名
R2.07.08	災害時対応マニュアルについて	マニュアル委員会	10名
R2.09.10	社会資源について	サービス向上委員会	6名
R2.12.11	事例検討会 ※ウェブ開催	介護支援センターらくらく 介護支援専門員	9名
R3.01.13	認知症を抱える利用者のアセスメント※ウェブ開催	とよま介護支援センター 介護支援専門員	10名
R3.02.10	第1回「令和3年度・指定居宅サービス運営 基準等の改正について」※ウェブ開催	介護支援センター主任 事務員	10名
R3.03.10	第2回「令和3年度・指定居宅サービス運営 基準等の改正について」※ウェブ開催	介護支援センター主任 事務員	10名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R2.07.14	令和2年度宮城県生活支援コーディネーター養成研修	宮城県	ホテルサンシャイン	職員2名
R2.08.12	令和2年度登米市主任介護支援専門員研修会	登米市福祉事務所	南方庁舎	職員1名
R2.08.27	令和2年度介護支援専門員実務研修実習指導者研修	宮城県 ケアマネジャー協会	宮城県庁	職員1名
R2.09.17	高齢者虐待への相談対応	登米市福祉事務所	南方庁舎	職員1名
R2.11.11	パーソナリティ障害の理解と対応方法について	登米市福祉事務所	南方庁舎	職員1名

(3) その他の研修

年月日	内 容	主催者 講師	開催地	参加者
R2.07.20	恵泉会経営者研修	恵泉会 WJU(株)鈴木真一氏	恵泉会研修室	職員1名
R2.09.16	第41回恵泉会職員研修大会 (永年勤続表彰者表彰式)	恵泉会	恵泉会在宅支援 サービス棟・研修 室	職員2名
R2.10.16	第41回恵泉会職員研修大会 (研修発表)	恵泉会	各PCより	職員10名

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内容	開催日
情報伝達会議	各担当毎におけるマネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週水曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等事業所内周知を図る	毎月1回

## 3. 委員会開催状況

委員会名	内容	開催日	参加職員
研修委員会	研修計画、施設内研修、他事業所との合同研修について	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
マニュアル検討委員会	各種マニュアル、災害時要援護者台帳の整備	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
サービス向上委員会	自己評価、満足度調査の実施、サービス情報公表資料作成	毎月1回開催	施設長、管理者、委員

## 【今後の取り組み】

居宅介護支援事業所として年度を通して大きなトラブルもなく、支援業務を行うことができました。給付管理件数については、平均で月300件を維持できたが増やすところまではいけませんでしたが、新規依頼も多くみられていたが、重度者を多く担当していることもあって終結も同数程度見られています。その中で、特定事業所Ⅳ(令和3年4月より、特定事業所医療介護連携加算に名称変更)の要件は満たせたため、令和3年度も加算算定可能となっていることは収益にも大きく影響しています。

3年度改正において基本報酬がプラス改定だが、それ以外の新たな加算については現状と大きな変わりはないため、件数を伸ばすことが重要です。依頼元は、家族から直接は少なくなっており、地域包括支援センターが関わるケースが多くなっているため、良好な関係作りを続けることで件数を伸ばしていきます。また、特定事業所医療介護連携加算算定のためには、医療機関との関りは必須のため、在宅診療・市立病院などとの関係づくりに力を入れていきます。

# 令和2年度 恵泉会介護支援センターらくらく 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                       |
|--------------|-----------------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会            |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会            |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成19年4月1日             |

## 【 重 点 項 目 】

- ・新任職員へはOJTを活用し実践力の向上を図りました。お互いの業務遂行状況に配慮し、業務調整や相談対応が行えたことで、一人ひとり責任感を持って意欲的に仕事に取り組むことが出来ました。
- ・対人援助技術の研修の開催や、常にバイステックの原則を意識し、利用者・家族との信頼関係の構築に努めました。アンケート結果の満足度や苦情等もないことから良好な関係作りが行えていると思われます。
- ・主任介護支援専門員によるケアプランチェックを継続して行うことにより、アセスメントの充実、課題分析、ニーズ設定まで適切に行えています。モニタリングを通して利用者の身体機能維持向上に向けた支援を継続的に行っています。
- ・情報伝達会議を活用しサービス事業所の特性について情報を共有し、委員会活動において市内のインフォーマルサービスについて知見を広げ、事業所内研修を通して情報共有を図り多様なサービスの提案に努めました。
- ・在宅緩和ケア、難病等の各疾患の知識については、主治医を含め、各関係機関との連携に配慮し利用者個々に対応ができています。認知症については、施設入所を希望するケースが増え課題となっています。介護者のケアも必要となる場合も多く、専門職として今後もさらなる研鑽が必要です。
- ・少人数での新規対応、毎週の情報伝達会議等課題はあるが、主任介護支援専門員を中心に困難ケースの受け入れ、介護支援専門員実務研修の受け入れも行い、特定事業所加算Ⅱの算定を継続することができました。
- ・コロナ禍において、ITCを活用し定期的な施設内研修、地域包括支援センターが実施する事例検討会への参加、他事業所との研修会を実施することで、マネジメント機能の向上を図ることができたと思われます。

## 【 利 用 状 況 】

### 1. 月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	43	39	37	39	37	36	40	39	39	38	37	37	461
女	91	93	90	92	92	91	91	92	93	94	96	91	1,106
計	134	132	127	131	129	127	131	131	132	132	133	128	1,567

### 2. 月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	44	45	40	41	43	41	42	43	44	46	42	39	510
要介護2	54	51	53	49	47	48	48	50	51	54	58	58	621
要介護3	26	24	24	27	27	29	26	26	26	24	23	23	305
要介護4	8	10	8	12	9	6	12	9	8	6	8	6	102
要介護5	2	2	2	2	3	3	3	3	3	2	2	2	29
計	134	132	127	131	129	127	131	131	132	132	133	128	1,567

【利用者サービスの状況】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	19	20	21	19	22	21	24	23	25	23	22	23	262
訪問入浴	5	4	5	4	4	4	4	5	5	3	3	3	49
訪問看護	8	9	9	8	9	8	8	9	9	6	5	5	93
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	81	78	80	80	79	77	83	84	86	77	80	83	968
通所リハ	6	5	5	5	6	5	7	7	7	6	6	5	70
短期生活	22	24	20	21	16	19	19	19	16	16	15	19	226
短期療養	1	2	2	3	2	4	1	1	1	0	0	1	18
福祉用具	70	70	70	71	73	76	79	78	79	75	75	81	897
地域密着通所	27	26	26	26	27	25	24	24	25	23	23	21	297
認知通所介護	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	1	22
計	241	240	240	239	240	240	251	252	255	231	231	242	2,902

【認定調査状況】

1. 認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	5	6	7	3	6	7	7	9	3	6	2	9	70

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	1	1	1	1	3	2	2	2	2	1	1	1	18
要支援2	1	1	1	1	2	3	3	2	2	2	2	2	22
事業対象者	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	3
計	2	2	2	2	5	6	6	4	4	4	3	3	40

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予 防 対 象 件 数	迫町	2	2	2	2	5	4	3	3	3	2	2	2	32
	中田町	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	3
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊里町	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	7
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南方町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2	2	2	2	5	6	5	4	4	4	3	3	42

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	1	1	1	1	3	2	1	1	1	1	1	1	15
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	1	1	3	2	1	1	1	1	1	1	15

4. 総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	2	2	12
通所型サービス	1	1	1	1	1	3	3	2	2	2	1	1	19
計	1	1	1	1	2	4	4	3	4	4	3	3	31

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講 師・事 例 提 供 者	参 加 者
R2.04.08	令和2年度新任職員研修	介護支援センターいきいき 施設長 介護支援センターらくらく 管理者	榊原文元
R2.05.12	法令遵守について	介護支援センターいきいき 施設長	全職員
R2.06.12	個人情報について	介護支援センターいきいき 介護支援専門員	3名
R2.07.08	災害時対応マニュアルについて	マニュアル委員会	全職員
R2.09.10	他事業所との合同研修	介護支援センターいきいき 介護支援専門員	2名
R2.12.11	事例検討会	介護支援センター らくらく 介護支援専門員	全職員
R3.01.13	認知症研修	とよま介護支援センター 介護支援専門員	全職員
R3.02.10	令和3年度・指定居宅サービス運営基準等の改正について	介護支援センターいきいき 事務員	全職員
R3.03.10	第2回 令和3年度・指定居宅サービス運営基準等の改正について	介護支援センターいきいき 事務員	全職員

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R2.06.01	令和2年度介護認定調査員新任研修会	登米市福祉事務所 長寿介護課	登米市役所 南方庁舎	職員1名
R2.08.12	令和2年度登米市主任介護支援専門員研修会	登米市福祉事務所 長寿介護課	登米市役所 南方庁舎	職員1名
R2.08.27	令和2年度介護支援専門員実務研修実習指導者研修	宮城県ケアマネジャー協会	宮城県庁	職員1名
R2.09.15	宮城県ケアマネジャー協会登米支部新任研修	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	JAみやぎ登米本店	職員1名
R2.09.17	令和2年度登米市高齢者虐待への相談対応研修会	登米市福祉事務所 長寿介護課	登米市役所 南方庁舎	職員1名
R2.11.30	令和2年度 高次脳機能障害家族交流会	宮城県東部保健福祉事務所登米地域事務所	宮城県登米合同庁舎	職員1名

(3) その他の研修

年月日	内 容	主 催 者・講 師	開 催 地	参 加 者
R2.09.16	第41回恵泉会職員研修大会 (研修発表)	恵泉会	各PCより	全職員

2. 会議開催状況

定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日
情報伝達会議	各担当毎におけるマネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週木曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

### 3. 委員会開催状況

委員会名	内 容	開催日	参加職員
研修委員会	研修計画、施設内研修、他事業所との合同研修について	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
マニュアル検討委員会	各種マニュアル、災害時要援護者台帳の整備	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
サービス向上委員会	自己評価、満足度調査の実施。サービス情報公表資料作成	毎月1回開催	施設長、管理者、委員

#### 【今後の取り組み】

ケアマネジメント契約数、給付管理件数については、大幅に件数を伸ばした前年度の業績を維持できています。新型コロナウイルス流行に関し、コロナ禍でのケアマネジメントに対しても柔軟な対応が求められることが今後も予想されます。各関係機関連携を図りながら、利用者・家族の安定した生活を支えられるよう留意します。今後も主任介護支援専門員を中心に、利用者の身体機能の維持向上に向けた支援を継続し、重度化の予防を目標とし、取り組んでいきます。

# 令和2年度 恵泉会東和介護支援センター 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市東和町米谷字新細待井2 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人恵泉会         |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人恵泉会         |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成24年4月1日         |

## 【 重 点 項 目 】

・利用者の自立支援、重度化防止に資するケアマネジメントについてはケアプランチェックや情報伝達会議等をおしりて利用者個々の抱える問題を検討したり、アセスメント、課題分析のスキルを向上させ、利用者の自立を支援する事ができました。

・地域包括ケアシステム構築の為、各関係機関や団体と連携を図り顔の見える関係作りについては、積極的にサービス事業所との連携を強化し利用者の状況把握に努め利用者支援ができました。

・対人援助技術の習得に努め、利用者・家族との良好な関係を作ることにについては、利用者・家族の気持ちに寄り添うよう相談・支援を心がけました。利用者・家族からの苦情はなく、利用者満足度調査アンケートでは満足度が高い結果が得られました。

・在宅緩和ケア・認知症・難病等各種疾患の知識を深め、医療・介護の連携・調整を図ることにについては、感染症の影響により研修会の開催はなかったが、職員間の情報共有や医療機関から情報収集することにより多様なニーズに対応できるようにしてきました。

・専門職としての資質の向上については外部研修会参加、施設内研修、情報伝達会議を実施し、専門知識を習得し資質向上に努めてきました。また、主任介護支援専門員研修を受講し資格取得しました。

・職員一人ひとりが心身共に健康で気持ちよく働ける事業所の雰囲気を作ることにについては、職員が各々健康管理に努めると共に、働きやすい職場環境を作り努め万全の体調で職務を遂行することができました。

・医療ニーズの高い利用者に対しての支援については、主治医・サービス事業所と連携し自宅で看取り支援ができたケースが数件ありました。

・他の居宅介護支援事業所と共同し事例検討会や研修会等を実施することについては感染症の影響により予定回数を実施できなかったが、可能な範囲での研修会を実施し、事業所の垣根を越えて共にスキルアップを図る事ができました。

以上、重点項目は概ね達成できました。今後も利用者に寄り添い、自立支援・重度化防止に資するケアマネジメントを行っていくため専門性の向上、医療や関係機関との連携を深め利用者支援にあたっていきます。

## 【 利 用 者 状 況 】

### 1. 月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	40	41	38	40	41	39	37	37	38	36	38	38	463
女	86	86	91	90	90	93	96	91	89	90	92	106	1,100
計	126	127	129	130	131	132	133	128	127	126	130	144	1,563

### 2. 月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	34	39	35	37	37	42	42	40	41	38	41	44	470
要介護2	54	53	53	52	51	49	48	44	42	42	41	46	575
要介護3	22	20	21	23	23	22	23	26	26	26	26	30	288
要介護4	9	8	8	10	10	11	12	11	10	11	13	15	128
要介護5	7	7	12	8	10	8	8	7	8	9	9	9	102
計	126	127	129	130	131	132	133	128	127	126	130	144	1,563

3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	7	2	4	8	5	3	5	4	6	5	4	1	54
契約終了者数	4	4	3	5	4	1	3	2	5	1	1	4	37

【利用者サービスの状況】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	25	25	23	25	23	22	22	21	24	22	24	24	280
訪問入浴	5	5	4	4	5	5	5	5	4	5	6	6	59
訪問看護	11	11	10	11	10	12	11	11	12	12	12	13	136
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	74	73	74	77	71	74	79	80	78	74	79	78	911
通所リハ	8	8	8	10	10	9	9	8	7	7	9	11	104
福祉用具	71	70	73	75	75	73	72	72	74	74	76	76	881
短期生活	17	14	15	15	13	14	18	14	13	12	14	19	178
短期療養	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	14
認知通所介護	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	5	4	41
地域密着型通所介護	20	21	23	24	26	25	24	24	24	23	24	23	281
計	235	231	234	246	238	238	244	239	241	234	250	255	2,885

【認定調査状況】

1. 認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	6	4	2	4	5	4	4	2	5	4	3	5	48

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援2	2	2	3	4	4	4	4	4	4	4	3	3	41
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	3	4	5	5	5	5	5	5	5	4	4	53

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予 防 対 象 件 数	迫町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中田町	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	東和町	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	44
	登米町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南方町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3	3	4	5	5	5	5	5	5	5	4	4	53



3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	0	0	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	19
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	31

4. 総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22
通所型サービス	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	22
計	3	3	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4	44

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師・事例提供者	参加者
R2.05.13	法令遵守について	恵泉会介護支援センターいきいき 施設長	4名
R2.06.10	個人情報保護について	恵泉会介護支援センターいきいき 介護支援専門員	4名
R2.07.08	災害対策マニュアルについて	恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	4名
R2.09.10	社会資源について	恵泉会介護支援センターいきいき 介護支援専門員	2名
R2.12.11	事例検討会	恵泉会介護支援センターらくらく 介護支援専門員	4名
R3.01.13	認知症研修	恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	4名
R3.02.10	第1回 令和3年度指定居宅サービス運営基準等の改正について	恵泉会介護支援センターいきいき 事務員	4名
R3.03.10	第2回 令和3年度指定居宅サービス運営基準等の改正について	恵泉会介護支援センターいきいき 事務員	4名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R2.08.12	令和2年度登米市主任介護支援専門員研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R2.08.27	令和2年度介護支援専門員実務研修実習指導者研修	宮城県ケアマネジャー協会	宮城県庁	職員1名
R2.09.17	令和2年登米市高齢者虐待への相談対応研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R2.11.11	令和2年度登米市介護支援専門員サポート研修会について	登米市	南方庁舎他	職員1名
R2.11.20 ～ R2.12.11	令和2年度介護認定調査員現任研修	宮城県東部 保健福祉事務所	自己学習	職員4名

## (3) その他の研修

年月日	内 容	主催者・講師	開催地	参加者
R2.06.05	令和2年度WJU管理職育成コンサル	WJU(株) 鈴木真一氏	恵泉会在宅サービス 支援棟研修室	職員1名
R2.10.16	第41回恵泉会職員研修大会	恵泉会	動画開催	職員4名

## 2. 会議開催状況

## (1) 定例会議

会議名	内 容	開催日
情報伝達会議	各担当毎における、マネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週木曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

## (2) その他の会議

開催日	内 容	開催地	出席者
	なし		

## 3. 委員会開催状況

委員会名	内 容	開催日	参加職員
研修委員会	研修・事例検討会の立案・実施	月1回	施設長、管理者、各委員
マニュアル委員会	マニュアル・災害時要援護者台帳の作成・見直し	月1回	施設長、管理者、各委員
サービス向上委員会	利用者アンケート・業務チェックの実施・サービス情報公表の準備	月1回	施設長、管理者、各委員

## 【今後の取り組み】

令和2年度は包括支援センターから新規紹介が順調にあり月平均130件を維持できました。令和3年度はケアマネジャー1名増員となり5名でスタートしています。この給付管理件数を維持していくためには新規利用者の獲得が必要不可欠であり地域に信頼され選ばれる事業所を目指していきます。

コロナウイルス感染症により各種会議や研修会に制限があるが、利用者の多様なニーズに対応できるよう限りの感染症予防対策を講じ研修会参加や自己学習に努め職員個々のスキルアップを図っていきます。

職員間のコミュニケーションを大切にしお互いに協力し合える関係を築き効率よく仕事ができる、働きやすい職場環境づくりに努めていきます。

介護報酬の改定により、感染症・災害対策、高齢者虐待防止等への取り組みが義務化されました。事業所内で委員会を中心にマニュアル作成、研修会実施を進めていきます。

# 令和2年度 恵泉会とよま介護支援センター 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市登米町寺池馬場塚777番地 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人恵泉会           |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人恵泉会           |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成25年5月1日           |

## 【 重 点 項 目 】

- ・各職員のケアマネジメント手法におけるスキルアップについては、主任介護支援専門員を中心としたケアプランチェックや法令に基づいたきめ細かい助言を行うことにより、利用者の自立に向けた質の高い支援が提供できたと思われまます。
- ・各関係機関や団体との連携については、必要に応じて登米市福祉事務所や各地域包括支援センター等に相談や報告を行い、利用者が住み慣れた地域で自立した生活が送れるように支援を行いました。
- ・対人援助技術については、毎週1回以上事例検討や情報共有の会議を開催し、専門性の高い支援が提供できるように努めました。
- ・医療・介護の連携については、研修や伝達会議を通じて事業所全体で知識・技術の向上に努め、末期がんをはじめとするターミナルケアの必要な利用者についても積極的に受け入れを行い対応を行いました。
- ・専門職としての資質向上については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から多くの外部研修が中止される中、タブレット端末等を利用しながら、リモートによる各種研修会や事例検討会を開催し、各職員のスキルアップにつなげました。また今年度は職員2名が主任介護支援専門員研修を受講し資格を取得しました。
- ・職員の心身の健康については、介護支援専門員特有のストレスを溜め込まないよう、話しやすい職場環境作り心がけました。計画的な年休取得に配慮しながら心身のリフレッシュを図り、体調を崩す職員が一人も出ることなく1年間事業運営ができました。
- ・事業所に対する信頼度については、利用者アンケート調査からも比較的満足度が高い結果が得られており、1件の苦情もなかったことから概ね達成できたと思われまます。
- ・困難ケースへの対応については、担当者のみには負担がかからないように随時状況の把握に務めながら、主任介護支援専門員を中心として事業所が一体として支援にあたっています。

## 【 利 用 状 況 】

### 1. 月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	36	37	36	38	36	36	35	35	37	38	39	37	440
女	95	97	95	93	92	99	99	97	91	93	94	98	1,143
計	131	134	131	131	128	135	134	132	128	131	133	135	1,583

### 2. 月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	39	40	41	40	39	43	42	41	39	40	35	34	473
要介護2	62	62	60	59	56	58	57	60	58	53	59	57	701
要介護3	16	18	15	15	20	20	19	18	19	21	21	18	220
要介護4	7	7	9	9	7	9	8	7	8	14	15	19	119
要介護5	7	7	6	8	6	5	8	6	4	3	3	7	70
計	131	134	131	131	128	135	134	132	128	131	133	135	1,583

### 3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	4	0	2	2	7	2	1	5	3	7	3	3	39
契約終了者数	2	2	2	1	6	4	1	3	5	4	1	6	37

【利用者サービスの状況】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	23	26	24	20	21	23	25	24	24	25	26	25	286
訪問入浴	6	6	5	4	3	2	2	2	2	2	3	3	40
訪問看護	22	22	21	21	22	23	24	23	24	23	23	27	275
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	95	96	97	94	96	101	101	100	101	95	98	97	1,171
通所リハ	7	7	6	6	5	6	6	6	7	7	6	6	75
短期生活	13	15	17	19	18	19	20	25	15	13	22	20	216
短期療養	5	3	4	4	3	5	6	6	5	4	4	3	52
福祉用具	73	74	73	67	71	78	77	77	80	82	86	82	920
認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地密通所介護	17	15	16	15	13	13	12	11	9	10	9	10	150
計	261	264	263	250	252	270	273	274	267	261	277	273	3,185

【認定調査状況】

1. 認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	7	8	4	7	6	7	4	4	8	4	1	7	67

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1	2
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1	2

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予 防 対 象 件 数	迫町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1	2	18
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南方町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1	2

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	1	6
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1	2	18

4. 総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所型サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講 師・事 例 提 供 者	参 加 者
R2.05.13	法令遵守(コンプライアンス)について	恵泉会介護支援センターいきいき 施設長	4名
R2.06.10	個人情報保護について	恵泉会介護支援センターいきいき 介護支援専門員	4名
R2.07.08	災害時対応マニュアルについて	恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	4名
R2.09.10	社会資源について	恵泉会介護支援センターいきいき 介護支援専門員	2名
R2.12.11	事例検討会	恵泉会介護支援センターらくらく 介護支援専門員	4名
R3.01.13	認知症研修	恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	4名
R3.02.10	第1回 令和3年度指定居宅サービス運営基準等の改正について	恵泉会介護支援センターいきいき 事務員	4名
R3.03.10	第2回 令和3年度指定居宅サービス運営基準等の改正について	恵泉会介護支援センターいきいき 事務員	4名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R2.08.12	登米市主任介護支援専門員研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R2.08.27	令和2年度介護支援専門員実務研修 実習指導者研修	宮城県	宮城県庁	職員1名
R2.09.17	令和2年度登米市高齢者虐待への相 談対応研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R2.11.20 ～ R2.12.11	令和2年度介護認定調査員現任研修	宮城県東部 保健福祉事務所	自己学習	職員4名

(3) その他の研修

年月日	内 容	主 催 者・講 師	開 催 地	参 加 者
R2.06.05	令和2年度WJU管理職育成コンサル	WJU(株) 鈴木真一氏	恵泉会在宅サービス 支援棟研修室	職員1名
R2.10.16	令和2年度第41回恵泉会職員研修大会	恵泉会	動画開催	職員4名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日
情報伝達会議	各担当毎におけるマネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週水曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

(2) その他の会議

開催日	内 容	開催地	出席者
	なし		

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	出席者
研修委員会	施設内研修開催に向けた企画立案と調整	毎月1回	2名
マニュアル検討委員会	業務標準化に向けたマニュアルの作成と見直し	毎月1回	1名
サービス向上委員会	サービス向上に向けた自己評価と改善の検討	毎月1回	1名

【今後の取り組み】

昨年度に比べ給付管理延べ件数は26件増加し、月平均では目標値である130件をクリアすることができました。近年の傾向として、状態が重度化すると施設入所の意向が強くなり、給付管理期間が短くなり利用者の入れ替わりが頻繁となる傾向がみられます。今後も安定した事業所運営を行うためには、安定的な給付管理件数を確保することが重要であり、引き続き良質なサービス提供を行い、地域の利用者から選ばれる事業所づくりに努めます。

令和3年度は新たに1名の新任介護支援専門員が配属されることとなったが、恵泉会では介護支援専門員の世代交代の時期に差しかかっており、後進の育成が急務と考えます。現任の介護支援専門員を含め、各種の研修や事例検討会等を通じながら、より専門性の高い介護支援専門員の育成に努めます。

介護報酬の改定により、感染症対策、業務継続計画、高齢者虐待防止等への取り組みが全てのサービスに義務化されました。当事業所では、いきいき、らくらく、東和の3事業所と連携しながら委員会を組織し、早期の対応に努めます。

# 令和2年度 登米市迫地域包括支援センター 事業報告

## 【 施設概要 】

1. 所在地 宮城県登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
2. 設置主体 登米市
3. 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開設年月日 平成18年4月1日

## 【 利用状況 】

### 1. 相談事業

#### (1) 形態別相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話	116	80	130	92	91	76	72	80	152	110	108	115	1,222
来所	27	25	21	30	30	21	24	22	16	16	31	33	296
訪問	162	175	159	203	168	201	185	190	68	143	162	212	2,028
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
計	305	280	310	325	289	298	282	292	236	269	301	360	3,547

#### (2) 相談者別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本人	230	211	233	225	202	230	221	221	199	219	235	279	2,705
家族	34	30	33	43	50	39	40	37	19	15	31	46	417
ケアマネ	16	9	13	23	12	6	7	11	9	4	4	7	121
サービス事業所	2	4	8	3	2	1	0	2	2	5	2	4	35
医療機関	8	1	7	5	4	4	3	4	0	7	11	1	55
民生委員・区長	2	7	3	13	4	7	3	2	3	4	4	3	55
社協	4	0	2	1	2	1	1	1	1	1	1	4	19
行政関係	5	8	3	20	7	8	6	7	0	10	6	15	95
その他	4	10	8	4	6	4	1	7	4	4	7	1	60
計	305	280	310	337	289	300	282	292	237	269	301	360	3,562

#### (3) 内容別相談件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合相談	サービス利用	45	56	59	96	65	46	53	57	29	37	46	53	642
	実態把握	5	5	4	4	6	9	3	3	0	5	5	10	59
	認知症関係	20	4	7	11	8	3	7	9	8	10	7	11	105
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
権利擁護	虐待関係	7	1	0	3	0	1	5	2	1	2	0	3	25
	成年後見関係	0	7	6	0	0	1	0	0	1	0	0	0	15
	消費者被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	認知症関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防 ネット	要支援・事業対象者	222	203	227	198	201	229	208	212	193	211	237	269	2,610
	福祉サービス	3	0	4	0	5	7	4	4	0	2	5	10	44
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
継続的 ケア・ トマ	ケアマネジメント支援	3	4	3	8	4	2	2	5	4	2	1	1	39
	困難事例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
計		305	280	310	325	289	298	282	292	236	269	301	360	3,547
予防 給付 関係	給付管理件数	174	181	182	182	174	184	190	186	185	176	177	186	2,177
	(内委託件数)	16	17	17	19	19	20	23	18	20	17	17	16	219
計		174	181	182	182	174	184	190	186	185	176	177	186	2,177

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R2.11.20	法令遵守研修	管理者	職員4名
R2.11.20	感染症予防対策研修(新型コロナウイルス)	看護師	職員4名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R2.04.15	令和2年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員2名
R2.08.03	令和2年度認知症カフェ研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R2.08.12	令和2年度登米市主任介護支援専門員研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R2.08.20	自立支援個別ケア会議実施推進事業・自立支援個別ケアに向けた事例検討会	宮城県	登米合同庁舎	職員1名
R2.08.20	自立支援推進研修会(地域リハビリテーション人材研修会)	宮城県	登米合同庁舎	職員1名
R2.09.17	令和2年度登米市高齢者虐待への相談対応研修	登米市	南方庁舎	職員1名
R2.10.28	令和2年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R2.11.11	令和2年度登米市介護支援専門員サポート研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R3.02.02	認知症カフェセミナー2021	長寿社会開発センター	ウェブ配信	職員1名
R3.02.26	地域包括支援センター職員基礎研修	宮城県	DVD	職員1名
R3.03.16	令和2年度地域包括ケア担当職員セミナー	長寿社会開発センター	ウェブ配信	職員2名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
登米市地域包括支援センター会議	業務連絡・確認、活動状況報告、研修	第3水曜日	管理者他2名輪番による
迫地区民生委員児童委員協議会定例会	業務連絡・確認、活動状況報告、相談	第3木曜日	管理者他1名輪番による

(2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出席者
R2.04.10	関係者調整会議	南方庁舎	職員1名
R2.04.14	関係者調整会議	迫包括事務支所内	職員2名
R2.04.23	関係者調整会議	迫総合支所内	職員2名
R2.04.24	生活圏域地域ケア会議	迫総合支所内	職員2名
R2.05.12	認知症初期集中支援事業チーム員会議	南方庁舎	職員2名
R2.05.14	生活圏域地域ケア会議	迫保健センター	職員2名
R2.05.21	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R2.05.29	経営者会議	恵泉会在宅支援棟2階	職員1名
R2.06.02	生活圏域地域ケア会議	迫保健センター	職員2名
R2.06.16	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R2.06.25	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R2.06.26	特別養護老人ホームせくれ運営推進会議	特別養護老人ホームせくれ	職員1名
R2.06.29	令和2年度自殺予防対策相談窓口関係者会議	南方庁舎	職員1名
R2.07.02	認知症初期集中支援事業チーム員会議	登米市民病院	職員1名
R2.07.16	経営者会議	恵泉会在宅支援棟2階	職員1名
R2.07.21	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R2.08.03	生活圏域地域ケア会議	南方庁舎	職員1名
R2.08.11	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R2.08.20	はさま元気応援研修会打ち合わせ	迫保健センター	職員1名
R2.08.25	関係者調整会議	古川グリーンヒルズ	職員1名
R2.08.27	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R2.08.27	特別養護老人ホームせくれ運営推進会議	特別養護老人ホームせくれ	職員1名
R2.09.03	認知症初期集中支援事業チーム員会議	登米市民病院	職員1名
R2.09.28	はさま元気応援研修会打ち合わせ	迫保健センター	職員2名
R2.09.28	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R2.10.01	はさま元気応援研修会	迫公民館	職員2名
R2.10.08	生活圏域地域ケア会議	迫保健センター	職員2名



R2.10.13	生活圏域地域ケア会議	迫保健センター	職員2名
R2.10.14	第2層迫圏域第2回協議体会議	迫老人福祉センター	職員1名
R2.10.19	認知症初期集中支援事業チーム員会議	南方庁舎	職員1名
R2.10.20	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R2.10.21	認知症サポーター養成講座	迫公民館	職員1名
R2.10.22	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R2.10.28	はさま元気応援研修打ち合わせ	迫保健センター	職員3名
R2.10.28	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R2.11.04	認知症初期集中支援事業チーム員会議	登米市民病院	職員1名
R2.11.05	はさま元気応援研修会	迫公民館	職員3名
R2.11.11	北方小学校講話打ち合わせ	北方小学校	職員2名
R2.11.18	北方小学校ハンディキャップ体験	北方小学校	職員2名
R2.11.25	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R2.12.15	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R2.12.16	令和2年度宮城県地域支え合い生活支援推進連絡会議	ホテルサンシャイン	職員1名
R2.12.23	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R2.12.24	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R2.12.28	認知症初期集中支援事業チーム員会議	南方庁舎	職員1名
R3.01.20	佐沼小学校福祉学習打ち合わせ	佐沼小学校	職員1名
R3.01.22	認知症サポーター養成講座	東北労働金庫	職員2名
R3.01.27	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R3.01.28	佐沼小学校福祉学習	佐沼小学校	職員5名
R3.02.02	生活圏域地域ケア会議	迫保健センター	職員3名
R3.02.08	経営者会議	恵泉会在宅支援棟2階	職員1名
R3.02.16	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R3.02.22	認知症初期集中支援事業チーム員会議	南方庁舎	職員2名
R3.02.24	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R3.03.12	経営者会議	恵泉会在宅支援棟2階	職員1名
R3.03.18	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R3.03.18	自立支援会議	米山保健センター	職員1名
R3.03.26	令和2年度宮城県地域支え合い生活支援推進連絡会議	迫老人福祉センター	職員1名

# 令和2年度 恵泉会サービス付き高齢者向け住宅恵はあと 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市登米町寺池馬場塚777  
 2) 設 置 主 体 社会福祉法人恵泉会  
 3) 経 営 主 体 社会福祉法人恵泉会  
 4) 開 設 年 月 日 平成28年2月1日  
 5) 事 業・利用定員

事 業	利 用 定 員
サービス付き高齢者向け住宅	36 名
計	36 名

今までに経験したことがない新型コロナウイルス感染症のまん延と終息が見えない中、感染対策の対応に追われる日々でした。いかに恵はあとで安全に過ごすことが出来るかについて、国や県からの情報をもとに、感染対策を行い、新しい生活様式について、入居者の皆様に出来るだけストレスにならないように配慮しながら、注意・啓発を繰り返し伝えてきました。入居者同士のお茶を飲みながらの交流がなくなり、不要不急以外の外出・外泊、お部屋での面会自粛など、入居者ご家族の皆様にもご協力をいただきました。そのため職員は、部屋の手すり等の消毒を兼ねて、安否確認や入居者への声掛けを増やすように心がけました。入居者の皆様は、棟内の廊下を利用し、歩行訓練に励んだり、飛沫防止パネルを挟んで会話を楽しむなど、コロナ禍の中でも、出来るだけ孤立しないように見守ってきました。また、新型コロナウイルス感染症の影響のためか、例年に比べて入居相談や見学が少なく、空き室がなかなか埋まらない状況でした。

1. 入居者の自主性の尊重  
入居者ひとり一人のライフスタイルが確立しており、その生活スタイルを把握しながら、個々に応じた距離感を持ち自宅と同じように周囲に気を使わず自由な生活を送って頂くように配慮した支援に努めてきました。
2. 新型コロナウイルス等感染症対策  
入居者においては通院外出等外部との接触の機会が多く、感染症が避けがたい状況にあるため、食事の時間を利用し、予防の啓発に努めてきました。マスクの着用、手洗い、ソーシャルディスタンス、部屋の換気などを呼び掛けました。食事前はアルコール手指消毒、朝・夕食時には検温を行っています。食堂テーブルには飛沫防止パネルと低濃度オゾン発生装置を設置しました。また、共有スペースと各部屋の手の触れる部分の消毒の実施、不要不急の外出・外泊では感染対策の徹底と外出先記録、外泊は検温などの健康記録もご本人・ご家族にお願いしてきました。新規入居者についても、入居前2週間の健康確認とその記録をお願いし、感染症の対策を行っています。
3. 健康の保持  
入居者より体調不調の訴えがあった場合には、バイタルを測定し、ご家族や訪問看護・訪問診療などに連絡、迅速な対応に心がけました。コロナ禍で面会の機会が少ないため、身体状況の変化など気が付いたことは、ご家族に連絡、感染対策のうえ面会の機会を設けるなど、安心に繋がるように努めました。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 11,385 名
2. 年間稼働率 86.64 %
3. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自 立	210	234	240	174	124	120	149	150	155	155	140	131	1,982
要支援1	90	93	90	93	93	90	93	60	62	62	78	124	1,028
要支援2	150	124	120	155	124	120	124	150	151	124	112	124	1,578
要介護1	270	279	270	322	310	300	311	300	330	341	308	341	3,682
要介護2	194	217	210	207	248	236	186	180	186	186	168	73	2,291
要介護3	30	1	30	31	62	60	93	90	93	93	84	157	824
計	944	948	960	982	961	926	956	930	977	961	890	950	11,385

#### 4. 入退居所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		計
新規入居者数	0	1	0	0	0	0	2	0	1	1	0	1		6
退去者数	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	3		8
月末入居者数	31	32	32	31	31	30	31	31	32	33	32	30		-2

#### 【利用者サービスの向上】

##### 1. 職員研修実施状況

###### (1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R02.07.30	キッズつぼみ内部研修会:刺股の使い方	登米警察署	職員4名
R02.10.21	キッズつぼみ内部研修会:救急救命研修	登米市消防署津山出張所	職員1名
R02.12.20	新型コロナウイルス感染症について(動画鑑賞)	管理者	職員3名
R03.02.14	コンプライアンスについて	管理者	職員2名
R03.02.14	認知症について	管理者	職員2名
R03.02.14	消防設備の取り扱いについて	管理者	職員2名
R03.02.21	嘔吐物処理について(動画鑑賞)	管理者	職員3名

##### 2. 会議開催状況

###### (1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
スタッフ会議	入居者の状況、業務内容の検討	月1回	管理者・生活相談員
ケアカンファレンス	入居者の状況について	随時	管理者・生活相談員

###### (2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出席者
R02.09.01	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	管理者・看護師・生活相談員
R02.09.30	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	管理者・看護師・生活相談員
R02.10.08	入居者申込者についての審査(2件)	恵はあと	管理者・看護師・生活相談員
R02.11.24	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	管理者・看護師・生活相談員
R03.01.26	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	管理者・看護師・生活相談員
R03.03.04	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	管理者・看護師・生活相談員
R02.09.07	運営懇談会	恵はあと	入居者代表・ご家族代表・区長・恵はあと職員
R03.02.19	運営懇談会(書面にて実施)	恵はあと	入居者代表・ご家族代表・区長・恵はあと職員

##### 3. 委員会開催状況

###### (1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開催日	参加職員
マニュアル検討委員会	各種マニュアルの整備	随時	管理者・生活相談員
研修委員会	職員の資質の向上を図るよう、施設内の実施の企画調整を行う	随時	管理者・生活相談員
サービス向上委員会	サービス向上について、多角的に検討する	随時	管理者・生活相談員

## 【今後の取り組み】

1. 年齢を重ねるにつれ、要介護度が上がってくる入居者が多くなりました。入居者、ご家族、担当ケアマネジャーとも相談しながら、必要に応じて外部サービスとも連携するなどし、安心して長期間住むことができるようにすすめていきます。
2. 地震や火災などの災害に備えた避難訓練や防災教室開催等により、自助・共助・公助のそれぞれの仕組みづくりなど、サービス付き高齢者向け住宅の防災・避難について実践していきます。
3. 感染症予防について、国や県からの情報や指示のもと、職員は対応をし、入居者・家族・関係機関にご理解をいただけるように説明をし、感染対策を行っていきます。
4. 職員の配置については、必要な時間帯にパート職員を配置し、効率的な業務を行い経営の改善に努めます。

# 令和2年度 ヒヤリハット・軽微・事故・苦情処理報告

## 【法人総括】

### ①ヒヤリハット・軽微・事故

事故分類	ヒヤリハット	軽微	事故	合計	割合
転倒	58	186	26	270	19.4%
転落	43	137	9	189	13.6%
誤嚥	7	4	0	11	0.8%
異食	5	31	0	36	2.6%
加害行為	2	32	0	34	2.4%
器物破壊	6	12	13	31	2.2%
投棄ミス	10	24	16	50	3.6%
施設外飛び出し	13	21	14	48	3.5%
送迎・訪問	1	5	12	18	1.3%
設備不良	3	3	2	8	0.6%
連絡ミス	5	0	8	13	0.9%
自傷	1	50	0	51	3.7%
介護・支援ミス	20	218	10	248	17.9%
食事提供ミス	17	19	2	38	2.7%
その他	34	288	22	344	24.8%
(内出血)	(4)	(109)	(0)	(113)	(8.2%)
(擦過傷)	(2)	(94)	(3)	(99)	(7.1%)
(私物返し忘れ)	(2)	(37)	(6)	(45)	(3.2%)
(上記以外)	(26)	(48)	(13)	(87)	(6.3%)
原因不明	0	0	0	0	0.0%
合計	225	1030	134	1389	100.0%

### ②苦情処理

	苦情処理
合計	0

#### I. 受付方法

来所	0
電話	0
訪問	0
文書	0
その他	0
計	0

#### II. 苦情の分類

ケアの内容	0
個人の嗜好・選択に係わる事項	0
財産管理(遺産・遺言)	0
その他	0
計	0

#### III. 第三者委員関連(申出人の希望)

	要	否
第三者委員への報告の要否	0	0
話し合いへの第三者委員の助言、立ち会い要否	0	0